

2003(平成15)年度

講義内容

文学部

A large, faint illustration of an hourglass is centered on the page. The hourglass is shown in a light blue color, matching the background. It has a wide top bulb and a narrow neck leading to a wider bottom bulb. The background of the entire page is a light teal color with a subtle, circular, wavy pattern that creates a sense of depth and movement.

人駒澤大學

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	25
(1)	人 文 分 野	25
(2)	社 会 分 野	50
(3)	自 然 分 野	64
(4)	総 合 分 野	93
3	外 国 語 科 目	114
4	保 健 体 育 科 目	269
II	専 門 教 育 科 目	
1	国 文 学 科	315
2	英 米 文 学 科	365
3	地 理 学 科	419
4	歴 史 学 科	475
5	社会学科(社会学専攻)	543
6	社会学科(社会福祉学専攻)	583
7	心 理 学 科	637
III	他 学 部 履 修 科 目	681
IV	「日本語」・「日本事情」科目	755
V	随 意 科 目	771

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
専 門 教 育 科 目	総合分野
	外国語
	保健体育
	国
履 修 科 目	文
	英米文地
	理
	歴
「日本語」 「日本事情」	史
	(社会学)
	社
	会
随 意 科 目	心
	理

(注意)

講義内容に掲載している配当学科(学年)の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、地理学科・社会学科については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

地理学科	地域文化研究専攻(13年度以降入学生)	……………	地文
	地域環境研究専攻(13年度以降入学生)	……………	環境
	12年度以前入学生	……………	地理
社会学科	社会学専攻	……………	社会
	社会福祉学専攻	……………	福祉

I 全 学 共 通 科 目

1 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (国)	〈小川順敬〉	9
仏教と人間 (英)	〈洗建〉	9
仏教と人間 (地文・環境)	〈池上良正〉	10
仏教と人間 (歴)	〈山端昭道〉	10
仏教と人間 (歴)	〈佐々木章格〉	11
仏教と人間 (心)	〈佐藤憲昭〉	11
仏教と人間 (社・福)	〈竹内弘道〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈熊本英人〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈木村誠司〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宣英〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	14
文化と宗教	〈長谷部八朗〉	14
社会と宗教	〈池上良正〉	15
自然と宗教	〈小川順敬〉	15
坐	禅 〈熊本英人・木村誠治〉	16

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	小 ^{がわ} 川 ^{とし} 順 ^{ゆき} 敬	国文1必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているのでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちがとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	あらい ^{けん} 洗 ^{けん} 建	英米文1必	4

講義のねらい

多くの日本人は、自分は無宗教であり、宗教とは無関係であると思っている。しかし、それは事実であろうか。あなたは合格祈願のお守りを貰わなかったらどうか。初詣やお墓参りの経験はないだろうか。それは宗教ではないのだろうか。日本は仏教国であるといわれ、かつての日本人は自分を仏教徒であると自覚していた。現在、日本人と仏教とのかかわりの実態はどのようなものであるのか、なぜ無宗教と思うようになったのか、日本人の仏教とのかかわり方がどのような意味を持つのか、まずそのあたりを理解することから始めよう。

その上で、世界の諸宗教と仏教の特質、開祖釈尊が示した人間の生き方、日本における仏教の展開、現代の我々にとっての仏教などの問題を正しく理解することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は諸宗教と仏教を関連づけながら、広く宗教が人間生活にとって持つ意味と役割を探り、後半は特に仏教の正しい理解を目指す。

履修上の留意点

事実を覚えることよりも、問題や考え方を理解することを心がけて受講して欲しい。

成績評価の方法

原則的には試験で評価するが、ときどき出席をとり、また場合によってはレポートを提出し、貰い、評価の参考にする。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	地文・環境1必	4

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、仏教に関する基礎的知識の解説に主眼をおきつつも、とくに地理学科の学生諸君が興味をもてそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、とくに風土論的な視点に注目しながら、世界宗教としての仏教の成立過程を考察する。後期は、「山と日本仏教」というテーマを中心に、日本における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

出席状況と学年末試験などを総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま はた しやう どう 山 端 昭 道	歴史1必	4

講義のねらい

我が国には、さまざまな宗教とその諸相がある。中でも仏教は、遠来の宗教ではあるが、永い歴史を通して、日本の文化的・宗教的土壌に根を下ろし、人びとの考え方や行動、また社会生活等に大きな影響を与えてきた。

そして近年、「定年出家」という言葉が使われている。人生の半ばで、あるいは脱サラをしてまで、あらためて仏教を学び、厳しい仏道修行の生活に身を投じようとする人びとのことである。そこに、現代人の「こころ」の揺れを見失ってしまうし、かつ人生経験豊富な人びとに対しても新たに「生きる力」を与え得る仏教の「力」を認めることができよう。君たちは若い。しかし、長い人生を歩む上に、宗教への正しい理解と共に、仏教が君たちにとっても、どのように機能し、「生きる力」となり得るか、ともに考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、身近な具体的な事例を通して、宗教が果たしている役割を知り、また仏教の基本的な考え方・基礎的な教理を理解する。そして、釈尊（仏教の開祖・釈迦）をはじめ宗教的に生きた先人達の言行や教えを学び、また苦悩しつつも確かに歩み続ける人びとの詩文・告白等に触れ、現代人が仏教をいかに受け止めるべきかの指針・導き、としたい。

履修上の留意点

自分自身にとって、現代社会にとって宗教・仏教がどうなのか、と常に問題意識をもって履修してほしい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価。ただし、提出レポートの内容および出席状況を考慮する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円
他に、先人達の遺した比較的平易な言葉や今に生きる人びとの詩文等を、資料として随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐々木 章 格 <small>ささき しょう かく</small>	歴史1必	4

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに宿題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは――。釈尊（ブツ）はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実にある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。さらに学生手帳に載せる『般若心経』や『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。
- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
 - 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
 - 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
 - 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禅師と瑩山禅師の思想。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、内容については一般常識などの借り物ではなく、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（出欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤 憲 昭 <small>さとう のり あき</small>	心理1必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- つぎのテーマのもとに具体的に考察する。
1. 宗教学の視点と方法。
 2. 人類と文化。
 3. 風土と宗教。
 4. 民俗宗教の特質。
 5. 教義仏教と民俗仏教。
 6. 原始仏教。
 7. 大乘仏教と上座部仏教。
 8. 禅仏教の特質。
 9. 曹洞宗の特質。
 10. 総括。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	たけうちひろみち 竹内弘道	社会・福祉1必	4

講義のねらい

学生であるならば、世界のさまざまな事柄に関心を寄せ、現代社会が抱える今日的な問題に対して何らかの自分なりの考えを持ちたいと思うであろう。しかし、いざ自分の意見を表明する段になると、依って立ち、判断基準とする自分の「思想」がなければ、何の見解も導き出せないことに気づく。しかも、極めて現代的な問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多い。自己の宗教的視点が確立していないと、はっきりと問題の本質が見えず、判断を下すことが困難になる。戦後の、病的なまでに宗教を排除した教育体制によって形成された我々の意識に、大きく欠落している部分は宗教観である。授業は、現代社会の具体的問題を考える中で、この欠けたる部分に気づき補っていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、次のようなテーマについて、具体的問題を取りあげ、随時講義する予定である。時間が許せば予定外のテーマも取りあげたい。

1. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
2. 生命倫理と脳死・臓器移植－日本人の生命観
3. 環境問題と現代社会－仏教の可能性
4. 仏教と人権－フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命－葬祭と仏教

成績評価の方法

試験はレポート提出で、講義したテーマの中から課題を選び、自分の見解を交えて論述する形式をとる予定である。

参考書等

問題の領域が広範囲にわたるため特定の教科書は存在しないが、参考書は宗教学ハンドブックほか。その都度授業で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもとえいじん 熊本英人	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	木村 誠治 きむら せいじ	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	吉津 宜英 よしづ ぎへい	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	ほれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貫うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 と 宗 教	はせ べ はち ろう 長谷部 八 朗	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみよしまさ</small>	全学科選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわとしゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期) (後期) 禅	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	全学科選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
 授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	〔日本文学「古典」〕	〈増尾聡哉〉	25
文学	〔日本のことば〕	〈合瀬純華〉	25
文学	〔外国文学「アメリカ文学」〕	〈田中保〉	26
歴史学	〔西洋近現代史〕	〈渡辺知〉	26
歴史学	〔古代オリエント史〕	〈大城道則〉	27
芸術学	(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	27
芸術学	(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	28
芸術学	(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	28
哲学	〔近代の人間観と世界観〕	〈麻生享志〉	29
哲学	〔近代の人間観と世界観〕	〈古田知章〉	30
哲学	〔西洋思想の源流〕	〈滝沢正之〉	30
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈河谷淳〉	31
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈山口祐弘〉	31
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈滝口清栄〉	32
論理学	〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	32
論理学	〔知の技法〕	〈伊古田理〉	33
科学史	〔科学と技術〕	〈小宮山隆〉	33
倫理学	(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	34
倫理学	(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	34
倫理学	(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	35
倫理学	(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	35
倫理学	(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	36
倫理学	(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	36
宗教学	(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	37
宗教学	(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	37
宗教学	(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	38
宗教学	(4)〔組織と運動〕	〈洗建〉	38
人文地理学	(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	39
人文地理学	(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〉	39
人文地理学	(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〉	40
人文地理学	(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〉	41

※	教育の思想	〈豊田千代子〉	42
※	教育の思想	〈北村三子〉	43
※	教育の思想	〈伊藤茂樹〉	43
※	教育の思想	〈萩原建次郎〉	44
※	教育と社会	〈豊田千代子〉	44
※	教育と社会	〈北村三子〉	45
※	教育と社会	〈伊藤茂樹〉	45
※	教育と社会	〈萩原建次郎〉	46
※	発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	47
※	発達と学習の心理学	〈山本政人〉	47
※	発達と学習の心理学	〈角野善司〉	48
※	カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	48
※	カリキュラムと学習	〈山本政人〉	49
※	カリキュラムと学習	〈角野善司〉	49

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	50
社会学〔現代文化を考える〕	〈呉 炳 三〉	51
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康 慈〉	51
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉 井 純 一〉	52
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴 木 一 馨〉	53
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈内 山 明 子〉	53
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	54
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈沼 田 雅 之〉	55
法学・憲法〔法と国家〕	〈織 田 晃 子〉	56
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐 藤 多美夫〉	57
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈西 修 修〉	58
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	〈大 山 礼 子〉	59
政治学〔国際社会と日本〕	〈内 海 麻 利〉	59
経済学〔現代社会と市場経済〕	〈梶 中 貴 貴〉	60
経済学〔現代経済と人間〕	〈瀬戸岡 絃 絃〉	60
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	61
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	62
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	63

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	64
生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	66
地球科学〔変動帯としての日本列島〕〈藤井享〉	67
地球科学〔地球システムと人間圏〕〈澤口隆〉	68
自然環境論〔環境と保全〕〈山縣毅〉	69
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真里〉	70
自然環境論〔環境と保全〕〈古藤田一雄〉	71
自然環境論〔自然史と環境〕〈藤井享〉	72
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－〈山縣毅〉	73
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	74
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	75
数学(2)〔線形代数学入門〕〈小沢誠〉	75
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	76
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	76
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	77
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	78
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	78
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕〈小沢誠〉	79
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	80
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	81
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈竹田洋一〉	81
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕〈上原隆平〉	82
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈竹田洋一〉	83
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈小沢誠〉	84
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈山本博信〉	85
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈長坂浩史〉	86
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈小川健次郎〉	88
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈上原隆平〉	89

人類学(1)(2) [人類の進化]	〈遠藤萬里〉	89
心理学 [ヒューマン・ウォッチング]	〈山岸直基〉	90
心理学 [人間関係を考える]	〈高橋良博〉	90
心理学 [人間関係を考える]	〈北川公路〉	91
心理学 [心を科学する]	〈高橋良博〉	91
心理学 [心を科学する] —夏季集中—	〈堀内正彦〉	92

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈休講〉	
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	
	〈清水善和・上原隆平・漆原和子・小沢 誠・小高昭一 篠原正雄・橋詰直道・持丸真里・柳澤紀夫・山縣 毅〉	93
総合Ⅲ(1)	〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D.M.〉 94
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉 94
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上野 勝 広〉 95
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人〉 95
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄〉 96
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川 股 陽太郎〉 97
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大野 祐 二〉 98
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈吉 田 京 子〉 98
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代〉 99
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕	〈北野かほる・王 志安・小木曾綾 佐藤多美夫・塩入みほも・西 修〉 100
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	〈早川純貴・浦田早苗・品田知美・中野裕二・保坂 尚郎〉 101
総合Ⅷ	〈休講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	ます 増 おと し 尾 聡 や 哉	国文・英米文選	4

講義のねらい

『大鏡』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

平安時代の代表的な文学作品には、女性の手になるものも多いが、一方では男性による和文も決して少なくない。本年度は『大鏡』の兼家伝から道長伝を中心に読み、『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とは、また違った視点でとらえた平安貴族のありようを見直したい。併せて、歴史物語が成立する社会的・精神的背景にも触れる予定である。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤謙三校注『大鏡』（角川文庫）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本のことば〕	おお せ すみ か 合 瀬 純 華	地理・地文・環境・歴史選	4

講義のねらい

18世紀の江戸は地方からの人口増加と文化・経済の発展にともない、江戸っ子・江戸ことばの成立をむかえる。また、地方と江戸を行き来する参勤交代の武士達によって江戸ことばの共通語化が進み、東京語、標準語へとつながる。この講義では、武士、町人、遊里など江戸ことばの諸相を紹介しながら、言語文化の成立過程を解明する。

講義の内容・
授業スケジュール

談義本、黄表紙、洒落本、滑稽本などから、江戸時代の文学作品を読みすすめる。詳細な授業スケジュールと成績評価の注意点については、4月第1回目の講義時に説明する。

履修上の留意点

講義中の携帯電話の使用は禁止する。

成績評価の方法

出席状況と前・後期2回のテストにより、総合的に判断する。

教科書

毎回講義時にプリントを配布する。

参考書等

杉本つとむ『東京語の歴史』（中公新書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中保	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を主要作家一覧表から1人選び、その作家の作品を1編選んで読み、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作家一覧表から関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔西洋近現代史〕	渡辺知	国文・英米文選	4

講義のねらい

ヨーロッパの近現代の歩みを世界システム論の観点から見て行くこととします。ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、又、過去の出来事が現在の社会にいかに関わりつづいたのか、あるいは、一地域の動向がその他の地域の動向といかに関わりつづいているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様な捉え方を合わせて提示できればと希望しています。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ諸国が15世紀頃より積極的にヨーロッパ外に進出した結果、ヨーロッパとアフリカ大陸、アメリカ大陸を結ぶ大西洋システムが成立しました。このシステムは、18世紀の末から19世紀初にかけておきた一連の事件（アメリカの独立、産業革命、フランス革命、ハイチ革命など）を通じて、世界へと拡大していきます。授業ではその過程を追いつつ、その意味を考えていくこととします。

成績評価の方法

講義の区切りに提出してもらう講義内容をまとめたミニレポートを平常点とし、学年末の試験と総合して評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 〔古代オリエント史〕	おお しろ みち のり 大 城 道 則	地 理・地 文・環 境・歴 史・社 会・福 祉・心 理 選	4

講義のねらい

古代エジプトとその周辺世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- ① 地中海世界の中のエジプト
- ② 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- ③ 古王国時代のエジプト（ピラミッドの成立）
- ④ 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展）
- ⑤ 文学作品からみる古王国の終焉
- ⑥ 中王国時代のエジプト
- ⑦ 異民族ヒクソスの時代

後期

- ⑧ 古代エーゲ文明の成立
- ⑨ 東方化の時代と大植民時代
- ⑩ エトルリア文明
- ⑪ 古代ローマ皇帝伝
- ⑫ 火山で埋もれた都市ポンペイ
- ⑬ 古代ローマ人の食生活
- ⑭ 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』ミネルヴァ書房

その他

スライドとビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	きた の よし え 北 野 良 枝	全 学 科 選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 〔西洋美術〕 (2)	矢野陽子	全学科選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 〔音楽〕 (3)	赤羽由規子	全学科選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	あさお たかし 麻生 享志	国文選	4

講義のねらい

どういものが真理だろうか、認識はどのようにになっているのだろうか、存在とは何であるか。このような問いが、哲学の立てる問いです。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われますが、それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものでしょう。しかしそのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもありません。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したいと考えています。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明します。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっています。ですから、過去に行われた議論を紹介するだけではたりず、講義を聞く諸君一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示します。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・経験論と合理論・ドイツ観念論・生の哲学などを考えています。また、西洋近現代にきちんと限定するようなことにはせず、古代や東洋思想にも言及する予定です。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めることが決定的に重要。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない、と考えています。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明します。

成績評価の方法

前期・後期試験・レポート2種（前期試験に提出するものと、9月末提出）を中心とし、平常点（出席）を加味して成績を評価します。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介します。積極的に、自分で選択し、精力的に読書する姿勢を期待しています。

その他

多少は指名して対話するかもしれませんが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎です。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンスが済んだら、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）

この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	かる た も あき 古 田 知 章	地理・地文・環境・ 社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

現代に生きる我々は、いろいろな場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうち西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。そして、この西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと様々な曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、また、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書やプリントを利用しながら、以下の内容を取り上げる。

- A. 人間と世界について考えるということ。
- B. 近代の人間観・世界観の源流
 - 1. 古代ギリシアの思想
 - 2. キリスト教思想と中世の哲学
 - 3. 中世から近世への連続と変動
- C. 近世・近代の人間観・世界観
 - 1. いくつものルネサンス
 - 2. 近世の思想
 - 3. 近世から現代への展開

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	地理・歴史選	4

講義のねらい

西洋古代中世哲学史を概説する。
古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかというと、そうでもない。科学とは事情が違うのだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。
古代中世哲学の時代を超えた凄さを探っていきいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人か取り上げ、解説する。パルメニデス、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、エピクロス、ストア派、プロティノス、アウグスティヌスを予定している。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわ谷 淳 <small>たに あつし</small>	国文・英米文選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だということができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
 前期：(a) 論理学の基本概念 (b) 演繹推理（三段論法）(c) 帰納推理
 後期：(d) 命題論理 (e) 述語論理

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまぐち まさひろ 山口 祐弘	国文・英米文選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理学とは何か 2. 思考の原理 3. 同一性と同一律 4. 関係の思想 5. 対立と矛盾 6. 矛盾の概念 7. 判断論 8. 無限判断 9. 二律背反 10. 弁証論 11. 無限性の思想 12. 論理思想の比較 | <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 記号論理学の基本思想 2. 真理関数 3. 標準形 4. 公理体系 5. 定理の演繹 6. 同 7. 同 8. 体系の条件 9. 述語論理学 10. 無矛盾性、完全性、決定問題 11. 伝統的論理学との対応 12. 三段論法の基礎付け |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	たきぐち きよ せい 滝口清栄	地理・人文・環境・歴史・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい 私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によっておこなわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。私たちはそれらの情報に時にあまいさを感じたり不快な気持ちをもったりする。あるいは納得したりする。このようなことに目を向けるならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感にならざるをえないのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が重要なものと思えてくるであろう。本講義では、このような基礎をしっかりとしたものとするよう思考の諸法則を検討していきたい。講義はできるだけ理解しやすいように努める。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていくが、記号論理学にも立ち入る。

履修上の留意点 理解を深めるために練習問題を解く機会をできるだけ設けて、思考の諸法則の理解に努める。積極的な取り組みを期待したい。

成績評価の方法 小テストならびに学年末テストにより成績を評価する。

教科書 山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やの ひろ し 野 浩 司	全学科選	4

講義のねらい 日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。
この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール 思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点 単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法 中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書 開講時に指定する。

参考書等 その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	こみやま たかし 小宮山 隆	全学科選	4

講義のねらい

近代科学の成立およびその展開に深いかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。

後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。

履修上の留意点

自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。

成績評価の方法

出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。

なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるたともあき 古田知章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろさきつよし 黒崎剛	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験(レポート)、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之 <small>たきざわまさゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	野矢浩司 <small>ののひろし</small>	全学科選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の＜応用＞という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合って、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	たきぐち きよえい 滝口清栄	全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ きやす ひこ彦 末木恭彦	全学科選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	いげ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	た なか 田 中 かの子	全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	お <small>がわ</small> <small>とし</small> 川 <small>ゆき</small> 順 敬	全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのではないでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい <small>けん</small> 洗 建	全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかに関わっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ぼやし かず ひこ 竹 林 和 彦	全学科選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか ぼし けん たろう 高 橋 健太郎	全学科選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口太郎	全学科選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・授業スケジュール

- I インTRODクシヨN
- II 都市を観察し、記録するメソッド
 1. 先達により観察され、記録された東京
例) 小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展
 2. 人文地理学における研究手法
時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク
- III 景観論の系譜と観察方法
 1. 景観行政の系譜
 2. 景観の考え方
 3. 景観観察方法
- IV まちづくり実践の事例紹介
 1. 歴史的町並みの事例
 2. 市街地再開発の事例
 3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

その他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	全学科選	4

講義のねらい

日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1) 都市の分布と立地、(2) 都市システムと都市機能の変化、(3) 都市構造の変化、(4) 都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1) 人口変動と分布・人口移動、(2) グローバル化、(3) 産業立地・モビリティ、(4) 都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法

出席状況と試験の結果から評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他

原則として、授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子 <small>とよた ちよこ</small>	国文2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となつているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村三子 <small>きたむらみつこ</small>	国文・英米文・地理・ 地文・環境・歴史2選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したものうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周知的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤茂樹 <small>いとうしげき</small>	地理・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
- ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はき わら けんじろう 萩原 建次郎	英米文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視座から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえる－「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1－私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2－「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える－ライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成に関わる「重要な他者」を考える－子育てエージェントの歴史と現状
- ⑥あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ た ちよこ 豊田 千代子	国文2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点とレポートにより成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	北村三子 <small>きたむらみつこ</small>	国文・英米文・地理・ 地文・環境・歴史2選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	伊藤茂樹 <small>いとうしげき</small>	地理・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かう方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
 - ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	英米文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを旨とした具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』(学陽書房) 3,000円

参考書等

- 久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)
ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお しま きくこ 大 浜 幾久子	国文・英米文2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やま もと まさと 山 本 政 人	地理・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理2選	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 角野 善 じ 司	全学科2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習、および教育評価に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたってのヒントにしてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかりと聴いていなければ、単位取得が難しくなります。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おお ばま きく こ 大 浜 幾久子	国文・英文文2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	山本政人 <small>やまもとまさと</small>	地理・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理2選	2

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

①学習のメカニズム ②学習と動機づけ ③学習方法 ④学習の評価 ⑤学習の障害と指導
⑥不適応の心理と教育 ⑦教育相談 ⑧学級集団 ⑨カリキュラムと学習 ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	角野善司 <small>すみのぜんじ</small>	全学科2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラム編成を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。自分が受けてきた教育がどのようなカリキュラムに則って行われていたのかを省みつつ、これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、受け身で授業を聴くのではなく、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で、受講を希望する人は受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めません。ですから、欠席すればもちろんのこと、出席していても講義をしっかりと聴いていなければ、単位取得が難しくなります。

教科書

『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領解説 総則編』
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	お 呉 びよん さん 三	地理・地文・環境・歴史 ・社会・福祉・心理選	4

社会分野

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こう し 新行内 康 慈	全学科選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計②標本空間と確率③確率変数と確率分布④母集団と標本⑤推定⑥検定⑦相関⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を総合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	杉井純一 <small>すぎ い しゅん いち</small>	国文選	4

社会分野

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. 儀礼の構造
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精編『宗教学人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	英米文・歴史選	4

社会分野

講義のねらい

文化人類学は、人類を人類としている「文化」というものを、いろいろな方向から検討し、さまざまな文化の姿と、その本質を明らかにし、「人類とはなにか」を問う学問である。この講義では、コスモロジーというものをどのように理解したらよいかを具体的な事例によって学び、同時に文化人類学のもの考え方を習得していく。それは自分を取巻く文化の形や、自分の所属する文化（集団）を理解することであり、国際化する現代社会の中で、これから出会うであろう異文化と上手に付合う術を学ぶことでもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部、「文化人類学」の基礎的知識
I. 「文化」と「文化人類学」／II. 「民族」とはなにか
第2部、民族とコスモロジー
I. 「コスモロジー」とはなにか／II. さまざまなコスモロジー
第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと
I. 風水をつくる要素／II. 風水と人間社会

履修上の留意点

この講義では学生諸君の積極性を重視する。授業中の質問に答えたり、授業後の不明な点の質問、レポート提出（任意）など、積極的な姿勢を見せてほしい。また、出席には特に厳しくし、出席カードの代筆や代出は厳禁とする。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書 560）
佐々木宏幹『神と仏と日本人』（吉川弘文館）
国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	うちやま あきこ 内 山 明 子	地理・地文・環境・ 社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属する「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだ。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直し積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	はまがわ ひでよ 長谷川 日出世	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい	我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。 本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。 後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。
成績評価の方法	定期試験によるものとする。
教 科 書	長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）
参 考 書 等	『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	ぬま た まさ ゆき 沼田雅之	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしていこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には講義形式ですすめるつもりです。ただし、担当教員としてはインタラクティブな講義を目指しているので、場合によっては発言を求めることがあります。その際には間違いを気にせず遠慮なく発言してもらいたいと考えています。

講義のスケジュールは下記の通りです。

（前期）

1. ガイダンス
2. 法の考える「自由」について
3. 「約束」と「契約」の違い
4. 「規制」について考える
5. 「自己決定」や「自己責任」の話
6. 診療契約とガンの告知
7. B to E について考える（雇用関係と法）
8. B to C について考える（消費者契約法）
9. フランチャイジーは、ビジネスかコンシューマーか

（後期）

1. 児童向けテレビCMの是非
2. 食品の安全性について
3. 企業活動と訴訟社会
4. 「罪」と「罰」について
5. 映画「12人の怒れる男」と陪審制
6. 日本の紛争処理システムと司法制度改革の行方
7. 人間の生・死と法
8. 平等社会の実現

前期・後期を通して、習熟度によって適宜調整しながらすすめます。また、一つ一つをゆっくりと解説するつもりです。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書は特に指定せず、レジュメを配布いたします。ただし、次の本は適宜参照しますので、是非とも用意していただきたいと思います。また、最新版の六法は購入してください（何でもいい）。

エリック・シュローサー著・楡井浩一訳『ファストフードが世界を食いつくす』2001年（草思社）

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

レジュメは何度も配布いたしませんので、入手できなかった方は、友人等で融通しあってください

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	お だ て る こ 織 田 晃 子	地理・地文・ 環境・歴史選	4

社会分野

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『コンパクト六法』（岩波）
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と国家〕	佐藤多美夫 さとう たみお	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 憲法の概念
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西 におさむ 修	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

何年前かに発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
 - ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
 - ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
 - ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
 - ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- 要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教 科 書

開講時に指示。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○	○	8月27日 水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	大山 礼子 <small>おお やま れい こ</small>	歴史・社会・ 福祉・心理選	4

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前に一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

定期試験を中心に、レポートや小テストの結果を加味して評価する。

教科書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣アルマ）（新版が刊行される予定なので、そちらを入手すること）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	内海 麻利 <small>うち うみ ま り</small>	国文・英米文・ 地理・地文・環境選	4

講義のねらい

本講義は、人間集団における秩序の形成と解体をめぐる、人が他者に対して、また他者と共に行う営み、あるいは権力・支配・自治・政策にかかわる現象であるとされる政治を、その現象が色濃く反映される都市計画やまちづくりという側面から見ることで学生諸君の興味と理解を深めることを目的としている。主たる視点は、国際的な都市比較による政治と都市計画の関係、また、市民によるまちづくりに見る政治のあり方などである。具体的には、都市形成過程、土地利用と都市整備、環境保全と景観創造、都市再生、協議型まちづくり等、都市計画やまちづくりにおける多様な事例を用いて政治を考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、各回毎にテーマを設定して講義を行うが、詳しいスケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

都市計画やまちづくりに関する新聞、報道などニュースを日常的に見ていることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績などを中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	はたなか たかし 島中 貴	地理・地文・環境・歴史 ・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。前期は、第1章（自動車産業と経済学）、第2章（経済学的な考え方）、第3章（取引と貿易）、第4章（需要・供給と価格）、第5章（需要・供給分析の応用）、第6章（時間とリスク）を扱う予定。後期は、第7章（公共部門）、第8章（マクロ経済学と完全雇用）、第9章（経済成長）、第10章（失業と総需要）、第11章（インフレーション）を扱う予定である。

履修上の留意点

抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。経済理論を理解し、現実経済を見る目を養うためには、1年を通して、根気よく予習・復習を行いながら、自分の頭でものを考え続けることが肝要である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。

教科書

ジョセフ・E・スティグリッツ著、藪下史郎他訳『スティグリッツ 入門経済学』第2版（東洋経済新報社）3,300円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	国文・英米文選	4

講義のねらい

現代経済のしくみを概観し、あわせて現代経済の諸現象を人間の目をとおしてながめてみます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。
 《前期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇価格のメカニズム、◇なぜ違う先進国と後進国の価格差、◇景気循環のメカニズム、◇技術革新と構造的転換、◇経済学という学問をつくった（そだてた）人びと、など
 《後期》人間の目をとおして現代経済をながめる：◇制度と人間——人間にとって大切なものは人間そのもの、◇要らないものまで欲しがらる——働きすぎの構図、◇クルマ社会の問題点、◇戦争と経済◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇食料と資源、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まず、テーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をとおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のたてまえから、再試験も実施いたしません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。よい文献などの紹介は随時いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いしい ゆう じ 大 石 雄 爾	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

私たちがとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素雅子 <small>やなぎ ぼり すがこ</small>	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。

現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないでいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理-社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生態と進化〕	し 清 み 水 よ し 善 か ず 和	地理・地文・環境・歴史 ・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	国文・英米文選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科ははじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教科書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享 <small>ふじ い すずむ</small>	英米文・歴史・地理・地文・ 環境・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

自然分野

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ・スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球システムと人間圏〕	さわぐち たかし 澤口 隆	国文選	4

講義のねらい

宇宙形成から150億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

成績評価の方法

出席状況 (30%)、ノート提出 (30%)、試験 (40%)

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)

その他

板書が多いので、毎回出席してきちんとノートを取ることを。最終的な評価の対象とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた たけし 山 縣 毅	英米文・歴史選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

講義時間内に、キャンパス内・駒沢公園において野外観察を行います。

成績評価の方法

レポートと出席状況により評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまるま 持丸真里	国文選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。

後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮
内分泌攪乱物質
オゾン層破壊

②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊

近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	ことうだ かず お 古藤田 一 雄	国文選	4

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれるように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の気・陸地・海洋の三圏を絶えず循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。本講義は、まず地球上の水循環(水文循環)に関する基礎知識を理解し、つぎに気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 水と人間の関わり合い
水と古代文明
2. 地球上の水循環
水循環の思想の変遷
陸水の循環
日本の水土循環
3. 水利用と土地・水循環
わが国の水利用
循環汚染
水と生活

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合には、欠席届を担当教員に直接提出すること。

成績評価の方法

前期の試験はレポート提出(課題は夏休み前に掲示する)。
期末試験は定期試験(筆記)で行う。
出席率は10%を総合評価の際、加味する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

参考書は講義中に随時紹介する。

その他

高校で使用した地図帳を持参すると講義の理解の手助けになると思われる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔自然史と環境〕	ふじ 藤 井 すすむ 享	地理・地文・環境・ 社会・福祉・心理選	4

自然分野

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約12,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、束の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,9000万km³もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の古環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境
- ⑧ 自然エネルギーと地球環境

履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 教 授	全学科選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

自然分野

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	全学科選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
- (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレリウムテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プレリウムの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
 - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微分積分』(共立出版) 2,000 円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』(共立出版) 2,000 円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000 円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微分積分』(共立出版) 2,000 円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一	全学科選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際の応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と応用、情報理論、情報数理、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用

履修上の留意点

高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。

成績評価の方法

試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原隆平	全学科選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行わない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しの 篠原 まさ お 雄	全学科選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

自然分野

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸 真里	全学科選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む） 食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しの 篠原 正雄	全学科選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。

太陽： 構造 エネルギー源

恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河をとりあげます。

銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	全学科選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山本博信	全学科選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“情報リテラシー”を実習を通じて理解する。インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

これまでのコンピュータシステムは、たとえば企業では、情報システム部門や専門家によって作られ、エンドユーザ部門に提供されてきた。パッケージソフトウェアの普及などによって身につけることができる情報処理技術に伴って、ユーザ自身がコンピュータシステムを作り上げることも可能になった。このように情報技術の環境が整いつつある。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。本講座では、情報を読み、書き、プレゼンテーションし、応用する能力（情報活用能力または情報リテラシー）をエンドユーザであるみなさんがどのようにして身につけるか、実習を通じて学習する。

- ・表計算ソフトの計算処理と各種操作方法（起動と終了、表示窓と格納箱の切り替え、ブックの保存、データの入力と編集、数式の入力、相対参照と絶対参照、オートフィル、書式設定、罫線、グラフの作成と編集、関数の利用、データの並び替え、複数のワークシートの利用、作図のツール）
- ・Web ページの概要
- ・インターネットの諸サービスの活用

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。試験前にあらかじめ提示した課題を最終回の授業において実施し、提出するという形態をとる。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	竹 田 洋 一 <small>たけ だ よう いち</small>	全学科選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト(実技+筆記)の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹田 洋一	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程

コンピュータ基礎(11) 8月1、4、5、6、7日（8日は予備日）の5日間の1、2、3時限

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎(15)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金				○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月				○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火				○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水				○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木				○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金				△	△	△	8月27日 水						

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 沢 誠 <small>お ぎわ まこと</small>	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。PC（パソコン）で作成できる画像をどのように処理して活用するかについて学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及している。日常生活においても、パソコンなどに接する機会が増え、これらを活用することがますます必要となってきた。パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理して情報を作成、発信することができるようになった。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。パソコンでどのようにして画像を作成してホームページの発信に活用するかについても学ぶ。

- ・コンピュータによる情報処理と組織による情報処理について
- ・表計算ソフトの基礎、応用
 - (1) 行列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書へ表やグラフを埋め込み仕上げる） (6) VBAによる問題解決
- ・Windowsの環境について（個人情報の自己管理方法など）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報を収集して文書を作成する）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現（画像）およびその作成技術について）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	△	△	△			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○			8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金						8月20日	水			○	○	○
8月4日	月						8月21日	木			○	○	○
8月5日	火						8月22日	金			○	○	○
8月6日	水						8月25日	月			○	○	○
8月7日	木						8月26日	火			○	○	○
8月8日	金						8月27日	水			△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を一通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしよう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていてほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(14)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日
コンピュータ基礎(18)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎(19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎(21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水				○	○	○
8月4日	月							8月21日	木				○	○	○
8月5日	火							8月22日	金				○	○	○
8月6日	水							8月25日	月				○	○	○
8月7日	木							8月26日	火				○	○	○
8月8日	金							8月27日	水				△	△	△

△は予備日

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金				○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月				○	○	○	8月21日	木						
8月5日	火				○	○	○	8月22日	金						
8月6日	水				○	○	○	8月25日	月						
8月7日	木				○	○	○	8月26日	火						
8月8日	金				△	△	△	8月27日	水						

△は予備日

コンピュータ基礎(20)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日

コンピュータ基礎(22)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ ほん りゆう へい 上 原 隆 平	全学科選	4

- 講義のねらい** コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。
- 講義の内容・授業スケジュール** まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。
- 履修上の留意点** プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウインドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
- 成績評価の方法** 評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
- 参考書等** 参考書は必要に応じて紹介する。
- その他** 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	全学科選	4

- 講義のねらい** 人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。
- 講義の内容・授業スケジュール** ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。
- 履修上の留意点** できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。
- 成績評価の方法** 成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。
- 教科書** 遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）
- 参考書等** 進化については 遠藤万里『人類学百話・話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。
- その他** スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま ぎし なお き 山 岸 直 基	国文・英米文選	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回的小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参考書等

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	たか ぼし ひろ 博 高 橋 良 博	地理・地文・環境・歴史選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	きたがわこうし 北川公路	国文・英米文選	4

講義のねらい

心理学をこれから学ぼうと考えている人のなかには先入観をもっている人が多いと思われる。それはマスコミなどで取りあげられることの多い深層心理やカウンセリングの問題である。そのため心理学ではそれだけを扱うものであるという誤解が生まれやすい。臨床心理の問題も、心理学の中で重要な問題領域であるが、心理学が扱う問題は、それだけではないということ学ぶ。

心理学全般をおさえ、日常生活において心理学を生かしていく「きっかけ」を身につけることが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

心理学は独立した学問として認められてから、多くの研究領域に分化し、それぞれ多くの基礎的事実を蓄積してきた。そのようなすでに確立した基礎的な事実と考え方を、いずれの学派にも偏らない立場ですすめるとともに、できるかぎり最新の成果をとりいれてすすめていく。基礎的分野だけではなく、社会生活の広い分野で心理学が応用されている現状を反映させて、心理学の応用分野についてもふれていく。前期は主に基礎的分野について、後期は主に応用分野について進めていく予定である。

履修上の留意点

具体的な内容、成績評価については初回の授業時に説明する。

成績評価の方法

定期試験、レポート提出、出席など総合評価とする。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜案内をする。

その他

授業方法は履修者数により決めるが、基本的なスタイルとして講義形式を考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	たかほしよしひろ 高橋良博	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○	○	8月27日 水						

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ 〔自然観察入門— 富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和・上原 隆平 漆原 和子・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫・山縣 毅	全学科選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要もある。

本講義の前半（4～7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20～24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日 (1) ガイダンス (清水)
- 18日 (2) 自然観察の方法、生物図鑑の使い方 (清水)
- 25日 (3) 植物観察 (駒沢大学) (清水)
- 5月2日 連休
- 9日 (4) バードウォッチングの方法 (柳澤)
- 16日 (5) バードウォッチングの実際 (駒沢公園) (柳澤)
- 23日 (6) 岩石・地質の見方1 (山縣)
- 30日 (7) 岩石・地質の見方2 (山縣)
- 6月6日 (8) 化学的な自然の見方1 (持丸)
- 13日 (9) 化学的な自然の見方2 (持丸)
- 20日 (10) 天体観測の方法1 (篠原)
- 27日 (11) 天体観測の方法2 (篠原)
- 7月4日 (12) レポートの作成法 (清水)
- 11日 (13) 富浦実習の準備 (清水)

7月20日～24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日 (14) レポート提出
- 26日 (15) レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくとも（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし の あき と 林 明 人	全学科選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸小哲雄	全学科選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー；冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・ 読書リスト配布
- ・ プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 また ようたろう	全学科選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみましょう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識することである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のもので、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	大野 祐二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(2) 〔イスラム〕	吉田 京子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラムに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラムに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラム」認識の方法論の中から、イスラムの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラムの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラム法学、イスラム神学、歴史的分派、スーフィズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はや がわ のり よ 早 川 紀 代	全学科選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらしている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法 男も女も自分らしく働く。
- c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
- d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西修	全学科選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔都市論〕	早川純貴・浦田早苗 品田知美・中野裕二 保坂尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4~6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
 早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)
 品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。
 保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。
 中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月) ——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較を試みたい。
 早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

総合分野

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

総合分野

3 . 外 国 語 科 目

科外
国
目語

3. 外国語科目

[英語]

英語	I A	(国)	〈井出功一〉	115
英語	I A	(国)	〈山口晃〉	115
英語	I A	(国)	〈牧野正秀〉	116
英語	I A	(国)	〈渡部孝治〉	116
英語	I A	(英)	〈市川仁〉	117
英語	I A	(英)	〈児林英子〉	117
英語	I A	(英)	〈杉村惠子〉	117
英語	I A	(英)	〈植村惠子〉	118
英語	I A	(地文)	〈井出功一〉	118
英語	I A	(地文)	〈吉川直澄〉	119
英語	I A	(環境)	〈牧野正秀〉	119
英語	I A	(環境)	〈児林英子〉	120
英語	I A	(歴)	〈水崎野里子〉	120
英語	I A	(歴)	〈岩屋玉江〉	120
英語	I A	(歴)	〈浜田一字〉	121
英語	I A	(歴)	〈真砂久晃〉	121
英語	I A	(社)	〈木村正俊〉	122
英語	I A	(社)	〈平林卓郎〉	122
英語	I A	(福)	〈中林正身〉	123
英語	I A	(福)	〈植村惠子〉	123
英語	I A	(福)	〈山口晃〉	124
英語	I A	(心)	〈岩永祥恵〉	124
英語	I A	(心)	〈朝川真紀〉	124
英語	I A	(心)	〈風間則比古〉	125
英語	I B	(国)	〈藤島喬樹〉	126
英語	I B	(国)	〈三芳康義〉	126
英語	I B	(国)	〈高橋明子〉	127
英語	I B	(国)	〈亀田三重子〉	127
英語	I B	(英)	〈岡崎寿一郎〉	127
英語	I B	(英)	〈高橋佳江〉	128
英語	I B	(英)	〈佐藤江里子〉	128
英語	I B	(英)	〈国見晃子〉	128
英語	I B	(地文)	〈大淵利春〉	129
英語	I B	(地文)	〈高橋明子〉	129
英語	I B	(環境)	〈太田直也〉	129
英語	I B	(環境)	〈本間章郎〉	130
英語	I B	(歴)	〈高橋佳江〉	130
英語	I B	(歴)	〈藤島喬樹〉	131
英語	I B	(歴)	〈国見晃子〉	131
英語	I B	(歴)	〈太田直也〉	131
英語	I B	(社)	〈本間章郎〉	132
英語	I B	(社)	〈三芳康義〉	132
英語	I B	(福)	〈前田脩〉	132
英語	I B	(福)	〈国見晃子〉	133
英語	I B	(福)	〈高橋明子〉	133

科外国語目録

英語	I	B	(心)	〈亀田三重子〉	133
英語	I	B	(心)	〈高橋佳江〉	134
英語	I	B	(心)	〈藤島喬樹〉	134
英語	II	A	(国)	〈朝川真紀〉	135
英語	II	A	(国)	〈杉本誠誠〉	135
英語	II	A	(国)	〈岩永祥恵〉	136
英語	II	A	(英)	〈古富猛〉	136
英語	II	A	(英)	〈松堂啓子〉	136
英語	II	A	(英)	〈太田由紀子〉	137
英語	II	A	(英)	〈岸本茂和〉	137
英語	II	A	(地文)	〈甲斐捷子〉	137
英語	II	A	(地文)	〈小布施圭佐三〉	138
英語	II	A	(環境)	〈川手浩一〉	138
英語	II	A	(環境)	〈岩井洋美〉	139
英語	II	A	(歴)	〈江田幸子〉	139
英語	II	A	(歴)	〈木村克彦〉	139
英語	II	A	(歴)	〈池上賀英子〉	140
英語	II	A	(歴)	〈武藤久緒〉	140
英語	II	A	(社)	〈古富猛〉	141
英語	II	A	(社)	〈堀千和子〉	141
英語	II	A	(心)	〈尾上典子〉	142
英語	II	A	(心)	〈町田成男〉	142
英語	II	A	(心)	〈松堂啓子〉	142
英語	II	B	(国)	〈佐藤勝〉	143
英語	II	B	(国)	〈前期：松堂啓子 後期：矢島直子〉	143
英語	II	B	(国)	〈山口晃〉	144
英語	II	B	(英)	〈宇都宮秀和〉	144
英語	II	B	(英)	〈佐藤明子〉	144
英語	II	B	(英)	〈伊藤美代子〉	145
英語	II	B	(英)	〈手島敬子〉	145
英語	II	B	(歴)	〈外池一子〉	145
英語	II	B	(歴)	〈町田成男〉	146
英語	II	B	(歴)	〈大庭直樹〉	146
英語	II	B	(歴)	〈石原孝哉〉	146
英語	会	話	I	〈ラージ, R.〉	147
英語	会	話	I	〈ウェルズ, J. K.〉	147
英語	会	話	I	〈ソルタ, P. N. F.〉	148
英語	会	話	I	〈デンドウ, G.〉	149
英語	会	話	I	〈ウエイド, D. A.〉	149
英語	会	話	I	〈コプレーマッキー, D. S.〉	150
英語	会	話	I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	151
英語	会	話	I	〈プラスキー, J. C.〉	151
英語	L	L	I	〈甲斐捷子〉	152
英語	L	L	I	〈加藤佐和子〉	152
英語	L	L	I	〈久保ひさ子〉	153
英語	L	L	I	〈中林正身〉	153
英語	L	L	I	〈西村祐子〉	154
英語	L	L	I	〈塙美智子〉	154

[ドイツ語]

ドイツ語 I A (国・英・地文・環境・社・福・心)	〈栗原万修〉	155
ドイツ語 I A (国・地文・環境・社・福・心)	〈野島利彰〉	155
ドイツ語 I A (国・地文・環境・社・福・心)	〈杉本正俊〉	155
ドイツ語 I A (英・歴)	〈清水修〉	156
ドイツ語 I B (国・英・地文・環境・社・福・心)	〈栗原万修〉	156
ドイツ語 I B (国・英・地文・環境・社・福・心)	〈岡本時子〉	157
ドイツ語 I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈五十嵐信子〉	157
ドイツ語 II A (国・地文・環境・歴)	〈飯塚公夫〉	158
ドイツ語 II A (国・地文・環境・歴)	〈河上和史〉	158
ドイツ語 II A (英)	〈松岡晋〉	158
ドイツ語 II B (国・歴)	〈野島利彰〉	159

[フランス語]

フランス語 I A (国・地文・環境・社・福・心)	〈井田清子〉	160
フランス語 I A (国・地文・環境・社・福・心)	〈小玉齊夫〉	160
フランス語 I A (国・英・地文・環境・社・福・心)	〈遠山博雄〉	161
フランス語 I A (英・歴)	〈佐藤久美子〉	161
フランス語 I A (英・歴)	〈芦原脊〉	162
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈浜崎設夫〉	162
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈長谷川光明〉	162
フランス語 I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈谷川かおる〉	163
フランス語 I B (英・歴)	〈桑田禮彰〉	163
フランス語 I B (英・歴)	〈竹田正純〉	163
フランス語 I B (英・歴)	〈浜崎設夫〉	164
フランス語 II A (国・地文・環境・歴)	〈竹田正純〉	164
フランス語 II A (英)	〈小玉齊夫〉	165
フランス語 II A (英)	〈前田祝一〉	165
フランス語 II B (国・歴)	〈畑中千晶〉	166

[中国語]

中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈布施直子・胡玉華〉	168
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈福地桂子・前川亨〉	169
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈工藤早恵・布施直子〉	169
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈釜屋修・下出宣子〉	169
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈塩旗伸一郎〉	170
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈佐藤普美子〉	170
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈天野節・曹泰和〉	170
中国語 I A・I B (国・地文・環境・社・福・心)	〈小川隆・釜屋修〉	171
中国語 I A・I B (英・歴)	〈布施直子・胡玉華〉	171
中国語 I A・I B (英・歴)	〈福地桂子・前川亨〉	171
中国語 I A・I B (英・歴)	〈工藤早恵・布施直子〉	172
中国語 I A・I B (英・歴)	〈戸張嘉勝・下出宣子〉	172
中国語 I A・I B (英・歴)	〈天野節・佐藤普美子〉	172
中国語 I A・I B (英・歴)	〈釜屋修〉	173
中国語 I A・I B (英・歴)	〈小川隆〉	173
中国語 I A・I B (英・歴)	〈佐藤普美子・塩旗伸一郎〉	173
中国語 II A (国・地文・環境・歴)	〈松本丁俊〉	174
中国語 II A (国・地文・環境・歴)	〈福地桂子〉	174

中国語Ⅱ A	(国・地文・環境・歴)	〈王 聡〉	174
中国語Ⅱ A	(国・地文・環境・歴)	〈弘 兼 加奈子〉	175
中国語Ⅱ A	(英)	〈釜 屋 修〉	175
中国語Ⅱ A	(英)	〈櫻 庭 和 典〉	175
中国語Ⅱ A	(英)	〈李 雲〉	176
中国語Ⅱ A	(英)	〈松 本 丁 俊〉	176
中国語Ⅱ B	(国・歴)	〈根 岸 政 子〉	176
中国語Ⅱ B	(国・歴)	〈櫻 庭 和 典〉	177
中国語Ⅱ B	(国・歴)	〈松 本 丁 俊〉	177

[スペイン語]

スペイン語Ⅰ A	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈ルイズティノコ, C.〉	178
スペイン語Ⅰ A	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈中 川 清〉	178
スペイン語Ⅰ A	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈亀 山 晃 一〉	178
スペイン語Ⅰ A	(国・地文・環境・社・福・心)	〈上 野 勝 広〉	179
スペイン語Ⅰ B	(国・地文・環境・社・福・心)	〈佐 藤 麻里乃〉	179
スペイン語Ⅰ B	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈米 田 博 美〉	180
スペイン語Ⅰ B	(国・地文・環境・社・福・心)	〈栗 林 ゆき絵〉	180
スペイン語Ⅰ B	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈荻 野 雅 司〉	181
スペイン語Ⅰ B	(英・歴)	〈佐 藤 麻里乃〉	181
スペイン語Ⅱ A	(国・地文・環境・歴)	〈荻 野 恵〉	181
スペイン語Ⅱ A	(国・地文・環境・歴)	〈真 下 祐 一〉	182
スペイン語Ⅱ A	(英)	〈大 岩 功〉	182
スペイン語Ⅱ A	(英)	〈福 本 久美子〉	183
スペイン語Ⅱ B	(国・歴)	〈福 本 久美子〉	183

[ロシア語]

ロシア語Ⅰ A	(国・地文・環境・社・福・心)	〈杉 山 秀 子〉	185
ロシア語Ⅰ A	(英・歴)	〈佐 野 朝 子〉	185
ロシア語Ⅰ B	(国・英・地文・環境・歴・社・福・心)	〈廣 田 英 靖〉	186
ロシア語Ⅱ A	(国・地文・環境・歴)	〈木 村 英 明〉	186
ロシア語Ⅱ A	(英)	〈杉 山 秀 子〉	186
ロシア語Ⅱ B	(国・歴)	〈佐 野 朝 子〉	187

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	188
英語 I A〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	188
英語 I A〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	188
英語 I A〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	189
英語 I A〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	189
英語 I A〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	189
英語 I A〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	190
英語 I A〔再クラス〕	〈塙 美智子〉	190
英語 I A〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	190
英語 I A〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	191
英語 I A〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	191
英語 I A〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	192
英語 I A〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	192
英語 I A〔再クラス〕	〈桧山 晋〉	192
英語 I A〔再クラス〕	〈森田 隆光〉	193
英語 I A〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	193
英語 I A〔再クラス〕	〈前期：川股陽太郎 後期：八十木裕幸〉	193
英語 I A〔再クラス〕	〈西原 克政〉	194
英語 I B〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	194
英語 I B〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	194
英語 I B〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	195
英語 I B〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	195
英語 I B〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	195
英語 I B〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	196
英語 I B〔再クラス〕	〈石原 孝哉〉	196
英語 I B〔再クラス〕	〈前田 脩〉	196
英語 I B〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	197
英語 I B〔再クラス〕	〈村石 恵照〉	197
英語 I B〔再クラス〕	〈町田 成男〉	197
英語 I B〔再クラス〕	〈松堂 啓子〉	198
英語 I B〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	198
英語 I B〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	198
英語 II A〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	199
英語 II A〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	199
英語 II A〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	199
英語 II A〔再クラス〕	〈川股 陽太郎〉	200
英語 II A〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	200
英語 II A〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	200
英語 II A〔再クラス〕	〈ピアス, D. M.〉	201
英語 II A〔再クラス〕	〈前期：田中靖子、後期：矢島直子〉	201
英語 II A〔再クラス〕	〈小笠原 隆元〉	202
英語 II A〔再クラス〕	〈河内山 有佐〉	202
英語 II A〔再クラス〕	〈大 瀨 利 春〉	202
英語 II A〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	203
英語 II B〔再クラス〕	〈前期：岩井洋美、後期：矢島直子〉	203
英語 II B〔再クラス〕	〈池 上 賀英子〉	203

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	204
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	204
英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川公一〉	204
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	205
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	205
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	205
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	206
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	206
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	206

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	207
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	207
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	207
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈百濟勇〉	208
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	208
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	209
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	209
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	209
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	210
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	210
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	211
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	211
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	211
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	212
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	212
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	213

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	214
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈荻原睿〉	214
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	214
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	215
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈竹田正純〉	215
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関ア ン〉	216
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	216
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈伊藤なお〉	216
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	217
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	217
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	217
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	218
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	218
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	218
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	219

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	220
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	220
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	221

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 普美子〉	221
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天野 節〉	221
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸 政子〉	222
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭 和典〉	222
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰和〉	222
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈李 雲〉	223
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭子〉	223
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小川 隆〉	223
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉華〉	224
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘兼 加奈子〉	224
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	224
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈平石 淑子〉	225
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈李 雲〉	225
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈秋元 翼〉	225
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈大久保 明男〉	226
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈塩旗 伸一郎〉	226
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	226
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	227

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮地 達郎〉	228
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大岩 功〉	228
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上野 勝広〉	229
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 紘子〉	229
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻野 恵〉	229
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻野 雅司〉	230
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤 麻里乃〉	230
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福本 久美子〉	230
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大岩 功〉	231
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐藤 紘子〉	231

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣田 英靖〉	232
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐野 朝子〉	232
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木村 英明〉	233
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安徳 ニーナ〉	233
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	233
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安徳 ニーナ〉	234

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	234
英 文 講 読	〈前 田 脩〉	234
英 文 講 読	〈横 森 正 彦〉	235
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	235
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	235
時 事 英 語 研 究	〈河 内 賢 隆〉	236
マルチ・メデイア	〈落 合 和 昭〉	236
マルチ・メデイア	〈大 庭 直 樹〉	237
マルチ・メデイア	〈町 田 尚 子〉	238
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	239
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	239
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	240
英 会 話 III	〈ウェルズ, J. K.〉	241
英 会 話 III	〈ウエイド, D. A.〉	241
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	242
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	243
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	243
英 語 L L II	〈町 田 尚 子〉	244
英 語 L L III	〈岸 本 茂 和〉	245
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	245
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	246
ドイ ツ 語 外 国 書 講 読	〈松 岡 晋〉	246
時 事 ドイ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	247
上 級 ドイ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	247
ドイ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	247
ドイ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	248
ドイ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	248
ドイ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	248
ドイ ツ 語 II (選)	〈百 濟 勇〉	249
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈遠 山 博 雄〉	249
時 事 フ ラ ン ス 語	〈遠 山 博 雄〉	249
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	250
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラ リ ア ・ 三 倉 M.〉	250
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラ リ ア ・ 三 倉 M.〉	250
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	251
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈長 谷 川 光 明〉	251
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	251
中 国 語 外 国 書 講 読	〈佐 藤 普 美 子〉	252
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	252
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	253
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	253
中 国 語 L L II	〈小 川 隆〉	253
中 国 語 I A (選)	〈蘭 明〉	254
中 国 語 I B (選)	〈釜 屋 修〉	254
中 国 語 II (選)	〈松 本 丁 俊〉	254
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈真 下 祐 一〉	255
時 事 ス ペ イ ン 語	〈上 野 勝 広〉	255

上級スペイン語〈上野勝広〉	255
スペイン語LLI〈ナバロ, ホワンJ.〉	256
スペイン語LLII〈ナバロ, ホワンJ.〉	256
スペイン語IA(選)〈中川清〉	256
スペイン語IB(選)〈亀山晃一〉	257
スペイン語II(選)〈荻野雅司〉	257
ロシア語外国書講読〈廣田英靖〉	257
時事ロシア語〈木村英明〉	258
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	258
ロシア語LLI〈安德ニーナ〉	258
ロシア語LLII〈安德ニーナ〉	259
ロシア語IA(選)〈クロチコフ, Y.〉	259
ロシア語IB(選)〈木村英明〉	260
ロシア語II(選)〈安德ニーナ〉	260
朝鮮語IA(選)〈宋美玲〉	261
朝鮮語IB(選)〈宋美玲〉	261
朝鮮語II(選)〈宋美玲〉	261

科外
国
目語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	井 出 功 一	国文1必	2

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のピゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。
なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

『*The Building of the Nation* アメリカの形成』(成美堂)
『新しい学習英文法』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	山 口 晃	国文1必	2

講義のねらい

日常的に使う英文の作成と、それを実際にコミュニケーションで使う力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

大学生が出くわす様々な場面を想定して、その場に合った英文を読み聴き、また自分でも作って話す演習をする。

履修上の留意点

各章の例文をCDで聴き、英作文の試作をしてから授業に出ることを前提とする。

成績評価の方法

期末テストが主な評価基準となるが、出席状況と授業参加の態度も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

英会話のクラスではないが、自分で英文を作ってコミュニケーションしようという積極的な姿勢が要求される。

科外国語目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	まきのまさひで 牧野正秀	国文1必	2

講義のねらい

英語の授業は皆さんの独習が主体となり、それを実際発表するという行動に移さなければなりません。独習だけでは誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があります。そこを客観的な手段に訴えてみる必要があります。その場が教室の授業なのです。従って積極的な態度が必要になります。どの分野の英語を理解するにも基礎知識は大切です。

講義の内容・授業スケジュール

英語の授業は演習なので、指名して発表してもらいます。従って必ず予習をして授業に臨むこと。基礎力を十分に復習再確認しながら、授業を進めていきます。1回の授業で必ず1回の質問が、全員に行きわたるようにします。

履修上の留意点

予告なしに小テストを随時実施する場合がありますので、常に予習復習を怠らないように。授業だけでは勉強に限りががあります。自学自習の時間が圧倒的に多いわけなので、不足の分を自学自習で補うことを特に要望します。

成績評価の方法

評価は前後期のテストの結果に平常点と出席数を加味して行なう。

教科書

開講時教室で指示

外国
言語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	わたべこうじ 渡部孝治	国文1必	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書等についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	市川 ひとし	英米文1必	2

講義のねらい

これまで学んで身につけた英語の力を基礎に、和文英訳を数多くこなすことによって英語の表現力を向上させることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項等について説明・確認した上で、学生のみなさんの発表を中心に授業をすすめてゆきます。

履修上の留意点

演習科目ですので、当然予習を前提として授業を行ないます。わからないところもあるかもしれませんが、できる範囲で必ず予習をしてください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等を総合して行ないます。

教科書

岸野英治『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	児林 英子	英米文1必	2

講義のねらい

英文科の学生を対象とする講義であるから、多量の英文を正しい発音で読みこなし、内容を把握すると同時に、英語に関する常識も取得出来るようにすることを目標としたい。予習があれば、理解を迅速にし、新たな興味を喚起することも可能である。

成績評価の方法

出席は全授業日数の三分の二以上、試験は各学期とも二回を目安とする。その他、平常の発表等を総合して評価する。

教科書

テキストは、開講後、クラスで指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	すぎむら 初枝	英米文1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、日常的な身の回りの事柄を話したり、書いたりできるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、多様な基本表現の習得を目指して、練習を繰り返していきます。発表のチャンスも毎回全員に何回かまわります。授業中のみならず、普段から積極的に英語能力の向上に努めるよう心がけてください。

履修上の留意点

出欠の状況は、毎回初めに行う小テストの提出によりチェックしますので遅刻をしないよう気をつけて下さい。

成績評価の方法

成績評価は、小テスト・授業時の発表・前後期にそれぞれ行う発表にもとづいて行います。出席の回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象とならないので気を付けてください。

教科書

テキストは開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	うえむら いこ 植村 恵子	英米文1必	2

講義のねらい

リスニング・発音・会話・英作文など読解以外の要素を盛り込んだテキストを一冊使用し、それぞれの能力をのばしたい。

講義の内容・授業スケジュール

各自に発表してもらい、それに対して説明を補足し、かつ疑問・質問に答えていきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語は厳禁、注意を受けてもやめない場合は、授業妨害とみなし退室していただく。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や発表の内容、小テスト）及び前期・後期試験による。

教科書

検討中

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	い で こう いち 井出 功一	地文1必	2

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。

英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『The Building of the Nation アメリカの形成』（成美堂）
『新しい学習英文法』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	吉 川 直 澄 <small>きつ かわ なお ずみ</small>	地文1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、スピーキングとリスニングの演習を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

炎は、いったん点火されれば、燃料の追加さえやらなければ、燃え続けるだろう。とはいえ、英語学習における“点火作業”には根気が必要だ。読めば何のこともない会話の断片すらも、音そのものから理解し、対処するには練習がいる。前期後期とも、音声を通じて、日常的な基本表現の定着を目指す。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは、ただ聞くだけではなく、声を出して練習してほしい。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期末試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

Leo Jones *Let's Talk 1* (Cambridge University Press)

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	牧 野 正 秀 <small>まさ の まさ ひで</small>	環境1必	2

講義のねらい

英語の授業は皆さんの独習が主体となり、それを実際発表すると言う行動に移さなければなりません。独習だけでは誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があるものです。そこを客観的な手段に訴えてみる必要があります。その場が教室の授業なのです。従って積極的な態度が必要になります。どの分野の英語を理解するにも、基本は大切です。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の授業は演習なので、指名して発表してもらいます。従って必ず予習をして授業に臨むこと。基礎力を十分に復習再確認しながら、授業を進めていきます。1回の授業で必ず1回の質問が、全員に行きわたるようにします。

履修上の留意点

予告なしに小テストを随時実施する場合がありますので、常に予習復習を怠らないように。授業だけでは勉強に限りがあります。自学自習の時間が圧倒的に多いわけなので、不足の分を自学自習で補うことを特に要望します。

成績評価の方法

評価は前後期のテストの結果に平常点と出席数を加味して行なう。

教 科 書

開講時教室で指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	児林英子	環境1必	2

講義のねらい

最近の学生が「英語は難しい」と言う場合、自国語が曖昧であることが間々ある。外国語の学習を通して、自国語を省みる機会を持つこともこのクラスの目標に加えたい。文法は云うに及ばず、発音、書法まで細かく指導して行きたい。必ず予習して臨みたい。

成績評価の方法

出席——授業日数の三分の二以上
試験——各学期とも二回程度。
その他、平常の学習態度等も加味して評価する。

教科書

テキストは、開講時に指示する。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎野里子	歴史1必	2

講義のねらい

基礎的な英作文、あるいは英会話の練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎的英作文に必要となる、英単語、文法、慣用表現、構文などを学ぶ。後期は、自由英作文、あるいは自由英会話を練習する。
また、前期、後期を通して、バイリンガルの副読本を用い、日本語から英語、あるいは英語から日本語に置換可能な思考パターンを学ぶ。

履修上の留意点

授業は平常点を重視する。学生の方々は、出席に留意して欲しい。

成績評価の方法

平常点(出席重視)と、前期後期二度のテスト、あるいはレポートによって、総合判断する。

教科書

『英語常識が身につく基礎トレーニング』(朝日出版社) 1,600円

参考書等

最初の授業の時、教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	岩屋玉江	歴史1必	2

講義のねらい

これまでに培ってきた英語力を基礎として、英語表現力の向上を目標とします。日本的な題材を扱ったテキストを使い、英語でそれらをどのように表現するかを中心に学習していきます。

履修上の留意点

テキストの例文や作文は、会話に役立つ表現ですので、覚えるよう心がけて下さい。授業は、予習、復習を前提とした発表形式でおこないます。

成績評価の方法

評価は、出席状況、演習への参加状況、小テスト、前期及び後期試験等を総合しておこないます。

教科書

Expressing Japanese Culture (金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	はま だ かず いえ 浜 田 一 宇	歴史1必	2

講義のねらい

〈日常生活を表現〉国際化時代の到来と共に、国際交流や相互理解は個人レベルの問題となり、いかなる分野で社会生活を営むとも国際人としての教養を深め、交流をはかることは不可欠となりつつあります。私達の日常生活の衣食住から気候風土、普段の何気ない動作でもあらためて英語で表現しようとするとなかなかやっかいなものです。この時間は、日常生活を表現することを目標に、実用的な単語と表現力の習得をはかろうと思います。具体的には日本の一年の四季と生活を作文と会話演習で学習するテキストを使用し、他に実用会話のVTRの書き取りと会話演習、四コマ漫画のナレーションなどで実用的な単語の習得と会話に親しみながらの英語表現力を養うつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

語学の修得ですから欠席が多いとわからなくなりますから、3分の2以上必ず出席のこと。

成績評価の方法

前期試験、後期試験の成績と授業内での評価と出席状況を考慮して評価します。

教科書

『発信型作文演習一季節の中の日本』（マクミラン・ランゲージハウス）1,450円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	まな ご ひさ あき 真 砂 久 晃	歴史1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

English Composition Made Easy 石黒昭博 他著 (金星堂) 1800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	木村正俊	社会1必	2

講義のねらい

現代社会の各領域にわたるトピックを扱った比較的平易な英文を教材に用いながら、録音テープ等を使って英語の聴解力を高め、実際の運用に習熟することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

使用テキストは20課から成るので、授業1回で1課を終了することを目標に授業を進める。毎回の授業では、まずテープを聞いたあと、内容を把握する作業を行い、重要な表現を暗誦する訓練を経て、口頭表現の練習をする。各課が終了するごとにテストを行い、表現の定着を図る。

履修上の留意点

実際の音声訓練を中心に授業を展開するので、遅刻、欠席はしないように最大限の努力をしてほしい。辞書を必ず持参して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

成績の評価は平常点で行う。つまり、毎回の授業への出席状況、参加度、受講態度、テストの成績、提出課題の出来ぐあいなどをもとに総合的に評価する。

教科書

千葉元信他著『*Reading Main Stream of the World* (『英文読解のベスト・プラクティス』(三修社) 1,800円)

参考書等

教室で指示する。

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	平林卓郎	社会1必	2

講義のねらい

高校で勉強したことの復習と更なる応用力をつけることを目的とする。
今述べたように文法事項の基礎の確認をしたあとでさまざまな形式の文法作文問題に取り組むことで英語力の up を心がける。
教科書にはやさしい問題もあればかなり高度の問題もあるがねばりづよくとり組むことが必要である。教科書は12章から成っており、二週で一章を終える。教科書内の問題によっては一人一人添削する時もあるので学生は必ず予習をしてくることを期待する。

成績評価の方法

成績評価は前期、後期の試験点、レポート、出席点により評価する。

教科書

English Composition made Easy (金星堂) 1,600円

参考書等

その都度指示する。

その他

出席点は特に重視するので気をつけること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	なか ばやし まさ み 中 林 正 身	福祉1必	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にするための力を養うための準備をする。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間の授業のなかでも、とくに前期では、順不同に並べられた英文を正しい英文に並べ替える問題や、比較的短い日本語を英文に直す問題、そしてダイアログ全体を英文に直すことなどをやってもらう。その結果、基礎的な表現を集めた基本例文集が出来上がると思う。英語でコミュニケーションを図るためには覚えておくに役に立つだろうと思われる例文ばかりである。そして後期では、他人が書いた英文の文法的な誤りを訂正する作業から始め、そして次には文法的には間違っていない英文を、より自然な英語表現に仕上げていく作業をしてもらう。後期の授業のポイントは、与えられて日本語をそのまま英語に直そうとすることではなく、自分の英語力で英語に直せる日本語にまず置き換えることである。一年をとおしての授業のポイントは、自分で英文を考えるというよりも模範的な正しい英文の暗記になる。

履修上の留意点

文章表現と口頭表現での意思伝達的能力を高めていくために、様々な英語に触れてもらうことになる。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

Collins Cobuild English Dictionary
英語の類義語辞典等

そ の 他

授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	うえ むら けい こ 植 村 恵 子	福祉1必	2

講義のねらい

リスニング・発音・会話・英作文など読解以外の要素を盛り込んだテキストを一冊使用し、それぞれの能力をのばしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

各自に発表してもらい、それに対して説明を補足し、かつ疑問・質問に答えていきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語は厳禁、注意を受けてもやめない場合は、授業妨害とみなし退室していただく。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や発表の内容、小テスト）及び前期・後期試験による。

教 科 書

検討中

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	山 口 晃 <small>やまぐち あきら</small>	福祉1必	2

講義のねらい

日常的に使う英文の作成と、それを実際にコミュニケーションで使う力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

大学生が出くわす様々な場面を想定して、その場に合った英文を読み聴き、また自分でも作って話す演習をする。

履修上の留意点

各章の例文をCDで聴き、英作文の試作をしてから授業に出ることを前提とする。

成績評価の方法

期末テストが主な評価基準となるが、出席状況と授業参加の態度も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

英会話のクラスではないが、自分で英文を作ってコミュニケーションしようという積極的な姿勢が要求される。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	岩 永 祥 恵 <small>いわたなが よしえ</small>	心理1必	2

講義のねらい

近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では大学生の生活に則した状況設定のもとにビデオで場面を把握し、テープで発音練習を行い、より自然な発話環境に慣れていく。日常生活の多様な場面における表現能力を高めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

15のスキットを以下の手順で進めていく。まず場面のリスニング練習を行い、大筋の理解から細部の理解を目指す。次にターゲットとなる表現に慣れる。この後スピーキング練習を行い、リスニングで学んだ表現を実際の状況下で使い、習得を目指す。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。

教 科 書

Noel Gossman, 小野田榮著 *Daily English* (金星堂) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	朝 川 真 紀 <small>あさかわ まき</small>	心理1必	2

講義のねらい

英語独得の発音変化やリズム、ストレスに重点をおいたリスニング練習を行ない、発信英語の向上を目指す。

毎回単語小テストを行なう。
辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

小テスト30%、平常点20%、定期試験50%
欠席が授業回数数の3分の1を超えたときは単位を与えない。遅刻は授業開始30分まで認めらる。遅刻3回で1回欠席とする。

教 科 書

『楽しく学ぶロック&ポップ』(マクミランランゲージハウス) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かざま のりひこ 風間 則比古	心理1必	2

講義のねらい

英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要である。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を学ぶことにする。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

『*Unique English Composition I* (ユニーク英作文正体)』(成美堂)

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	国文1必	2

科外 国 語

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れろ〉。教わる事は一部に過ぎず、実際血となり肉となるようなモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断的努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

成績評価の方法

平常点(出席、発表、小テスト)並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

(欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。)

教 科 書

本教材と副教材とを併用する。具体的には追って指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	み よし やす よし 三 芳 康 義	国文1必	2

講義のねらい

この科目の目的は、TOEFLのような学外での英語検定試験を意識した内容の英文を読解し、かつ、その設問形式に慣れていくことにあります。英文の内容は、知的好奇心を満たすのに十分な学問的レベルがあり、その読解力と共に、語彙力の向上を目指します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

Karen Blanchard, Christine Root 著編 *For Your Information 2 Intermediate Reading Skills* (Longman ELT, Pearson Education Japan)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	高橋明子 <small>たか はし あき こ</small>	国文1必	2

講義のねらい

ポップスのヒット曲を聴きながら、英語独特の音声変化やリズムに慣れるリスニング能力を養成します。また、歌詞を理解し、異文化トピックについてのエッセイを読みながら、読解力も習得しましょう。

成績評価の方法

平常評価としての出席や発表（40%）、前期試験（30%）、後期試験（30%）による総合評価をします。

教科書

テキスト『ポップスで学ぶ総合英語』*English with Hit Song*（成美堂）1,700円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	亀田三重子 <small>かめ だ みえ こ</small>	国文1必	2

講義のねらい

最近の社会状況のもとで、人々は余裕を失くし、心に潤いがなくなりつつあると言われる。今回は、心温まる短篇を読んだり、内容のある映画作品をDVDで鑑賞したりしながら英語を学んでゆく。場合によっては希望の映画の上映も可能である。その中でのイデオムや表現方法を学び、使えるようになる事も同時に目的としたい。

成績評価の方法

出席点と平常点を50、前後期2回の定期試験を50、の100点とする。

教科書

Chichen Soup for the Soul（金星堂）
他にプリント、フィルム等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	岡崎寿一郎 <small>おか ざき としいちろう</small>	英米文1必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

伊藤宏見他注釈『幸福を求めて』（南雲堂）1,500円

科外
国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高橋 佳江	英米文1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	佐藤 江里子	英米文1必	2

講義のねらい

国際化が進む中、様々なビジネスシーンで突き当たる異文化の壁。世界各地で活躍するビジネスマンに求められる資質、真のコミュニケーションとは何かを考えながら、英語力を高め、異文化理解を深めることを目標とする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要であり、欠席が3分の1以上（前期、後期あわせて8回以上）の者は、受験資格を失う。遅刻3回で欠席1回とみなす。

成績評価の方法

出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点(50%)と、前期、後期試験(50%)による総合評価。

教科書

『When Cultures Collide 文化が衝突するとき』（南雲堂）1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	国見 晃子	英米文1必	2

講義の内容・授業スケジュール

- TOEFL や TOEIC の問題形式のプリントを用いて、文法の知識を確実にする。
- 英語の歌のヒアリング練習と歌詞分析を行う。取り扱う曲の時代背景も合わせて学ぶ。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。（つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす）。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

プリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	大 瀨 利 春 <small>おお ぶち とし はる</small>	地文1必	2

講義のねらい

環境問題に関わるテキストを用い、それをある程度の速さで読む能力の習得、また、それを聞き取る能力をつけることを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを読みすすめ、同時にリスニングの小テストを行います。

履修上の留意点

毎回多くの学生に発表してもらうので、予習をしっかりと行って下さい。また、辞書を必ず持参して下さい。

成績評価の方法

平常点 50%、前、後期試験 50% で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

Our Planet, Our Future (成美堂) 1,600 円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高 橋 明 子 <small>たか はし あき こ</small>	地文1必	2

講義のねらい

1960年代に世界のポピュラー音楽界をリードし、今日に至るまで世界中の多くの人々を魅了しているビートルズについての文章を読み、彼らの魅力を探りながら、英文読解力を高めたい。また、英詩の形式をとっている歌詞も味わいながら理解しましょう。

成績評価の方法

平常評価としての出席や発表 (40%)、前期試験 (30%)、後期試験 (30%) による総合評価をします。

教科書

テキスト『ビートルズの世界』*THE BEATLES* (金星堂) 1,300 円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	太 田 直 也 <small>おお た なお や</small>	環境1必	2

講義のねらい

総合的な英語力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

これまで学んできた事柄 (例えば英文法) を確認しながら、テキストの内容をより速く、かつ正確に読み取る練習—パラグラフ単位でのテキスト読解—が中心となる。必要に応じてリスニング、ディクテーション、コンポジション等の練習も行われ、TOEFL、TOEIC の対策も含まれるであろう。

成績評価の方法

前・後期試験、レポート、授業中の発表、平素の学習態度等により総合的に評価する。なお、全授業の2/3の出席は当然の事なので、所謂出席点の存在は認めない。

教科書

『*UK Made Easy* (英国事情早わかり)』(三修社)
プリント併用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんま あきお 本間 章 郎	環境1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思えます。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期におこなう試験によって成績を評価します。

教科書

ジョアン・ペロケティ他著『Eco-Life and Economics (エコライフと経済)』(南雲堂)1,900円

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	たが はし よし え 高橋 佳 江	歴史1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることをないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。前・後期の試験の平均が60点以上の者を合格とする。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤島喬樹	歴史1必	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れろ〉。教わる事は一部に過ぎず、実際血となり肉となるようなモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断的努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

成績評価の方法

平常点(出席、発表、小テスト)並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するならば、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

(欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。)

教科書

本教材と副教材とを併用する。具体的には追って指示する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	国見晃子	歴史1必	2

講義の内容・授業スケジュール

英語の歌のヒアリング練習を行うことで、英語特有の音声変化現象や話し言葉のスピードの速さに慣れることを目的とする。また時代背景を考慮しながら歌詞を分析することで、曲の理解を一層深いものにする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

Nobuhiro Kumai / Stephen Timson 共著『Hit Parade Listening Second Edition (楽しく学ぶロック&ポップ・改訂新版)』(マクミラン) 2、000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	太田直也	歴史1必	2

講義のねらい

総合的な英語力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

これまで学んできた事柄(例えば英文法)を確認しながら、テキストの内容をより速く、かつ正確に読み取る練習—パラグラフ単位でのテキスト読解—が中心となる。必要に応じてリスニング、ディクテーション、コンポジション等の練習も行われ、TOEFL、TOEICの対策も含まれるであろう。

成績評価の方法

前・後期試験、レポート、授業中の発表、平素の学習態度等により総合的に評価する。なお、全授業の2/3の出席は当然の事なので、所謂出席点の存在は認めない。

教科書

『Britain: Historical Tales (エピソードで綴る英国史)』(三修社) プリント併用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんま あきお 本間 章 郎	社会1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思います。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教科書

最初の授業のときに、教場にて指定します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	みよし やすよし 三 芳 康 義	社会1必	2

講義のねらい

この科目の目的は、TOEFLのような学外での英語検定試験を意識した内容の英文を読解し、かつ、その設問形式に慣れていくことにあります。英文の内容は、知的好奇心を満たすのに十分な学問的レベルがあり、その読解力と共に、語彙力の向上を目指します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Karen Blanchard, Christine Root 著編 *For Your Information 2 Intermediate Reading Skills* (Longman ELT, Pearson Education Japan)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	まえだ おさむ 前 田 脩	福祉1必	2

講義の内容・授業スケジュール

授業のはじめに10分～15分程度リスニングを行います。テキストは毎回あてますので予習は必須です。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめ、正確な内容把握を求めます。同時に英米文化について最少限の知識を身につけてほしい。時に英字新聞のコピーを使用することがあります。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程度、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店）1,000円
『トピック別 TOEIC テスト・リスニング基礎編』（成美堂）900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	くにみあきこ 国見晃子	福祉1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌のヒアリング練習を行うことで、英語特有の音声変化現象や話し言葉のスピードの速さに慣れることを目的とする。また時代背景を考慮しながら歌詞を分析することで、曲の理解を一層深いものにする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて8回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

Nobuhiro Kumai / Stephen Timson 共著『Hit Parade Listening Second Edition (楽しく学ぶロック&ポップ・改訂新版)』(マクミラン) 2、000円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	たかはしあきこ 高橋明子	福祉1必	2

講義のねらい

新聞や放送による英語ニュースの理解を目指して、多角的に学びます。政治・経済・外交や環境問題からスポーツにいたるまで、さまざまな題材を通して、ニュースの基本用語や英文読解力を習得しましょう。時事英語に慣れることはTOEICテスト対策にも役立ちます。

成績評価の方法

平常評価としての出席や発表(40%)、前期試験(30%)、後期試験(30%)による総合評価をします。

教科書

『時事英語の総合演習—2003年度版—』English for Mass Communication—2003 Edition—(朝日出版社) 1,500円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	かめだみえこ 亀田三重子	心理1必	2

講義のねらい

近年、IT. を始めとする技術の発展は、その利点と共に、逆に人々の心を追い込み、潤いを失わせていると言われる。この授業では、心温まる短編を読んだり、内容のある映画作品をDVDで鑑賞したりしながら、心理描写を中心のテーマにし、英語を学んでゆく。場合によっては希望の映画の上映も可能である。その中のイディオムや表現方法を学び、使えるようになる事も同時に目的としたい。

成績評価の方法

出席点と平常点を50、前後期の定期試験を50、の100点とする。

教科書

Chicken Soup for the Soul (金星堂)

他にプリント、映画「今を生きる」等。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高橋 佳江	心理1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に高度の長文を読めるようにする。正確な読みが要求される。

一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定（最初の授業時に指定）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤島 喬樹	心理1必	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり（語学は習うより慣れろ）。教わる事は一部に過ぎず、実際血となり肉となるようモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断の努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

成績評価の方法

平常点（出席、発表、小テスト）並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

（欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。）

教科書

本教材と副教材とを併用する。具体的には追って指示する。

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	国文2年	2

講義のねらい

日常の様々な事柄を英語で表現できるようになることを目的として、基本的な文法事項を確認しながら英語の文構造を定着させ、短い文からしだいに長い文が書けるように作文能力を身につけていく。

毎回単語小テストを行なう。

成績評価の方法

小テスト 30%、平常点 20%、定期試験 50%

欠席が授業回数の3分の1を超えたときは単位を与えない。遅刻は授業開始30分まで認める。遅刻3回で1回欠席とする。

教 科 書

『語順が身につく英作文』(朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	すぎ もと まこと 杉 本 誠	国文2年	2

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。

講義の内容・ 授業スケジュール

旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、その後に短い和文英訳から長めの会話の和文英訳へと段階的に表現力を養っていきます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

福井・山中著『エンジョイ・スピーキング』(朝日出版) 1,700円

科外
国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩永祥恵	国文2年	2

講義のねらい

本クラスでは西欧文化の源泉ともいえるギリシア神話を取り上げたパッセージを読み、内容を把握した後問題点について話し合う。そのプロセスで読解力、論理的思考、表現能力等の向上を図る。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

内容をより速く正確に読みとるためにリーディングの効果的な方法を模索しつつ、できるだけ多くの文章に接する。ユニットのまとまりごとにグループでの発表、討論を行う。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教科書

James Kirkup 著 *The Glory That Was Greece* (成美堂) 980円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	古富猛	英米文2必	2

講義のねらい

「近代文明の発達により冒険とロマンは喪失した」という言葉はいまや言い古されているが、高度成長への道を狂奔し、バブル経済の破たん苦汁をなめている現在、従来通りにはゆかなくても、何らかのロマン性を求める必要はあるのではないか。文学の世界にも当然言えることであって「ハリー・ポッター」の物語がとてつもないブームになっていることから伺えるし、高度技術によって成功したいいわゆる「勝ち組」の人達の価値観だけがすぐれているわけではなからう。

近年いかに世界には多種多様な民族が住んでいるかを、思い知らされる事柄に遭遇するが、アメリカ文学に関しては、アメリカ・インディアンが有する生き方、ならびに世界観をみつめ直してみる必要があると考えている。

講義の内容・授業スケジュール

多種多様な民族の存在とは、当然なにかの言語を媒介としなければならない。あらゆる分野で英語も武器であり、日本人にあった手法を説明するつもりである。

履修上の留意点

学生諸君には予習してくることを原則とし、さらに発表するべく心得て欲しい。

成績評価の方法

出席状況、前後期のペーパー、テストの結果ならびに、予習発表の評価により判断する。

教科書

『長文読解演習』(成美堂) 500円
ならびにプリントを併用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	松堂啓子	英米文2必	2

講義のねらい

テキストは2冊使用する。Essential Listening では、リスニングの基礎を養い、実用的なメモの取り方、電話の対応の仕方などを学ぶ。Thought into Writing では、プロセスを踏みながら論理的な英文の書き方を身につけていく。

成績評価の方法

リスニングまとめの小テストやライティングの課題等を総合的に評価する。

教科書

Essential Listening 3 (マクミランランゲージハウス)
Thought into Writing (成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	おお なた ゆきこ 太 田 由紀子	英米文2必	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所に焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積み重ねる。

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらった自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きし もと しげ かず 岸 本 茂 和	英米文2必	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

全授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。試験は前期末と最終試験の2回。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	地文2年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終えるごとに小テストを必ず行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

California Dreaming (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	小 ^お 布 ^ぶ 施 ^せ 圭 ^{けい} 佐 ^さ 三 ^{ぞう}	地文2年	2

講義のねらい

「日本語の単文を英語に訳す」といった和文英訳の作業ではなく、既習の語彙、構文を活用しながら、なるべく英語的な発想によって自由にパラグラフ単位の英文を書けるように指導したい。

講義の内容・授業スケジュール

《1週》～《4週》
Chapter I (p.1～p.16)
《5週》～《8週》
Chapter II (p.17～p.32)
《9週》～《12週》
Chapter III (p.33～p.48)
《13週～16週》
Chapter IV (p.49～p.64)
《17週》～《20週》
Chapter V (p.65～p.80)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行うので、出席を重要視します。レポーター制を採用し各章を責任分擔します。年間を通して各自1回はレポーターの役割を果たしてください。毎時間、英語の辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

①出席点②平常点③レポート④定期試験（前・後期）などを加味して評価します。

教 科 書

斎藤宏／関裕三郎／William Bell *A New Way to English Writing*（成美堂）1,500円

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	川 ^{かわ} 手 ^て 浩 ^{ひろ} 一 ^{かず}	環境2年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的は、その国の文化を知ることである。
今や英語は世界各地で使用されやすい言語として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼を置いている。

履修上の留意点

また、重要な単語、イディオム、構文の多様性に富んだ英文が学びとれるように授業をすすめて行きたい。
練習問題は T-F Questions をはじめ Vocabulary Quiz や、Idioms and Usage など Completion Exercise などもあります。

成績評価の方法

成績評価は、出席と、定期テストなど総合評価です。

教 科 書

『*Beyond Your Own Culture* 自文化再発見』（英宝社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	岩井 洋美	環境2年	2

講義のねらい

自分のことを口述、記述の両面で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

発音やアクセント、音読の練習、英作文、口頭でのやり取りや発表など。

履修上の留意点

授業への出席、間違いを恐れぬ発言や発表など、意欲的な姿勢を重視する。

成績評価の方法

出席と授業態度、発音、音読のテスト、発表、前期試験、後期試験で評価。

教科書

I WRITE Composing Effective E-Mail by D. Fuller and T. Kiggell (マクミランランゲージハウス)

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	江田 幸子	歴史2年	2

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書

Joyce Taniguchi, 中田清一、長阪朱美著『*Writing For Oral Communication* (日常会話英作文)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	木村 克彦	歴史2年	2

講義のねらい

文学作品ではあるが、まず、戯曲の台詞を精読することにより、英語特有の表現になれるようにしたい。また作者の会話(談話)で、記録されているものもあるので、適宜コピーを使用しそれらを訳読しながら、暗記までできれば最も良いであろう。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『オスカリアーナ』(北星堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	池上賀英子 <small>いけがみ かつえこ</small>	歴史2年	2

講義のねらい

I A を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	武藤久緒 <small>むとう ひさお</small>	歴史2年	2

講義のねらい

英語で書いて話せる実践的能力の強化を目標とします。従って平易な英文を文法理解を基礎に正しく書く訓練が授業の中心となります。

講義の内容・
授業スケジュール

現在・過去・未来、仮定、使役、許可、依頼・勧誘、提案、意図・決定、推量、原因・理由、目的・結果、譲歩・様態、比較、強調など発想別に16の概念の型と表現方法を学習します。習得した知識を応用、特定のテーマで作文し、前後期一回ずつ提出してもらいます。

前期 第1課から第8課まで
後期 第9課から第16課まで

履修上の留意点

毎回、受講者に順次作文を板書発表してもらいますので予習をして下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、作文レポート、出席状況などを考慮して行います。

教 科 書

岸野英治著『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	古 ^こ 富 ^{とみ} 猛 ^{たけし}	社会2必	2

講義のねらい

バブル以後、日本は政治・経済的にかなり変ぼうを遂げてきた。マスコミから流れてくるニュースは、それに関するものが多く、いかにバブル景気の裏に秘んでいた闇の部分がすぎまじいものであるかうんざりさせられる。

この情報化社会で様々なニュースにさらされてきたが、インターネット普及によりさらにその度合いが増している今日、我々は不安におののき対処せざるを得なくなった。昨今、語学の持つ重要性が浮上し、特にIT関係、証券、自動車メーカー等々それぞれの事情で社員に語学力を要求し、TOEFL等能力テストの点数まで設定する様になってきた。

かけ声だけではない国際化に向かって、日本人はどのように英語を学べば良いのか、私なりのアプローチを説明し、少しでも自信をつけて、とかく語学能力に乏しい我々の状況を根本的に考え直さなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

主に発表形式で、実用能力に自信をつけてもらいたい。あくまでもネイティブ相手である。

履修上の留意点

教場では充分でないので、H頃から映画・音楽等でできる限りヒヤリング能力を磨いてもらいたい。

成績評価の方法

前・後期ペーパーテストと発表によりさらに出席状況も含めて評価する。

教科書

講義中に指示します。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	堀 ^{ほり} 千和子 ^{ちわこ}	社会2必	2

講義のねらい

映画を字幕なしで見ながら、読む・聞く・書く・話すの英語の四技能を鍛えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見る前、見ながらのエクササイズをし、習得した表現を使って writing や speaking の練習をします。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の貢献度、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。

教科書

沖野泰子他『ミュージック・オブ・ハート—映画・音楽・リスニング—』（英宝社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	尾上典子	心理2必	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語のビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聴解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の非常に悪い者は落第させる。

毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron, 宮野智靖著 『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』(金星堂) 1,800円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	町田成男	心理2必	2

講義のねらい

I Aを基礎として、より高度の英語の運用能力を身につける。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションへとすすむ。ときどき、ビデオも利用する。

成績評価の方法

出席と発表と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

多数のテキストから現在、検討中のため、第一回の授業時にプリントして発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	松堂啓子	心理2必	2

講義のねらい

テキストは2冊使用する。Essential Listeningでは、リスニングの基礎を養い、実用的なメモの取り方、電話の対応の仕方などを学ぶ。Thought into Writingでは、プロセスを踏みながら論理的な英文の書き方を身につけていく。

成績評価の方法

リスニングまとめの小テストやライティングの課題等を総合的に評価する。

教科書

Essential Listening 3 (マクミランランゲージハウス)
Thought into Writing (成美堂)

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	佐藤 勝 <small>さとう まさる</small>	国文2年	2

講義のねらい

基本英文法を踏まえた正確な英文読解力、そして英文多読・速読力の充実を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

プリント演習の後、教科書での授業を行います。教科書の進度は最終的に1回で1課とします。

履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度等）＋レポート＋定期試験。

教科書

浅間他編著『異文化への視線』（南雲堂）1,600円

参考書等

推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	前期：松堂 啓子 <small>まつどう ひろこ</small>	国文2年	2
	後期：矢鳥 直子 <small>やじま なおこ</small>		

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、高度な英文を正確に読むこと、後には量を多く読むことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくること。ただ単語の意味を調べるだけでなく、文章の意味を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	山口 晃	国文2年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、環境や生態系の問題を今年度は考え、表現する方法を身につけることを目標とする。II Bの授業である事を考え、とりわけ英語の深い理解を重視したい。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、英文のプリントを配布する。それを一つの素材として、具体的な英文に即して、学生諸君と共に、英語の理解・表現を、磨いて行く。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。遅刻は他の生徒の学習の妨げにもなるので、遅れない様に注意する事。

成績評価の方法

前期・後期それぞれ、レポート提出とテストを行う。それと平常点を加味して評価する。

教科書

配布するプリント。

参考書等

ソルト著『ヘンリー・ソローの暮らし』（風行社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	宇都宮 秀和	英米文2必	2

講義のねらい

これからの時代は、翻訳や通訳者に頼らないで、自分で英語を読み、話し、書くことが増々要求されてくると思う。その最もよい例がインターネットによる交信である。インターネットでは、翻訳では間に合わない。素早く読むことがまず要求される。応答はそこから始まる。このクラスでは、リスニングをも取り入れながら、速読できるようにしたい。

成績評価の方法

期末試験は行わない。平常点を重んじる。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	佐藤 明子	英米文2必	2

講義のねらい

イギリス女性文学の歴史を学びながら、英語の理解を深めることがこの授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、1回に2~3ページ程度進む予定です。英文を正確に読むことを学ぶ一方で、長い間英文学史であまり注目されることのなかった女性文学の問題も考えていきたいと思っています。

履修上の留意点

積極的な授業態度を十分に評価するつもりですから、予習を必ずしてきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

Veronica Doubleday, *Woman and Literature*. (プリント使用)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	伊 藤 美 代 子 いとう みよこ	英米文2必	2

講義のねらい

I Bを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Mari Kikuchi, Alan E. Jackson *News and Views from The Japan Times Weekly* (マクラミン ランゲージ ハウス) 1,900円
2. 伊藤美代子 (編者) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	手 島 敬 子 てじま けいこ	英米文2必	2

講義のねらい

本科目は「英文読解力向上」をテーマに、できる限り多くの英文を読むことで英文になれる、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらに一定の時間内でテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教 科 書

開講時指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	外 池 一 子 との いけ かず こ	歴史2年	2

講義のねらい

身近なテーマについて書かれた文章を、なるべく辞書を使わずにある程度の速さで読んで大意をつかめるようになる訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や雑誌の記事など、生の素材も教材として取り上げます。

履修上の留意点

英語の理解にはテーマに関する知識も非常に重要です。授業の予習では、日本語で良いので、テーマについて調べ、前もってある程度の知識をもって出席すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験(目安は前期・後期各2-3回)70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	町田 成男	歴史2年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、さらにできるだけ多くの量を読めるように、大意の把握と読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。ときどき、英字新聞を読んだり、ビデオ学習も取り入れる。

成績評価の方法

出席と発表(年2~3回)と試験の総合評価とする。

教科書

多数のテキストから現在、検討中のため、第一回めの授業時にプリントして発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	大庭 直樹	歴史2年	2

講義のねらい

多くの英文を読んで内容を要約する力を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、インターネットで流れている英語の最新のニュースを読んでいく。できるだけ多くの英文を読んで、それらを要約する力を養うことがこのクラスの重点である。課題として、いろいろな出来事をインターネットで調べて要約し、それらを報告、あるいは提出してもらう。提出課題は、前期と後期それぞれ10項目、ファイルにしてサーバー上の自分のホルダーに提出してもらう。また同時に、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。教室では、マルチメディア語教材、インターネットの語学学習のホームページ(英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題など)、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

到達目標: 多くの英文を読んで内容を要約する力を養うこと、日常使われる英語表現を理解する力を養うこと

履修上の留意点

教室では、マルチメディア語学教材、インターネットの語学学習のホームページ(英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題など)、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと、クラスでの発表に重点をおく。提出課題は内容を評価する。

教科書

インターネット

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	石原 孝哉	歴史2年	2

講義のねらい

このクラスでは二〇世紀の歴史ということがテーマです。二〇世紀に世界各地で起きた事件を短編で読みながら現代について考えます。速読、リスニングの訓練を中心に英語の読解力向上をはかります。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験の他レポートなど提出物から総合的に判断し、出席を重視します。

教科書

Looking Backward, Major Events of the 20 th Century (南雲堂) 1,800円

科外国語

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の日安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 点、TOEIC のスコア 500 点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラージ, R.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する (受け身の授業ではなく積極的な参加を望む)。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理 1 年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I!!
Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ソルタ, P. N. F.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units, a workbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

外国
言語

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate : Book 1 a / David Paul / Macmillan Language House.
Student's Book 1 a (¥1,230) & Workbook 1 a (¥880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	デンドウ, G.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ウエイド, D. A.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	コプレーマッキー, D. S.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・
授業スケジュール

April: Introductions, greetings, asking for information
Talking and asking about families

May: Asking about and describing people
Asking and answering questions about personal history
Review
Test

June: Welcoming, making offers, accepting & refusing
Asking about and telling prices, paying for goods
Asking about & identifying locations (inside), giving directions
Describing procedures, narrating a sequence

July: Review
Test

September: Routines & schedules, telling time
Ordering food & drink, asking for information

October: Inviting, making excuses
Making suggestions, talking about the weather
Review
Test

November: Likes & Dislikes, gift giving
Suggestions, objections
Describing people & jobs
Asking & talking about past events

December: Review
Test

January: Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text used will be "*Expressions: Book 1*", by David Nunan, published by Heinle & Heinle Cam (price apx. ¥2,400).
Students will also need acquire the accompanying cassette tapes or CD.

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social use and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	プラスキー, J. C.	国文・地文・環境・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

科外
国
語

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves at a basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral/written test (20%) given during the last class meeting.

教科書

None.

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	甲 斐 捷 子	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意志伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	加 藤 佐和子	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教 科 書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

海外旅行の場面別で、一回で通じる短い会話文を習得することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して聞きとり、書きとり、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように、暗記する。毎回小テストあり。

履修上の留意点

LL 授業は、本来、ラボによる practical training のため、欠席しないように、お願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50% 但し、小テスト、発表を含む。

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科外
国
語
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林 正身	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れってもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL 自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村祐子	国文・英米文・地文・環境・ 歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみることからはじめる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんど授業を英語ですすめるようになる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』（朝日出版）1、2をおもに使用。テキストは購入する必要はない。
使用ビデオ：Grapevine 1,2,3、Survival English 1,2 など。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわみちこ 埴美智子	国文・英米文・地文・環境・ 歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本 LL 教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening (パーフェクト・リスニング) - TOEIC テスト対応問題付 -』（朝日出版）2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	栗原万修 <small>くり ほら かず のぶ</small>	国文・英米文・地文・環境・ 歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法、I Bは講読です。このクラスではドイツ語文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

斎藤他『ドイツ文法プレリユード』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	野島利彰 <small>の しま とし あき</small>	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがとてもしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。不思議なことにドイツ語の文法を知ることはヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・ 授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。

履修上の留意点

練習問題を予習して授業に出席してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

大岩信太郎著『ドイツ文法 18 課』郁文堂 1600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	杉本正俊 <small>すぎ もと まさ とし</small>	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

初めてドイツ語を習う学生に、ドイツ語文法の概要を説明する。文法という観点からひとつの外国語へ学生諸君を案内できたら、と考えています。

講義の内容・ 授業スケジュール

ドイツ語で使用する文字、発音の概要から始め、初級文法のひとつをおりを省略なしに全て教えるつもりです。理解しにくい点は何度も反復説明し、学生が十分理解したかどうかを常に念頭に置いて授業を進めます。

履修上の留意点

学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は勉強に注意を集中し、授業内容をよく理解して下さい。復習など、必要事項は授業中に指示します。

成績評価の方法

前後期2回の大きいテストの他、随時小テストを行い、平常点も重視する。

教科書

藤代幸一・保阪靖人著『ワンポイント・ドイツ文法』（新訂版）（郁文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	清水 修 <small>しみず おさむ</small>	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。

ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

科外国語

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいください。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	栗原 万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Bは講読となっていますが、このクラスは初級の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと習得できませんので、授業への出席を条件とします。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

入谷他『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	岡本時子	国文・英米文・地文・環境・歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書については開講時に指定します。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	いがらしのぶこ 五十嵐信子	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

やさしいドイツ文に親しむことにより、ドイツ語の基礎をよりふかく理解し、しっかり身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語を聞き取る力と正しい発音を身につけます。
- 2) やさしいドイツ文を聞き、読み、理解することで、ドイツ文法を理解し、これをしっかりおぼえます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

身につけた文法を武器にドイツ文を理解することはそれ自体喜びです。しかしそのためにはドイツ語の知識を一つ一つ自分のものにしてゆくことが必要です。つまり予習復習とともに休まず出席することが大切です。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

小塩節著『希望のドイツ語』（朝日出版社）2,136円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	飯塚 公夫 <small>い いい つが きみ お 夫</small>	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義のねらい

一年次で履修したドイツ語の基礎の応用。ドイツ語文献を読むための基礎作り。

講義の内容・
授業スケジュール

連休前に一年の文法の補習の予定。それ以後は読み物を読んでいく。

履修上の留意点

文法に自信のない人は辞書は持ってくる。あらかじめ当てておかないので予習しておく必要がある。勉強する気のない人は出ないほうがいい。

成績評価の方法

前・後期の試験および平常点 (= 発表点)

教科書

文法の補習の際は、一年次の文法の教科書を持参すること。それ以後の読み物は、大学語学用教科書として編まれたもので、『ゴレム伝説』(白水社・900円)という本を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	河上 和史 <small>かわ かみ かつ ひと 史</small>	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	松岡 晋 <small>まつ おか すずむ 晋</small>	英米文2年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2~3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずですが、教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点(出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど)によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '02年トピックス』(朝日出版社) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	野 島 利 彰 <small>の じま とし あき</small>	国文・歴史2年	2

講義のねらい

同じ人間のように見えてもドイツ人は日本人とは考え方がとても違います。どんな点が異なり、それが社会生活にどのように反映しているかをてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書はほとんど1年次の復習で構成されています。復習しながらより高度の文法的知識を積み上げます。教科書をなるべく早く終わり、より上級の文章も読みたいと思います。

履修上の留意点

語学は予習が大切です。予習をして授業に出席してください。教科書にはCDが付属していますので、予習の際によく聞いて置いてください。

成績評価の方法

予習をしているか否か、年2回の期末試験、ヒアリングテスト、出席状況などを総合的に判断して成績を評価します。

教 科 書

大谷弘道著『ドイツ人を知る9章』三修社 2500円

科外
国
目語

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	井 田 清 子 <small>い だ きよ こ</small>	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項(動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など)を一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

『初級フランス文法案内』(第三書房)

科外 国 目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	小 玉 齊 夫 <small>こ だま なり お</small>	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えていた単語、表現の数が多いほど、聞き取りの場面でも有利になるはずですが、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

必ずしも教科書の構成にこだわらずに、日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

教 科 書

斉藤昌三著 『ル・フランセ・ファシル』(白水社、

参 考 書 等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	国文・英米文・地文・環境・ 歴史・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きも
らさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。動詞活用の書き取りもあります。

教 科 書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社）

参 考 書 等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	さ とう く み こ 佐 藤 久 美 子	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年
間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り
組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただ
し出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのため
に予習（最低限新しい単語を調べておく）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教 科 書

佐藤著『アベセデ フランセ』（白水社） 定価2,500円

参 考 書 等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

そ の 他

教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	あし ほん けん 芦 原 眷	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

安田悦子『ヴィット・メ・ピヤン』（白水社）1,631円

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	はま さき せつ お 浜 崎 設 夫	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	は せ が わ み つ あ き 長谷川 光 明	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』（朝日出版社）2500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	谷 川 かおる	国文・地文・環境・社 会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的な表現に親しみつつ、フランス語の基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教 科 書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	桑 田 のりあき 禮 彰	英米文・歴史1年	2

科外
国
語

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』（第三書房）

参 考 書 等

そのつと授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	竹 田 まさずみ 正 純	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を身につけ、応用力を養うことを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

特に発音練習には十分な時間を割いていくが、最終段階の接続法まで進むつもりなので、かなりのスピードで授業は進行する。熱意をもって取り組んでもらいたい。教科書を完全にマスターすれば仏検3級も夢ではない。

履修上の留意点

付録CDによる自宅での発音練習を義務づける。辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで何度も小テストを行う。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。

教 科 書

久松健一『フェリシタシオン！－仏検シャ・シャ・シャー』（駿河台出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB	はまきせつお 浜崎設夫	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

滑川『ポケットにフランス語』（第三書房）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	たけだまさずみ 竹田正純	国文・地文・環境・歴史2年	2

講義のねらい

初年度で習得した項目を復習しつつ、読解力を養い、簡単なフランス語による自己表現もできるようにすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストも、「文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ」を標榜したものを使用するので、特に読む・書くの練習に力を注ぎたい。話すことの練習を、それに少しばかり加えることができれば、今年度の目標は十分達成できたと言える。

履修上の留意点

予習復習を欠かさないこと。辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

高垣由美『大学生のためのフランス語－文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小玉 齊夫 <small>こ だま なり お</small>	英米文2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、日仏文化のなかでの体験談を、それぞれの人の、異なった、あるいは同じ反応の類型を確かめながら、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。教科書の講読以外に、音としてのフランス語の授業も、少ない時間ながら、適宜、可能であれば、組み込んでみる予定です。フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方、を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

コルノリエ・野村 著 『私の日仏異文化体験』（第三書房、1500円）

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	前田 祝一 <small>まえ だ のり かず</small>	英米文2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語1A・1Bの単位の取れていない人は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで基本的には成績を評価しますが、授業中の課題や出席状況にも配慮します。

教科書

ロニー・ブローマン著、桜井幸子編『ボランティアとその体験から、国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II B	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	国文・歴史2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

履修上の留意点

ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円

科外
国
語

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

科外
国
目
語

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまいうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社） 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
 相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円

武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第2版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	布 施 直 子	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中 国 語 I B	胡 玉 華		2

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。学年初めに発音の基本を学び、そののち日常会話で使われる単語や中国語文の組み立てを学ぶ。「読む・聞く・話す・書く」練習を通して理解を確かなものにする。

履修上の留意点

授業への出席を第一にして、まじめに練習にとりこんでくれることを望む。

成績評価の方法

テストと、出席状況によって評価する。

教 科 書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版中国語はじめての一步』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	前川亨		2

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300 円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤卓恵	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	布施直子		2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400 円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	下出宣子		2

講義のねらい

中国語入門科目として発音の基礎、基本文法の習得をめざす。目で読む中国語ではなく、読み、聞き、話す中国語能力のたのしさを味わっていただく。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教師が同一テキストにより週二回セットの授業を行なう。下出が語法の基礎を主として担当し、釜屋が表現能力の向上を担当する。

履修上の留意点

出席と積極的授業参加を要請する。授業中の私語は禁止する。出席不良の場合は受講権の放棄とみなす。

成績評価の方法

出席点、授業での積極性、課題、小テスト、期末テストの成績を成績評価の基本とする。

教科書

荒川清秀『簡明中文システム 15』CD 付（同学社）1,800 円。（『中文システム 15』ではなく『簡明』版である。まちがえないように）

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	塩旗伸一郎	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	塩旗伸一郎		2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

相原茂ほか『恋する莎莎』（朝日出版）2,500円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤普美子	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	佐藤普美子		2

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	天野節	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	曹泰和		2

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の発音と意味の確認と文法の説明及び例文の発音と意味をI Aで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をI Bで行う。

履修上の留意点

予習、復習、出席を必ずして、声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

牧田英二『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川 隆	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	釜屋 修		2

講義の内容・
授業スケジュール

二名の教員が共同で一冊の教科書を用いる。各課は「文法」「練習」「会話」からなっており、I Aで「文法」、I Bで「練習」「会話」を学習する。両者の内容は緊密に連動しているため、一方の学習を怠ると、もう一方の授業にもついてゆけなくなってしまうであろう。

成績評価の方法

出席を重視。授業回数の四分の一以上を欠席した場合、単位取得はその時点で不可能となる。平常点と年間数回の大小のテストを合算して総合的に成績評価を行う。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	布施 直子	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	胡 玉華		2

科外国
目語

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。学年初めに発音の基本を学び、そのち日常生活で使われる単語や中国語文の組み立てを学ぶ。「読む・聞く・話す・書く」練習を通して理解を確かなものにする。

履修上の留意点

授業への出席を第一にして、まじめに練習にとりこんでくれることを望む。

成績評価の方法

テストと、出席状況によって評価する。

教科書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地 桂子	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	前川 亨		2

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を妨害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	布施直子		2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円＋税

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	戸張嘉勝	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	下出宣子		2

講義のねらい

発音（ピンイン）方法と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を概念的に認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に沿って、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験・期末試験・授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編 例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	天野節	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	佐藤普美子		2

講義のねらい

天野(A)、佐藤(B)が同一の教科書で行う授業です。中国語の発音表記（ピンイン）をしっかり覚え、正確な発音と基本語法を身につけましょう。

履修上の留意点

ともかく毎回出席して、「耳」と「口」をフルに使うことが大切です。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、B担当教員がそれぞれ行ないます。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	釜屋修		2

講義のねらい

中国語の発音の基本を学び、発音表記のピンインを習得し、語法のしくみを一通り学ぶ。見る外国語から読み、話し、聞いてわかる外国語へ、積極的に学んでいただく。

講義の内容・授業スケジュール

同一教師が同一テキストで週二回授業を行なう。連休直後までは発音の基礎を学んでもらう。そのあと正確な発音を身につけ中国語のしくみを考え、生きた表現に近づいていただく。

履修上の留意点

散漫な出席、授業中の私語はお断り。

成績評価の方法

出席点、受講時の積極性、宿題・小テスト、定期試験の成績を重視し、評価のポイントとする。理由なき欠席は前・後期各3回を限度とする。

教科書

荒川清秀『簡明中文システム 15』CD付（同学社）1,800円。（『中文システム 15』とは別の『簡明』版なのでまちがえないように）

参考書等

開講後に説明。

科外
国
語
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川隆	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	小川隆		2

講義の内容・授業スケジュール

IA と IB とで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全15課で、3~4課に1度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤普美子	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	塩旗伸一郎		2

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が共通のテキストを使い、週2回の授業を行います。主としてA（佐藤）が文法説明、B（塩旗）が課文と口頭練習を担当します。

履修上の留意点

最初の1~2か月は発音の基礎を学びます。この時期に欠席すると追いつくのは難しいので、休まず積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点（出席、学習態度）+小テスト（年数回）+期末テスト（年2回）を総合的に評価します。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫してる。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業状況、例えば訳をすとか、練習をすとかなど、さらには出席状況も加味する。

教科書

陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1.650円

科外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義のねらい

自分で辞書を調べて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
語彙を増やす。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

本文は簡単な物語。
新出単語の語釈、文法の例文、本文全て指名して発表してもらう。

履修上の留意点

新出単語をはじめ、既習の単語でも分からない単語は辞書を調べてくること。
既習の課は拼音をはずした漢字だけの文章が読めるよう復習すること。
授業の時辞書を携帯すること。
出席が4分3に満たない場合失格。

成績評価の方法

授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、小テスト（発音テストも行う）、期末テスト（前期、後期各1回）を総合的に勘案して評価する。

教科書

讃井唯允『着実に学ぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	おう とう 王 聡	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 発音の復習。
2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ——日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘兼加奈子 <small>ひろ かねこ</small>	国文・地文・ 環境・歴史2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約四回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』(朝日出版社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	釜屋修 <small>かま や おさむ</small>	英米文2年	2

科外国
語

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ力を活用してやさしい読物に挑戦する。朗読を通して発音をより正確にし、不確実なところを矯正する。

講義の内容・
授業スケジュール

週一回の学習機会なのでつき重ねがたいせつとなる。毎回指名して朗読、翻訳をこころみってもらう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況、平常点、定期試験により総合的に判定する。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

参考書等

辞書を必要とする。ふさわしい辞書を開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	櫻庭和典 <small>さくらば かず のり</small>	英米文2年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』(白帝社) 1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A	李 雲	英米文 2 年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教 科 書

三潞正道、楊光俊『現代中国走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II A	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	英米文 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の能力は、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」という面にわたるコミュニケーション能力を指す。この四技能が同時並行的に伸長することによって中国語習得を目指し、週1回の授業で、1課を2~3回で終わられる様にする。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とするが、授業中の状況、例えば発音、訳、練習及び出席状況によって加味する。

教 科 書

金路『コミュニケーション中国語』（白帝社）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	ねがし まさこ 根 岸 政 子	国文・歴史 2 年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉で、すぐ使える会話表現を身に付ける。さらに聞く能力を高める。

履修上の留意点

平常の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。また必ず予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験および小テスト、出席状況（4分の3以上出席のこと）や授業への参加度などで評価する。

教 科 書

塚本慶一監修・劉 穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	さくらば かずのり 櫻庭和典	国文・歴史2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円＋税

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 II B	まつもと あつとし 松本丁俊	国文・歴史2年	2

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な、もしくは新しい中国事情をテーマとして、単に語学としての中国語を学習するだけでなく、言語の背景を学ぶことで、より一層理解、関心を深めることが出来る様に授業を進める。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、授業中の発音チェック、訳のチェックと練習のチェックをして、出席状況も加味する。

教科書

羅奇祥、甲斐淳子『中国ストーリー』（駿河台出版社）1,600円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	文学部全学科1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、基本的な文法を学び、練習をしながら、スペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。

履修上の留意点

毎回の出席や練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	中川 清 <small>なか がわ きよし</small>	文学部全学科1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・見玉『スペイン語への誘い』（芸林書房）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	亀山 晃一 <small>かめ やま こういち</small>	文学部全学科1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習を継続させる為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	上野勝広 <small>うえの かつひろ</small>	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

外国
語
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	佐藤麻里乃 <small>さとう まりの</small>	国文・地文・環境・社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験などを総合して評価する。

教科書

江澤照美『パソ ア パソ』（同学社）

参考書等

辞書：プログレッシブスペイン語辞典（小学館）、新スペイン語辞典（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	よね だ ひろ み 米 田 博 美	文学部全学科1年	2

講義のねらい

現代における二国間、多国間、地域間のつながりは、増々加速されています。経済における二国間自由貿易協定はその象徴とも言えます。貿易や投資の交流、文化や芸術での交流、人的交流などは、情報技術の革新もあり、急速に深まり、世界は相互依存、相互理解の必要性が高まっています。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で構成されるスペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かであり、日本にとり、ますますその重要性を増すでしょう。言葉は力です。スペイン語を学ぶことにより、自らの世界、視野を広げることを希望します。言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であり、強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『和中西辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明とそれを応用した練習問題、という構成で進める。また随時小テストを行い、そこまでの内容を整理する。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心学習する。

履修上の留意点

練習問題に出てくる単語の意味は調べてくること。辞書は授業中に使用するので必ず持つてくること。（辞書を持参しない者は欠席扱い。）

成績評価の方法

前後期の試験と平常点（出席・発言）、小テストを合わせて評価。試験、平常点ともに60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	おぎの 荻野 まさし 雅 司	文学部全学科1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科外国語目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	まとう まりの 佐藤 麻里乃	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験などを総合して評価する。

教科書

田尻陽一・西川喬共著『初級スペイン語講座』（芸林書房）2,000円

参考書等

辞書：プログレッシブスペイン語辞典（小学館）、新スペイン語辞典（研究社）など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	おぎの 荻野 めぐみ 恵	国文・地文・環境・歴史2年	2

講義のねらい

「会話」「エッセー」「インタビュー」といった多様なスペイン語の文章に触れながら、イベリア半島を構成する2国、スペイン及びポルトガルの文化や歴史を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「会話」と「インタビュー」、後期は「エッセイ」を中心に読む。文法事項は適宜プリントを配布し、1年次に学習した基礎を復習、確認しながら、命令、接続法を中心とした中・上級レベルへと発展させる。

履修上の留意点

毎回の予復習を必ず心掛け、積極的に授業に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

荻野・サンティアゴ『イベリア文化の輝き』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	国文・地文・環 境・歴史2年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	おお いわ いざお 大 岩 功	英米文2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	福 本 久 美 子 <small>ふくもとくみこ</small>	英米文2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）
プリント（授業中に配布）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	福 本 久 美 子 <small>ふくもとくみこ</small>	国文・歴史2年	2

科外
国
語

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）
プリント（授業中に配布）

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは大いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

科外
国
目語

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>	国文・地文・環境・ 社会・福祉・心理1年	2
ロシア語 I A	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>	英米文・歴史1年	

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

参 考 書 等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	文学部全学科1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

科外
国
語

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	きむら ひで あき 木 村 英 明	国文・地文・環境・歴史2年	2
ロシア語 II A	すぎやま ひで こ 杉 山 秀 子	英米文2年	

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	佐 野 朝 子 <small>さ の あさ こ</small>	国文・歴史2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

教 科 書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

科外
国
目語

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	にしむら 西村 祐子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト：Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科外
国
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	いわい ひろみ 岩井 洋美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常表現を題材にしたテキストで、多くの練習問題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

語彙や文法、会話表現の習得。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと2回の期末試験で評価。

教 科 書

Communication in the Real World (TOEICに役立つ日常英語) (成美堂) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	はやし たかのり 林 孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩的な会話を意識した英作文を行う。最初に会話形式の必修短文を作文し、何度か声に出して暗誦するようにする。次に応用として弱冠長めの文章を作文してゆく。前者では発話を、後者では文法を課題に学習する。

成績評価の方法

宿題は課さないが、授業中に指名して発表してもらうので必然的に集中して作業に臨むことになる。再クラスということもあり出席は重視。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教 科 書

『Let's Try English - 英語でトライー』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A 〔再クラス〕	おお たい みちこ 太 田 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Songs (マクミラン・ランゲージハウス)

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A 〔再クラス〕	い とう みよこ 伊 藤 美代子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子(編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A 〔再クラス〕	たか はし ひろし 高 橋 寛	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

教科書

Everyday Talk (朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本動詞を中心にした慣用句を含んだスキットや練習問題を行っていく。日常基本表現から会話表現の理解と運用能力を高めていくことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

話題性がありウィットに富んだ会話を楽しみながら基本動詞、慣用語句等を身につけ生きた表現が自然に出る様にする。

履修上の留意点

復習や予習をし、書いたり発話の練習を行う。

成績評価の方法

出席率重視 (70%)、普段の授業態度 (10%)、後期試験 (20%)

教科書

Writing Better English (金成堂) 1,600円

参考書等

参考書等を勧める場合はその都度黒板に板書して説明する。

その他

テープや声を出して練習する場が多いので積極的に授業に参加する態度を要す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	つが ちと とし お 塚 本 利 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生活、コンパなどについて意見・考えを英語で書く小テスト (20~30分) を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』(朝日出版) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	川島 弘之 <small>かわしまひろゆき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しむことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロックを中心とした音楽を教材として使う。テキストと共に学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を使用する。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼をになっている。ロックの歌詞の中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「Love」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心、私たちの心が揺さぶられ、英語音声への感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

授業では、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことを行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- ①『ロックの心 (1)』(大修館書店)
- ②「学生のリクエスト曲」

参考書等

- 『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
- 『ロックの意味』(草思社)
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
- 『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他

ビデオ、DVD、のロック・コンサートで英語を楽しむ。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	尾上 典子 <small>おのうえのりこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron, 宮野智晴著 『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』(金星堂) 1,800円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おた ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・
授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所に焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積もりである。

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらい自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみ え 高柳文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に writing、speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3 以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、演習テスト等)40%

教科書

『World Today - 文化の諸相』(鳳書房)

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 桧山 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価 50%、前期・後期試験 50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	もり たか みつ 森 田 隆 光	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験 リポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

外国
言語

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60 パーセント、平常点 40 パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills（基本語彙を使った発展英作文）』（朝日出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	前期：かわ また よう たろう 川 股 陽太郎 後期：や そ ぎ ひろ ゆき 後 八 十 木 裕 幸	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・
授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、話法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style..

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席—4点減点、レポート—1回4点、小テスト—1回2点、前期後期テスト—合計100点、授業態度（発表まど）を総計して評価します。

教科書

武田良一『英語表現法入門』（英宝社）1,900円＋税
プリント

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850 語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教 科 書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教 科 書

開講時指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

読解の授業では構文を正確に捕らえながら邦訳することを第一の目標とする。その上で内容の要約も念頭に置き、時事的な内容のテキストを使用する。またリスニングでは、各項目のテーマごとに単語レベルから対話・普通文レベルへと聞き取りを進めてゆく。

成績評価の方法

読解では担当する文章をあらかじめ割当て発表してもらう。リスニングは定期的に小テストを行い、読解の発表と合わせて平常点とする。出席点を含む平常点を 50、定期テストを 50 の割合で評価する。

教 科 書

『エコライフと経済』(南雲堂)
『五分間ヒアリング』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村 寛彦 きむら かつひこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒 むとう ひさお	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平易な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends* (英宝社) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子 えだ さちこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現方が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのに適しているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander 著『*HOLLYWOOD 2 Short Scenes from the Movies* (ビデオで見る映画とスターたち)』(朝日出版社) 1,800円

外国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [再クラス]	甲斐捷子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

Beginning Video English (鶴見書店) 1,500円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [再クラス]	いし原孝哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [再クラス]	まえ田 脩	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現実に役立つ英語と同時に英米の文化の一片でも知識として取り入れて、授業をすすめます。毎回あてますので予習は必須です。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

Survival English (Book 1) (朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	おお たい ゆきこ 太田由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

英和辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれの期末試験、授業時の応答の様子、および出席状況などにより総合的に判断する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で楽しく知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江戸川泰一著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	むら いし え しょう 村石恵照	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。

成績評価の方法

授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。

教科書

『The Powerful Reader Basic (英文講読の新技法・基礎編)』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まち だ しげ お 町田成男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら文章の大意を把握する。

成績評価の方法

出席点と発表と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

現在多数の中から検討しているので、第一回めの授業で発表する。また、その時、プリントしてテキストの内容を説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リスニング力の向上を目指す。ごく平易なI語英語のリスニングを通じて、基礎力の強化をはかる。4課ごとにまとめた小テストを行い習熟度を確認していく。また適宜、プリントを使用しての学習も行う。

成績評価の方法

2/3以上の出席を満たすこと。
年4回予定している小テストと定期試験の成績を重視する。

教科書

Learn to Listen (マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。

ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英文の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。

ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

INTERMEDIATE Faster Reading (成美堂) 1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子『*Reading Landmarks of the world* (英文読解のトレーニング)』(三修社) 1,800円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤明子 <small>さとう あきこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『*Real Life in Britain* (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円 (税別)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	宇都宮秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

再クラスを受け持って受ける印象は次のようなものである。1) 学力はあるのに、出席日数が不足して単位が取れない場合。2) 基礎的なことを理解しないままに、ズルズルやって来た場合。

前者の場合、理由はいろいろあるだろうが、多くの場合、自分の生活を律することが出来なくて、なんとかなるだろう位の気持ちで学生生活を送っているような印象を受ける。しかし、セルフ・コントロールが出来なくては社会生活を送ることが出来ない。

後者の場合、納得しないまま、なんとかなるだろう、あとで分かるようになるだろう、の気持ちがあるように思われる。

いずれにしても、「基本」をしっかりやること。生活においても、勉強においても。

成績評価の方法

成績は平常点。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎寿一郎 <small>おかざき としいちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

高山宏編注『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	かわ 川 股 陽太郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

IAを基礎として英語の運用能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教 科 書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	おが 岡 崎 寿一郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教 科 書

教養課程英語研究回編『精説高等英文法』(文化書房博文社)1400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	い 井 伊 順 彦	全学科3・4年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のうち、前の3つに重点を置いて、英語の実用能力を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、単語の並びかえとかたちで英作文能力の向上もめざす。

履修上の留意点

以上のような授業形態であるため、毎回なんらかのかたちで指名される諸君は半数以上になる。4年生に対しても、出席し、なおかつ活動することが大前提であると警告しておく。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

The Signs of the Times: America and Japan (日米カレント・トピックス)(朝日出版社)1,650円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	全学科3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	前期: 田中靖子 後期: 矢島直子	全学科3・4年	2

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、英語を書く力をさらにつけてもらいたいと思います。センテンスを書くだけでなく、パラグラフを書くことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくる。英語の文章を自分なりに書いた上で、授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おがさわら りゅう げん 小笠原 隆 元	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語学習歴が8～10年にもなる受講生の実力、意志伝達・運用能力の向上をめざしたい。日、英両語で自信を持って発言出来るように努めてほしい。

履修上の留意点

授業初回時に英語力実力考査を実施するので必ず辞書持参の事。さらに関連諸資料、提出物を配布するので、受講者は必ず出席する事。

成績評価の方法

単位認定は各人各様の事情もあろうが試験・出席点・提出物・授業への参加度等々の総合的評価で行う。

教科書

テキストはまず次のものを購入されたい。
『英語自己表現の基礎レッスン』(松柏社) 1,600円+税
◎他詳細は教場で順次示すので留意。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	こうちやま あり さ 河内山 有 佐	全学科3・4年	2

講義のねらい

スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。

講義の内容・
授業スケジュール

プレゼンテーション (Show & Tell) 教科書におけるダイアログの応用表現 ディスカッション

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション重視

教科書

EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお ふち とし はる 大 淵 利 春	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語ⅠAで学んだことを基礎として、英語による意志伝達能力の向上を目指す。

履修上の留意点

予習をしっかり行い、辞書を必ず持参するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容、授業態度などから総合的に評価します。

教科書

Beth Sides Now (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎 やまがし じろう	全学科3・4年	2

講義のねらい

カタログによれば本書は総合に区分されている。が、Exercisesもあり、これを利用して、英文を書くことに力点を置く。

こゝ十余年、ソ連邦の崩壊もあり東ヨーロッパは苦難の道を辿っている。西ヨーロッパもこれと直接又は間接的に係りながら、EUという大経済圏を目指して、努力を続けている。この現実を通観し、理解を深めると共に新しいヨーロッパの実状に触れたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、課題、テストなど総合的に評価する。

教科書

John H. Randle・辻 昌弘『*This is Europe* (新しいヨーロッパ)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	前期：岩井洋美 いいわ い ひろみ	国文・英米文・ 歴史3・4年	2
	後期：矢島直子 やしま なおこ		

科外国語

講義のねらい

大学1年で学んだ英語を基礎にして、英文を正確に読むこと、後には量を多く読むことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくること。ただ単語の意味を調べるだけでなく、文章の意味を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	池上賀英子 いけがみ かえこ	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

I Bの学習を基礎として英語の読解力を一層に質と量において、向上することを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎学力の習熟を主眼とし、英米を始めとする英語圏における英語を取り巻く文化的・社会的な背景の理解を学習していきます。適宜、視聴覚器材も使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教科書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	かわ て ひろ かず 川 手 浩 一	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

国際化が進展するにつれ、国外はもちろん国内においても外国人とのコミュニケーションを円滑に進めることが必要です。
言葉の問題もさることながら文化や価値観の違いがあります。おたがいの理解を深めることが必要です。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるがここでは主として読解力に主眼をおいている。

履修上の留意点

練習問題は Questions や Vocabulary に関するもの Idiom や Usage など多様である。

成績評価の方法

評価は出席、レポート、テストなど総合評価です。

教 科 書

『*Clearly Britain, Clearly Japan* ちょっとイギリス拝見』(南雲堂)

そ の 他

月曜日 4 時限

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	かわ て ひろ かず 川 手 浩 一	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれていては日常生活すらできなくなっている。特に英語は世界各地で使用されやすい言語として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼をおいている。又、重要な単語、イディオム、構文などをちりばめて、多様性にとんだ英文が学びとれるようにしてある。

履修上の留意点

練習問題は T-F Questions をはじめとして Vocabulary Quiz や Idiom and Usage など Completion Exercise も用意してあります。

成績評価の方法

評価は、出席とテストなど総合評価です。

教 科 書

『*Everyday Economics* (よくわかる経済英語)』(南雲堂) 1,800 円

そ の 他

月曜日 5 時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	は せ が わ こう いち 長谷川 公 一	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教 科 書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おちろ あいかず あき昭 落合和昭	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりである。）出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) *Phrasal Verbs* (オックスフォード大学出版局) 2,200円
- 2) 『話すための口語英語リスニング』(成美堂) 1,800円

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川股陽太郎	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

I Bを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわうち けんりゅう 河内賢隆	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

このクラスは3・4年生を対象とした再クラスなので、英語の苦手な諸君が多いと思われる。でも、我々の身近に迫った英語は何としても克服しなければならない。こゝで取り上げた英語は、我々の周辺で起きた、わかり易い記事である。授業の始めと終りにテープレコーダーを用いて耳の訓練も重視する。「努力なくして英語の上達はあり得ない」とにかく頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

出席点と発表点（通年3回以上）を重視する。前者30点、後者30点、それに前・後期の試験で評価する。

教科書

Mini World 2003 (マクミラン)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休職中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まさ くら さだ おと 笹 倉 貞 夫	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック (The Big Book of Amazing Facts)』(太陽社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	にし だ よし かず 西 田 義 和	国文・英米文・ 歴史3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的な幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき、文法をはじめ語彙など重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景等も重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未知の語句等があると思うが、文脈からそれらは容易に理解できよう。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が三分の一を越えた場合は不合格とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

上記で述べたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので受講者は必ず出席するように。

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	松岡晋 <small>まつおかすすむ</small>	全学科2・3・4年	2

科外国語
目録

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	織田繁美 <small>おだしげみ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法というと無味乾燥という印象が思い浮かぶかも知れない。そのため授業に出たくないという気持から、遅刻し、休みがちになるのかも知れない。最初の4~5回、夏休み後の2~3回、この弱い気持を封じ込めて授業に出席し、授業初めの説明30~40分静かに耳を傾け、その後の演習では自分に当たってなくても、2~3題は解いてみるという前向きの気持で授業に臨むようにすれば、授業も後半に入る頃には、ドイツ語のしっかりした基礎が身についていくのが実感できることと思う。

履修上の留意点

授業初めの説明は殊に大切なので遅刻しないこと。一回一回の授業内容が有機的な積み重ねになるので欠席しないこと。

成績評価の方法

演習で正解に達すると、その都度、出席簿にチェックされ、これが平常点として加味され、成績評価にかなりのウェイトが置かれる。これに前・後期末のテスト結果が成績評価に加わる。

教科書

高橋行徳著『わかり易いドイツ文法』（芸林書房）1,300円

参考書等

プリントを併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	ちも ずみ いさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、応用問題にその重点を置く。毎回、何等かの形で試験をして、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストに沿って、章ごとに進む。そして毎回小テストを行う。次の時間にそれを採点して返す。

履修上の留意点

この受講生は、成績よりも単に出席していなかったが故に単位を落としたのが殊勝な理由であろう。それ故に、毎回出席がまずその前提である。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、小テスト、それ採点を採点して返すという繰り返しである。それ故に、平常点はその基本となる。期末試験は行わない。

教科書

「わかって楽しいドイツ語」：在間進、三修社、2,200円

参考書等

初年度で使用したドイツ語辞書、教科書を持参のこと。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	い がらし のぶ こ 五十嵐 信子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできな一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	柴野 博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島 利彰 <small>のしまとしあき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な文章を読みながらドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題を毎回、提出宿題にします。文章の訳読は希望者に任せます。練習問題を解きながら授業を進めます。

履修上の留意点

宿題を提出することが大事です。

成績評価の方法

宿題を提出したか否か、出席が基準を満たしているか否か、と期末試験の成績で総合的に判断します。

教科書

在間／イエセル著『ヴェーラとヴェルナー』朝日出版 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	松岡 晋 <small>まつおかすすむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章（1～2ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か（新訂版）』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	杉本正俊 <small>すぎもと まさとし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

河合節子・林良子・四ツ谷亮子著『はじめてのドイツー使えるドイツ語表現』(改訂版)(三修社)

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	百済勇 <small>もも ずみ いさむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

既に10年以上、ドイツで最も重要な研究機関、「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこで欧州の学部学生、院生及び研究者の語学研修を身近に見ている。それを駒澤大学の学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に専門に目を向けること。それには語学の修得が前提となる。当然に数カ国語が必要だ。ここではドイツ語の履修だが、使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英語会話を併存させる。毎回の出席が前提。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、先ずは大切だ。毎回出席出来ない学生は履修しないこと。連絡を密にするために、メールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席を前提にしているが故に、学期全体の評価は平常点とする。その結果として学期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英語会話を中心にするが故に、その都度プリントで渡す。

参考書等

このクラスは、再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	国文・英米文・地理 ・歴史3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	本橋右京 <small>もとほしうきょう</small>	国文・英米文・地理 ・歴史3・4年	2

科外国語

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。

毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実にものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Schlecht&三宅 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	杉本正俊 <small>すぎもとまさとし</small>	国文・英米文・地理 ・歴史3・4年	2

講義のねらい

発音と初級文法を初めからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには、必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また、時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力が付くと思います。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教科書

小塩節『ドイツこころの旅』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

1991年以来ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしている。そこではドイツ以外の外国の学部学生、院生、研究者なども研修生として来ている。そこで共通する明白な問題意識は、学習、研究の目的、それに伴っての語学修得意識が強い事である。駒澤大学の学生にそうしたことを伝授すること。

講義の内容・
授業スケジュール

各学部の学生がいるが、それぞれ専門課程に進む。その為にこれまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

まずは、毎回出席することである。語学は反復練習のなにものでもない。そうした継続した学習態度を研鑽してもらう。連絡を密にするが、それにはメールを使う。

成績評価の方法

毎回の出席を前提としているが故に、学期全体の平常点で採点する。その結果として、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、教場でその都度プリンを配布する。

参考書等

再履修故に、既に購入したドイツ語辞書、また使用した「ドイツ文法書」を持参のこと。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこでの真摯な学部学生、院生、研究者達の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝習したい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、明確に自分の専門を履修する目的意識、その前提である外国語修得が必要だ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、まずは大切だ。毎回出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするためにメールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席が前提であるだけに、平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、その都度プリントを配布。

参考書等

このクラスは再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もとほしうきょう 本橋右京	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい	伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。
講義の内容・授業スケジュール	文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。
履修上の留意点	みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	未定

科外
国
目語

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や きたる</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の初級文法を学習します。

履修上の留意点 文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 山村他著『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	芦 原 峯 <small>あし はら げん</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書 『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小 玉 齊 夫 <small>こ たま なり お</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法 上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書 小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円

参考書等 辞書については、初めの授業時に、説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A 〔再クラス〕	は せ が わ み つ あ き 長谷川 光 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切に、基礎的な項目の修得を心掛けたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初歩的な読む・話す・書くが身につくよう反復練習を中心に授業を進めていく。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後2度の試験で評価する。

教 科 書

内藤陽哉・玉田健二『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点 単位習得の条件は4段階に分かれているが、いずれの条件も満たさない学生は理由の如何に関わらず、単位は出さない。出席とは漫然と教室に座っていることを意味しない。積極的に授業に参加しなければ、出席とは認めないから注意すること。

成績評価の方法 A) フランス語検定4級合格(6月11月実施:各自書店で申し込む。勉強方法は授業時間後に問い合わせること)
B) 『ふらんす夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+前・後期定期試験=200点以上
C) フランス語検定5級合格+『ふらんす語夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+後期定期試験=180点以上
D) 3/4以上の出席+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社)の実力テスト+前・後期定期試験

教科書 澤田直之『アミカルマン』(駿河台出版社)1,800円

参考書等 仏和辞典:『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い とう 伊 藤 なお	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いて実際の運用ができるようになることを目指します。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。

履修上の留意点 多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難も解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 前期・後期の試験、および平常点によって判定します。

教科書 藤田裕二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	たに かわ 谷 川 かおる	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的なフランス語に親しみつつ、基礎的な文法を最初からゆっくりにやり直す。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教 科 書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A 〔再クラス〕	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

科外
国語

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。

成績評価の方法

成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

澤田直之他著『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い——』（改訂版）（駿河台出版社）2002年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

クリスチャン・ボームルー著『セレクション・時事フランス語』（1997～2002）（朝日出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	谷川 かな なにかわ	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義のねらい

簡単なフランス語を読みながら、文法を基礎からやり直す。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、訳読など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。後期には、参加者と相談の上、より高度なフランス語の講読にもチャレンジしてもらう予定。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教科書

加藤晴久、一戸とおる『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』（朝日出版社）2200円＋税

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	前田 かのり まへだのかず	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法的理解を避け、やさしい物語を少しずつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れること、また日常的語法を習得してもらいます。

履修上の留意点

初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席また平常の課題なども考慮します。

教科書

数江編『続々・愉快的コント』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	沼倉 ひろこ ぬまくらひろこ	国文・歴史・13・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語（2003年版）』（朝日出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を再学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、視聴覚教材を用いながら各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科外
国
目語

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こう りん ひで もと</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『新版標準中国語 I』（白帝社）1,545円

科外 国 目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と ぼり よし かつ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ① 中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を学ぶ。
- ② 発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して行なう。
- ③ 基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験、期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記『中国語精選サラダ』（単語と基本文型）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま やすし 杉 山 静	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語 I の履修に不十分な人の為に中国語の基礎的なものを与える。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は中国語の最も重要で基礎的なものである発音を重点的に授業をする。発音第一主義から、基礎句型、常用語句の授業に入る。同時に、簡単な文法、句法の説明も行う。

履修上の留意点

中国語発音システムである「漢語拼音方案」の修得に力を注ぐべき。漢字の発音、読み方に留意し、日本漢字との異同を比較する。

成績評価の方法

出席を最重視するが、授業に臨む態度も真面目でなければならない。年間通じて四回の試験やテストがある。出席率とテストの成績を総合的に評価する。

教科書

杉山静編『中国語実験教材』（金安出版社）1,000円

参考書等

辞書は必要で、試験のときに使用を認める場合がある。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	あま の せつ 天 野 節	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語に興味を持ち、独習していけるようなきっかけを作りたい。

講義の内容・授業スケジュール

新出語句の発音と意味の確認。文法の説明と練習後、会話文の発音と意味を確かめて練習する。

履修上の留意点

予習、復習、必ず授業に出席。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。

教科書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

参考書等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点 最初の3、4回は中国語の発音をきちんと確認しながら進むので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、1回に1課のペースで進むが、学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
1時限の授業であるが、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法 前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書 関根謙著『基礎固め中国語』（同学社）1,800円

科外 国 目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくら ほ かず のり 櫻 庭 和 典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点 授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法 平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書 小川郁夫著『中国語初級対話 64』（白帝社）1,550円

参考書等 辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他 授業中の私語は厳禁とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい わ 曹 泰 和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	李 雲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	丁秀山・坂井ひとみ『やさしい入門中国語』（金星堂）2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。
講義の内容・授業スケジュール	最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。
履修上の留意点	前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。
成績評価の方法	前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。
教科書	相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円
参考書等	第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点	発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	年間4～5回のテストと平常点。出席は最重要。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。
教科書	楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ きょく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

学習者がすでに持っている貴重な中国語学習の経験を生かして、発音と文法の基礎を学び直す。また、語学の勉強を通して、異文化への理解及び関心を深める。

履修上の留意点

各学習者の事情に合った学習指導を行うため、以下の点を守ってほしい：①1回目の授業に必ず出席する；②その後の授業をやむを得ず欠席の場合、事前申請或いは事後報告が必要。

成績評価の方法

平常点（出席、宿題の状況によって採点）、小テスト、定期試験によって行う。

教科書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版 中国語はじめての一步』（白水社）2,200円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	弘 兼 加奈子 <small>ひろ かね かなこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

佐藤晴彦・玄幸子『私だけの中国語テキスト』（光生館）2,600円（予価）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	蘭 明 <small>らん めい</small>	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一月月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	り 李 うん 雲 李 雲	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

山下輝彦『中国語でコミュニケーション』（金星堂）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	あき もと たすく 秋 元 翼	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ペンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているので興味をそられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習、復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勸、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語－故事成語－』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>	国文・英米文・ 地理・歴史3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社） 2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	塩 旗 伸一郎 <small>しほ ぼた しんいちろう</small>	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

日常の中で中国語に触れる場面が当たり前となりつつある中、短文の大意を掴んだり簡略に意思を伝える文を書けることは、専攻を問わず有用な教養となり得る。この授業はそうした時代の要請に応えるコンピューターリテラシー（読み書き能力）の初歩的訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書以外に、中国の大学生との交友を想定した簡単な作文を2課ごとに作り、メールで提出する。

履修上の留意点

後期には習熟度に応じ、提携校である上海・華東師範大学の学生と通信を行う。生身の人間が相手である。真剣に取り組んでほしい。

成績評価の方法

前・後期ともに宿題の評価を積算し、欠席点を減じる。欠席は3回目から10点ずつ減とし、遅刻2回で欠席1回と数える。

教科書

董燕・遠藤光暁『インターネットで中国語』（三修社）2,600円

参考書等

辞書は小学館または講談社の『中日辞典』（共に第2版）および小学館『日中辞典』（第2版）を推奨する。極端に薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安易な辞書は役に立たない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	李 雲 <small>り 雲</small>	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

千鳥英一『楽しく話そう中国語』（金星堂）2,000円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん 蘭 めい 明	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社）2,500円

科外
国
目語

[スペイン語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点 最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法 前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書 宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

科外国語

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点 予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法 数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書 寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等 辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

江澤照美『パン ア パン』（同学社）2,700円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おま の めぐみ 荻 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下記テキストを使用し、単身赴任中の父親が暮らすバルセロナにサッカー留学をする太郎君のストーリーを通じて、接続法・現在までの文法事項を整理しながら学習すると共に、日常の会話表現やリスニングにも慣れていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの第1課から第7課、後期は第8課から第12課まで進む予定である。又、各課の理解度に応じ、適宜プリントを配布する。

履修上の留意点

毎回、必ず予復習を心掛け、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

小池・上野『スペイン語を学びましょう』（朝日出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎの まさじ 萩野 雅 司	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語を通して、スペインのみならず、日本では、ともすると遠く、縁のうすいと思われるがちな中南米の文化にも親しむ機会を持つことを狙いとする。

講義の内容・
授業スケジュール

過去に学んだ事を今一度根本から見直して、スペイン語の基礎を習得する。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行うが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くともテストの結果のみによってこれを行わない。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。

教 科 書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本 久美子	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いた いた 大 岩 功	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎文法を復習した後、直説法未来、現在完了、過去、未来完了、過去完了更に接続法の用法を学習し、より複雑な構文が理解できるように指導する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

参考書等

最初の授業で指示する

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひて やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

科外国語

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをすることができるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）定価未定

参考書等

〔露和辞典〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安 徳 ニーナ <small>あん とく にーな</small>	全学科2・3・4年	2

科外
国
目
語

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	国・英・文・地・理・歴・社3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし あきと 林 明 人	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから観賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえだ おさむ 前 田 脩	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめにイギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませす。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教科書

- (1) 『イギリス庭園物語』（南雲堂）1,200円
- (2) コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	よこ 横 ちり 森 まま 正 ひこ 彦	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	4

講義のねらい 多読を行い、その内容を理解することを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール 前期1編、後期1編、約100ページ以内の小説を取り上げて読み進めていきたい。

履修上の留意点 十分予習を行い、授業に参加して下さい。

成績評価の方法 授業態度(発表など)、テスト100点、レポート100点、欠席1回4点減点などを総合して評価します。

教科書 *The Woman in White, Wilkie Collin* (南雲堂フェニックス) 1,200円+税

参考書等 授業時に紹介します。

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	なげ 竹 むら 村 えつこ 恵都子	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	4

講義のねらい 今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十分な予習を望みます。

成績評価の方法 評価は前期・後期の試験を主とし、平常点(授業態度・発表も含む)、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書 馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition* (時事英語 - 2002/2003年度版)』(成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし 林 あき 明 と 人	文学部(英米文学科除く)1・2・3・4選	4

講義のねらい CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法 試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書 教員が作成したものを用います。

参考書等 *Sanseido's Dictionary of News English* (三省堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	かわ うち けん りゆう 河 内 賢 隆	文学部(英米文学科 除く)1・2・3・4選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教 科 書

『時事英語 2002/2003』(成美堂)

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	おち あい かず あき 落 合 和 昭	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的な演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%(ヒヤリングが20%、会話英作文が20%)、課題・授業中の発表・小テスト等が60%(課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てようとする)。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1)『口語英語の基本的総合演習』(鶴見書店)1,442円
- 2)『Idioms』(オックスフォード大学出版局)2,200円
- 3)『グッド・ウィル・ハンティング』(松柏社)1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理)を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット(マルチメディア)の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方

方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらおう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

科外
国
語

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

科外
国
語

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.
 To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.
 To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

科外
国
語

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエイド, D. A.	全学科2・3・4選	2

講義の内容・ 授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

外国
語

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
25% attendance
25% presentations
50% participation and contribution to discussions.

参考書等

Reference Books Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まよ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材
テキストは未定

科外国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのもので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC, TOEFL のテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
6月と7月第1週: TOEICスコア700程度を目指した聞き取り練習(添削指導)。
7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
最終授業日: テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができると確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教 科 書

LL事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参 考 書 等

教場で指示します。

科外
国
語

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	岸 ^{まし} 本 ^{もと} 茂 ^{しげ} 和 ^{かず}	全学科2・3・4選	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

前授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。

教 科 書

開講時に指示する。

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	久 ^く 保 ^ほ ひさ子 ^こ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

natives の lecture が聞きとれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

workbook になっている text を、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々 announcement を各一回、dedate を各一回、参加すること。

履修上の留意点

LL class は、本来、laboratory による practical training のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50%

教 科 書

Michigan Action English Step 6 (World Times Japan)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC 900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。

使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科外
国
語
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	まつおかすすむ 松岡晋	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

ある程度以上の内容を備えたドイツ語の文章を読むことによって、ドイツ語圏の政治、社会、文化にかんする知識を得ることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教材は、授業担当者が選んだ数点のなかから受講者の希望に合わせて、最初の時間内に決定する予定であります。選ばれたテキストを訳読することが中心となりますので、毎回、予習すること、および疑問点を明確にしておくことが求められます。

履修上の留意点

外国語の原テキストを読むことは、誰にとっても簡単なことではありません。ともかく、ねばり強く、独話辞典とほぼ毎回配布される説明コピーを参照しつつ、一年間頑張ってくださいることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低限2回以上行われる筆記試験に平常点を加味して行うつもりです。くれぐれも定期的出席を！

教 科 書

コピーで配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰 <small>のしまとしあき</small>	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

ドイツでは環境政党である「緑の党」が政権に参加し、環境問題と自然保護、そして動物保護に積極的に取り組んでいます。環境問題先進国であるドイツの状況を知り、日本を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

日本の新聞で環境問題・動物保護についてよく読むことが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	栗原万修 <small>くりはらかずのぶ</small>	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉強経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	小林ゲアリンデ <small>こばやし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 LL II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	^{くり} 栗原 ^{はら} 万 ^{かず} ^{のぶ} 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法(14課)』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	^お 織田 ^だ ^{しげ} ^み 美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位いまで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちほだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位いを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett社) 3,580円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ(選)	もも ずみ います 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参考書等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

科外国語目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語外国書講読	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

2年次までに学習した文法の知識・語彙・読解力を生かし、かつさらに深めながら、きちんとしたフランス語の文章を熟読すること。

講義の内容・授業スケジュール

フランス現代作家の読み易い短篇小説からはじめて、少しずつ程度の高い作品に挑戦していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。自分で読み解くことが大切です。一人だちのためにも。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定しています。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

ル・クレジオの『樹の国への旅』から読みはじめますが、教材はこちらで用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事フランス語	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

フランス(語圏)社会の状況や動きを、フランスのTVニュースをとおして垣間見ること。同時に新聞記事の読解。

講義の内容・授業スケジュール

TVニュースを聴き取ることは至難のわざですが、文字に書き落としたものを配布しますから、まずは(新聞記事とともに)読む練習から。1年の終わりには少しは聴き取れるようになって欲しいと思います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。解説を聞きに来るのではなく、自分で読み、発音し、できれば聴いてみるのが大切です。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定していますが、参加者の人数によっては口述方式に変更するかもしれません。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

そのつどプリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小 ^こ 玉 ^{だま} 齋 ^{なり} 夫 ^お	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

カルトン・西 著 「資料で読み解くフランス語」(第三書房) 1,800円

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} 、M.	文学部全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
上記の教材をコピーして学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

小倉孝誠、小倉和子著『エメ・ヴ・ラ・フランス?』（第三書房）

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	長谷川光明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田禮彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。

講義の内容・授業スケジュール

発音・文法についてもしっかり確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語外国書講読	佐藤 普美子	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科外
国
語
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事中国語	塩旗 伸一郎	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取。

参考書等

辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社 or 小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらよりはるかに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

その他

教場は総合情報センター。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 中 国 語	かま 釜 屋 おさむ 修	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい	今年度は長文解釈力の向上を目標とし、短篇小説、ショート・ショート、随筆等を取りあげる。
講義の内容・ 授業スケジュール	受講者が分担して、朗読・翻訳を行い、現代中国の社会、人間の生きざま等についての理解を深める。
履修上の留意点	きちんと出席し、予習をすること、積極的に作品と向きあって考えること。
成績評価の方法	読解能力、発音と口頭表現の技術を重視する。出席状況、期末試験の成績とあわせ評価。
教 科 書	釜屋修・王廼珍『北京文学小景』（三修社）1,400円
参 考 書 等	中辞典以上の辞典をもつことが望ましいが、開講後に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L I	さ 佐 藤 ふみこ 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。
履修上の留意点	予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。
成績評価の方法	平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。
教 科 書	楊達他『音で覚える中国語会話特訓』（同学社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L II	お 小 川 たかし 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。
履修上の留意点	短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。
成績評価の方法	出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。
教 科 書	楊凱栄『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	らん 明	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の1ヶ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』(北京篇1)(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	かき や おさむ 釜屋 修	全学科1・2・3・4選	2

科外
国
目語

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A (選)とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごろの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、(白帝社)2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつ もと あつ とし 松本 丁俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』(好文出版)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語外国書講読	ま 下 祐 一 真 下 祐 一	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで多岐にわたる分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。「困難なものほど刺激的だ」とキューバの詩人J・レサマ・リマは言っています。

講義の内容・授業スケジュール

現代のスペイン語文に親んでもらうため、できるだけ多くのテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。

履修上の留意点

個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけて講読が行えるようテキストの選定にあたります。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加を評価します。

教科書

初回の授業で受講者と話し合って決定します。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

インターネットを通じて入手できる最新のニュース記事を中心に、生きのいいマスコミのスペイン語を講読します。受講者が辞書を使いながら独力で内容を理解できるよう、時事文の特徴や表現法を体得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

最初は短くわかりやすい記事からゆっくり丁寧に読みはじめます。慣れてきたら徐々にスピードを上げて、この種の文章に対して必要な多読速読ができるように進めてゆきます。

履修上の留意点

受講者は毎回指名され、記事の訳読や内容に関する質問を受けます。予習を怠らず出席することが重要です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験やレポートは課しません。

教科書

コンピュータおよびプリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限上げるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験・レポートは課しません。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科 2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español
 テキスト及び VTR 教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科 2・3・4選	2

科外国語

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

成績評価の方法

『*Viaje al español* 上級編』
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	なか がわ 中 川 清	全学科 1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 II (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

科外国語
目語

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接していきます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤攻美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教 科 書

プリント配布

そ の 他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	文学部全学科3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	文学部全学科3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	安徳 二一	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L II	あん 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明 きむら ひであき	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 II (選)	安徳二一ナ あん とく	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I で学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS WE SPEAK IT* (ナウカ社)

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A	宋美玲	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	宋美玲	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

科外
国
目語

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口淳一〉	269
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・磯崎優子〉	270
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤政之・山口良博〉	271
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之・森本葵〉	272
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	273
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	274
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田幸夫〉	275
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈舘岡儀秋・森本葵〉	276
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	277
健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	〈磯崎優子〉	278
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	279
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴木淳平〉	280
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石武士〉	280
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(サッカー)	〈秋田浩一〉	281
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(卓球)	〈川村正義〉	282
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ゴルフ)	〈鈴木淳平〉	283
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(空手道)	〈高橋俊介〉	284
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(バドミントン)	〈牧野茂〉	285
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ソフトボール)	〈山口良博〉	286
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(室内球技)	〈鈴木淳平〉	287
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／基礎(簡化太極拳)	〈大石武士〉	288
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／基礎(バドミントン)	〈長濱友雄〉	289
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／基礎(室内球技)	〈鈴木淳平〉	289
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／基礎(卓球)	〈牧野茂〉	290
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／基礎(バスケットボール)	〈牧野茂〉	291
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用(簡化太極拳)	〈大石武士〉	292
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用(ニュースポーツ)	〈大石武士〉	293
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用(バドミントン)	〈長濱友雄〉	294
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用(室内球技)	〈鈴木淳平〉	295

生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用（バドミントン）	〈鈴木 淳 平〉	295
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用（卓球）	〈牧 野 茂〉	296
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用（バスケットボール）	〈牧 野 茂〉	297
生涯スポーツ実習（集中前期）（テニス集中）	〈江 口 淳 一〉	298
生涯スポーツ実習（集中後期）（テニス集中）	〈江 口 淳 一〉	299
生涯スポーツ実習（集中後期）（ゴルフ集中）	〈三 幣 晴 三〉	300
生涯スポーツ実習（シーズン前期）（ゴルフ）	〈竹田幸夫 他〉	301
生涯スポーツ演習（シーズン後期）（スキー・スノーボード）	〈佐藤政之 他〉	302
健康・スポーツ論 1	〈佐 藤 政 之〉	303
健康・スポーツ論 1	〈森 本 葵〉	304
健康・スポーツ論 2	〈大 石 武 士〉	305
健康・スポーツ論 2	〈川 村 正 義〉	306
健康・スポーツ論 2	〈牧 野 茂〉	307

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (国文)		2 時限 (英米文・地理)		3 時限 (歴史・社会・心理)	
月 曜 日	※竹田	体操	※江口	テニス	※館岡	ゴルフ
	高橋	空手道	竹田	体操・トランポリン	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ	光永	トレーニング	竹田	体操・トランポリン
	光永	トレーニング	森本	ゴルフ	光永	トレーニング
	山口	卓球	川村	室内球技	山口	卓球
	川村	室内球技	佐藤	卓球	森本	ジョギング
	佐藤	ジョギング	高橋	空手	江口	テニス
	鈴木	ソフトボール	鈴木	ソフトボール	鈴木	ソフトボール
	磯崎	フリーダンス	磯崎	フリーダンス	磯崎	室内球技

※は、科目の主担当者

科保健
目体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日			
1 時限								
2 時限	長	大	前期・基礎	鈴	牧	前期・応用		
			バドミントン			ニュースポーツ※	卓球	
	濱		後期・基礎			後期・応用	野	後期・応用
			バドミントン			ニュースポーツ※	卓球	野
3 時限	長	大	前期・基礎	木	牧	前期・基礎		
			バドミントン			簡化太極拳※	室内球技	野
	濱		後期・基礎			後期・応用	野	後期・基礎
			バドミントン			簡化太極拳※	室内球技	野
4 時限	大	石	前期・基礎	木	鈴	前期・応用		
			簡化太極拳※			室内球技	野	バドミントン
	石		後期・基礎			後期・応用	野	後期・応用
			簡化太極拳※			室内球技	野	バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科
目
保
健
体
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (テニス)	江口 淳一 <small>えぐち じゆんいち</small>	文学部(国文学 科除く)1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

科保健
目体育

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし いそざき ゆうこ 川村 正義・磯崎 優子	文学部全学科1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さしづ まさゆき やまくち よしひろ 佐藤 政之・山口 良博	文学部全学科1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さとう まさゆき もりもと まもる 佐藤 政之・森本 葵	国文・歴史・社会・ 福祉・心理1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

保 科
健 体
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	すずき じゆん べい 鈴木 淳 平	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10 時限目：試合(勝ち点制)
- 11 時限目： 〃
- 12 時限目： 〃
- 13 時限目： 〃
- 14 時限目： 〃
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科保健
 目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか 高 橋 俊 介 しゆん すけ	文学部全学科1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	文学部全学科1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか よしあき もりもと まもる 館岡 儀秋・森本 葵	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (バッティング)・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習 (バッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点 70%・実技点 (実技テストを含む) 30% の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	文学部全学科1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

科 保
健 健
目 目
体 体
育 育

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容(毎時間記録をする)、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法(単独法、対人法)などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (フリーダンス)	いそ ざき ゆう こと 磯 崎 優 子	国文・英米文・ 地文・環境1必	2

講義のねらい

ダンスは古代の宗教舞踊に始まり、近世におけるバレエの発展を経て、現代では自由な身体表現を目指し、踊り楽しむものとして発展している。「ジャズダンス」・「HIPHOP」・「HOUSE」など、現代の舞踊のジャンルは多く、高度に発達すると、人々の鑑賞の対象となり芸術になった。この講義を通じて、簡単な基本運動や筋力トレーニングから少し難しいテクニックまでを身につけ、芸術スポーツとして踊り楽しんでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時間目
- 3 時間目 ・ストレッチ1（準備運動）
- 4 時間目 ・基本動作1（クラシックバレエ含む）
- 5 時間目 ・筋力トレーニング（腹筋や腕立て伏せ）
- 6 時間目 ・ストレッチ2（柔軟）
- 7 時間目 ・基本動作2（肩・胸・腰など自在に動かす訓練）
- 8 時間目 ・いろいろなステップ
- 9 時間目 ・コンビネーション（毎回異なったショートダンス）
- 10 時間目
- 11 時間目 上記の順番で毎回すすめていく。
- 12 時間目
- 13 時間目：発表会用の振り付け
- 14 時間目： /
- 15 時間目：発表会と評価

保科
健
体
育
目

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウエアとジャズシューズ又は室内用スニーカーを用意すること。
(裸足やソックスでは滑るので危険。)

成績評価の方法

毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は最後の発表会で個人点とグループ点の両方で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>たなか よしたか ながはま ともお</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃 (ゲーム)
- 13 時限目：〃 (ゲーム)
- 14 時限目：〃 (ゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

保健
体育
目

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき しゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき いた こう いち 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け
- 1日目午後： ♪
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
- 5日目午前： ♪
- 5日目午後： ♪

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4日目午前：ダブルスゲーム。
- 4日目午後：ダブルスゲーム。
- 5日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(ゴルフ)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目：オリエンテーション
グリップ、アドレス、スイング
打撃練習 (7・9 アイアン)
- 2 日目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
打撃練習 (5 アイアン)
打撃練習 (5 アイアン)
- 3 日目：打撃練習 (W 1・W 3)
打撃練習 (W 1・W 3)
打撃練習 (アプローチ)
打撃練習 (アプローチ)
- 4 日目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
ラウンド (模擬コース)
- 5 日目：ラウンド (模擬コース)
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点 70%・実技点 (実技テストを含む) 30% の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保
健
体
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(空手道)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：『生涯スポーツ実習』と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(バドミントン)	まきの野 <small>の</small> <small>しげる</small> 牧 野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1 日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2 日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3 日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3 日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4 日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

科 保
健 健
目 体
育 育

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
第4日目 午前：〃
午後：〃
第5日目 午前：〃
午後：〃

科 保
健 体 育
目

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	オズキ ジュン 平 鈴木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素（体力的・技術的）を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) 大石 武 士 (後期・基礎) (簡化太極拳)	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが ほま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 - 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 - 4 時限目：反面での簡易ゲーム
 - 5 時限目：〃
 - 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 - 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 - 8 時限目：
- 10時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

科 保
健 体
育

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き しゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (室内球技)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しげる茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓球)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7時限目：シングルスゲームの練習
- 8時限目：}
- 9時限目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10時限目：}
- 11時限目：}
- 12時限目：}
- 13時限目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 14時限目：}
- 15時限目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まき の 野 しげる 牧	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

科 保
健 体
目 育

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿掌・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・取勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

保 科
健 健
体 育
目

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

科 保
健 体
目 育

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
4時限目：総合練習
5時限目：総合練習
6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
10時限目： }
11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
15時限目： }

保 科
健
体
育
目

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず ぎ じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず ぎ じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

科 保
健 体
育

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： } 総合練習・ダブルゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は手軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しのぶ 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目：
 - } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目：
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目：
 - } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目：
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まさきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

保健体育目

講義の内容・
授業スケジュール

1日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
3日目午後： (戦術と応用)
4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
5日目午前：トーナメント形式の試合
5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日(金)～22日(火)
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限 (前期)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐち しゆんいち 江口 淳一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド・グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み め さ はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成 15 年 12 月 21 日（日）～25 日（木）
12 月 21 日更衣の上、午前 10 時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000 円程度必要である。
- (5) 定 員：40 名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4 時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだ ゆきお 他 竹田幸夫他	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
 - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

保健
体育
目
育

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 3) 定 員：30名
- 4) 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 5) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 6) 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	佐 藤 政 之 他 <small>さとう まさゆき</small>	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(前期)	佐藤政之	国文・英米文・ 地文・環境1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 ♪：♪（食生活と栄養）
- 4 ♪：♪（運動不足と成人病）
- 5 ♪：♪（平均余命と寿命の伸び）
- 6 ♪：♪（健康のための生活習慣）
- 7 ♪：♪（喫煙・飲酒）
- 8 ♪：♪（ストレス社会と健康障害）
- 9 ♪：♪（ストレスと健康測定）
- 10 ♪：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 ♪：♪（スポーツマンのトレーニング）
- 12 ♪：♪（スポーツマンの運動処方）
- 13 ♪：♪（スポーツ医学の一般知識）
- 14 ♪：♪（スポーツと環境・条件）
- 15 ♪：まとめ

科 保健
目 体育

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	もりもと まもる 森 本 葵	歴史・社会・福祉・心理1選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。また、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈体力づくり〉
- 1 時限目：体力のメカニズム
 - 2 時限目：若年時に於ける体力づくりの必要性
 - 3 時限目： } 筋力
 - } 体力づくりの方法 持久力
 - 7 時限目： } 調整力
 - 8 時限目：体力と疲労
 - 9 時限目： 〃
 - 10 時限目：疲労の判定法
 - 11 時限目： 〃
- 〈近代オリンピック〉
- 12 時限目：近代オリンピックの歴史
 - 13 時限目： 〃 の問題点
 - 14 時限目： 〃 の将来展望
 - 15 時限目：テスト

保 科
健 体
育 目

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

- 『保健体育理論』(科学書院)
- 『スポーツトレーナー教本』(日本体育協会)
- 『スポーツとからだ』(岩波書店)
- 『オリンピックの回想』(B・Bマガジン社)

そ の 他

レポート提出・ビデオによる講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14時限目：体力について
- 15時限目：テスト

科保健
目体育

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700 円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700 円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	かわむらまさよし 川村正義	全学科選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを念頭に、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。そして今から「知識」と「態度」が運動して成り立つ「行動」を起こしてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目 講義のねらいと内容説明
- 2 時 限 目 健康や体力と考え方
- 3 時 限 目 運動・スポーツの実施の意義
- 4 時 限 目 ・生物学的意義
- 5 時 限 目 ・社会的意義
- 6 時 限 目 ・教育学的意義
- 7 時 限 目 健康と体力の現状
- 8 時 限 目 運動・スポーツの実践
- 9 時 限 目 ・運動の仕組み ・運動技能
- 10 時 限 目 ・トレーニング方法と障害
- 11 時 限 目 ・体力測定と評価方法
- 12 時 限 目 運動・スポーツ実施の効果
- 13 時 限 目 ・身体的効果 ・身体の発達成長
- 14 時 限 目 ・心理的効果 ・生活習慣病の改善
- 15 時 限 目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

数回の小テストを行う予定

成績評価の方法

定期試験と受講態度を加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

参 考 書 等

- 『健康・体力のための運動生理学』（杏林書院）
- 『健康と運動の科学』（大修館書店）
- 『スポーツと寿命』（朝倉書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1700円
他は、講義のなかで紹介する。

科
保
健
体
育
目

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 学 科



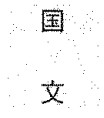
国

文

II. 專門教育科目

(1) 国文学科

基礎国語学	〈三澤成博〉	315
基礎国語学	〈鈴木功眞〉	315
基礎国文学 I	〈近衛典子〉	316
基礎国文学 I	〈櫻井陽子〉	316
基礎国文学 I	〈田中徳定〉	316
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	317
基礎国文学 II	〈高田知波〉	317
基礎国文学 II	〈勝原晴希〉	318
漢文学	〈今浜通隆〉	318
国語学概論	〈木村晟〉	319
国文学概論	〈小野寛〉	319
国文学史 I (古典)	〈櫻井陽子〉	320
国文学史 I (古典)	〈林達也〉	320
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	321
国文学史 II (近現代)	〈勝原晴希〉	321
国語史	〈豊澤弘伸〉	322
国語学史	〈休講〉	
国語学研究 I	〈木村晟〉	322
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈小野寛〉	323
上代文学研究 II	〈神野志隆光〉	323
中古文学研究 I	〈松岡智之〉	324
中古文学研究 II	〈休講〉	
中世文学研究 I	〈武田昌憲〉	324
中世文学研究 II	〈田中徳定〉	325
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	325
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈休講〉	
近代文学研究 II	〈高田知波〉	326
国語学特講 I	〈三澤成博〉	326
国語学特講 II	〈豊澤弘伸〉	327
国文学特講 I	〈遠藤宏〉	327
国文学特講 II	〈中村文〉	328
国文学特講 III	〈今村修〉	328
国文学特講 IV	〈田口和夫〉	329
国文学特講 V	〈渡辺千明〉	329
国文学特講 VI	〈津島知明〉	330
国文学特講 VII	〈津島知明〉	330
国文学特講 VIII	〈篠原進〉	331
国文学特講 IX	〈中村三代司〉	331
国文学特講 X	〈休講〉	
国文学特講 XI	〈榎本正樹〉	332
国語国文学演習 I [平成13年度以前入学生:国語学演習 I]	〈木村晟〉	332
国語国文学演習 I [平成13年度以前入学生:国文学演習 I]	〈小野寛〉	333



国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈高橋文二〉	…	333
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈松岡智之〉	…	333
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈立石和弘〉	…	334
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈櫻井陽子〉	…	334
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈田中徳定〉	…	335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈林達也〉	…	335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈近衛典子〉	…	336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈岡田豊〉	…	336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈勝原晴希〉	…	337
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈高田知波〉	…	337
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕〈中村三代司〉	…	338
国語学演習Ⅱ〈木村晟〉	…	338
国文学演習Ⅱ〈小野寛〉	…	339
国文学演習Ⅱ〈高橋文二〉	…	339
国文学演習Ⅱ〈立石和弘〉	…	339
国文学演習Ⅱ〈植田恭代〉	…	340
国文学演習Ⅱ〈櫻井陽子〉	…	340
国文学演習Ⅱ〈田中徳定〉	…	341
国文学演習Ⅱ〈林達也〉	…	341
国文学演習Ⅱ〈近衛典子〉	…	342
国文学演習Ⅱ〈岡田豊〉	…	342
国文学演習Ⅱ〈勝原晴希〉	…	343
国文学演習Ⅱ〈高田知波〉	…	343
国語学演習Ⅲ〈木村晟〉	…	344
国文学演習Ⅲ〈小野寛〉	…	344
国文学演習Ⅲ〈高橋文二〉	…	344
国文学演習Ⅲ〈植田恭代〉	…	345
国文学演習Ⅲ〈櫻井陽子〉	…	345
国文学演習Ⅲ〈田中徳定〉	…	345
国文学演習Ⅲ〈近衛典子〉	…	346
国文学演習Ⅲ〈林達也〉	…	346
国文学演習Ⅲ〈岡田豊〉	…	347
国文学演習Ⅲ〈高田知波〉	…	347
国文学演習Ⅲ〈勝原晴希〉	…	348
国語学演習Ⅳ〈木村晟〉	…	348
国文学演習Ⅳ〈小野寛〉	…	348
国文学演習Ⅳ〈高橋文二〉	…	349
国文学演習Ⅳ〈植田恭代〉	…	349
国文学演習Ⅳ〈櫻井陽子〉	…	349
国文学演習Ⅳ〈田中徳定〉	…	350
国文学演習Ⅳ〈林達也〉	…	350
国文学演習Ⅳ〈近衛典子〉	…	350
国文学演習Ⅳ〈岡田豊〉	…	350
国文学演習Ⅳ〈高田知波〉	…	351
国文学演習Ⅳ〈勝原晴希〉	…	351
国文学演習Ⅳ〈田熊信之〉	…	351
中比国文学校〈満谷マーガレット〉	…	352
児較文学校〈国松俊英〉	…	352
有童文学校〈近藤好和〉	…	353

日	本	民	俗	学	〈谷	口	貢	353
民	間	信	仰	論	〈谷	口	貢	354
日	本	史	概	I	〈松	本	信	354
日	本	史	概	II	〈佐	藤	元	355
日	本	文	化	I	〈吉	田	政	355
日	本	文	化	II	〈休	講	〉	
仏	教	概	論	〈古	津	宜	英	356
東	洋	思	想	史	〈末	木	恭	357
西	洋	思	想	史	〈柴	野	博	357
美	術	史	概	説	〈北	野	良	357
演	劇	概	論	〈阿	部	由	香	358
書	道	概	論	〈金	子	卓	義	358
書	道	道	史	〈那	須	隆	吉	358
書	道	道	I	〈金	子	卓	義	359
書	道	道	II	〈那	須	隆	吉	359
書	道	道	III	〈那	須	隆	吉	359
編	集	実	務	〈長	谷	川	孝	360

國

文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国語学	三澤成博	国文1必	4

講義のねらい 文法を中心に音韻、文字など国語に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 動詞の分類・形容詞、形容動詞
- 2 仮名遣い・音韻・アクセント
- 3 文の構造
- 4 言語生活

履修上の留意点 ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておく。

成績評価の方法 定期試験を基本とし、レポート・出席等を参考資料とする。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 『国語学研究法』（武蔵野書院） 築島裕『国語学』（東京大学出版会） 『国語学研究事典』（明治書院） 『日本語文法大辞典』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国語学	鈴木功真	国文1必	4

講義のねらい 国語・国文学を研究する上で避けて通ることができない国語学に関する基礎的な知識を、文法を中心として修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 高校で修得した古典文法についての再確認を行なう。

〔後期〕

2. 構文論について。
3. いわゆる「学校文法」以外の文法研究について。
4. 現代語、口語の文法について。

履修上の留意点 ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておくこと。

成績評価の方法 定期試験を行なう。また、出席やレポート、小テストや課題等も重視し、相互評価を行なう。

教科書 和田利政・森 昇・岡崎正継著『国文法要説 文語篇』（おうふう）1,500円

参考書等 山口秋穂・秋本守英編『日本語文法大辞典』（明治書院）
松村 明編『日本文法大辞典』（明治書院）
国語学会編『国語学大辞典』（東京堂）
佐藤喜代治編『国語学研究事典』（明治書院）
国語学会編『国語学辞典』（東京堂）

その他 なし

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	このえのりこ 近衛典子	国文1必	4

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	さくらいようこ 櫻井陽子	国文1必	4

講義のねらい

古典文学作品に具体的に触れながら、本文読解の基礎的方法を学ぶ。また、作品のジャンルによる特性の相違を意識化させながら、文学研究とは何を指すのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

中世文学に登場する人物（実在、架空を問わず）の文学的形象を追うことから、様々に描かれる具体相を、時代やジャンルにまたがって読み進める。その中から、時代の中で生きていく文学の様態を考える。

履修上の留意点

出席をし、積極的に発言をして授業に参加すること。欠席の重なる場合には評価の対象としない。

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験（前期・後期）によって、総合的に評価する。

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	たなかのりさだ 田中徳定	国文1必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行なう小テスト、前期末に課すレポート、年度末に課すレポートの総合評価。

教科書

その都度、プリントを配布する。

参考書等

授業中に随時指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	岡田 豊 <small>おか だ 豊</small>	国文1必	4

講義のねらい

作品を具体的に読み進めながら、日本の近現代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比して、言語上の障害が少ない近現代の小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等々の問題に向かって進み、近代文学研究の基礎を固め、次年度以降の演習科目(自主的な研究発表の授業)へのスムーズな接続ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

明治から現代までの間に発表された代表作や問題作をいくつか取り上げて読んでみる。作家としては、泉鏡花・芥川龍之介・川端康成・吉本ばななである。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。

履修上の留意点

テキストを各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加してほしい。そして、こんな考え方があるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めていってほしい。出席を重要視する。初回の授業時に示す回数を超過した者は、定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。筆記試験のみで成績を出すのではなく、トータルにながめたうえで判定する。

教科書

芥川龍之介『杜子春・南京の基督』、吉本ばなな『キッチン』(いずれも角川文庫)、川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	高田 知波 <small>たか だ ち なみ</small>	国文1必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨牀的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というもの存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだということを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』(新潮文庫) 森 鷗外『阿部一族・舞姫』(新潮文庫) 川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	かつ ばら はる き 勝原晴希	国文1必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使つてのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
漢文学	いま はま みち たか 今浜通隆	国文1必	4

講義のねらい

現存する中国最古の小説集と言われる『世説新語』について講義し、その文学性について言及し、漢文訓読の能力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

中国六朝時代の宋朝の劉義慶（403-444）の手になったとされる『世説新語』という文学作品について、その書誌・注釈書・日本文学への影響などについて、まずは概観する。また、その前段階で、同書が「小説」のジャンルに分類されていることから、中国および日本の古代の人々にとって、「小説」とはどのようなものと認識され、どのような価値観を持つものと意識されていたのかを論ずることとする。さらに、同上書はわが平安朝に早くから将来され、日本文学に大きな影響を与えたとされているが、その軌跡を具体的に見ていくことも本授業の重要な眼目としたい。以上の概説を終えてから、テキストを漢文訓読法によって実際に読み進めることになる。

履修上の留意点

教材は中国で出版された『世説新語校箋』をプリントして各自に配付する。各自はその原文に返り点や送りがな等を入れる作業を進めることになる。授業には漢和辞典を必ず持参のこと。予習も必要となる。

成績評価の方法

前・後期の定期試験の成績のほかに、レポートの提出、出席率を重視する。

教科書

随時プリントを配付。

参考書等

授業中に必要に応じて指定。

その他

授業への積極的な参加を要望する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学概論	木村 晟 <small>きむら あきら</small>	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くある。しかし、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説するとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4月～9月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。
後期（10月～1月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験とレポートを課し、総合評価する。

教科書

福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）1,200円

参考書等

橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）
時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）
山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

その他

その他各項目毎に参考書等を授業中に紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	小野 寛 <small>おの ひろし</small>	国文1・2必	4

講義のねらい

日本文学とは何か。日本文学についてどんなことがわかっているか。日本文学研究の方法とその歴史はどんなものであるか。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、日本文学の発生から、その成長・変遷・展開・発展をテキストによって解説し、その種類（ジャンル）と時代区分を考える。
後期は、文献学・文芸学・歴史社会学・民俗学・比較文学研究等、日本文学研究の方法とその問題をテキストに沿って講義する。

履修上の留意点

講義は毎時間、新しいもので、必ず前回の講義を踏まえて今日の講義があり、今日の講義を踏まえて次回の講義はあるのだから、必ず出席し、ひたすらノートをとること。毎時、簡単なレポートを書かせるかも知れない。

成績評価の方法

時々のレポートと、学年末の筆記試験によって評価する。

教科書

山岸徳平編『日本文学研究のために』（新典社）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史 I (古典)	さくら い よう こ 櫻井陽子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目に従って適宜講ずる。本年度は特に13世紀以降を中心とする。具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。

- 1) 中世はいつから始まるのか。中世という時代の特徴と文学との関係
- 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開 (和歌・日記・随筆)
- 3) 花開くジャンル (説話・軍記)
- 4) 時代と文学 (戦乱と文学・京と東国・宗教と文学)
- 5) 新たなジャンルの創造 (能と狂言・おとぎ草子)
- 6) 中世の終焉

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験 (前期・後期) によって総合的に評価する。

教科書

岩佐美代子他編『新選 中世の文学』(和泉書院) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史 I (古典)	はやし たつ や 林達也	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉から近世に至る、韻文を中心とした文学史。

講義の内容・授業スケジュール

古代前期 (奈良時代まで)
記紀歌謡・万葉集・漢詩文集
古代後期 (平安時代)
勅撰集 (三代集・三代集以後) の歴史 / 歌合せ / 物語と和歌 / 歌論・歌学
中世 (鎌倉・南北朝・室町時代)
新古今集と新勅撰集 / 新古今時代の歌人 / その後の勅撰集 (玉葉集・風雅集)
頼阿・正徹 / 歌道師範家 (二条・冷泉) / 宗祇・三条西実隆 / 連歌・俳諧
近世 (江戸時代)
堂上歌人とその周辺 / 徳川光圀の周辺 / 江戸派の人々 / 香川景樹と桂園派
良寛を中心に / 貞門・談林 / 芭蕉・蕪村・一茶

履修上の留意点

文学史の授業ではあるが、詩歌、ことに和歌に触れる機会をなるべく多く作り、和歌理解の方法についても学習したい。和歌に興味をもつ学生が一人でも増えればと思っている。

成績評価の方法

原則として、前期末と学年末の試験により評価する。

教科書

講義資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史Ⅱ（近現代）	おか だ ゆたか 岡 田 豊	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

- ①同時代資料の読解トレーニングと読解力の向上
- ②「～派・主義」の分類に終始せず、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描くという作業の実践
- ③さまざまな作家や興味深い文学作品の紹介
以上3点を講義のねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、1945（昭和20）年の敗戦以降の文学について考える。壊滅状態にあったジャーナリズムの復興、文学の再建等の問題についてはまずは見て行くことになる。学生自らが当時の資料を実際に確認しながら、時代の雰囲気を感じ取ることができるよう、授業担当者はなるべく工夫していく。一般の参考書に出てこない事項、あるいは従来の文学史が描こうとしなかった事柄が出てくるときもあるので、積極的に授業に参加してほしい。

履修上の留意点

読みにくい資料が数多く出てくる。したがって、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけると力がつく。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられる。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよい。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要がある。

成績評価の方法

年2回（前期・学年末）の試験で評価する。試験は資料読解と、論述の2題構成の予定。配布プリントと自筆のノート持ち込み可とする。思考力と作文力の両方をみる試験問題を作成する。

教 科 書

配布プリント

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史Ⅱ（近現代）	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。あわせて詩作品を読み味わう力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 下記の項目に従って進める。
- 1) 近代詩の源流
 - 2) 讃美歌・唱歌
 - 3) 『新体詩抄』
 - 4) 『於母影』
 - 5) 浪漫主義
 - 6) 『海潮音』
 - 7) 象徴主義
 - 8) 口語自由詩へ
 - 9) 象徴詩の展開
 - 10) ヒューマニズムの詩
 - 11) 民衆詩派
 - 12) 感情詩派
 - 13) アヴァンギャルド
 - 14) モダニズム
 - 15) 『四季』の詩人たち

履修上の留意点

自分自身で詩作品を読み、作品の「ことば」を味わい、作品の「こころ」に触れる、柔軟で意欲的な姿勢を望む。

成績評価の方法

前後二回の試験による。

教 科 書

適宜プリントを配布。

参 考 書 等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	豊澤弘伸 <small>とよ さわ ひろ のぶ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本語の変遷について、各時代の国語史資料によって個々に確認しつつ、それらを体系的にとらえ変化の要因とメカニズムを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ・国語史学論
- ・国語史資料に見る時代の日本語
- ・音韻・文字・語彙の変遷
- ・言語変化の原理

トピックとして、「ら」抜き言葉発生のメカニズム」「～じゃん」伝播の実態と要因」などを取り上げる。

成績評価の方法

試験やレポート、受講状況等によって判断する。

教科書

テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

亀井孝他編『日本語の歴史』（平凡社）
小松英雄『日本語はなぜ変化するか』（笠間書院）
『講座 国語史』（大修館書店）
国語学会編『国語史資料集』（武蔵野書院）

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学研究 I	木村晟 <small>きむら あきら</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

室町時代の聯句連歌の表現と古辞書について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

和漢聯句 10 件を採り挙げて、その表現と語彙の性格について考察する。和句については和歌・連歌の用語と対比することにより、和漢聯句の和句の用語の特徴を考える。漢句については日本の古辞書、特に『下学集』『節用集』『温故知新書』『運歩色葉集』等を検索して、漢句の用語が古辞書とどう関わっているかを考察する。

履修上の留意点

『新編国歌大観』（角川書店）や『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

成績評価の方法

期末テスト、平常点、出席状況などにより評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	小野寛 <small>おのひろし</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい 万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール 万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点 講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法 数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書 小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅱ	神野志隆 <small>こうのし たかみつ</small> 光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい 『古事記』『日本書紀』の語るところを、テキストの成り立たせる「古代」・「歴史」として読むことをめざす。『古事記』『日本書紀』は、古代そのもの、歴史の事実を見るべきものではない。あくまでテキストがつくるものとして見なくてはならない。そうした立場から、『古事記』『日本書紀』を通じてそのままわたしたちの古代を考えてきたことを批判的にふりかえりながら、テキスト理解の基本を明確にしたい。

講義の内容・授業スケジュール Ⅰ『古事記』の「古代」・『日本書紀』の「古代」。Ⅱ複線的な天皇配置—『古事記』『日本書紀』の「歴史」の枠組み。Ⅲ世界構造—『古事記』『日本書紀』における中国・朝鮮。

履修上の留意点 出席を重視する。授業に出てきちんと聞くことをもとめる。

成績評価の方法 評価は、出席点と、授業中の小テストによる。

教科書 『古事記』（岩波文庫）

参考書等 授業中に適宜指示する。

その他 『古事記』以外については資料プリントを作成し、それをもとに講義形式ですすめる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究 I	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語のないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究 I	たけ だ まさ のり 武 田 昌 憲	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

無常観の美学に触れる—「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」で始まる、格調高くも、また人の心を打つ『平家物語』の調べを鑑賞。本作品は平安貴族の優美・鎌倉武士の勇壮さを併せ持ち、また、琵琶法師が語り歩いたという不思議な作品です。平清盛、木曾義仲、源義経、那須与一、などの英雄像。建礼門院、祇王、巴御前などの女性像を追って人間の生きる美しさをみます。

講義の内容・授業スケジュール

軍記の定義と流れ—軍記の発生・将門記。軍記の展開・陸奥話記。軍記の成長・保元物語・平治物語。軍記の達成・平家物語。
作品読解—祇園精舎。祇王—白拍子と遊び女・清盛の悪行。源氏揃え—源頼政の位置。橋合戦。木曾の最後—乳母子との愛・巴との愛。那須与一—扇の的美学。
その後の軍記—太平記の世界・後期軍記の世界。

履修上の留意点

授業中の私語、遅刻は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはどちらかレポート。また、教場レポート、出席状況、授業態度を含め、総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 角川文庫『平家物語』上・下（角川書店）

参考書等

参考書その他は授業の都度、紹介・指示する。

その他

授業方法は講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅱ	田中徳定 <small>たなか のりさだ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

中世は、保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、それまでの平安な貴族中心の社会が大きく転換していった時代であった。それにともない、既成の価値観は大きく揺らいでいくことになる。中世という時代は何故出現したのだろうか。また、平安時代とは何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。神仏・鬼・天狗などをキーワードとして、文学作品から中世という時代を考えるとともに、日本人の信仰や思想の有りようを考える。

講義の内容・授業スケジュール

『風土記』『今昔物語集』『宇治拾遺物語』『平家物語』等に描かれる鬼を通して、古代から中世にかけて、鬼はどのように捉えられていたのかを確認し、『御伽草子』『酒吞童子』を読解しながら、中世には何故鬼が退治されるようになるのか、中世という時代と関連させて考察する。中世は、鬼が退治される一方で、天狗が活躍する時代でもある。『比良山古人霊託』『太平記』等に描かれる天狗を通して、中世という時代に何故天狗がクローズアップされるようになったのかを考える。

また、『御伽草子』『ものくさ太郎』『一寸法師』に描かれる、積極的な行動と才覚によって人生を切り開いていこうとする人間像について、中世という時代との関連から考察する。

成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

教科書

その都度、プリントを配布する。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	近衛典子 <small>このえ のりこ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷺山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究Ⅱ	高田知波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

年間テーマは「一葉を読む」である。一葉は24歳で病死した夭折の作家であるが、明治、というより日本の近代文学全体を代表する小説家の一人としての評価は高い。年間講義を通じて、その一葉の文学世界に迫りたい。

講義の内容・授業スケジュール

『たけくらべ』『十三夜』『にごりえ』等、一葉の代表作を順番に読んでいく。女優・幸田弘子氏の朗読テープも活用する。

履修上の留意点

講義を聴きながら、自分の意見を確立できるようにつとめてほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書

樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学特講Ⅰ	三澤成博	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

近世初頭の日本語の実態を把握するために意義のある『甲陽軍鑑』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

写本をテキストにするが、整版本との比較を試みることにより、口語と文語との関係を明らかにする。なお、原文を味わうことで変体仮名にも通じるようにしたい。

成績評価の方法

レポートと発表

教科書

酒井憲二編『甲陽軍鑑』（上）（DTP出版）2,000円

参考書等

酒井憲二『甲陽軍鑑大成』（汲古書院）
『日葡辞書』

その他

授業の方法—講義・テーマ別発表

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅱ	とよ さわ ひろ のぶ 豊澤弘伸	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語学研究における、コンピュータを利用した言語情報処理能力の育成をはかる。
 ・これまでのコンピュータ利用による国語学の研究成果を概観する。
 ・国語学において利用の可能な言語情報処理の方法を理解する。
 ・コンピュータを利用した日本語研究の方法を獲得する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 先行研究についての方法論的検討
2. 国語学研究におけるコンピュータ利用の状況
3. テキストデータの作成の方法
4. データベース・索引の作成と利用
5. 漢字処理の問題

成績評価の方法

受講の状況（出席等）や提出物、期末試験などによって総合的に判断する。

教科書

テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

青葉ことばの会『日本語研究法』（おうふう）
 『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院）

その他

授業は、講義のほか、パソコンを利用した実習を予定（総合情報センターを使用）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅰ	えん どう ひろし 遠藤宏	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本最初の和歌史である「万葉集」は、その内部において、日本における最初期の和歌史を展開している。その和歌史を示す「万葉集」を、通常4期に時期区分しているのだが、第3期は「万葉集」の最盛期として位置付けることができる。即ち、作歌者層が底辺を拡大し、その拡大した基盤の上に、極めて個性的で高水準の作品を生み出した歌人達を輩出した時期である。本講義においては、それら「万葉集」最盛期における歌人たちを採り上げ、最盛期の最盛期たる由縁を明らかにすることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに「万葉集」の概略を述べ、次いで第1期から第4期までの展開の相（概略の一部ではあるが）を略述する。（以上、第4週まで）。その後、上記の基本を押さえた上で、大伴旅人と山上憶良の作品につき、二人の「心の交流」を中心に考察していく。

履修上の留意点

授業中の私語及び飲食は慎んでほしい。また、毎回出欠調査をする（次項参照）。

成績評価の方法

定期試験の結果と出席状況を最重視する。また、前項の様子によっては臨時試験を行ない、その結果を成績評価の考慮に入れる。

教科書

特に限定はしないが、「万葉集」の全歌が収められている書を持参すること。

参考書等

授業中に、適宜示す。

その他

講義形式で行う。資料（テキスト以外）を適宜用意して配布する。なお、講義内容を十分にノートにとることに留意してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅱ	なかむらあや 中村 文	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

鎌倉時代に成立した『無名草子』を読む。古びた屋敷に紛れ入った老尼が耳にした、その家に仕える女房たちの会話を主軸とする作品で、作者は藤原俊成の女（実は孫娘で養女となった人物）とする説が現在は有力である。源氏物語等に対する言及が大きな位置をしめることから、「文学評論」とジャンル分けされることが多いが、登場人物たちの発言を細かに検討してみると、必ずしも〈評論〉の領域に閉じ込めきれない、豊穡な内容を持った作品であることに気づかされる。近年、女性論的な視座からのアプローチや、時代状況と関わらせての作者像の再検討などもなされているが、〈言談の内容〉とともにその〈場〉を詳細に語る、入れ子型になった作品構成の面白さなどにも注目しながら、不思議な魅力に満ちたこの作品を読み解いていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究史を参照しながら、時代背景の説明、及び前代までの作品との類同性などを述べ、女房たちが〈この世で捨てがたいもの〉について語る箇所までを読む。後期は、歌集・物語や実在の女性について論じた部分を中心に読み進める予定である。

成績評価の方法

学年末にレポートを課すが、その他にも読み進んだ箇所についての感想や考えを、授業中に時折書いてもらう。これらと、授業中の態度を勘案して判定する。

教科書

桑原博史校注『無名草子』（新潮日本古典集成）

参考書等

授業の最初にプリントを配布して説明する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅲ	いまむらおさむ 今村 修	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本現代演劇の流れ、現状を舞台成果の面からたどり、その特性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

日本現代演劇の概論。新劇以降の上演史をベースに、劇場論、観客論、海外との共同制作など、特徴的なトピックスを随時取り上げる。

履修上の留意点

演劇の公演を実際に見て欲しい。

成績評価の方法

レポート

教科書

特になし。

参考書等

特になし。

その他

講義と合わせ、公演ビデオなどの映像資料をできるだけ多用し、総合芸術としての演劇を具体的なイメージを通して考える。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅳ	田口和夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本の古典芸能の一つである能楽（能・狂言）は平成13年に世界無形遺産に指定された。そのためばかりではないが、能と狂言は最近なにかと話題になることが多く、紹介・入門の書も面白いものがでてきている。能役者・狂言役者による新しい試みも数多くあり、現在の舞台も賑わいを見せている。また、能楽学会も発足の運びとなり、研究面でも新しい局面が開かれようとしている。このような現況を理解するとともに、能・狂言の形成の問題をその背景・素材となる説話との関わりの中で考究する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①散楽・猿楽・能楽と展開する道筋を資料の読解によって確認する。
- ②能・狂言の作品研究の形式で、説話に関わりのあるものを取り上げ、その形成・展開の諸相を解明する。

履修上の留意点

ビデオを使用して、現在の舞台を分析するが、それにとどまらず、できるだけ実際の舞台を鑑賞することが望ましい。

成績評価の方法

随時課するレポートと出席による。

教科書

プリントの予定。

参考書等

図書館で見るとべきもの一岩波講座「能・狂言」・能勢朝次著『能楽源流考』（岩波書店）・田口和夫著『能・狂言研究—中世文芸論考』（三弥井書店）

その他

受講人数によるが、基本は講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅴ	渡辺千明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

今年度は映像全般の概説ではなく、講義内容を「シナリオ」に特化する。「映像の原点はシナリオである」（新藤兼人）し、「優れたシナリオから必ず優れた映像作品が生まれるとは限らないが、優れた作品の必須の前提は優れたシナリオである」（黒澤明）からだ。従って、この講義には将来映像関係の仕事を目指す学生諸君の結集を期待している。受講の動機（モチベーション）が明確な諸君との、可能な限りの双方向的な授業を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

従って、「シナリオ基礎」の課程を経たのちは、時折の参考上映を折り込みつつ、講師と学生、あるいは学生同志のディスカッションが講義の中心となる。学生には「意見発表能力」が要求される。シナリオは、文学一般と異なり、集団（スタッフワーク）の中で必要とされ、かつ集団を説得するための「現場の文学」だからである。

履修上の留意点

期間中、ショートシナリオの提出を求められることがある。

成績評価の方法

出席と提出物、および後期末のレポートまたはシナリオ作品によって評価する。

教科書

シナリオ作家協会出版委員会『田村孟・人とシナリオ』（日本シナリオ作家協会、3398円）

参考書等

月刊『シナリオ』

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅵ	津島知明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

清少納言の『枕草子』を精読しながら、古典文学を読むにあたっての様々な問題を考えてゆきます。

はじめの数時間は、本文の異同、諸本の問題など、古典研究に必要な基礎知識から、時代背景、享受と研究の歴史、現時点での課題や問題点などを概説します。

以後は、「日記的」と呼ばれる章段を中心に『枕草子』を読み進めて行きます。そのさい、アーサー・ウェイリーという英国人の視点をも参照することで、私たちが無意識に依存している読みの制度について考えていくつもりです。本文と虚心に向き合うことの困難と喜びを、ともに体感して行ければと思います。

成績評価の方法

平常点（出席状況、レポートなどを総合的に評価）

教科書

岸上慎二『校訂 三巻本枕草子』（武蔵野書院）1,240円。すでに『枕草子』のテキストを所持していればそれでも可。

津島知明『ウェイリーと読む枕草子』（鼎書房）2,000円

参考書等

授業寺に指示する。

その他

講義形式。ただし、理解度や疑問点の有無などを折々確認しながら進めて行く。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅶ	津島知明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「女流日記文学」「王朝日記文学」などと呼ばれる作品を読みながら、平安時代の女性にとっての「書くこと」の意味を考えていきます。

はじめの数時間は、時代背景と当時の女性の社会的位置付け、文学史における「日記」の位相と研究の歴史、「日記文学」という術語のはらむ問題点などを概説します。

以後は、『紫式部日記』と菅原孝標女の『更級日記』という、それぞれ趣を異にする二つの「かな日記」を取り上げ、詳細に読み進めて行きます。古典文学研究に必要な基礎知識なども、随時学んで行けるように考えています。

成績評価の方法

平常点（出席状況、レポートなどを総合的に評価）

教科書

中野幸一『紫式部日記 付紫式部集』（武蔵野書院）1,200円

松尾聰『校注 更級日記』（笠間書院）500円

すでに他のテキストを所持していればそれでも可。

参考書等

授業中に指示する。

その他

講義形式。ただし、理解度や疑問点の有無などを折々確認しながら進めて行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅷ	篠原 進 <small>しのはらすすむ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

ミステリーからファンタジーへ。
「ある種の不完全さを持った作品は、不完全であるが故に人間の心を強く引きつける—（中略）完成された作品にない吸引力がそこにはあるからだ」（村上春樹『海辺のカフカ』）
文学不振の中、健闘しているミステリーやファンタジー。それらはなぜ、私たちの心をときめかせるのでしょうか。そうした問題意識から、現代の文学との往復運動を繰り返しながら、西鶴を中心とする江戸文学の魅力をもミステリー・ファンタジーという視点で考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴や江戸文学についての予備知識は、必要ありません。講義はできるだけ分かりやすく、一回で完結するよう心がけ、資料はコピーで提供する予定。条件が許せば、教材提示装置や、ビデオも活用するつもりです。

履修上の留意点

就職試験などで止むを得ず欠席する受講生は、事前に連絡してください。

成績評価の方法

出席状況や、試験などで総合的に評価します。

教科書

テキストは、その都度コピーを配布する予定です。

参考書等

参考文献などは、講義の中で紹介します。

その他

基本的には講義形式ですが、一方通行にならないよう、受講者の意見や感想を聞き、討論する時間も持ちたいと考えています。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅹ	中村 三代司 <small>なかむらみよし</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

戦後文学の旗手として太宰治等とともにジャーナリズムに迎えられた坂口安吾の昭和20年代の小説やエッセイを取り上げる。敗戦直後という困難な時代にあつて、安吾の文学が我々読者にどのようなメッセージを送り続けたのかを、太宰作品等と比較しながら考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「デカダン文学論」「桜の森の満開の下」等を、後期は「青鬼の禪を洗う女」「淪落の青春」「二流の人」等を、それぞれ取り上げる予定である。

履修上の留意点

前・後期の開講時に取り上げる作品を指示するので、必ず読んだうえで受講のこと。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポートを中心に、出席状況を勘案して評価する。

教科書

『坂口安吾全集』第5巻（ちくま文庫）定価1,030円

参考書等

取り上げる作品によって異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 XI	榎 ^{えの} 本 ^{もと} 正 ^{まさ} 樹 ^き	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現代文学をめぐる状況は大きく変わりつつあります。作家の書く現場から読者のレベルまで、文学をめぐるあらゆる環境にコンピュータ化の波が押し寄せていることはその一例です。デジタルブックやマルチメディア、インターネットといったコンピューティングとネットワークがもたらす情報環境の中で、小説というメディア表現そのものが大きく変容しようとしているのです。

このような高度情報化社会における新しい文学像をどのようにイメージすればいいのでしょうか。それを本講義の目的としたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的にはメディア・テクノロジーとの融合の結果生まれた文芸ジャンル（オンライン小説やインタラクティブ・フィクションなど）を個別に検証するとともに、サブカルチャーや周辺ジャンル（映画、演劇、マンガ、テレビ、コンピュータゲーム、マルチメディア作品、ネット上の作品など）との比較・対照を通して、次世代の文学のあり方を展望します。CD-ROMやインターネットでのテキストの流通（電子テキストやハイパーテキスト）の意味についても考えていきます。

講義では随時、話題作や注目作、ネットと文学をめぐる最新トレンドを紹介する機会をつくります。ソフトウェアやネットを文系的立場から使いこなす方法などについても指南します。最新のメディア論、情報文化論の成果を取り入れながら同時代のメディア環境を概観し、それらを文学（言語）の問題に還元していくことで、「現代小説の方法とは何か」「小説に内在するテクノロジーとはどのようなものなのか」といった根源的な問題系にアプローチしていきたいと思っています。

履修上の留意点

授業はプレゼンテーションを多用した講義形式をとります。現代文学だけでなく、周辺ジャンルやインターネットなど同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

学年末提出のレポートをメインに、出席点を加味して総合的に評価します。

参 考 書 等

参考文献等はその都度教場で紹介します。参考資料も必要な際に配布します。

そ の 他

履修に際しては、榎本のサイト（www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/）も参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 国 文 学 演 習 I	木 ^き 村 ^{むら} 晟 ^{あきら}	14以降入学生/国文2必	4
国 語 学 演 習 I		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

中世語の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

『仮名書き論語』を「抄物」、「キリシタン資料」などと対照させ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぶようにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	おの野 ひろし 寛	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

万葉集をよむ。

講義の内容・授業スケジュール

万葉集から名歌や問題のある歌を選んで各自担当し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによって評価する。

教科書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊）
小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たかほし ぶん じ 高橋文二	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

『伊勢物語』を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の歌物語の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの3~4回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。

履修上の留意点

研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめ為して授業に臨むこと。

成績評価の方法

年二回のリポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。

教科書

『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）1,200円

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	まつおか ともゆき 松岡智之	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安時代の文学作品を自力で読み解く力をつけることが目標である。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、前期は和歌作品、後期は物語文学等の散文作品を読む。報告者がテキストの担当範囲を読解する上で必要な言葉の意味、歴史的・文化的背景などを調べ、文脈を丹念に読み解いて解釈を発表し、参加者全員で討論する。取り上げる作品は受講者と相談の上で決定するが、和歌では『古今和歌集』、『伊勢集』、『和泉式部集』など、散文作品では『源氏物語』『蜻蛉日記』などを考えている。

履修上の留意点

自分が報告担当者ではない時にも、積極的に発言してほしい。

成績評価の方法

報告、討論での発言、レポート、出席状況を総合的に判断して評価する。

教科書

授業時に指示。

参考書等

授業時に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たていしかずひろ 立石和弘	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安朝物語文学の基礎的な演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法と技術を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「若紫」巻を読む。諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込む。担当場面から、自己の関心に即して研究テーマを設定し、調査、報告する。古代的な想像力の枠組みや、ジェンダー構成、生活世界を構成する事物や身体の配置、あるいは話型など、多様な補助線を引きながらアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。

履修上の留意点

参加者は、自己の発表だけでなく、他の発表者と問題意識を共有しながら、互いに情報を提供し合い、積極的に議論を深めていくこと。

成績評価の方法

演習発表資料・内容、出席状況、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。

教科書

阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男校注『古典セレクション 源氏物語2』（小学館）1,600円。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	さくらい ようこ 櫻井陽子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、日本古典文学の基盤とも位置づけられる和歌に親しむ。

講義の内容・授業スケジュール

『百人一首』を読む。一回の発表で一首を担当する。担当和歌の変体仮名に平仮名を宛て、漢字仮名まじりに直し、担当和歌の出詠事情、収載勅撰集における位置等を報告することを基礎作業とする。次に、和歌を理解するための自分なりの問題点を設定して調査・考察した結果を発表し、質疑を経て、後日、レポートにまとめて提出する。

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

『百人一首 宮内庁書陵部蔵堯孝筆』（笠間書院）824円

参考書等

『増補改訂 仮名変体集』（新典社）361円
他は授業中に適宜指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たなかのりきだ 田中徳定	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く目を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探求する。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教科書

鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,854円

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	はやしなつや 林達也	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

・芭蕉発句研究・芭蕉の俳諧について、本年度は発句（俳句）を素材として考える。
・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

・芭蕉の発句を年代順に適宜選び出して読み進める。・一人が4～5句を担当して、句の解釈・背景などについて発表する。
・句の一字一句にこだわって、丁寧に読む。
・適切な辞書の使い方を覚える。
・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

・演習であるので、出席を義務とする。
・授業には積極的に参加しなければならない。
・発表者は、参考資料（レジュメ）を作成する。

成績評価の方法

・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方・学年末提出のレポート
・授業への参加姿勢
の三点によって評価する。

教科書

『芭蕉俳句集』（岩波文庫）

参考書等

開講時に示す。

その他

・授業はレポーターの発表を中心に進める。
・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	この 近 衛 のり 典 子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい	古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	上田秋成の『藤篋冊子』(つづらぶみ)を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり、質疑応答によって読みを深めていく。
履修上の留意点	発表者は担当部分の語彙の用例調査、典拠の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。
成績評価の方法	演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	おか 岡 田 のり 豊	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい	演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジュメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	芥川龍之介の小説を読む。扱う作品は、『羅生門』『戯作三昧』『袈裟と盛遠』『地獄変』『奉教人の死』『秋』『南京の基督』等を予定している。司会も学生が行い、演習生が一丸となって討論する。表現を丁寧に読み込んでいく作業を通して、芥川文学に秘められた可能性を発見してもらいたい。
履修上の留意点	発表を体験するだけでも大きな発見がある。皆の意見を誘うような見解を考え、自分たちの読みが伝わりやすい説明の仕方が何か、作戦を立てる。周到に準備したにもかかわらず、皆からの総攻撃を受けたとか、発表者が用意してきたテーマとかけ離れた発言がみんなの興味を誘い、議論が白熱したとか、発表者の面白い報告に引きつけられて、自分も考えていくうちに、嫌いだった作品が好きになっていたとか、演習は予想外の展開に満ちている。その醍醐味を味わうには、ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要である。
成績評価の方法	演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続くと履修不可能となる場合がある。定期試験は行わないが、レポート(5枚以上)を提出してもらう。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうで評価する。
教科書	文庫テキストを各自で用意する。
参考書等	その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	かつ 勝 ほら 原 はる 晴 き 希	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

近現代（明治～平成）の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

昨年度に採りあげた詩人は以下の通り。

高村光太郎・金子みすゞ・室生犀星・三好達治・立原道造・中原中也・辻征夫・荒川洋治・宮沢賢治・吉野弘・寺山修司・萩原朔太郎・新川和江・谷川俊太郎・吉原幸子・山村暮鳥・丸山薫。

履修上の留意点

近現代の詩歌についての基礎知識を学んでいることが望ましい。また各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たか だ 高 田 ち 知 なみ 波	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

国
文

講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由に豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。

履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	なかむらみよし 中村三代司	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

近現代の文学作品を丹念に読み解くとともに、作品研究の方法を考える。また、参考文献の調べ方、レジュメの作成法、分かりやすい発表の技術等も習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉等の短編小説を中心に、後期は、受講者の希望作品（明治～平成）を取り上げる。前期に取り上げる作品は開講時に指示する。

履修上の留意点

取り上げる作品を熟読したうえで演習に臨むのは言うまでもないが、いかに作品を読むかが大切である。積極的な姿勢で参加すること。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポート、出席状況、発言内容を重視して評価する。

教科書

各社文庫本。作品毎に指定する。

参考書等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

その他

毎回1作品につき、2～3名がレジュメを準備のうえレポートを行ない、それに基づいて全員で討議する。また、レポーター以外の受講者には、当該作品の感想文の提出を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学演習Ⅱ	きむらあきら 木村 巖	国文3必	4

講義のねらい

中世辞書の漢語を研究する。特に説話・軍記に使用される漢語と、記録体の文章に類出する漢語との異同について考える。

講義の内容・授業スケジュール

説話・軍記の漢語の用例は主に『太平記音義』から採り挙げる。また記録体の漢語は主に『実隆公記』から採集して、それぞれ『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『温故知新書』『運歩色葉集』等の古辞書によって検証する。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『倭玉篇』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	小野寛 <small>ひろし</small>	国文3必	4

講義のねらい	万葉集を読む。
講義の内容・授業スケジュール	万葉集巻三と巻四の歌から選んで各自分担し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作家の背景など、詳しく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。
履修上の留意点	遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。
成績評価の方法	発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによって評価する。
教科書	鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊） 小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	高橋文二 <small>たか ぶんじ</small>	国文3必	4

講義のねらい	『源氏物語』の「夕霧」巻を読み、光源氏の晩年の人間関係と文学世界の意味あいを考える。	国
講義の内容・授業スケジュール	はじめの3～4回は概論風の講義をし、「夕霧」巻の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。	文
履修上の留意点	語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細かい方法等については授業時間内に指示する。	
成績評価の方法	研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。	
教科書	影印本『ゆふぎり』（新典社） 『字典かな』（笠間書院）	

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	立石和弘 <small>たて いし かず ひろ</small>	国文3必	4

講義のねらい	平安朝物語文学の演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法と技術を養う。
講義の内容・授業スケジュール	「葵」巻を読む。まず諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込む。さらに担当場面から、自己の関心に即して研究テーマを設定し、調査、報告する。用例調査や論文検索など、研究の技術を身に付けながら、古代的な想像力の枠組みや、ジェンダー構成、生活世界を構成する事象や身体配置、あるいは話型など、多様な補助線を引きながらアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。
履修上の留意点	参加者は、自己の発表だけでなく、他の発表者と問題意識を共有しながら、互いに情報を提供し合い、積極的に議論を深めていくこと。
成績評価の方法	演習発表資料・内容、出席状況、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。
教科書	阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男校注『古典セレクション 源氏物語3』（小学館）1,600円。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	うえ 植 田 やす よ 代	国文3必	4

講義のねらい	平安時代の文学作品を理解し、王朝社会に生きる人々の感じ方や考え方をさぐる。
講義の内容・授業スケジュール	『源氏物語』『絵合』『松風』両巻を対象とする。毎回担当者を決め、担当範囲を割り振り、担当者の作成した資料にもとづいて、受講者全員による討論を行なう。
履修上の留意点	受講者の積極的な姿勢をもとめる。
成績評価の方法	発表・発表資料、授業への参加態度、レポート・出席等による総合的な評価。
教科書	新潮日本古典集成『源氏物語 三』（新潮社）
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	国文3必	4

国 文	講義のねらい	平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。 平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。
	講義の内容・授業スケジュール	巻六もしくは巻八を扱う。延慶本を少しずつ読み解く。影印本を参考としながら活字本の誤りを訂正する。現代語訳をした上で、各自の問題意識に沿った調査と考察を発表し、質疑応答を行う。
	履修上の留意点	問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。
	成績評価の方法	口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。
	教科書	授業中に適宜指示する。
	参考書等	授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	たなかのりさだ 田中徳定	国文3必	4

講義のねらい 院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありよう、さらには人間の姿について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール 『今昔物語集』の説話について、観音信仰・鬼・天狗・陰陽道・妖怪・狐、また笑話等、興味をもったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。

履修上の留意点 専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

成績評価の方法 授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

教科書 今野 達編『新注今昔物語集選』（大修館書店）1,200円

その他 受講生に担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なってもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	はやし たつや 林 達也	国文3必	4

講義のねらい ・『近世畸人伝』研究・同時代の資料を読みながら、近世文人の様相、文事をめぐる環境・状況等について考察する。
・近世の文書・記述に慣れることもねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール ・『近世畸人伝』（伴高蹊著 寛政2年1790刊行 江戸時代の文人約90人の事跡を記述）の中から、和歌・俳諧・漢詩文に関わる人々、あるいは、時代の風潮をうかがわせる人物を選び、担当者の発表を中心として読み、考える。貝原益軒・契沖・池大雅などから赤穂浪士・遊女にいたるまで、多彩な人物が登場する。
・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点 ・演習であるので、出席を義務とする。
・授業には積極的に参加しなければならない。
・発表者は参考資料（レジュメ）を作成する。
・同時代の他の資料にも広くあたり、『近世畸人伝』の記述の視点のあり方や、記述の妥当性などについても考えることを望む。
・聞き手の反応を出来るだけ引き出すように工夫をこらされたい。

成績評価の方法 ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方・学年末提出のレポート
・授業参加の積極性
の三点によって評価する。

教科書 東洋文庫『近世畸人伝』（平凡社）3,400円

参考書等 開講時に示す。

その他 ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（たとえば、図録・絵画活用等）をとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	このえのりこ 近 衛 典 子	国文3必	4

講義のねらい	近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。
講義の内容・ 授業スケジュール	井原西鶴の『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。
履修上の留意点	出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。
成績評価の方法	演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	おかだゆたか 岡 田 豊	国文3必	4

講義のねらい	昭和30年から平成までに発表された小説をいくつかとりあげて読む。演習Ⅰに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合う。学生の自主性を高めることに重点をおく。
講義の内容・ 授業スケジュール	2人ないしは3人でチームを組んで報告する。そして、演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・古井由吉・中上健次・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・町田康・柳美里等を予定している。
履修上の留意点	現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献も少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探し、読みを展開できるようにしなければならない。現代小説の研究にはそのような難しさがある。しかし、われわれが生きている現代が抱えるホットな問題を扱うという意味で、魅力的な研究領域でもあるのだ。援助交際、ドラッグ、ひきこもり、性の問題、家族の崩壊など。ふだん身近にあって考えることのない問題を、改めて皆で深く掘り下げて考えていく絶好の機会なのだ。何について、いまどう問い、そしてどう考えるのか、それを各自が持ち寄って欲しい。
成績評価の方法	出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度、レポート(7枚以上)を総合的にながめた上で判定する。
教科書	文庫本をテキストにする。
参考書等	その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	かつ 原 晴 希 勝 原 晴 希	国文3必	4

講義のねらい

近現代の詩歌および宮沢賢治の童話について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。

講義の内容・授業スケジュール

近現代（明治～平成）の詩歌および宮沢賢治の童話を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。また賢治童話は『注文の多い料理店』を扱う。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。宮沢賢治『注文の多い料理店』（角川文庫）

参考書等

授業時に指示する。

その他

人数が多い場合は原則として詩歌の希望者を優先する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	たか 田 知 波 高 田 知 波	国文3必	4

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。今年度は近代の時間的下限を広げ、明治前期から「明治100年」、つまり1968年頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、宮本百合子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品（小説に限定）を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて11作品を選んで発表分担チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ベースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学演習Ⅲ	木村 巖	国文4必	4

講義のねらい

国語学を専攻する学生の卒業論文を指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。

履修上の留意点

卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せずたびたびすること。

成績評価の方法

平常点により評価する。出席状況を特に重視する。

教科書

特に使用しないが、プリントは用意する。

参考書等

授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	小野 寛	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、出席者全員で討論することによって進行する。
後期は、各自の卒業論文の中間発表を順次繰り返してゆく。これもみんなで質疑応答、討論する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。

教科書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	高橋 文二	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための授業であるが、演習Ⅳとは違って、卒論対象の作品や人物について、より具体的に検討、調査を試み、卒論の内実をしっかりとしたものにする時間としたい。成果の確認のため、卒論提出に至るまでに5月以降、6回レポートを提出する。

成績評価の方法

研究発表とレポート提出と出席等の状況によって評価する。

参考書等

それぞれの問題に即して授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	うえ た やす よ 植 田 恭 代	国文4必	4

講義のねらい 平安文学を対象とした、卒業論文作成のための指導。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文を作成するにあたり、必要な調査方法や具体的な作業について、指導を行なう。研究テーマの決定、資料の収集、研究史の把握等を、受講者が各自の興味にそってとりくめるよう、助言していく。中間発表の機会を設け、全員による討議を行なう。

履修上の留意点 自主的にとりくむ姿勢をもとめる。

成績評価の方法 出席・発表・参加態度をあわせて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	国文4必	4

講義のねらい 卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

履修上の留意点 学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法 卒業論文の内容と完成に至る過程。

参考書等 授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国文4必	4

講義のねらい 卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行なう。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行なっていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらおう。

成績評価の方法 卒論中間発表会における口頭発表とそれをまとめたレポートの内容によって評価を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅲ	このえのり 近 衛 典 子	国文4必	4

講義のねらい

近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

そ の 他

ゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅲ	はやし たつや 林 達 也	国文4必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。本年度は浅井了意についての研究を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	おかだ ゆたか 岡田 豊	国文4必	4

講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。あわせて、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。参考文献の蒐集の仕方、それらを整理してどう踏まえるのか、作品や作家の論じ方などについて指導する。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。研究対象を考慮して、一年間をともにするチームを組んでもらう（例えば〈吉本ばなな〉チーム 〈芥川〉チーム など）。さらにチームをいくつか合体させたグループを二つ作り、ここでできたグループ単位で演習を行う。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。

前期、論題提出前に必ず個人面談を行う。ここで対象作家や作品についての相談をする。後期に2回は必ず面談しなければならない。

卒論作成計画書、レポートの提出を義務付ける（レポートは添削して返却する）。詳細は授業時に説明する。

履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもある。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、意欲的な授業への参加が望まれる。

あれもこれもと欲張ってしまい、論じる範囲を拡大しすぎると失敗する場合がある。捨てる勇気も大切だ。絞り込んで、どのような構成で論じていくのかまで、後期の面談の中でつめていく。つまり、面談も大切な授業のうちであることを忘れないで欲しい。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

なお、卒業論文の評価には、口頭試問での返答も大きく関わってくることを付記しておく。

教科書

その都度教場で指示する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	たかだち なみ 高田 知波	国文4必	4

講義のねらい

各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを2本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生の選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	かつ ばら はる ま 勝 原 晴 希	国文4必	4

講義のねらい

近現代の小説・詩歌を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

近現代の小説・詩歌を読む。対象とする作家・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学演習Ⅳ	き むら あきら 木 村 巖	国文4必	4

講義のねらい

専ら卒業論文指導を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

各個人別の質疑応答による指導。

履修上の留意点

積極的に質問・相談に来ること。

成績評価の方法

平常点。出席状況を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	お の ひろし 小 野 寛	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究・作家研究を報告し、みんなで討議する。

履修上の留意点

卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらう。

成績評価の方法

卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	高橋文二 <small>たか ほん ぶん じ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための個別指導、助言を中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

研究対象や問題点に応じて個別的、具体的な指導と助言を行なう。

成績評価の方法

レポートと出席の状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	植田恭代 <small>うえ た やす 代</small>	国文4必	4

講義のねらい

平安文学を対象とした卒業論文作成のための個別指導。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者の興味にそった研究テーマの決定を助け、研究方法や論の展開などについて、指導する。

履修上の留意点

自主的にとりくむ姿勢をもとめる。

成績評価の方法

出席・報告・積極性等を総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	櫻井陽子 <small>さくら い よう こ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

履修上の留意点

学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法

卒業論文の内容と完成に至る過程。

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	田中徳定 <small>たなか のりさだ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

講義の内容・
授業スケジュール

各自の卒業論文のテーマに応じて、個別に指導・助言を行なう。

履修上の留意点

卒業論文への積極的な取り組みと、主体的に問題を考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

平常における卒業論文に取り組む姿勢と卒業論文によって評価を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	林達也 <small>はやし たつや</small>	国文4必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	近衛典子 <small>このえ のりこ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための個別指導。

講義の内容・
授業スケジュール

面談を中心に、卒業論文のテーマの絞り方、調査方法、論の展開等について指導する。

履修上の留意点

予め相談内容をメモにまとめておくこと。時間厳守。

成績評価の方法

出席状況及び卒業論文により評価する。

そ の 他

個別指導。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	岡田豊 <small>おか た ゆたか</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導。

講義の内容・
授業スケジュール

卒論作成計画にそって、文学研究としての要件を備えた論文の作成ができるように指導する。

成績評価の方法

授業態度、提出物の内容、卒業論文の出来具合をみて判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	高田知波	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価を出す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅳ	勝原晴希	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文作成のスケジュール作りから始まり、テーマの絞り方、文献調査の方法、論文の構成・執筆の方法など、具体的な指導を行なう。

履修上の留意点

自主的・積極的な取り組みを要望する。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国文学	田熊信之	国文2・3・4選	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、ことにその主体となった漢民族によって作りあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地と人々によって培い育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文を選出して読み解いて行こうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごも人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くため、寒山詩などの詩偈をも含めた韻文や、人伝、僧伝なども含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを使用する予定。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を交えて行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	^{みつたに} 満谷マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	^{くに} ^{まつ} ^{とし} ^{ひぐ} 国松俊英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった。けれどそれらの考え方は時代とともに変わりつつある。現代では、「子どもにも読める文学」、「大人も子どもも共有できる文学」と考えている人が多い。イギリスのファンタジー作品、ハリー・ポッターを上げれば理解してもらえるだろう。広くて魅力ある児童文学の特質、そのジャンルを、作品を紹介しながら探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

児童文学とは何か。その特質について。
児童文学のジャンル。絵本・ファンタジー・少年小説・昔話・ノンフィクション・少年詩。
日本児童文学の流れ。

成績評価の方法

出席状況と前期末後期末の試験、レポート。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	近藤 好和 <small>こん どう よし がず</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

後期一回のレポートを予定。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢 <small>たに ぐち みつぎ</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 間 信 仰 論	たにぐち みつぎ 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

参考書として、桜井徳太郎『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 I	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

参 考 書 等

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）2,900円
青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）1,650円
笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）
佐々木潤之介編『概論 日本歴史』（吉川弘文館）1,900円

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説Ⅱ (近世・近代)	佐藤元英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組みをつくりあげていくことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講義し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

教科書

教科書は特に指定しないが、佐藤元英『概説 アジア太平洋戦争と日本の近代』（虹有社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史Ⅰ	吉田政博	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用し、また禅文化歴史博物館への見学も必ず行ってもらう。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	よし 吉 津 よし ひで 宜 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を拠り所にする）と法洲（法を拠り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討してみても始めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や薄い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

先ず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかにかに認識し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

国
文

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めて置いて下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらうことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教 科 書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参 考 書 等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	<small>すえ き やす ひこ</small> 末木 恭彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。1. 試験又はレポート（年1回以上）2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	<small>しば の ひろこ</small> 柴野 博子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

前半は、西洋哲学史の古代・中世・近代を概観する。その後、現代哲学の一つとして生の哲学をとりあげたい。とくにディルタイの解釈学とその現代的発展に力点を置き、解釈学が現代に生きる私達にどのような意味をもつか考えてみたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	<small>きた の よし え</small> 北野 良枝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から明治初期に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は奈良時代から室町時代まで、後期は桃山から明治初期までを扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	阿 部 由 香 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多種多様であるのはなぜなのか？演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、演劇と近代化の問題、劇壇と文壇との関係、劇団や女優の問題などをとりあげていく。

講義の内容・授業スケジュール

近代、現代の日本演劇の流れを中心に講義するとともに、いくつかの作品の戯曲を読み、ビデオを鑑賞する時間も取り入れる。

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ足をはこんで観劇してもらった場合があるので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講がのぞましい。

成績評価の方法

前期は試験をおこない、後期はレポートの予定。出席点、平常点も加味する。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 概 論	金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試験の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

教 科 書

高校用教科書『書道Ⅱ』（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 史	那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教 科 書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参 考 書 等

随時紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅰ	かね こ たか よし 金子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書の歴史を探りながら、古典の臨書を中心に学び、表現技術の習得と、書に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

楷書、行書、漢字仮名交じりの書を学習する。主に半紙で学び、毎回提出する。用具のことは、はじめの授業で説明する。

教科書

高校用教科書『書道Ⅰ』（光村図書出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅱ	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- 書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等）について理解を深める。
- 中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅲ	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	ほ せ が わ 長谷川 孝 たかし	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えた)ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

2 英 米 文 学 科

英
米
文

英
米
文

II. 専門教育科目

(2) 英米文学科

作品講読	I	〈東雄一郎〉	365
作品講読	I	〈高野正夫〉	365
作品講読	I	〈佐藤真二〉	365
作品講読	I	〈河崎征俊〉	366
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈ピアス, D.M.〉	367
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈レイン, R.V.〉	368
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈マーティン, S.F.〉	368
作品講読	II	〈河崎征俊〉	369
作品講読	II	〈佐藤千春〉	369
作品講読	II	〈中岡洋〉	370
作品講読	II	〈東雄一郎〉	370
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ブランケン, D.L.〉	371
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈リアーディ, N.〉	372
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ハバード, W.D.〉	373
英語学概論		〈佐藤真二〉	373
英語表現法		〈高野正夫〉	374
英語表現法		〈河崎征俊〉	374
英語表現法		〈佐藤千春〉	375
英語表現法		〈佐藤真二〉	375
アメリカ文学史		〈佐藤千春〉	376
イギリス文学史	I	〈河崎征俊〉	377
イギリス文学史	II	〈中岡洋〉	378
英語史		〈荒井良雄〉	379
イギリス文学特講	I	〈石原孝哉〉	380
イギリス文学特講	II	〈高野正夫〉	380
イギリス文学特講	III	〈岡崎寿一郎〉	381
イギリス文学特講	IV	〈中岡洋〉	381
イギリス文学特講	V	〈富士川義之〉	382
イギリス文学特講	VI	〈丸小哲雄〉	383
演劇特講 (イギリス・アメリカ)		〈落合和昭〉	384
演劇演習 (イギリス・アメリカ)		〈逢見明久〉	384
アメリカ文学特講	I	〈東雄一郎〉	385
アメリカ文学特講	II	〈杉浦銀策〉	385
アメリカ文学特講	III	〈足田和人〉	386
アメリカ文学特講	IV	〈杉浦銀策〉	386
アメリカ文学特講	V	〈杉浦銀策〉	387
イギリス文学演習	I	〈富士川義之〉	387
イギリス文学演習	II	〈高野正夫〉	387
イギリス文学演習	III	〈芦澤久江〉	388
イギリス文学演習	IV	〈増田恵子〉	388
イギリス文学演習	V	〈富士川義之〉	389
アメリカ文学演習	I	〈川崎浩太郎〉	389
アメリカ文学演習	II	〈佐藤千春〉	390
アメリカ文学演習	III	〈川崎笑佳〉	390

アメリカ文学演習Ⅳ	〈古 富 猛〉	391
アメリカ文学演習Ⅴ	〈杉 浦 銀 策〉	391
時事英語	〈荒 井 良 雄〉	392
商業英語	〈町 井 靖 靖〉	392
ラテン語	〈上 野 勝 広〉	393
ギリシヤ語	〈長 谷 川 岳 男〉	393
英米文化	〈広 川 治 治〉	394
外国文学	〈前 田 祝 一〉	394
英米思想史	〈麻 生 享 志〉	395
現代美術	〈矢 野 陽 子〉	396
日本文化史Ⅰ	〈吉 田 政 博〉	397
日本文化史Ⅱ	〈 休 講 〉	
放送英語	〈大 庭 直 樹〉	398
英文演習	〈東 雄 一 郎〉	398
英文演習	〈中 岡 洋 洋〉	399
英語学演習Ⅰ	〈菅 原 勉 勉〉	399
英語学演習Ⅰ	〈ピアス, D. M.〉	400
英語学演習Ⅱ	〈荒 井 良 雄 雄〉	401
英語学演習Ⅲ	〈町 田 尚 子 子〉	401
英語学演習Ⅳ	〈松 山 晋 晋〉	402
英語学演習Ⅴ	〈ブランケン, D. L.〉	403
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	404
オーラル・イングリッシュ	〈ハバード, W. D.〉	405
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	406
オーラル・イングリッシュ	〈レイン, R. V.〉	407
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈東 雄 一 郎 郎〉	407
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈荒 井 良 雄 雄〉	408
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈河 崎 征 俊 俊〉	408
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐 藤 真 二 二〉	409
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐 藤 千 春 春〉	409
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈杉 浦 銀 策 策〉	410
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈高 野 正 夫 夫〉	410
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈中 岡 洋 洋〉	411
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈富士川 義 之 之〉	411

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文1必	2

講義のねらい

英文の速読力を含め、読解力の養成、向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、3~4人の発表者に発表してもらう。取り扱う作品はアメリカ文学の短篇小説、例えば Nathaniel Hawthorne, Edgar Allan Poe, O. Henry, F. Scott Fitzgerald, W. Faulkner, Ernest Hemingway, Bernard Malamud 等の作品。前期、後期、数篇ずつ、通年で約100頁程の英文を読む。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小レポート数回、発表内容をもって評価する。

教科書

The Penguin Book of American Short Stories (英宝社ペンギン・ブックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	たかの まさお 高野正夫	英米文1必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	さとう しんじ 佐藤真二	英米文1必	2

講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は英米の短編小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

教科書

テキストは開講時に指示する。

その他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文1必	2

講義のねらい

P. J.ジェニングズの『中世ヨーロッパ物語集』を読みながら、中世ヨーロッパの文学的伝統を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

Amleth's Revenge, Guigemar, Erec and Enide, The Story Merlin 等の順で読む予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

英文ジェニングズ『中世ヨーロッパ物語集』（英宝社）1,311円

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

参考資料のプリントを時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	ピアス, D. M.	英米文 1 必	2

講義のねらい

Speech and Communication is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in the quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	レイン, R. V.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation - giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教 科 書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
 title: *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 4*
 publisher: Pearson Education
 data: 2001

APPROX. 55 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	マーティン, S. F.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class is designed to allow students to access and build upon existing knowledge of the English language and culture through task-based listening and speaking activities.

講義の内容・授業スケジュール

Students are expected to engage in activities using pair work, group work, and individual speaking. The class approach is heavily biased toward psychological analysis and humanistic, values clarification-type exercises drawing on the personal lives of the students.

履修上の留意点

This is a low-pressure, no-pressure class, so I want you to enjoy playing with ideas and English.

成績評価の方法

Student Evaluation will be based on attendance, class performance, occasional homework, and occasional quizzes.

教 科 書

Getting By-Basic Conversations for Communication by Diane Nagatomo, Kinseido Ltd., ISBN: 4-7647-3634-9

The textbook will be used for the first half of the year, but is primarily chosen as reference material for those students who plan on travelling to an English speaking country.

参 考 書 等

A variety of games, music, literature, and newspaper, video, and radio derived materials will be used in addition to the text.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文2必	2

講義のねらい

Virginia Woolf の *To the Lighthouse* を読みながら、現代英語文学の本質を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

現代英語の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら現代英文学の読み方を習得していく予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

英文『灯台へ』（南雲堂）1,500円位

参 考 書 等

授業時に時々指示する。

そ の 他

参考資料をプリントを数回配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2必	2

講義のねらい

本年度ここでは文学作品は取り扱わず、世界的に高名な文化人類学者、Ashley Montagu の思想と文体にふれ、著者の現代によせる想いと、「生の本質」について再考してみよう。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに作品を音読し、次にそれを日本語訳に直してもらう。内容の説明、文の構造や文法的説明など、必要な箇所は説明を求めたり、説明をしりながら進めて行く。前期は Aggregation versus Isolation まで、後期は The First Step から始める、

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

教 科 書

On Being Human 「人間を考える」(成美堂) ¥1,200

参 考 書 等

授業内で指示する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	<small>なか おか ひろし</small> 中 岡 洋	英米文 2 必	2

講義のねらい

19世紀イギリス文学は世界に誇るべき偉大な作品を生み出した。なかでも『ジェイン・エア』は最高傑作の一つである。本講義ではそれを取り上げて講読する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を一人一人の担当部分に分け、研究した成果を発表する。一年間で全部読みきる。

履修上の留意点

出席に励むこと。真面目に受講すること。

成績評価の方法

筆記試験の成果と出席率と平生の受講態度などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

Jane Eyre (大阪教育図書)

参 考 書 等

その都度教場で指示する。

そ の 他

作品を読みきることに努める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	<small>あづま ゆういちろう</small> 東 雄一郎	英米文 2 必	2

講義のねらい

アメリカの短編小説を教材に、英語の速読と精読の力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数名の学生が発表する演習形式で授業を進め、その日の内容に関する簡単な小テストを行う。扱う作家は、Asimov, Haycox, Wright Morris, Carol Oates, W.P.Kisella, Ann Mason 等、15名程です。現代のアメリカの current English を身につけます。小レポートも月に何回か提出してもらいます。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加すること。辞書を常に引き、音読の回数を増やすこと。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小テスト、小レポート、発表内容によって総合的に評価する。欠席の多い学生は評価対象外とする。

教 科 書

『現代アメリカ短編小説コレクション』(南雲書店) 2,000円程

参 考 書 等

教場にて指示する。

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ブランケン, D. L.	英米文2必	2

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings—they will record themselves in various speaking situations—and conversation with the instructor.

講義の内容・授業スケジュール

The schedule will be as follows.:

Spring Semester	Fall Semester
Week 1: Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks 2&3: English on the Move (EOM), Unit 1	EOM, Unit 5
Wks 4&5: EOM, Unit 2	EOM, Unit 6
Wks 6&7: Outside material & activities (1)	EOM, Unit 7
Wks 8&9: EOM, Unit 3	Outside material & activities (3)
Wks 10&11: EOM, Unit 4	EOM, Unit 8
Wks 11&12: Outside material & activities (2)	EOM, Unit 9
Week 13: Book check: makeup work	Book Check: makeup work
Week 14: Final Examination	Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, English on the Move. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text: it will take the form of puzzles, games, music and simple reading-and-speaking activities.

The presentation of English on the move will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the schedule for the semester. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential.

The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course: students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria: (1) classwork, using English on the Move: 30%; (2) classwork, using supplemental materials: 20%; (3) attendance and weekly speaking performance: 30%; and final Examination: 20%

教科書

Name: *English on the Move*
 Authors: Baxter and Pustulka
 Publisher: Metropolitan English Publications, 1999
 Price: 2,200 円

参考書等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required: the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	リアーディ, N.	英米文2必	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 2 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people. As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester. At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade 2. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ハバード, W. D.	英米文2必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level 2 or 3 tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods 1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level 2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教科書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学概論	佐藤 眞 二	英米文2必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

試験によって評価する。

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 法	たかのまさお 高野正夫	英米文2必	4

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 法	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文2必	4

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的で意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教 科 書

小沢準作『英作文演習』（南雲堂）1,300円位

参 考 書 等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	佐藤千春	英米文2必	4

講義のねらい

この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身についているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記にあげるテキストの Part I より始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressions の説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。例文は読んで訳してもらっても考えている。この後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書をしてもらう。さらに、Toefl や ToEIC で使われた単語などを利用して自由作文も考えている。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書

The Road from Writing to Speaking 『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）¥1,600

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	佐藤真二	英米文2必	4

英米文

講義のねらい

一年次で養った英語力を基礎として、英語による表現力の一層の向上を目的とする。具体的には、手紙や日記ほどの長さの、自分の考えや感じ方を表現するエッセイが容易に書くことのできる力をつけることを目指す。文字による表現のみならず、声による表現力も取り入れる。

講義の内容・授業スケジュール

様々なテーマで、自由英作文を多く行う。主な項目は以下の通り。

- 1) Writing about Yourself
- 2) Friendly letters, Formal Letters
- 3) Telling a story
- 4) Movie Review
- 5) Tourist Pamphlet
- 6) Speech

履修上の留意点

英語の表現力を養うためには、実際に表現する作業を数多く行うことが大切である。毎回与えられる課題を確実にこなし、予習したうえで授業に望むこと。欠席を慎むことは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回の課題が大きな比重を占める。

教科書

Words In Motion (Oxford)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 文 学 史	さ と う ち は る 佐 藤 千 春	英米文2・3選必	4

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

毎回ではないが出席をとる予定。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあつての注意をするわけではない。

教 科 書

西田実『アメリカ文学史』(成美堂) ¥2,100

参 考 書 等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史 I	かわ 崎 征 俊 <small>か かわ さき まさ とし</small>	英米文2・3選必	4

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義は次のような順序で行う。
- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
 - (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
 - (3) 中世後期の文学の内容と特質
 - (4) チョーサー文学
 - (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
 - (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
 - (7) シェイクスピア文学
 - (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
 - (9) ジョン・ダン文学
 - (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
 - (11) ジョン・ミルトン文学
 - (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
 - (13) 新古典主義文学
 - (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
 - (15) アレキサンダー・ポープ文学
 - (19) 市民社会と小説の隆盛
 - (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
 - (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけではなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

相島倫嘉『イギリス文学の流れ』（南雲堂）3,689円

参 考 書 等

授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

そ の 他

参考資料を時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文2・3選必	4

講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知ることになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まず Romantic Revivalといわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth(1770-1850)をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron(1788-1824)らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにして Realism 小説が生まれてきたかを、小説の発生から Jane Austen(1775-1817)へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史を Sir Walter Scott(1771-1832)から Charlotte Bronte(1816-55)らの姉妹へと語っていく。ヴィクトリア朝作家・詩人として Charles Dickens(1812-70)、William Makepeace Thackeray(1811-63)、Alfred Lord Tennyson(1809-92)、Robert Browning(1812-89)らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot(1819-80)の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末の Oscar Wilde(1854-1900)の唯美主義について語り継ぐ。Wildeは小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats(1865-1939)、Lady Isabella Augusta Gregory(1852-1932)、John Millington Synge(1871-1909)、Sean O'Casey(1880-1964)らの Irish Renaissance が起こり、イギリスの美意識はよりゆたかになった。また Thomas Hardy(1840-1928)、Henry James(1843-1916)らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad(1857-1924)、Herbert George Wells(1866-1946)、John Galsworthy(1867-1933)、Arnold Bennett(1867-1931)、Edward Morgan Forster(1879-1970)の小説の展開を述べ、やがて James Joyce(1882-1941)、Virginia Woolf(1882-1941)、David Herbert Lawrence(1885-1930)らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面では Georgian Poets, Imagists らの登場、Thomas Stearns Eliot(1888-1965)の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながら Auden Group の活躍、演劇の面では一大金字塔 George Bernard Shaw(1856-1950)の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldous Huxley(1894-1963)、George Orwell(1903-1950)、Graham Greene(1904-91)、Edith Sitwell(1887-1964)、Dylan Thomas(1914-1953)、John Boynton Priestley(1894-1984)らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men)は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis(1922-95)の Lucky Jim(1954)、John Osborne(1929-94)の Look Back in Anger(1956)は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化は Philip Larkin(1922-85)、John Wain(1925-94)、Ted Hughes(1930-), Seamus Heaney(1939-)らを生み出した。次に Muriel Spark(1918-), Doris Lessing(1919-), Iris Murdoch(1919-), Edna O'Brien(1932-), Margaret Drabble(1939-), Susan Hill(1942-)らの女性作家、William Golding(1911-93)、Lawrence Durrell(1912-), Anthony Burgess(1917-93)らの新風と、Samuel Beckett(1906-89)、Harold Pinter(1930-), Arnold Wesker(1932-)の新しい劇について講ずる。

履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

教科書

『イギリス文学史』(大阪教育図書)2,500円

参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

その他

授業は発表形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 史	あら 井 よし お 雄 荒 井 良 雄	英米文3必	4

講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があって、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (Beowulf)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. Cockney
11. British and American English
12. English around the World

履修上の留意点

The Oxford English Dictionary (O. E. D.)をはじめ、Webster's Third International Dictionaryほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

成績評価の方法

前期の最終講義と学年末の2回の試験の結果で評価する。

教 科 書

岸田隆之・早坂信・他著『歴史から読み解く英語の謎』（教育出版）1,800円

参 考 書 等

Heiner Gillmeister 著、小野茂訳『英語史の基礎知識』〔SERVICE〕（開文社出版）1,200円
 Gerry Knowles 著、小野茂・小野恭子訳『文化史的にみた英語史 (A Cultural History of English Language)』（開文社）2,000円
 David Crystal 著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門 (The History of English)』（金星堂）2,700円
 R. W. バーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』（オックスフォード大学出版局）2,800円
 ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語 (The Story of English)』（文芸春秋）
 R. McCrum 他著、『The Story of English』〔Special Complete Edition〕（マクミラン・ランゲージハウス）1,650円

そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅰ	いしはらこうさい 石原孝哉	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton などとも取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしいちろう 岡崎 寿一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおかひろし 中岡 洋	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 V	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	英国文化史についての講義。とくにロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性について文化史的背景のなかで述べる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。
履修上の留意点	積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験。
教科書	『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）
参考書等	適宜指定する。
その他	講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄 <small>まる こ ちつ お 雄</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

- ・ *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ・ プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落合和昭	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-) 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	おうみあきひさ 逢見明久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

現代アメリカ女流劇作家のピューリッツァー賞受賞作を扱う予定。前期はウェンディ・ウォサスタイン (Wendy Wasserstein) の『ハイジ・クロニクルズ (The Heidi Chronicles)』を、後期はマーガレット・エドソン (Margaret Edson) 『ウィット (Wit)』を映画版と比較考察しながら解釈する。

講義の内容・授業スケジュール

戯曲は読むだけでは十分ではありません。戯曲は上演を前提にしています。演出家が役者と共に、如何にして作品を観客の前で芝居として成立させ得るか、その具体的な演出プランを模索し削り上げて行かなければなりません。登場人物の数だけ違った視点で作品を見つめる必要があります。そうした全ての視点を踏まえて、ようやく劇作家の視点に近づくことが出来るのです。受講者は毎回それぞれ具体的演出プランを用意し、全員で討論することになります。

成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、及びレポートで総合的に判断します。

教科書

Wendy Wasserstein, *The Heidi Chronicles and Other Plays* (Random House, 1991) 税別定価\$13.00
Margaret Edson, *Wit* (Dramatist's Play Service, 1999) 税別定価\$5.95

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社)1996年 定価2,500円
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林)1995年 定価2,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講 I	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講 II	すぎ 杉 うら 浦 ぎん さく 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカの歴史と文学に大きな影を落としているものは、人種問題である。したがってこの講義では「アメリカ文学における黒人像」と題して、主として小説の分野で黒人がどのように描かれてきたかについて検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- a) アメリカの歴史における黒人奴隷制の成立。
- b) ヴァージニア州に起こった Nat Turner の反乱 (1831) を頂点とする一連の黒人奴隷の暴動。
- c) 黒人奴隷の反乱をもたらした波紋を中心に Edgar Allan Poe, The Narrative of Arthur Gordon Pym (1838), Herman Melville, "Benito Cereno," (1855), Arna Bontemps, Black Thunder (1936), William Styron, The Confessions of Nat Turner (1967)等について。
- d) 黒人奴隷解放の文学的原動力となった Mrs. Stowe, Uncle Tom's Cabin (1852)について。
- e) Mark Twain, Adventures of Huckleberry Finn (1884; 1885)および The Tragedy of Pudd'nhead Wilson (1894)における黒人像
- f) William Faulkner におけるアメリカ深南部の黒人問題。
- g) 黒人文学をはじめて文学史の主流近くまで高めた Richard Wright, Native Son (1940)
- h) Toni Morrison を中心とした現代黒人女流作家。

英米文

成績評価の方法

出席および試験。

教科書

プリント配布。

参考書等

教場にて紹介する。

その他

授業方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし た かず ひと 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	すぎ うら ぎん さく 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ文学における批評。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ文学史におけるピューリタニズム、ロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。

成績評価の方法

成績評価の方法は出席と試験。

教科書

教科書はなし。必要に応じてプリント配布。

参考書等

教場にて指定する。

その他

授業の方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講 V	すぎ 杉 浦 ぎん さく 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における古典の名作を歴史的に順を追って解説することによって受講者諸君に文学史的潮流を把握してもらうのが狙い。
講義の内容・授業スケジュール	取り上げる作家は Nathaniel Hawthorne, Herman Melville, Henry James, Stephen Crane, Theodore Dreiser, Ernest Hemingway, Bernard Malamad, Thomas Pynchon 等々。
履修上の留意点	受講者は翻訳で作品を読んでおくことが望まれる。
成績評価の方法	出席および試験。
教科書	原文引用のコピーを配布。
参考書等	教場で紹介する。
その他	授業方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習 I	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	Shakespeare から Yeats にいたるイギリス詩の中から、その最も代表的なものを厳選して読む予定。比較的やさしい詩を中心にできるだけイギリス詩に親しんでもらうことを目標とする。伝記的な事実や文化的背景についてもふれるイギリス詩入門風な授業になるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	精読が中心になるが、きちんと予習し、自分の意見や感想を発表できるようにしてほしい。
履修上の留意点	辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。
教科書	『イギリス名詩選』（開文社）

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習 II	たかの まさ お 高野 正 夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつは、ポーブやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわば Romanticism への移行期の詩人とも言える、グレイ、クーパー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。
講義の内容・授業スケジュール	前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。
教科書	教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習Ⅲ	あしざわ ひさえ 芦澤久江	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス・ロマン派詩人たちの詩を鑑賞し、その特徴をとらえるとともに高い教養を身につけることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順番にそって進めていく。

1. ロバート・バーンズ
2. ウィリアム・ブレイク
3. ウィリアム・ワーズワース
4. S. T. コウルリッジ
5. ジョージ・G. バイロン

履修上の留意点

予習は必ずしておくこと。

成績評価の方法

出席回数、授業態度、前期テスト、後期レポートを総合的に判断し評価する。

教科書

鳥海久義、千輪絹子編『イギリス名詩選』（開文社）1,800円

参考書等

適宜指示する。

その他

授業方法は学生主体で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習Ⅳ	ますだ けいこ 増田恵子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をしてもらう。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

教科書

Elizabeth Gaskell, *The Life of Charlotte Bronte* (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習 V	富士川 義之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの20世紀作家の短篇小説を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さないうで、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、作家と作品などについて折にふれて説明する。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教科書

Modern British Short Stories (成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習 I	川崎 浩太郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

詩作品の精読を通して、アメリカ詩の全体的な流れを把握した上で、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2~3人のグループで発表してもらおう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらおう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを提出してもらおう。

成績評価の方法

レポートと、授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する。

参考書等

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社出版) 2,200円
『アメリカ名詩選』(岩波文庫) 670円

その他

授業は基本的に、議論を中心に進めて行くつもりなので、活発な発言を期待している。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	佐藤千春	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

Nathaniel Hawthorne の作品にふれ、作家、登場人物の心の動きを知りながら読解力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

ここで扱う作品は、前期に"The Birthmark" "Young Goodman Brown"など、それぞれの作品を精読し、内容の分析に重点をおく。後期は未定で、前期の進具合をみて判断する。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業内での発表、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価となるので注意すること。前期・後期のテストの結果など、全体を考慮して評価をつける。

教科書

『あざ、ほか二篇』（研究社小英文叢書）＜研究社＞ ￥1,200

参考書等

授業内において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	川崎笑佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

J. D. Salinger の作品をいくつか講読し、それぞれの作品を通して作家の思想や作風、時代精神等を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらおう。その際、重要と思われる箇所や疑問点があればそれらについて全員で考えていく。又、毎回数名の学生に発表してもらおう。

履修上の留意点

単語の意味等を辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言、小レポートをもとに評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅳ	こ 古 富 猛 <small>とみ たけし</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ここ2・3年、主にフォークナーについて授業を行ってきたが、私はかねがねアメリカが背負っている歴史的事実、それが持っている重大性を考え直してみたいと思っていた。つまり、時代的必然性を強調して、その正当化を計ってきたアメリカ・インディアンの問題である。ネイティブという表現に固執するとエスキモーも入れなければならないので、ここではインディアンと呼ばせてもらいたい。

その悲劇性はあまりにも深く、良心的アングロ・サクソンも告発するのをたじろがざるを得ない。そのために事実はねじまげられ、インディアンは野蛮で、文明的ヨーロッパ人が成敗してやったのだという説が、60年代くらいまでまんえんしていた。70年代から主にハリウッドにより野蛮なのは白人側もそうであったという考えが登場し、それまで封印されていた事実にもスを入れる動きが出てきた。そのことは映画のみでなく、当然文学の世界でも必要ではないかと思われる。

日本では資料が少なく大変であるが、その問題を念頭にフォークナーばかりでなく、他の作家がいかに関わったか考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の問題に触れている作家の作品を発表形式で進めてゆきたい。

履修上の留意点

日頃より、我々の生活の中にいかにマイノリティ文化への回帰、あこがれ、またそれに癒しを求めているか注意してもらいたい。

成績評価の方法

主に発表により評価したいが、適宜ペーパーテスト・レポート等も加味する。

教 科 書

Three Famous Short Stories by William Faulkner VINTAGE BOOKS (1,300円) (プリントを併用します。)

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学演習Ⅴ	お 杉 浦 銀 策 <small>すぎ うら ぎん さく</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アルメニア系移民を両親として生まれた現代アメリカ作家William Saroyanの代表作*My Name Is Aram* (1940)を読む。この自伝的短編集に描かれる無垢な少年の世界と心理における抒情とユーモアを味読したい。

講義の内容・授業スケジュール

辞書の引き方の訓練を兼ねた英語読みが中心となる。

履修上の留意点

出席を重んじる。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点と試験。

教 科 書

教科書は William Saroyan, *My Name Is Aram* (南雲堂) 1,900円。

参 考 書 等

翻訳としては三浦朱門訳『我が名はアラム』(福武文庫)がある。

そ の 他

授業は演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	荒井良雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper English と Radio English を中心に、Current English を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current English と英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『ニュース英語パワーボキャビル 4,000 語』(語研) 1,900 円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業英語	町井靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読み返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習(英文解釈)、復習(英作文)が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』(創成社) 1,600 円(本体価格)

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課まで進めます。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨んでください。また常に最低限の復習が欠かせません。

成績評価の方法

年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(60%)に平常点(40%)を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社) 1,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違うが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店) 1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 文 化	ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主に映画、演劇を通して英米の文化の諸相を学ぶ。可能な限り多くの映画や演劇をレポートを通じて見て視野を広げてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を講義内容の予定とするが、受講者の知識や興味、あるいは上映になる映画や上演される舞台など、東京で見ることのできる様々な英米関連のイベントや作品に応じて、講義内容は追加、変更していく。

- ・イギリス王室の歴史と映画
- ・アメリカ大統領の映画
- ・映画に見る英米の主要都市、地域文化
- ・Shakespeare 劇の上演と映画化
- ・ロンドン、ブロードウェイの現代演劇、ミュージカル
- ・英米のロック、ポップスのアーティスト
- ・英米文化の背景として重要な聖書とギリシア神話、およびそれらの映画化
- ・'99年度アカデミー賞受賞式
- ・20世紀の名作・名監督・名優を振り返る

履修上の留意点

初回の授業でレポートの課題や提出の方法、成績等について説明するので必ず出席すること。4月の授業内で必ず履修の許可を得た上、登録すること。

成績評価の方法

レポートを中心に評価する。詳細は授業内にて説明する。

教科書

プリント配布の予定

参考書等

授業内に紹介する。

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 国 文 学	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本文学と並んで、豊かな伝統をもつフランス女流文学の歴史を概説します。

講義の内容・授業スケジュール

12世紀のマリー・ド・フランス、14世紀のクリスチヌ・ド・ピザンから始めて、年代順に19世紀あたりまでを講義できればと思っています。

成績評価の方法

成績は、自分自身で読み、感じ、把握した文学作品のレポートで評価します。

参考書等

参考図書は、渡辺一夫・鈴木力衛著の『フランス文学案内』（岩波文庫）を用意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 思 想 史	あさ 麻 生 たか し 志	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義（初回、ガイダンスの次の回）において、英米（広く英語圏で可）の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名（ないしそれ以上）あげ、その思想内容について論じてもらいますので、そのための準備を（出来るだけ早期から）しておいて下さい。後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

成績評価の方法

成績は、出席による平常点、4月に授業時間内に書いた論述、前期及び後期のレポート（レポート試験）、夏休み明けに提出するレポートによって評価します。9月以降、演習発表形式になった場合には、基本的には、その発表内容によって後期のレポートを免除します。（例外あり。）

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

その他

前半は、哲学史に思想史の方法論を加えた講義を行います。後半では、希望者による発表を中心とした演習形式を採りますが、希望人数が少なければその分は講義とします。（発表者予定は、レポート試験時、試験後打合せにおいて決定します。）

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げる。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきた。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察して行く。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術を簡潔に概観する。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に話をする。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビスムとがその後の美術運動に与えた多大な影響を追っていく。後期はシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、近年の動向を紹介する。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験を合わせて評価する予定。

教 科 書

講義時にプリントを配布する。

参 考 書 等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
そのほか授業中適宜紹介する。

そ の 他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史 I	吉田政博 よし だ まさひろ	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用し、また禅文化歴史博物館への見学も必ず行ってほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

英
米
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
放送英語	おほなほ 大庭直樹	英米文3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、前半でコンピューターの基本的な使い方を習得する。後半は、マルチメディアによる英語を学ぶ。それに加えて、英語の映画を一本観ることにする。

講義の内容・授業スケジュール

前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道 (CNN, New York Times) をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく (例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time誌、アメリカの日刊紙 USA Today, New York Times, あるいはエンターテイメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース, そして CNN ニュースなど)。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。後半の課題は、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。また、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

履修上の留意点

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEIC の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
英作文演習	あづま 雄一郎	英米文3・4選	4

講義のねらい

英作文の力をリスニングを通して養成する。基本的な英文のリスニングとライティングを中心に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、30 から 40 の基本的な英文を作り、それらを暗記し、応用する。英字新聞や英語雑誌からのプリントを配布し、生きた英語を学びます。授業内で小テストを毎回行う。毎月、数回の小レポートの提出も課する。英作文の力を高めるには、多くの英文を書くと同時に、多様な英文を聞き、耳で覚えることが大切です。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、授業内の小テスト、小レポート、発表内容によって総合的に評価する。欠席の多い学生は評価対象外とする。

教科書

『英語のリスニング理解—大学教材シリーズI』(南雲書店) 1,600円

参考書等

教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 作 文 演 習	<small>なか おが ひろし</small> 中 岡 洋	英米文3・4選	4

講義のねらい	何をどう表現すればよいか、英語表現の形を習得するのがねらい。自分のなかの思想感情を自然な形の英語で表してみよう。
講義の内容・授業スケジュール	具体的にはテキストに従って問題をこなしていく。
履修上の留意点	出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。
成績評価の方法	出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。
教科書	未定
参考書等	その都度教場で指示する。
その他	特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 I	<small>すが わら つとむ</small> 菅 原 勉	英米文3・4選	4

講義のねらい	全ての言語は音声、意味、文法から成り立つ。当授業では音声学 (phonetics) と音韻論 (phonology) の立場から英語の音声について分析解明し、言語研究の基礎知識の習得とその活用に努める。頭の中にある音声と現実に口から出てくる音声が異なることを実感するためにテキストの音読を多用する。英米文学科生として最低限の英語音の操作ができるように発音訓練も適宜併用する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①授業内容及び使用テキスト紹介と各履修者担当部分決定 ②1回の授業につき1章の割合で進める ③主たる内容は以下の通り <ul style="list-style-type: none"> 1. English Phonetics: Consonants and Vowels 2. Phonemic Principle and English Phonemes 3. Syllable Structure, Word Stress, Rhythm, and Intonation of English 4. Variation in English Accents
履修上の留意点	授業に積極的に参加し、自分の責任を確実に果たす
成績評価の方法	<p>次の①～③を目安とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学期末試験 (60点) ②平常時における発表状況 (発表要旨作成を含む) (20点) ③レポートの提出とその内容評価 (20点)
教科書	未定
参考書等	授業の中で紹介する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ①ゼミ方式を採る。 ②発表者は責任を持って割り当てられた部分の発表要旨 (レジュメ summary) を作成し、他の出席者全員に配布し、それに基づいて担当部分の解説を行なう。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 I	ピアス, D. M.	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members of this class are very special students. Since you are majoring in English-American Literature, I expect that you want to use English your whole lives as English teachers, Professors, interpreters, translators, travel agents, and international businessmen. The course is therefore career-oriented for students who seek careers as specialists in English. Over the years my overwhelming impression has been that you have not learned how to speak English fluently; it is a deeply worrisome pitfall that threatens to ruin the benefit of all four years of your other study of English. Without the ability to speak English, you cannot be successful as an English specialist. Therefore, the course takes drastic efforts to teach you to learn to speak English effectively. You will be speaking English for the full ninety minutes of every period.

There is no passive participation in this class; at every moment you will be producing and improving yourself. Choose this class only if you sincerely want to improve your ability to speak English; great effort is required, and the instructor will not tolerate laziness.

To the purpose of scoring well in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc., there will also be intensive practice in lecture comprehension and composition. The course furthermore prepares you to extend your English proficiency with intensive English study programs overseas and foreign exchange programs.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅱ	あらいよしお 荒井良雄	英米文3・4選	4

講義のねらい

英会話も英作文も英文解釈も、英文法の正確な知識と運用能力がなければ、砂上の楼閣にすぎない。この演習では Written English と Oral English の違いに留意しつつ、正確で平易な英語が書けるとともに、的確な訳文を作ったり、正しい英語が話せるようになるための実用文法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

英語の例文や練習問題を中心に、演習形式で授業を進めるので、テキストと辞書を毎時間持参すること。

履修上の留意点

実用的な例文は暗記すること。練習問題は何度も解いてみること。

成績評価の方法

毎時間の練習と夏休み前と冬休み前のテストで評価する。

教科書

江川泰一郎『英文法解説』（金子書房）1,700円。

参考書等

授業方法は演習方式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅲ	まちだなおこ 町田尚子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」といわれるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べ、語形変化でことばの約束事=文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い約50万語。その3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなります。英語を母語としない外国人英語学習者にとって、これは厄介な問題です。また、英語を母語とする人たちも煩雑だと認める綴り字と発音の不一致はなぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を中心に進めていきます。

- (1) 英語学、言語学の基礎知識の復習
 - (2) 英語の歴史的概観
 - (3) 語彙（言語接触と借入）、文法、発音と綴り字、標準語と変異・方言などの問題考察。
- 資料に基づく課題提出を前期・後期あわせて4回求める予定です。

成績評価の方法

授業中の担当発表、課題レポートの評価と定期試験の論述筆記試験成績で評価点を出します。

教科書

David Crystal, *The English Language* (second edition), Penguin.
ハンドアウト・プリントコピー等

参考書等

Charles Barber, *The English language: a historical introduction*, Cambridge University Press.

A. C. Baugh and T. Cable, *A History of the English Language* (4th edition) Routledge & Kegan Paul.

N. F. Blake, *A History of the English Language*, Macmillan.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅳ	ひやま すすむ 桧山 晋	英米文3・4選	4

講義のねらい	基本文法を学びながら、初歩的な古英語文献を読む。
講義の内容・授業スケジュール	基本文法を最初の約1ヶ月で終え、古英語文献の読解に入る。細かい文法等の解説は読解と並行して扱う。最初の1ヶ月でどれだけ基本文法を習得できるかが鍵になる。
履修上の留意点	中途半端な現代英語の知識は全く役に立たない。新たに外国語を学ぶ覚悟で受講して欲しい。
成績評価の方法	全授業日数の3分の1以上を欠席した者は「不可」。遅刻は減点。予習・発言が最重要。
教科書	森田貞雄・三川基好・小島謙一『古英語文法』(大学書林)。別途古英語のテキストを利用する可能性もあるが、これについては適宜教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習 V	ブランケン, D. L.	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability : (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability : and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・授業スケジュール

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : TOEIC materials & methods	TOEIC materials & methods
Week 2-6 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 7 : Sample TOEIC Test 1	Sample TOEIC Test 1
Week 8-12 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 13 : Sample TOEIC Test 2	Sample TOEIC Test 2
Week 14 : Analysis of test performance	Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked : the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week : reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students : You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough - you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25% : (2) classwork, attendance and performance, 25% : (3) homework, amount of exercises and readings done, 25% : and (4) test performance in terms of progress

教科書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参考書等

Materials : Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc. will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc. will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	ハバード, W. D.	英米文3・4選	2

講義のねらい

The two main goals of this course are : (1) to provide students with expressions and strategies necessary for successful communication and (2) to teach students to be sensitive to cultural differences and to interact successfully so that their intercultural experiences can be more satisfying.

講義の内容・
授業スケジュール

This course is discussion oriented and requires a fair amount of group work. Students are first presented with information on how to be an effective group leader and group participant. Current social issues or sociopoints serve as a central focus for all class activities. Some activities raise student awareness of issues in social interaction. Addition exercises are designed to teach them how to interact appropriately. Each sociopoint is divided into a warming up, a talking task, a listening exercise, a summing up, and a vocabulary learning section. This course is useful for ESL learners who desire to improve their English, but usually do not have access to interaction with native speakers of English.

履修上の留意点

Students who take this course should have completed an Oral English II or equivalent class.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

DESIRE by Robert M. Homan and Christopher Jon Poel, Macmillan LanguageHouse, Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year:

講義の内容・
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc. will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc. will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	レイン, R. V.	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be shown American television commercials and taught as to how to determine their effectiveness. After several weeks of instruction, students will bring to class a video tape of two-three commercials as taped from Japanese television. The students will then show the commercials to the class and explain the merits of each, carefully explaining the reasons for the evaluation.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded regularly on the quality of class presentations. Depending on class size, students can expect to give a presentation [and be graded] no fewer than twice a month.

教 科 書

none

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文3必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文4選	

講義のねらい

エミリー・ディキンソンの詩を読み、イマジスト (H. D., エズラ・パウンド, W. C. ウィリアムズ等) の詩人たちの作品へと進んでゆきます。第1次世界大戦 (1914-18) の前後から1920年代にかけて、新しい詩の変革運動が世界的規模でおこりました。パリのダダとシュールレアリスム、イタリアの未来派、そしてイギリスとアメリカではイマジズム運動がおこり、人々の注目を集めました。これらは、古い有機的な世界観の崩壊による必然的な再生運動で、この時代の芸術上のスローガンは、「更新」("Make it new") でした。19世紀の主観的なスタイルに対する反動としての即物的な表現の強調、精神的荒廃 (現代人の幻滅の意識・危機的な不安感) からの詩的出発とそこから脱出、定型の韻律によらない自由詩、没個性 (impersonality) の強調、これらはイマジズムの詩人たちに共通した詩的変革でしたが、その根は実はアメリカ土着のイマジスト、19世紀のディキンソンの中にありました。ホイットマンが歌ったあの有機的な世界観 (開拓者精神と民主主義の理念) が、ディキンソンには消滅していました。ディキンソンは、即物的で卑近なものの中に不滅を見ることから始めなければなりません。彼女は欠乏の美学を実践していました。エミリー・ディキンソンからイマジストたちのモダニズムへの流れを考え、論じてゆきます。有機的な世界観の崩壊は、here and now、現在にもおこっています。現在にとっての「更新」とは何でしょうか？

教 科 書

テキストは、研究社小英文学叢書の『エミリー・ディキンソン詩抄』(新倉俊一解説注釈) を使用します。

参 考 書 等

参考文献、新倉俊一・鶴野ひろ子訳『エミリー・ディキンソン評伝』(国文社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	荒井良雄	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

英語文化ゼミナールの研究主題は、「シェイクスピアの英語」(Early Modern English)である。Shakespeareの*The Winter's Tale*をテキストにして、朗読法を含めた英語学的研究、文学的研究、演劇的研究、映画化作品研究などをおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの語学的研究、夏休みにはレポート(400字10枚前後)の作成、後期はレポートの発表を中心にした共同研究をおこなう。

成績評価の方法

毎時間の発表とレポートの成績を総合して評価する。

教科書

The Winter's Tale (The Kenkyusha Shakespeare) (研究社) 3,107円

参考書等

The Complete Works of Shakespeare (Alexander Text), Collins.
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社)ほか
荒井良雄・他編『シェイクスピア大事典』(日本図書センター)ほか。

その他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。ゼミ論集出版のため前期と後期に小論文を提出することになる。以上の点を覚悟の上で、ゼミに参加するかどうかを判断すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	河崎征俊	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特質をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

教科書

教科書は、A. C. Baugh版をコピーにして使用する予定。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤 眞二	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

Charles Dickens の公開朗読台本を材料の一つとして、様々なタイプの英語に関して、主に英語学的観点から考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

主として考察する事項は以下の通りである。

1) 登場人物が用いる英語

19世紀のイギリスが舞台であるこれらの作品には、様々な階級に属する様々な人物が登場する。そこで、こうした人物たちの地位や身分の相違を表現する要素のひとつである、人物たちが使う英語に関して、語彙、文法、音声などの面から考察する。考察に際しては、テキストは勿論映画や朗読テープ等を利用して、比較研究する。映画や朗読のテープにおいて、非標準的な英語がどの様に発音され、どの様な特徴が強調されているのかなどを分析するなどの作業を行いたい。

2) その他、Dickens の英語の諸特徴にもふれ、その全体像を展望したい。

3) 文学的にも深い読み込みをめざしたい。

4) その他、テキスト以外でも、地域、社会階級、年齢等による英語の相違を研究する予定である。

履修上の留意点

毎回全員に意見を發表してもらうことになるので、毎回予習のうえ、欠席せずに出席することが要求される。

成績評価の方法

毎回の授業内の発表と、夏休み中にまとめたレポート（後期に発表）で評価する。

教科書

Sikes and Nancy and Other Public Readings (Oxford University Press)

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤 千春	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

英米文

講義のねらい

アメリカ文学史上、1830年頃から40年の中頃にかけて、(Transcendentalism) という文芸思潮が頂点に達していた。これは宇宙の本質、神と人間の内部とは究極的に同質のものだとし、人間の精神、自我そのものが神であると主張した。当然そこには、個人こそあらゆるものの根源であるという徹底した個人主義思想が生まれてきた。そして超絶主義はこの神と自我のつながりを認識する媒体能力として直観を重んじた。理性というワクをとりはずし、いっさいの経験、悟性に先立つ直観能力、想像力に信頼をよせ、無限者神との合一を求めた。そこには明るい未来像、世界像が描かれていた。しかしこれに疑問を持ち、その未来像を否定的にさえ眺めていた作家もいた。ナサニエル・ホーソーン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。ここでは彼の作品を精読し、さらにほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソーン の作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度は "The Snow-Image" "Wakefield" "The Ambitious Guest" を読む。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の朗読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。なお、上記作品はすべてではないが、『ホーソーン短編小説集』（坂下 昇 翻訳(岩波文庫)）に収録されているので参考にされたい。

成績評価の方法

分担して発表してもらう姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	すぎのうらぎん さく 杉 浦 銀 策	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

第2次世界大戦後の1951年に出版されて以来多くの若い読者を魅了してきたJ.D.Salingerの長編 *The Catcher in the Rye* を読む。豊かな社会に生きながら反抗と順応のあいだを揺れ動く少年の心理と悩みについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

学期の最初の数週間は英語の俗語的表現について学び、その後内容面での問題点を探りながら、主人公の言動に対する読者（学生）の反応を見定める。

履修上の留意点

学生たちはまず英語の辞書を引く習慣を身につけること、それから訳書を利用しながら作品を何度も読み返すことが要求される。

成績評価の方法

成績評価の方法は、出席と学習態度および年内に提出してもらう作品論としてのレポートによる。

教科書

テキストは注釈付き原書 *The Catcher in the Rye* (英潮社) 2,300円

参考書等

教場で指示する。

その他

授業方法は講義と演習を組み合わせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たかのまさお 高 野 正 夫	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であったW. H. Audenは、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した、1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。

成績評価の方法

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えること。

教科書

W. H. Auden, *Collected Shorter Poems 1927~1957* (Faber) を使用する。

その他

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	なか おか ひろし 中岡 洋	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知るだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分ももっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Emily Brontë (1818-48) の *Wuthering Heights* (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ぶかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落ち着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に『中岡ゼミ論集』を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考になるであろう。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

履修上の留意点

出席に励むこと。毎年の経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

教科書

Wuthering Heights (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

英米文

講義のねらい

オスカー・ワイルドの *The Picture of Dorian Gray* 研究。『ドリアン・グレイの肖像』を精読しながら、ワイルドの文学についてさまざまな角度から考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、適宜課題を与えて発表してもらおうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

試験と発表態度と出席回数を総合的に判断して評価する。

教科書

『ドリアン・グレイの肖像』(開文社)

参考書等

適宜指定する。

英
米
文

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

3 地 理 学 科

地
理

地
理

Ⅱ. 専門教育科目

(3) 地理学科

自然地理学概論	〈小池一之〉	419
人文地理学概論	〈佐藤哲夫〉	420
人文地理学概論	〈佐藤哲夫〉	421
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈小池一之〉	422
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地図学実習含む) F〕		
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈高木正博〉	422
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地理学実習含む) D〕		
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈早船元峰〉	423
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地図学実習含む) A〕		
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈田中靖〉	423
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地図学実習含む) B〕		
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈中村和郎〉	424
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地図学実習含む) E〕		
自然地理学実習(地図学実習含む)	〈長沼信夫〉	424
〔平成9年度以前入学生：自然地理学実習(地図学実習含む) C〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈橋詰直道〉	425
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) F〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈佐藤哲夫〉	425
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) G〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈小田匡保〉	426
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) D〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈須山聡〉	426
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) E〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈高橋健太郎〉	427
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) A〕		
人文地理学実習(地図学実習含む)	〈土谷敏治〉	428
〔平成9年度以前入学生：人文地理学実習(地図学実習含む) C〕		
地域文化研究概説		
	〈土谷敏治・小田匡保・佐藤哲夫・須山聡・高橋健太郎・橋詰直道〉	429
〔平成9年度以前入学生：地誌学概論〕		
地域環境研究概説		
	〈高木正博・佐藤哲夫・田中靖・長沼信夫・早船元峰〉	430
〔平成9年度以前入学生：地誌学概論〕		
地域概論	〈須山聡〉	431
地理思想史	〈吉田敏弘〉	432
地図学	〈中村和郎〉	433
村落地理学	〈高橋健太郎〉	433
都市地理学	〈橋詰直道〉	434
交通地理学	〈土谷敏治〉	434
文化地理学	〈小田匡保〉	435
文化生態学	〈中俣均〉	435
歴史地理学	〈小田匡保〉	436
リモートセンシング	〈田中靖〉	436
環境地理学	〈早船元峰〉	437

計 量 地 理 学〈土 谷 敏 治〉	437
応 用 地 理 学〈高 木 正 博〉	438
地 域 計 画 論〈今 野 修 平〉	438
地 理 情 報 論〈村 山 祐 司〉	439
地域文化調査法 (現地調査含む) A〈橋 詰 直 道〉	440
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) A〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地域文化調査法 (現地調査含む) B〈休 講 〉	
地域文化調査法 (現地調査含む) C〈土 谷 敏 治〉	441
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) C〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地 域 文 化 調 査 法 D〈休 講 〉	
地 域 文 化 調 査 法 E〈中 村 和 郎〉	441
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) E〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地域文化調査法 (現地調査含む) F〈休 講 〉	
地域環境調査法 (現地調査含む) A〈小 池 一 之〉	442
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) G〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地域環境調査法 (現地調査含む) B〈休 講 〉	
地域環境調査法 (現地調査含む) C〈高 木 正 博〉	442
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) I〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地域環境調査法 (現地調査含む) D〈休 講 〉	
地域環境調査法 (現地調査含む) E〈田 中 靖 〉	443
〔平成12年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む) K〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学調査法 (現地調査含む)〕	
地域環境調査法 (現地調査含む) F〈休 講 〉	
地 域 文 化 演 習 A〈小 田 匡 保 〉	443
〔平成12年度以前入学生：地理学演習 I A〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕	
地 域 文 化 演 習 B〈休 講 〉	
地 域 文 化 演 習 C〈須 山 聡 〉	444
〔平成12年度以前入学生：地理学演習 I C〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕	
地 域 文 化 演 習 D〈休 講 〉	
地 域 文 化 演 習 E〈休 講 〉	
地 域 文 化 演 習 F〈休 講 〉	
地 域 環 境 演 習 A〈長 沼 信 夫 〉	444
〔平成12年度以前入学生：地理学演習 I G〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕	
地 域 環 境 演 習 B〈休 講 〉	
地 域 環 境 演 習 C〈早 船 元 峰 〉	445
〔平成12年度以前入学生：地理学演習 I I〕	
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕	
地 域 環 境 演 習 D〈休 講 〉	
地 域 環 境 演 習 E〈休 講 〉	
地 域 環 境 演 習 F〈休 講 〉	
地 理 学 演 習 II〈小 田 匡 保 〉	445

地理学演習Ⅱ	〈小池一之〉	445
地理学演習Ⅱ	〈佐藤哲夫〉	446
地理学演習Ⅱ	〈須山聡〉	446
地理学演習Ⅱ	〈高木正博〉	447
地理学演習Ⅱ	〈高橋健太郎〉	447
地理学演習Ⅱ	〈田中靖〉	448
地理学演習Ⅱ	〈土谷敏治〉	448
地理学演習Ⅱ	〈長沼信夫〉	449
地理学演習Ⅱ	〈中村和郎〉	449
地理学演習Ⅱ	〈橋詰直道〉	450
地理学演習Ⅱ	〈早船元峰〉	450
巡検A	〈休講〉	
巡検B	〈高橋健太郎〉	451
巡検C	〈長沼信夫〉	451
巡検D	〈休講〉	
実習	〈清水長正〉	452
地誌	〈橋詰直道〉	452
外地誌	〈梅原弘光〉	453
アジアカ地誌	〈佐藤哲夫〉	453
アメリカ地誌	〈仁平尊明〉	454
一口ッパ地誌	〈休講〉	
経産地地理学	〈生井沢進〉	454
地地理学	〈須山聡〉	455
地形学	〈小池一之〉	456
社会地理学	〈清水長正〉	456
外会書	〈宮口侗廸〉	457
気候学	〈佐藤哲夫〉	457
水文学	〈中村和郎〉	458
水文学	〈中村和郎〉	458
水文学	〈長沼信夫〉	459
水文学	〈高木正博〉	459
人口地理学	〈大友篤〉	460
歴史地理学	〈小田匡保〉	460
地球物理学	〈柳田誠〉	461
土壌地理学	〈漆原和子〉	461
生物地理学	〈清水善和〉	462
計量地理学	〈土谷敏治〉	463
測量地理学	〈田中靖〉	464
第四紀学	〈鈴木毅彦〉	464
現代地理学	〈長谷川均〉	465
地理学特講Ⅰ	〈橋詰直道〉	465
地理学特講Ⅱ	〈田中靖〉	466
地理学特講Ⅲ	〈沖野行男〉	467
地理学特講Ⅳ	〈山縣毅〉	468
地理学特講Ⅴ	〈長沼信夫〉	468

地
理

地

理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	こいけ かず ゆき 小池一之	地文・環境・地理1必	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

自然地理学の基礎的概念 地球の歴史と第四紀
 第四紀の気候変化と海面変化 地震と関連する諸問題
 火山の恵みと災害 人間活動と自然環境の変化
 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していない学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

教科書

町田 洋ほか著（1999）『地層の知識—第四紀をさぐる』（東京美術）1,500円＋税

参考書等

日本第四紀学会（編）（1987）『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円＋税

小池一之ほか訳（1983-1984）『一般地質学 1,2,3』（東京大学出版会）各巻 3,400円＋税

その他

授業は講義形式でプリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 概 論	さ とう てつ お 夫 佐 藤 哲 夫	地 文 1 必	4
		地 文・環 境・地 理 2 年	

講義のねらい

この授業は、地域文化を研究するために知っておくべき人文地理学の専門領域全般について解説した入門的講義である。高校の地理を復習しながら、地域文化を担う人々の暮らしについて、地理学的な観点から理解するために必要な、基礎的知識や地域の見方を身につけることを目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、以下の各項目について教科書を参照しながら1~2回で解説する。ただし教科書の順番どおりに学習するわけではなく、また説明が不足している部分については、資料等で補足しながら、講義を進める。題材は主に日本の地域で、研究手段としての地図の利用に焦点をあてる。

1. 生活様式と地図：地理学の研究方法の特徴である地域スケールと地図について説明する。
2. 人口の地域構造：日本の人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明する。
3. 都市景観の形成：日本における都市の発達と形態について説明する。
4. 都市の内部構造：現代の都市内部における地域分化について説明する。
5. 都市住民の行動：都市に住む人々の生活圏について、消費者行動を例にして説明する。
6. 商業地区の類型：商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明する。
7. 工業地区の性格：工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明する。
8. 交通機関と地域：交通施設と集落や都市の立地・相互関係について説明する。
9. 都市の立地理論：都市の機能と社会構造、都市システムについて説明する。
10. 村落景観の構成：日本における村落の立地条件と土地利用について説明する。
11. 村落の社会構造：伝統的な村落社会の構造の地域的な特徴について説明する。
12. 農業変化と農村：農業の変化と、畑作村、水田村の現状について説明する。
13. 林野利用と山村：日本における林野利用と山村の変化について説明する。
14. 漁場と漁業集落：漁村や水産都市の特徴を、漁場利用という観点から説明する。
15. 文化と地域計画：地域文化の創生に焦点をあてながら、地域計画について説明する。

成績評価の方法

成績は出席（20%）と夏休みの課題（30%）、学年末試験（50%）で評価する。

教 科 書

浮田典良『人文地理学総論』（朝倉書店）（総観地理学講座9.）

参 考 書 等

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）
坂本英夫ほか『基礎地理学』（大明堂）

そ の 他

水曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概論	佐藤哲夫	環境1必 地文・環境・地理2年	4

講義のねらい

この授業は、地域環境を研究するために知っておくべき人文地理学の専門領域全般について解説した入門的講義である。高校の地理を復習しながら、地域環境の影響を受ける人間活動について、地理学的観点から理解するために必要な、基礎的知識や地域の見方を身につけることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の各項目について教科書を参照しながら1~2回で解説する。ただし教科書の順番どおりに学習するわけではなく、また説明が不足している部分については、資料等で補足しながら、講義を進める。題材は主に日本の地域で、研究手段としての地図の利用に焦点をあてる。

1. 人間活動と地図：地理学の方法の特徴である地域スケールと地図について説明する。
2. 人口の地域構造：日本の人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明する。
3. 都市景観の形成：日本における都市の発達と形態について説明する。
4. 都市の内部構造：現代の都市内部における地域分化について説明する。
5. 都市住民の行動：都市に住む人々の生活圏について、消費者行動を例にして説明する。
6. 商業地区の類型：商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明する。
7. 工業地区の性格：工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明する。
8. 交通機関と地域：交通施設と集落や都市の立地・相互関係について説明する。
9. 都市の立地理論：都市の機能と社会構造、都市システムについて説明する。
10. 村落景観の構成：日本における村落の立地条件と土地利用について説明する。
11. 村落の社会構造：伝統的な村落社会の構造の地域的な特徴について説明する。
12. 農業変化と農村：農業の変化と、畑作村、水田村の現状について説明する。
13. 林野利用と山村：日本における林野利用と山村の変化について説明する。
14. 漁場と漁業集落：漁村や水産都市の特徴を、漁場利用という観点から説明する。
15. 環境と地域計画：地域環境の保全に焦点をあてながら、地域計画について説明する。

成績評価の方法

成績は出席（20%）と夏休みの課題（80%）、学年末試験（50%）で評価する。

教科書

浮田典良『人文地理学総論』（朝倉書店）（総観地理学講座9.）

参考書等

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）
坂本英夫ほか『基礎地理学』（大明堂）

その他

木曜日・2時限

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	こ いげ かず ゆき 小 池 一 之	地理1必(地文・環境2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)F(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地域環境を理解する最も基礎的なことは、まず、地形図を使いこなすことである。この科目では地形図の読図、地形図を用いた環境図の作成、現地との対応などを中心に実習を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1/2.5万 地形図の読図(等高線、水系、各種地形) 1/2.5万 地形図を元にした種々の作業(高度-頻度分布、河床縦断面図、水系図と相関、砂礫分析と各種グラフの作成)。駒澤大学周辺の地形とその改変(明治時代の地形図との比較)

履修上の留意点

実習であるので必ず出席し、課題を指定日までに提出すること

成績評価の方法

平常点

教科書

特にない

参考書等

授業時に指定。実習マニュアルを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	地文1必(地文・環境2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)D(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学を学ぶためには、地形図読図や空中写真判読などの基本的な作業が必要である。本講義は、これらの作業をとおして基礎的な技術の修得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。

- 1) 地形図の読図(等高線から地形断面や地形特性などを読む)
- 2) 起伏量図、水系図など主題図の作成(地形図の利用)
- 3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成(空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める)
- 4) 資料や調査結果の整理と製図

履修上の留意点

課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期日に提出できるように努力すること。

成績評価の方法

提出物の内容、毎回の作業進捗状況、出席回数などを点数化し総合的に評価する。

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

内容に応じて紹介する。

その他

30 cm 程度の定規、図面保護筒が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	はや ふね げん ぼう 早 船 元 峰	地文1必(地文・環境2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)A(後期)		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)A(後期)	9以前入学生/地理1必		

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- 調査器材・器具の使用法
- 空中写真判読
- 地形断面図(実測)の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらう。
出席をこころがけ、成果の提出期限を守る。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

そ の 他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	た なか やすし 田 中 靖	環境1必(環境・地文2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)B(前期)		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)B(前期)	9以前入学生/地理1必		

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方の習得する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地形図の読図
2. 等値線図の作成
3. 主題図の作成
4. グラフの作成
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

製図ペンや定規、地形図等を用意する必要がある。適宜指示する。E-mailアドレスを取得しておくこと。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	なかむら かずお 中村和郎	環境1必(環境・地文2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)E(前期)		10~12入学生/地理1必 9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術、とくに地図を作成するスキルの習得を目標とし、あわせて、地形図の作業などを通じて自然地理学の基本的な知識ならびに研究方法の基礎を学ぶ。

コンピュータが発達してその技術があれば誰にでもきれいな地図を作ることができる時代になった。しかし、地理学を学んだ者にしか描けない地図がある。それは何だろうか。この実習を通して、そこに気づいてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. キャンパスの中の自然地理
2. 地図を作る
身近な地域の地図を作る。
線を描く(砂浜海岸と岩石海岸、生活道路と高速道路を描き分ける、など)
記号・色・文字を正しく描く。
3. 地形図を読む
位置、方位、面積、形を読む。
谷線・尾根線・地性線などを読む。
地理的情報を読む
4. 地域の特性を知って初めて描ける地図

履修上の留意点

製図用のペンを使用する。

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの見方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行うこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。

成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	ながぬま のぶお 長沼信夫	環境1必(環境・地文2年)	1
自然地理学実習(地図学実習含む)C(前期)		10~12入学生/地理1必 9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

実習内容としては、次のような作業を予定している。

- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
- 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
- 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
- 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
- 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂) 2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文1必(地文・環境2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)F(前期)		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には(1)地理学文献の検索方法(2)地図・空中写真・地理データの入手方法(3)地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)(4)調査課題の設定と現地調査の方法(フィールドノートのとり方、アンケート用紙の作成)(5)入手した地理データの処理・分析手法(地図化、グラフ化、パソコンを用いた基礎統計分析方法)(6)調査レポート(プレゼンテーション)の作成などについて学ぶ。統計分析は総合情報センターのパソコンを使用する。

履修上の留意点

必修科目であり、課題中心の授業となるので、課題への取り組みはもちろんのこと、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加状況も重視する。課題レポートはワープロ使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席(一定基準以上)や授業への参加状況などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

その他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませ、各自メールアドレスを取得しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	さとう かつお 佐 藤 哲 夫	地文1必(地文・環境2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習では、パソコンを用いて人文地理学的調査のレポートが作成できるようになることを目標としている。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的技術について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定を基本にするが、受講者の理解度を見て内容を調整しながら進めたい。

1. 地図のトレース：地図の特徴と編集・作図作業
2. 写真レポート：写真の撮影と利用
3. 地形図の計測：長さ、面積の計測作業
4. 情報の検索：インターネットによる文献の検索
5. 論文要旨の作成：ワープロによるレジュメ作成
6. PCでの作図：作図ソフトによる主題図作成
7. 統計情報の整理：地理統計と表計算ソフトの利用
8. 基本的統計処理：平均と標準偏差、特化係数の計算
9. 統計のグラフ化：表計算ソフトによるグラフの作成
10. 簡単な予測：表計算ソフトによる回帰分析

履修上の留意点

パソコンによる学習なので、自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、大学の自習室を利用すること。毎回課題が出る。授業時間内に終わらなかった課題は持ち帰って仕上げてもらう。

パソコンやソフトの操作法についてはあまり時間をかけず、作業の意味や原理について説明する。従って、すでにパソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の友人の手助けをして欲しい。わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問して欲しい。

成績評価の方法

課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは受講者の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りは7月16日であり、遅れた場合は不可となる。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地文1必(地文・環境2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)D(前期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 参考図書
2. 地形図
3. 主題図の作成
4. 情報検索
5. 統計資料
6. グラフの作成

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。後半の授業は総合情報センターを利用するので、なるべく早く情報センターの講習会を受講して、利用者IDを取得しておくこと。ワープロ・表計算ソフトの講習会にも出席し、基本的な使い方に慣れておくこと。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

製図ペンや定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	す や ま さ と し 須 山 聡	環境1必(環境・地文2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)E(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学における分析の基礎となる統計地図の作成を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 文献表の作成
- (2) 土地利用調査
- (3) 分布図の作成
- (4) コロプレスマップの作成
- (5) フローマップの作成
- (6) 特化係数の利用
- (7) 地域人口の分析
- (8) コーホート分析
- (9) 組み合わせ分析

履修上の留意点

統計地図の作成にとどまらず、作成した地図をいかに読みとり地域の性格や特性を把握するかに重点を置く。そのため、授業時間中にグループディスカッションを行うことも予定している。

成績評価の方法

毎週レポートを課す。合格点を1点とし、不合格は0.5点とする。不合格の場合何度でも再提出を認める。得点合計のパーセンテージにしたがって評価する。

教科書

毎回資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	たか ぼし けん たろう 高 橋 健太郎	環境1必(環境・地文2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)A(後期)		10~12入学生/地理1必 9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の調査・研究手法の基礎を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

①文献資料の検索・利用、②ワープロ・ソフトの利用、③統計資料の収集・利用、④表計算ソフトの利用、⑤地図の作成、⑥プレゼンテーションの方法、⑦データベースの利用、⑧写真撮影の方法と映像資料の利用。

履修上の留意点

実習授業のため、毎回出席し、授業および課題の目的と内容をきちんと理解し、地道な作業を積み重ねていくことが重要となる。また、課題の提出期限を厳守のこと。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、課題の提出状況、提出物の内容で評価する。

教科書

特に指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

実習授業のため、作業のために必要な用具等は各自で購入してもらうものもある。これらは授業中に随時指示する。また、総合情報センターの利用登録を済ませておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	つち なたに とし はる 土 谷 敏 治	環境1必(環境・地文2年)	1
人文地理学実習(地図学実習含む)C(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

9~11月：コンピュータによって、レポート作成の実習や資料の基礎的な統計分析を行う。
12・1月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- 1) コンピュータの基本操作：コンピュータの基本的操作法を修得する。
- 2) ワードプロソフトによる文書作成：レポート、論文作成に備えて、ワードプロソフトの操作を習得する。
- 3) 作表実習：表計算ソフトを用いて、作表操作を習得する。
- 4) 統計分析：表計算ソフトを用いて、基礎統計分析やグラフ作成の操作を習得する。
- 5) 文献検索と読解：各自文献の検索を行い、抄録・書評を書く。
- 6) 地図の作製：統計データをもとに、地図を作製する。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターの利用者登録をしておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1:1の比重とする。書評、地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となる。
 浮田典良編『ジオ・パル21 地理学便利帖』(海青社)
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)
 菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域文化研究概説	土谷 敏治・小田 匡保 佐藤 哲夫・須山 聡	地文2必	4
地誌学概論	高橋健太郎・橋詰 直道	9以前入学生/地理2必	

講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学的方法について、6人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。各教員の講義のテーマとして、次のものを予定している。

1. アジアの地域文化を研究する
2. 地域を見る目
3. 歴史と文化と都市
4. 文化地理学いろいろ
5. 民族文化を考える
6. 風土と日本人

履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席すること。

- | | |
|---------------|-------|
| 4月15日～5月13日 | 佐藤哲夫 |
| 5月20日～6月10日 | 須山 聡 |
| 6月17日～7月8日 | 土谷敏治 |
| 7月15日～10月7日 | 小田匡保 |
| 10月14日～11月11日 | 高橋健太郎 |
| 11月18日～12月9日 | 橋詰直道 |
| 12月16日 | 全員 |

成績評価の方法

定期試験は行わず、評価はレポートおよび小テストに出席状況を考慮して行う。各担当者が採点し、その結果を総合して評価する。

参考書等

- 浮田典良 編 『地域文化を生きる』(大明堂)
AERA MOOK48『地理学がわかる』(朝日新聞社)
藤巻正巳ほか編 『異文化を「知る」ための方法』(古今書院)
渡部忠世 編 『稲のアジア史 1～3』(小学館)
藤森照信 『日本の近代建築 上・下』(岩波新書)
比嘉政夫 『沖縄からアジアが見える』(岩波ジュニア新書)
高橋伸夫ほか編 『地理学講座1～6』(古今書院)
C. サウアー 『農業の起源』(古今書院)
梅棹忠夫 『文明の生態史観』(中央公論社)
柳田国男 『蝸牛考』(岩波書店)
千田 稔ほか編 『風景の事典』(古今書院)
Y. F. トゥアン 『トポフィリア』(せりか書房)
小笠原節夫 『人口地理学入門』(大明堂)
浮田典良 『スイスの風景 スイスに関する80章』(ナカニシヤ出版)
早川東三・工藤幹巳 『ドイツを知るための60章』(明石書店)
浜本隆志・高橋 憲 『現代ドイツを知るための55章』(明石書店)
大西健夫 編 『ドイツの政治 一連邦制国家の構造と機能一』(早稲田大学出版部)
雪山伸一 『ドイツ統一』(朝日新聞社)
平井 正 『ベルリン 歴史の道』(光人社)
鈴木秀夫・久保幸夫 『日本の食生活』(朝倉書店)
山村順次 『新観光地理学』(大明堂)
杉浦芳夫 『文学・人・地域—越境する地理学』(古今書院)
徳川宗賢 『日本の方言地図』(中公新書)
平山輝男 『日本の方言』(講談社現代新書)
高橋伸男ほか 『文化地理学入門』(東洋書林)
佐々木信彰 編 『現代中国の民族と経済』(世界思想社)
可見弘明ほか編 『民族で読む中国』(朝日新聞社)
松村嘉久 『中国・民族の政治地理』(晃洋書房)
山下青海 『東南アジア華人社会と中国僑郷』(古今書院)

地
理

和辻哲郎 『風土—人間学的考察—』(岩波文庫)
 祖父江孝男 『県民性—文化人類学的考察—』(中公新書)
 市川健夫 『ブナ帯と日本人』(講談社現代新書)
 佐々木高明 『照葉樹林文化の道』(NHK ブックス)
 石川徹也 『日本の自然保護』(平凡社新書)
 渋谷昌三 『人と人との快適距離』(NHK ブックス)
 三谷康之 『イギリス観察学入門』(丸善ライブラリー)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境研究概説	高木 正博・佐藤 哲夫 田中 靖・長沼 信夫	環境2必	4
地誌学概論	早船 元峰	9以前入学生 /地理2必	

講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとする。地球環境から地域環境まで、個々の地域に特有な人間活動と環境とのかかわりにも注目し、さまざまな環境形成要因を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて環境の諸問題について学ぶ。テーマとしては、「地域環境を読む」を意図している。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 地域環境の諸問題【長沼】
2. 地域の環境変化【長沼】
夕張市、高山市、川崎市
3. 地域環境を南西諸島で考える【長沼】
自然環境／産業と生活環境
4. 第四紀気候変動と最近の気候変化【田中】
第四紀という時代／酸素同位体ステージ／第四紀海面変化／
IPCC レポート／都市のヒートアイランド現象
5. 人間活動に伴う環境変化【早船】
扇状地における自然と人間のかかわりあい
—黒部川扇状地、大間々扇状地を事例地域として—
地形発達史／土地利用と水利用／集落の立地
6. 都市の環境とまちづくり【佐藤】
安全なまちづくり／地域環境と建築物
快適なまちづくり／地域環境と都市計画
7. 都市域の環境を水循環の視点から考える【高木】
都市の水収支／都市の河川／都市の水害／都市に自然を／
都市の水循環を回復させるには

成績評価の方法

出席は評価の参考にする。定期試験は行わない。評価はレポート及び小テストで行う。出題・採点は各担当者が行い、合計点を成績評価とする。

レポートによる評価：田中靖・早船元峰・佐藤哲夫・高木正博
 小テストによる評価：長沼信夫

参考書等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊(岩波書店)
 シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊(岩波書店)
 山田安彦編著『総合 地域の科学—水と地域のかかわり合い—』(古今書院)
 IPCC 編『IPCC 地球温暖化第三次レポート—気候変化2001—』(中央法規)
 まちづくり読本4『環境とまちづくり』(風土社)
 高見沢 実『初学者のための都市工学入門』(鹿島出版会)
 都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』(共立出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 域 概 論	須 ^す 山 ^{やま} 聡 ^{さとし}	地文・環境2・3・4選必	4
		地理2・3・4選	

講義のねらい

地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・人文現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地域の理解のしかたや分析の視点を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は (1) 地理学の目的・理念、(2) 基本的概念、(3) 方法論の3つによって構成される。予定は以下の通りである。

1. 地誌学の目的 (地域性・地域差・空間認識)
2. 地誌学の対象 (「地域」の概念)
3. さまざまな「地域」(等質地域・結節地域)
4. 土地利用と景観
5. 立地・分布・拡散
6. 地域構造
7. 認知と行動

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。また、随時簡単なエッセイを課する。
試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学習のきっかけと捉えて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験 (50%)、出席状況 (50%) で判定。

教科書

適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	よし だ とし びろ 吉 田 敏 弘	地文・環境2・3・4選必 地理2・3・4選	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・
授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教 科 書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参 考 書 等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
織田武雄『地図の歴史』（講談社）
織田武雄『古地図の世界』（講談社）
葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地図学	中村和郎 <small>なかむらかずお</small>	地文・環境2・3・4選必 地理2・3・4選	4

講義のねらい

「地図は地理学の言語である」と言われる。だとすると、地理学を学ぶ者は地図を読んだり書いたりすることができないといけな。しかし、これまでの地図学の教科書は、ややもすると、測量法や投影法偏重のきらいがあった。

古来、各種の地図を考案した人と、地図を使って研究をした人に焦点を当てて、地図とは何なのかをお互いに考えてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 道案内文と道案内図
2. もっとも古い地図
3. 測量をして地図を作った人々
(ジェームズ・クック、伊能忠敬など)
4. 世界地図の breakthroughs (プロトマイオス、メルカトルなど)
5. 主題地図のはじまり (エドモンド・ハレーなど)
6. 主題地図のアトラス (リッター、フンボルト、プラーシュなど)
7. 各種の地図 (ドットマップ、等値線図など)
8. 地図を使って研究した人々
9. コンピュータ時代の地図
10. 地図とは? (地図と写真、地図と言語、地理教育と地図など)

履修上の留意点

OHP などを使って講義をすることが多い。講義を聴きっぱなしにするのではなく、参考書を読み、自ら進んで学んでほしい。学校地図帳などを活用してほしい。

成績評価の方法

出席状況。ときどき行う小テスト、および年度末の試験によって評価する。

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
村落地理学	高橋健太郎 <small>たかはしけんたろう</small>	地文2・3・4選必 環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

生活、生産、観光、環境保全などの場としての村落地域を理解するための方法論を、具体的な事例と関連づけて検討する。

講義の内容・授業スケジュール

主に日本、中国、ヨーロッパを事例として、以下のテーマについて検討する予定である。◇系統地理学と地誌学、◇分布論、◇景観論、◇場所論、◇土地利用、◇農林水産業、◇生活様式、◇居住、◇地名、◇空間認知、◇観光、◇焼畑、◇棚田。

履修上の留意点

講義内容の理解の具合を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出していただく。

成績評価の方法

定期試験の結果と提出されたレポートの得点の総計で採点する。

教科書

特定の教科書は使用せず、授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
都市地理学	はしづな なおみち 橋 詰 直 道	地文2・3・4選必 環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)都市の概念、(2)都市システム(順位規模法則・中心地理論・日本の都市システム)、(3)都市機能の分類(ハリス・ネルソン・石水・山口らによる研究)、(4)都市の内部構造(古典的モデル・因子生態モデル)、(5)都心機能(CBDの形成、垂直的・水平的機能分化)、(6)都市化と大都市圏(地価構造・超郊外化)、(7)居住空間(郊外住宅地・ジェントリフィケーション)、(8)都市住民の行動(生活時間と生活行動)、(9)都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、(10)都市環境の整備と保全(スプロールと都市計画)、これらの項目について最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)および学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林)2,500円
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院)3,605円
若林芳樹・神谷浩夫ほか編著『シングル女性の都市空間』(大明堂)2,800円
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂)3,800円
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫編訳『生活の空間都市の時間』(古今書院)3,000円
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『都市の空間と時間』(古今書院)3,090円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に行い、課題や小テストも実施する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
交通地理学	つちがみ としはる 土 谷 敏 治	地文2・3・4選必 環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。1.交通と都市システム 2.交通ネットワーク 3.交通とアクセシビリティ 4.都市圏内部における公共交通の現状と課題 5.鉄道交通の現状と問題点 6.航空交通の特色と都市間結合関係

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点(すなわち、2回の試験の合計点)で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』(大明堂)
奥井正俊『自動車交通の地域分析』(大明堂)
奥野隆史『交通と地域』(大明堂)

その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化生態学	中 俣 均	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

「文化生態学」という学問の分野は、アメリカの C. O. Sauer を始祖とする Berkeley 学派の文化地理学の一部門と位置づけられる。そのことを明確にした Wagner, P. & Mikesell, M. (1962): *Readings in cultural geography* では、文化生態学を「環境に対する人間（集団）の巧妙な操作を包摂する特定のプロセス」と定義し、また「(ある地域の) 出来事の経過の内に暗示されているプロセスに関心を抱き」それを記述するものだとしている。このような点に鑑み、本講義では、わたしのフィールドである「沖縄」(ただし沖縄県とはかならずしも同一ではない) を対象にして、いわば「生態地誌」を展開してみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

詳しい講義のスケジュールについては、講義開始時に指示する。

履修上の留意点

時代遅れだとの噂も聞くが、主義として、うるさく出席をとる趣味はもたないので、教室には意欲のある学生だけが存在していると考えよう。よって、教室内においては、私語は厳に慎まれない。

成績評価の方法

学期末および学年末の「試験」(形式については未定) による。

教科書

あえて特定のものを指定はしない。毎回、プリント教材を配布して、それをもとに進める。

参考書等

講義の理解に資するために下記のを座右におくことをすすめる。
 外間守善：『沖縄の歴史と文化』（中公新書）1986
 歴史教育協議会編：『知っておきたい沖縄』（青木書店）1998

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	小田 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境・地理2・3・4選	

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。研究事例の紹介よりも、教科書的概説を中心とする。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
リモートセンシング	田 中 靖	環境2・3・4選必	4
		地文・地理2・3・4選	

講義のねらい

リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する研究の総称である。このうち、主に空中写真の判読や衛星画像解析から、地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシングの最も重要な一分野として位置付けられている。そこで本科目では、デジタル化された空中写真画像や人口衛星画像データを用いて、画像解析の基礎を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. リモートセンシング入門
2. 電磁波
3. 画像処理の基礎（コンピュータプログラム作成によるデータ処理）
4. リモートセンシングで用いられるデータ
5. 応用解析実習（植生指数の計算 土地被覆分類）
最終成果物として、教科書（作業マニュアル）を作成する。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。既に専門科目を履修した3年生以上の受講が望ましい。

成績評価の方法

平常点と授業内で行なう小テスト、および最終成果物で評価する。

教科書

長谷川 均著『リモートセンシングデータ解析の基礎』（古今書院）3,500円

参考書等

適宜紹介する。

その他

授業はPC教場での実習を中心に行う。コンピュータの台数等の関係で、履修制限をすることがある。初回の授業には必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境地理学	はやふねげんぼう 早船元峰	環境2・3・4選必	4
		地文・地理2・3・4選	

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点からふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌浸食防止など）について。
- ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
- ・ビオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・小テスト・出席状況などによる平常点。

参考書等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量地理学	つちたにとしはる 土谷敏治	環境2・3・4選必	4
		地文・地理2・3・4選	

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。 1. 統計データの種類と特色 2. 統計データの集計 3. 基礎統計量 4. 代表的な度数分布の型 5. データの検定 6. 相関・回帰分析 7. 多変量解析
後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。
後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。
成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	たかぎまさひろ 高木正博	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわり合いを利水・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学と関連させて講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域計画論	こんのしゅうへい 今野修平	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとって Sein の科学から Sollen の科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準拠法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取り組むこととしている。

履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取り組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

教科書

とりあえず『第4次全国総合開発計画』(国土庁刊)を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーやOHPでの資料配布等も随時行なう。

参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取り組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理情報論	むら やま めう し 村 山 祐 司	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	
		地理3・4選	

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システム GIS とは
7. GIS のハードウェア
8. GIS の発展史
9. GIS のデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスターデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GIS の社会的応用（環境問題・防災）
16. GIS の社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによる GIS・地理情報の入手
18. インターネット GIS
19. GIS の将来
20. 地理学と GIS（まとめ）

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教科書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円 1998年

その他

- 1) 駒澤大学「総合情報センター」において、GIS のデモを行う。
- 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)A	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文3選必	4
地理学調査法(現地調査含む)A		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った地域調査を実施し、その成果を報告書としてまとめる。

今年度の調査テーマ：「地方都市の機能と自立」

今年度の現地調査予定地：地方都市（詳細は未定、地理学調査法の履修者振り分け当日発表する）、現地集合・現地解散

今年度の現地調査期間：6月29日（日）～7月3日（木）の4泊5日（予定）

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに高知市、徳島市、福井市、富山市、帯広市などで「地方都市の機能と自立」をテーマに調査した。現地では、都市機能、都市構造、都市計画、都市の生活行動、都市問題などの調査を中心に、地方都市の特徴や地方都市のかかえる諸問題を学ぶ。

地理学調査法の授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業からなる。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。現地調査は、公共交通機関を利用すること。

スケジュールは4～6月が事前調査（文献・資料調査による事前学習と現地調査用資料の作成）、6月29日～7月3日が現地調査、7月第2週が現地調査結果の個人報告書提出、7月第3週が現地調査結果の班別発表会、9～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷製本作業となる。

履修上の留意点

選択必修科目であるが、現地調査への参加はもちろん、4～12月の地理学調査法の授業及び報告書作成へも積極的に取り組む学生に限る。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況（一定基準以上）、現地調査レポート、現地調査の個人報告書、最終報告書作成への取り組み、授業及び現地調査での参加姿勢を総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)C	つち 谷 とし 敏 治 土 谷 敏 治	地文3選必	4
地理学調査法(現地調査含む)C		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する既存の文献をよく読んだ上で、それを踏まえて調査目的・調査地域・調査スケジュールの設定、統計資料を用いた調査地域の特色の把握や事前の準備、現地調査後の収集資料の整理・分析、報告書の作成も同様に重要である。本授業では、都市の問題を主要テーマとして、文献検索・文献研究を踏まえ、現地調査能力はもちろん、現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

調査対象地域：富山県、岡山県、鹿児島県にある都市のうちの1都市を選択する予定であるが、詳細は授業の中で、受講者の希望を聞きながら決定する。

現地調査日程：10月の中旬（第3週か第4週）を予定している。

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ①現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する。
- ②各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。
- ③各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ④現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ⑤現地調査。
- ⑥調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑦調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑧調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑨各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

履修上の留意点

現地調査はもちろんであるが、その前提となる論文研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。毎回出席して、積極的に討論へ参加すること、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加が不可欠である。

成績評価の方法

関連する論文のまとめ方や発表内容、事前の統計分析などのレポートと調査結果のレポート、口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教科書

とくに指定しない。

その他

事前の準備、統計の分析はグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)E	なか むら かず お 中 村 和 郎	地文3選必	4
地理学調査法(現地調査含む)E		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

ある地域の地理的事象に着目して研究課題を設定する。前期には文献検索と文献購読を行って、現地調査の計画を立て、それを実行する。後期は、報告書の作成に向けて前期に集めた資料と現地調査の結果を整理して、討議を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地域文化調査法概論
2. 文献調査
3. 現地調査
4. 調査結果の整理と報告書作成

履修上の留意点

報告書にはかならず地図を使うことにする。

成績評価の方法

平常の積極的な取り組みと、現地調査の態度、報告書の内容で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境調査法(現地調査含む) A	こ いけ かず ゆき 小 池 一 之	環境3選必	4
地理学調査法(現地調査含む) G		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地域の環境特性を知るためには現地調査が欠かすことの出来ない研究方法である。「百聞は一見にしかず」という諺があるように、現地調査(巡検)に勝る教育方法はまず見あたらない。この授業は野外調査の基礎的方法を捨得するもので、教場における概説とともに、現地調査をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地域環境調査法入門 (4月～5月)
2. 調査地と調査テーマの選定 (6月)
3. 現地調査日程と調査計画 (7月～9月)
4. 現地調査 本年度は最北端の「北海道宗谷地方」を調査予定地とする。9月末から10月上旬に実施予定
5. 調査結果のまとめと発表 10月下旬以降

履修上の留意点

事前の授業および現地調査に出席し、調査結果発表後、レポートを作成する。

成績評価の方法

平常の授業、現地調査、発表、およびレポートによって総合的に判断する。

教科書

授業時に指示

参考書等

授業時に指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境調査法(現地調査含む) C	たが ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	環境3選必	4
地理学調査法(現地調査含む) I		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことである。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを、現地での測水調査やさまざまな利水慣行などの調査をとおして明らかにしたい。現地調査を重視し、結果・考察をまとめた報告書を作成する。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い調査マニュアル(資料集)を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎の主題に沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率かつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。調査終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行った調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

履修上の留意点

調査テーマは各自の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらう。資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法

レポートの内容を主に判断するが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参考書等

参考書は適宜指示する。

その他

調査地域は福井県大野市を予定している。当地域は市民が地下水利用・保全に熱心であり、その背景を現地調査にて探りたい。内容などの詳細については、ガイダンスの際に発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域環境調査法(現地調査含む)E	た ^{なか} やすし 田 中 靖	環境3選必	4
地理学調査法(現地調査含む)K		10以降入学生/地理2・3選	
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

現地調査は、多くの分野で最も重要な基礎である。しかしながら、現地調査から有益な情報を得るためには相応の知識・技術などを習得する必要がある。この科目では、主に地形、地質、植生といった自然地理学の現地調査法を習得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地理学調査法入門
2. 調査地に関する文献調査・データ解析
3. 現地調査（本年度は、巡検予定地を「白山（金沢）」とし、10月上旬に3泊4日の日程で実施する予定。そのうち、最後の1日はグループ別自主調査とする。）
4. 調査結果の発表（レポートの提出）
5. 調査報告書の作成

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

平常点とレポートで評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域文化演習 A	お ^{まさ} やす 小 田 匡 保	地文3選必	4
地理学演習 I A		10以降入学生/地理2・3選	
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

人文地理学関係の文献を読み、研究動向と論文の書き方を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、各自が任意のテーマについて文献を集め、次にその中から、いくつかの論文を熟読する。場合によっては、論文で取り上げられたフィールドを全員で訪れる。

履修上の留意点

学生の発表形式をとる。他の学生も、あらかじめ文献を読んでおく必要がある。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・発表内容・レポートによって行なう。

教科書

使用しない。

その他

人文地理学の中でも、文化地理・歴史地理・村落地理的なテーマに関心のある履修者を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化演習 C	須山 聡	地文 3 選必	4
地理学演習 I C		10以降入学生/地理 2・3 選	
地理学演習 I		9以前入学生/地理 3 必	

講義のねらい

本授業はフィールドワークを主体とした卒業論文の作成を前提とし、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとることを目的とする。要は卒業論文を書くときにまごつかないようにするための授業である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鹿児島県の奄美大島を対象地域とし、6月30日～7月4日の日程で現地調査を実施する予定である。現地調査実施前には、研究課題の設定（文献講読を含む）、および調査計画の立案（調査票の作成などの具体的な準備を含む）までを行う。後期は現地で収集した資料の分析、報告書の執筆を行う。報告書原稿は最低でも3回以上チェックするので、教員・学生ともどもかなりの負担となることが予想される。

履修上の留意点

交通費・宿泊費に多額の出費（8万円程度）が見込まれるので、本当に関心のある学生のみに参加してもらいたい。現地調査は、数人のグループを単位としてそれぞれテーマを設定する。当該地域には膨大な研究蓄積があるので、先行研究を参照してテーマを決めてもらいたい。興味本位で安易なテーマを選ぶと苦勞するのは本人たちである。

成績評価の方法

参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。

教科書

指定しない

参考書等

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル—よりよい地理学論文作成のために—』（古今書院）1994年
市川健夫『フィールドワーク入門—地域調査のすすめ—』（古今書院）1985年
上野和彦編『地域研究法』（大明堂）1990年

その他

現地ではレンタカーが移動手段となるため、運転免許を持っていることが望ましい。

地理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境演習 A	長沼 信夫	環境 3 選必	4
地理学演習 I G		10以降入学生/地理 2・3 選	
地理学演習 I		9以前入学生/地理 3 必	

講義のねらい

水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期：水文学関係の文献・資料を用い、水の地理学に関する知識を養うとともに、論文構成のあり方やその読み方などを学ぶ。また、水文調査から得られたデータを用い、望ましい図表類の作成などを検討する。
後期：受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に要旨の作成、口頭発表並びに討論を行う。

履修上の留意点

少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポート作成などを基にして総合的に評価する。

教科書

前期に使用する文献・資料については、担当者が用意する。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

年度内に1回（時期未定）、1泊2日程度の小巡検あるいは合宿を実施する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域環境演習 C	はや ねふ げん ぼう 早 船 元 峰	環境3選必	4
地理学演習 I I		10以降入学生/地理2・3選	
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

主に土地利用、エコツーリズム、ビオトープ、環境保全などに関連した文献・資料の研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各人興味分野の論文を読み、その要旨を発表し、コメントを述べる。さらに全員で討論する。映像（写真）機材の仕組みの理解と表現技法の修得。
ビオトープ創造の現場などの小巡検などを実施する予定。

履修上の留意点

発表前に要旨を用紙数枚にまとめ提出すること。
討論には積極的に参加すること。
発表者は無断で当日欠席しないこと。

成績評価の方法

発表要旨、口頭発表、出席状況、討論の様子などを基に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理4必	4

講義のねらい

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること。
2. 人前でわかりやすく発表できること。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。
1月：卒論発表会。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の中で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。

4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。
卒業論文の評価とは別である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 II	こ いけ かず ゆき 小 池 一 之	地理4必	4

講義のねらい

地形学を含む地表環境全般にわたり、基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論論題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域を決め、同調査を行なう。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期はゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書

演習進行時に、適宜紹介する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 Ⅱ	佐 藤 哲 夫	地理 4 必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集整理の方法、報告の発表方法などについて学ぶ。あわせて、小グループによる文献輪読の指導も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定する。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況を把握しておくこと。海外の地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認すること。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進める。5月末の段階で2まで、9月末の段階では4までを目標に進める。

- 1 研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。
- 2 文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定する。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定する。
- 4 現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集する。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進める。

全員に対する合同での指導を発表会形式で数回実施し、それ以外は各自の都合に合わせて対応するので、研究の進行は各自の責任となる。発表会の日程は、最初の授業時間に相談して決める。

研究テーマが近い複数の受講者がいる場合には、グループをつくり、分担して文献を輪読する。これについても、参加者と相談して決める。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要である。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してほしい。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してこること。文章にしてみることで頭の中が整理できる。口頭での説明は、その場しのぎに過ぎない。

成績評価の方法

参加の積極性で評価する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 Ⅱ	須 山 聡	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回3～4人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論でより緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスションを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教 科 書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

そ の 他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	高木正博 <small>たかぎまさひろ</small>	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、(1) 適切な論文のテーマを設定すること、(2) 研究成果の要旨をまとめて発表すること、(3) 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。

後期は、現地調査や文献・資料から得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	高橋健太郎 <small>たかはしけんたろう</small>	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を中心として、文章執筆・プレゼンテーション・現地調査の方法の習得、および地域社会を理解する力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：研究テーマの検討、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、現地調査。

後期：現地調査、調査成果の整理と分析、論文作成、研究成果の発表。

履修上の留意点

卒業論文作成についての相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己の責任で完成させるものであるということを、受講者には認識していただきたい。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、討論への参加状況、レポート内容で評価。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	田中靖	地理4必	4

講義のねらい

自然地理学とその周辺分野の最新の知見を理解する基礎学力を身につけ、卒業論文を完成させることを目標とする。基本は現地調査であるが、必要に応じてGIS、GPS、RSなどの最先端の技術も駆使して、グローバルな視点から地球システムの動態把握や地域の環境問題に取り組みたい。

講義の内容・授業スケジュール

4月：研究テーマの設定
 5月-7月：共通テーマでの勉強会、巡検など
 夏休み前：方針発表
 夏休み：調査、解析作業
 10月：中間発表
 12月：卒業論文提出

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	土谷敏治	地理4必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。9-10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。11-12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2-3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	なが のぶま のぶ お 長 沼 信 夫	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。
後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論発表会のための合宿を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。
卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものである。自分が選んだ課題について、必要な情報を収集処理して、誰もが納得する説明を自らの力で見出す。
論文のテーマは各自もっとも関心のあることでよいが、「地図を使って謎を解く」テーマでなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

論題の決定 研究計画の作成
文献検索 文献研究
現地調査 机上調査
研究成果の整理と考察
研究成果のプレゼンテーション

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻繁に相談に来てほしい。毎年先輩が出席してくれることが多い。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。就職活動などを理由に無断欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

平常の研究態度を重視する。

参考書等

浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』（海青社）
浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）
正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	ほし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地理4必	4

- 講義のねらい** 卒業論文の作成のための指導を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール** 4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。
6～7月は、それまでの文献調査や事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。
9～11月は、夏休み中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方についても具体的に指導する。
論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは12月に書き直しを要求する。
1月中旬には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末には卒論発表会を行う。この発表会には3年の次期演習Ⅱ履修予定者も全員参加してもらう。
- 履修上の留意点** 卒業論文はワープロで作成する。卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会（昨年度は1月30日）も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。
- 成績評価の方法** 演習Ⅱ（卒論発表会を含む）の授業への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。
- 参考書等** 正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円
- その他** 事前に『地理学文献目録』（図書館）など地理学データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	はや ふね げん ぼう 早 船 元 峰	地理4必	4

地
理

- 講義のねらい** 卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。
- 履修上の留意点** 就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。
- 成績評価の方法** 出席状況・口頭発表・レジメなどで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
巡検 B (前期)	高橋 健太郎	地文・環境・地理2・3・4選	1

講義のねらい

さまざまな問題を抱えながらもたくましく生きている人々や地域社会への理解を深め、さらにフィールドワークの手法の基礎を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

フィールドワーク（現地調査）は、長野県飯山市の村落地域において、2泊3日の日程で実施する予定。調査項目の詳細は受講者と相談して決めるが、主に以下のテーマが考えられる。スキー産業の展開と課題、グリーンツーリズムの導入とその地域社会への影響、棚田の保全と地域振興、映画と地域社会と観光。

履修上の留意点

観光旅行ではないので、問題意識をもち、自分から積極的に行動する方のみ受講されたい。

成績評価の方法

事前の準備への参加状況、現地調査での活動状況、レポート内容で評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
巡検 C (後期)	長沼 信夫	地文・環境・地理2・3・4選	1

講義のねらい

野外での地理的事象や景観などの観察・見学を通して、自然や社会環境の地域的特色の一端を検討・理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は巡検（現地研究）を中心に実施するが、その準備段階で文献・資料の収集や輪読、現地研究後には資料整理やレポート作成作業などを行なう。

現地研究は、次の要領で実施する予定である。

主要テーマ：地理学的視点から見た島嶼の自然と生活環境

巡検地域：鹿児島県大島郡喜界町（喜界島）

巡検時期：平成15年11月4日（火）～7日（金）〈3泊4日〉

巡検内容：1) 喜界島の地形環境

2) 喜界島の水環境

3) 喜界島の産業（農業）と生活環境

4) 喜界島の抱える諸問題

5) その他

履修上の留意点

後期に実施する。特に出席を重視するので、遅刻・欠席はしないよう望む。また、遠隔地の離島巡検であるため、交通費（航空運賃、東京～鹿児島～喜界島）は多額になる。

成績評価の方法

出席回数とレポートの提出などによって評価する。

教科書

必要な地形図・文献・資料などは、準備段階で指示する。

参考書等

必要な地形図・文献・資料などは、準備段階で指示する。

その他

ゼミ形式で行なうため、学生諸君の自主性を期待する。また、現地研究（島内）の際には車を使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
図 学 実 習 (後 期)	し み ず ち ょ う せい 清 水 長 正	地 文 ・ 環 境 ・ 地 理 2 ・ 3 ・ 4 選	1

講義のねらい

本実習では、地形図図式の理解、地図製図に関する種々の技術の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。

(1) 現在、2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることには意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。

(2) 作図ソフトを用いた地図製図法や数値地図の利用法について実習を行う。

履修上の留意点

地図学・測量学などの講義は、できれば同時に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

ミニ試験、製図成果品等により評価する。

教 科 書

『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参 考 書 等

使用する地形図等は実習中に指示する。

そ の 他

半期の実習で、時間が少ないので、(2)は実習中または冬休みの宿題となろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 地 誌	は し づ め な お み ち 橋 詰 直 道	地 文 ・ 環 境 ・ 地 理 2 ・ 3 ・ 4 選	4

地
理

講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1) 自然環境と生活（気候景観・水の利用・地下資源の利用・植物群落と農耕・自然災害）、(2) 都市化と農業地域（兼業化の進展、自立型農業地域）、(3) 園芸農業地域の変貌（都市農業・近郊農業地域・輸送園芸地域・果樹園芸地域）、(4) 中山間地域の変容（森林・農地の保全と活用）、(5) 余暇地域の変容（ふるさと運動・農村観光・スキーリゾート）、これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』（大明堂）2,750円
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』（古今書院）2,527円
原 剛『日本の農業』（岩波新書）620円
平松守彦『地方からの発想』（岩波新書）550円
田村明『まちづくりの実践』（岩波新書）660円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントと OHP を中心に行い、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国地誌特講	梅原弘光	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

フィリピン共和国が戦後歩んだ社会経済発展の過程を振り返りながら、全体として社会がどう変わり、いかなる地域変化があったか、その実態とメカニズムを考察する。前半では、東南アジア地域全体の歴史的経過と現状に注目、後半でフィリピンに焦点を当てた地誌を講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

前半：東南アジアの地理的位置、稲作発祥と伝播、植民地支配、農民世界、巨大都市形成、観光と環境、
 後半：フィリピンの農村社会不安、社会経済開発（工業化、農地改革、「緑の革命」）、社会変容（都市化、農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域変化（森林破壊、アップランドの居住地域化、地域間格差拡大）

履修上の留意点

1回ごとの読み切りではないので、出来るだけ連続して授業を聞いて欲しい。

成績評価の方法

平均点と夏休み中のレポートおよび期末試験

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

講義が中心となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア地誌	佐藤哲夫	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、外国での地域研究法の例として、アジアの地域を研究する場合に有効な地誌の構成のしかたについて学んでほしい。タイに焦点を合わせて東南アジア地誌を講じるが、話題をタイに限定するわけではない。各章ともまず東南アジア全体に共通する特徴について論じており、その後タイランドを例として詳しく学ぶような構成になっていることに注目していただきたい。東南アジアを研究する場合に必要な基礎知識について説明することはもちろんだが、補論として、卒論でも実行可能な、東南アジアでの簡単な調査法の紹介もしたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような構成で東南アジアの地誌を論じる。補論として「地図に見える東南アジア」「都市での景観観察の方法」などの話題をとりあげる。

- 序章 東南アジアのイメージ
- 第1章 自然景観と地域
 - 1. 東南アジアの気候 2. 東南アジアの地形 3. タイの自然地域
- 第2章 伝統的生活様式
 - 1. 東南アジアの森林 2. 東南アジアの稲作 3. 東南アジアの民族と文化
 - 4. タイランドの民族と文化
- 第3章 都市の文化景観
 - 1. 東南アジアの歴史的都市 2. 東南アジアの近代都市 3. タイの歴史的都市
- 第4章 経済と現代社会
 - 1. 東南アジア諸国の経済 2. ボータレス化する東南アジア 3. 現代のタイランド
- 終章 東南アジアと日本

成績評価の方法

受講者数が30人以下の場合は100%の平常点評価とし、定期試験やレポート提出は全くない。出席を重視し、毎回、小テストを実施して理解度を確認する。受講者数が31人以上の場合は、前期末と後期末の試験またはレポートをそれぞれ40%ずつで評価し、20%を出席で評価する。60人以下の場合は2回のレポート、61人以上の場合は2回の試験となる。

教科書

資料を授業時間に配布する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ地誌	仁平尊明	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

南北アメリカの自然と人間社会の特徴について、配布資料をもとに講義します。南北アメリカの範囲は広いので、とくにアメリカ合衆国に注目します。

この講義はインターネットを活用しますので、アメリカ合衆国に関する最新の地図・写真・統計データの入手方法を知ることができます。また、配布資料はホームページからダウンロード可能なので、パソコンを用いた自主学习を行うことができます。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 北アメリカの自然環境 (その1: 地形)
3. 北アメリカの自然環境 (その2: 気候・気象)
4. アメリカ合衆国の歴史
5. アメリカ合衆国の人口と都市
6. アメリカ合衆国の農業
7. アメリカ合衆国の工業
8. アメリカ合衆国の交通
9. 各論1 (アメリカ西海岸の観光地理)
10. 各論2 (グレートプレーンズの人と暮らし)
11. 南アメリカの自然環境
12. 南アメリカの歴史
13. ブラジルの社会
14. 各論3 (パンタナール)

(注: 番号は講義の数とは一致しません)

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を持参すれば講義の理解が深まります。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と出席回数によります。出席回数が基準以下の時は取り消しとみなします(概ね、3分の2以上)。

教科書

使用しません(講義毎に資料を配布します)。

参考書等

講義毎に紹介します。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済地理学	生井沢 進	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

経済地理学の対象とする範囲は、農業、製造業(工業・鉱業)、流通(商業)、サービス、そして都市と多岐にわたっている。本講義ではこのうち、流通活動の変化について、社会経済状況の変化や、都市構造・都市システムとの関連を中心として解説してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては商業活動の特徴、商業活動の変化から都市構造や都市システムの変化にアプローチしてゆく。後期には今度は都市構造、商業立地、消費者行動の側面から流通構造の変化にアプローチするという方法を探って行く。

履修上の留意点

次の成績評価の方法とも関連するが、夏季休暇中にレポートの作成と提出を義務付ける。成績評価の半分を占めることから、レポートを提出しない場合は単位が取れないことを留意しておいて欲しい。

成績評価の方法

夏季休暇中に作成したレポートと期末の定期テストの結果を中心とするが、前期、後期に少なくとも1回は課題レポートが要求される。

教科書

講義の最初に参考図書は指定する。その他には講義毎に随時プリントを配布して講義を進めてゆく。

その他

授業の方法は基本的には講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 地 域 論	須 山 聡 <small>す やま さとし</small>	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられたこなかった分析手法についても論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定で講義を進める

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
- 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
- 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
- 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
- 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、オーセンティシティ）
- 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
- 8 おまけ：文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
- 9 「伝統」の誤謬—近代主義と伝統・地域・産業—

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

教科書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、
 組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
 （火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
 小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学実習（前期）	清水長正	地文・環境・地理2・3・4選	1

地理

講義のねらい

本実習は、地形学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査方法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

地形調査の主な技術として、空中写真判読、現地調査に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。また、電探による地層の断面調査も行う。

履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、できれば同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会地理学	みやぐちとしみち 宮口 侗 迪	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

人間集団がその基本的な活動の積み重ねにより社会空間を形成していく過程の研究が社会地理学であるという認識のもとに、主として日本の農山村社会の動向を論じる。

講義の内容・授業スケジュール

日本各地にどのような地域社会（空間）がつくられてきたかを、スライド等を用いながら説明した後、外国と対比しながら、その発展の方向も論じたい。

成績評価の方法

ある程度以上の出席を前提に、学年末に試験を行い、評価する。

教科書

宮口著『地域を活かす』（大明堂）2,800円を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	さとうてつお 佐藤 哲夫	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、科目名から連想されるような、学術論文や専門書の読解に挑むことはしない。地理学科の諸君には、英語の資料を通して海外に関する新しい知識を吸収することの楽しさを知ってもらい、英語に接することを厭わしく思わないような気持ちになってもらうことが大切だと考える。そこで、あまり面白くなかったであろう「外国語」としての英語のことは忘れてもらって、世界を広げる手段としての英語を、高校レベルからやり直してみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、タイを紹介する英文資料を読んで、地理でよく用いられる英語に親しむ。初めに使うテキストは子供を対象にした絵入りの本で、中学生でも理解できる程度のやさしい英語で書かれている。そこで用いられている英語表現を、完全に理解できるようにすることが、最初の目標である。そのためには、英作文によってその英語表現を身につけることにも心を配りたい。

その後用いるテキストは「タイの文化景観」という難しそうなタイトルの本だが、要するに、タイの各地に見られる特徴的な風景や文化を地方ごとにまとめて紹介した写真集で、これも英語としては難しくない。各地方の地理についてまとめた部分を翻訳していくが、なるべく速く読み、ここでは語彙を増やすことを目標にする。

履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストのイントロダクションである。この意味が理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定する。

We asked a classroom of Thai children to list three things about Thailand, that they would like other foreign children to know. The numerous replies were collected and the most popular topics were selected for this book. The illustrations in this project were provided by two young award-winning Thai students from "Phayao".

This book presents interesting and unique information on Thai customs, history and rich culture. It provides an insight into the people, architecture and festivals, in a simple written style that can be easily understood. Discover Thailand and immerse yourself in the exotic nature and mysteries of the Kingdom of Thailand, the Land of Smiles.

成績評価の方法

成績は出席（50%）と、各回の小テスト（30%）、休み期間の課題（20%）で評価する。定期試験はしないし、レポートによる救済もしないので、地道に学習する者だけが単位を修得できる。

教科書

テキストはいずれも国内では入手困難なので、コピーして配布する。出所は下記のとおり。
Jennifer Sharples. 1997. *Thailand - Asia for young readers*. Success Media.
The Publication Committee. 1997. *Thai Cultural Landscape*. Chulalongkorn University.

その他

参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、それに解説を加えながら進める。順不同で毎回少なくとも1度はあてる。英和辞典を持ってくること。電子辞書は不可。

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学	なかむらかずお 中村和郎	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

気候学の基本的な諸概念を学習し、世界と日本各地の気候を理解できるようにする。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球をとりまく大気
2. 太陽放射と気温
3. 大気中の水蒸気と降水
4. 気圧と風
5. 大気と海洋の大循環
6. 天候気候学
7. 小気候
8. 気候区分
9. 熱帯気候誌
10. 温帯気候誌
11. 寒帯気候誌
12. 気候変化

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らない。

成績評価の方法

時々実施する出席調査の結果と、前期のレポート、および後期の試験によって評価する。

参考書等

高橋浩一郎・山下洋・土屋清・中村和郎『衛星でみる日本の気象』（岩波書店）
 中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）
 中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）
 吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学実習（後期）	なかむらかずお 中村和郎	地文・環境・地理2・3・4選	1

地
理

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確実なものとする技術を習得し、自分で研究計画を立てて気候現象解明の研究ができるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 気象観測
測器の取扱い キャリブレーション
観測計画
観測実施
2. 気候統計
気候資料の種類と所在
各種統計量の計算
3. 気候現象の解析
分布図（地上・高層天気図）の作成
断熱図解析

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

出席と平常の学習態度、課題の提出によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学	ながぬまのぶお夫 長沼信夫	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
- 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
- 3) 陸地における水の基本的な在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜市域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
- 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し、評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水－』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学実習（前期）	たかぎまさひろ 高木正博	地文・環境・地理2・3・4選	1

地
理

講義のねらい

身近な河川や湧水などを対象として、都市の水文環境を明らかにする事を目的とする。野外での水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

調査の準備段階として、対象水域の概要や水量・水質などに関する基礎的な学習を行ってから、調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用法などについて検討する。調査後は、試料の分析、図表の作成、結果の整理・考察などをとおして総括する。測水調査は2～3回予定している。

履修上の留意点

野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間の制約等が考えられるが、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日頃の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。

教科書

新井 正『水環境調査の基礎』（古今書院）2,500円

参考書等

日本分析化学会北海道支部『水の分析』（化学同人）
日本地下水学会『名水を科学する』（技報堂出版）、その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友 篤 <small>おおとも あつし</small>	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

成績評価の方法

定期試験による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学実習（後期）	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>	地文・環境・地理2・3・4選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。

地
理

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT出版）1,650円

参考書等

林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）2,524円

その他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球物理学	やなぎ だ まこと 柳 田 誠	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アインスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 1. 地球の構造／地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性（粘性）について説明する。
 2. プレートテクトニクス／地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振り返る。
- 後期 3. 地震と火山／日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。
 4. 活断層とは何か？／内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。
 5. 地球の年代／地球の年齢は？どうやって決まっているのか？月の年齢は？
 6. 山はなぜ高いか？／山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか？高くしているのはなにか？なにが山を削るのか？いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教科書

授業中に紹介する

その他

OHP やスライドを多く使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
土 壌 地 理 学	うるし ばら かず こ 漆 原 和 子	地文・環境・地理2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

世界の地生態系の分布様式について述べ、大陸東岸の日本の地生態の特色がわかるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール

前期は地生態系のうち、特に土壌の生成環境と土壌特性についてのべる。後期は世界の土壌、植生の分布様式、日本の中の地域差についてのべる。また世界的に人間活動、開発によって地生態系が破壊されている事例について述べる。

履修上の留意点

出席し、ノートをとること。教科書のみでは十分ではありません。

成績評価の方法

定期試験の成績を重視する。ときどき出席もとるので、その状況も加味する。

教科書

E. M.ブリッジズ著 永塚鎮男、漆原和子共訳『世界の土壌』（古今書院）3,800円

参考書等

その都度指示する

その他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 地 理 学	し 清 水 善 和 みず よし かず	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種がたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------|----------------|
| 第1章 生物地理学の基礎 | 第6章 絶滅 |
| (1) 「生物地理学」とは？ | (1) 絶滅の様式 |
| (2) 生物の分布と移動 | (2) 大量絶滅 |
| (3) 進化のメカニズム | (3) 大型哺乳類の絶滅 |
| (4) 生態系とニッチ | (4) 人為による絶滅 |
| 第2章 分類体系 | 第7章 大陸移動と生物分布 |
| (1) 学名と分類階級 | (1) プレートテクトニク |
| (2) 生物五界説 | (2) ゴンドワナ起源の生物 |
| (3) 種の定義と属性 | (3) 南米生物相の発展 |
| (4) 分類の方法 | (4) ヒマラヤ造山 |
| 第3章 区系生物地理学 | (5) 魚類の進化と分布 |
| (1) 分布パターンと地理区 | 第8章 氷河期と生物分布 |
| (2) 世界の生物地理区 | (1) 氷期の気候変動 |
| (3) 日本の生物地理区 | (2) 後氷期の生物移動 |
| (4) 分布境界線と移行帯 | (3) 海面変動と生物分布 |
| 第4章 生態地理学 | 第9章 大洋島の生物 |
| (1) ケッペンの気候図 | (1) 大洋島と大陸島 |
| (2) 植生と温度指数 | (2) 長距離散布と定着 |
| (3) 世界の植生帯 | (3) 動的平衡モデル |
| (4) 日本の植生帯 | (4) 適応放散的種分化 |
| (5) 植物群落体系と植生図 | (5) 島症候群 |
| 第5章 系統生物地理学 | (6) 島大陸と古代湖 |
| (1) 分子時計の原理 | 第10章 帰化生物 |
| (2) 系統と分布 | (1) 人為的な生物の移動 |
| (3) 琉球列島の生物相 | (2) 帰化生物の影響 |
| | (3) 家畜の野性化 |

地
理

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量地理学実習(前期)	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	地文・環境・地理2・3・4選	1

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. Adobe Photoshop の使用方法
7. 統計地図作成方法
8. Microsoft Power Point の使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『KOMAnet 利用ガイド』

その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
測量学	田中靖	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。しかし最近では、旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|--------------------------|
| 0. 基礎数学 | 5. 距離の測定 |
| 1. 地球の姿 | 6. 水準測量 |
| 2. 誤差論 | 7. 空中写真測量・空中写真判読 |
| 3. 地理座標 | 8. GPS測量 |
| 4. 角測量 | 9. GIS（デジタルマッピングと国土数値情報） |
- それぞれの項目に2～3時間程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得(国家試験免除)のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学(特に三角関数、対数および確率・統計)を十分に復習しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

教科書

小田部和司著『図解 土木講座「測量学」(第二版)』(技報堂出版(株)) 3,200円+税

参考書等

村井俊治著『空間情報工学』(日本測量協会) 2,286円(税別)

その他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
第四紀学	鈴木毅彦	地文・環境・地理2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末のレポートと後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』(古今書院) 2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	地文・環境・地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が注ぎ込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の方針で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、講義のねらいの最後で述べた内容に関して講義の準備を進めているが、学生から積極的な希望がなければ省略する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の講義内試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、PCによるプレゼンを多用するが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講 I (後期)	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地文・環境2・3・4選 地理3・4選	2

講義のねらい

都市計画と社会資本整備という視点から都市の諸問題を考える。ここでは特に、都市生活者のためのアメニティ確保のための生活環境整備手法とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年の講義（半期＝後期）内容は、次の項目を予定している。1) 都市計画と地理学、2) 東京の都市計画史、3) 市街地の整備（区画整理事業）、4) 都市計画と都市農業（生産緑地）、6) 都市緑地の計画（都市緑地の保全と都市公園の整備）、7) エコ・シティ（環境共生都市・住宅）、7) 英国の田園都市運動（ガーデン・シティ）、8) 英国のガーデン・サバップ、9) アメリカ・日本のガーデン・サバップ、これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

定期試験の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』（岩波新書）580円
越澤明『東京都市計画物語』（ちくま学芸文庫）1,300円
石田頼房『都市計画と都市生活』（自治体研究社）700円
山田学ほか編『現代都市計画事典』（彰国社）4,280円
片木篤『イギリスの郊外住宅』（住まいの図書館出版局）1,960円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に行い、小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅱ(前期)	たなか やすし 田中靖	地文・環境2・3・4選	2
		地理3・4選	

講義のねらい

テーマ：デジタル空間データの処理

地理学で扱うデータのうち、気象、地形、人口のような基盤となるものについては、多くの研究機関から膨大なデータが電子化されて公開されている。現在、これらのデータをコンピュータを用いて自在に扱う技術は、研究の遂行には不可欠なものである。

本講義では、主に AMeDAS や DEM のデータから、コンピュータで作図する作業を通してその基礎を学ぶ

講義の内容・
授業スケジュール

1. データ、ソフトウェア環境の概要
2. GMT を用いた、気象データの可視化
3. DEM による地形の可視化
4. レポートの作成

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

平常点とレポートで評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

授業は PC 教場での実習を中心に行う。コンピュータの台数等の関係で、履修制限をすることがある。初回の授業には必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅲ	おきの 沖野行男	地文・環境2・3・4選 地理3・4選	4

講義のねらい

文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講Ⅲ」は、観光産業の中核である運輸業・宿泊業・旅行業に共通する「旅のエキスパート」の国家資格である「旅行業務取扱主任者試験（国土交通省所管）」の受験を目的とする学生への補助的講座として設置されたものである。

講義の内容・授業スケジュール

「旅行業務取扱主任者試験」には一般と国内の区別があり、受験科目は次の四つである。

- ①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識
- ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識
- ③国内旅行実務（運賃・料金、観光地理、旅行実務）
- ④海外旅行実務（運賃・料金、出入国関連法令、出入国関連手続・実務、観光地理、観光英語、旅行実務）

一般の場合は上記4科目で、例年10月に実施され、国内の場合は上記3科目で、例年9月に実施される。従って両試験に共通する「業法令」と「約款」について前期において重点的に講義を行い、後期において「旅程管理兼務（添乗員）」を軸として旅行業界の業務内容につき講義する。

履修上の留意点

受験科目には国内・国際の運賃・料金、観光地理、旅行実務、英語及び出入国関連法令等がありこれらの勉強については学生の専門的・集中的学習を通信講座或いは専門講座による受験対策を講じられる様お勧めする。

成績評価の方法

前期及び後期の出席率並びに定期試験成績それぞれを評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。尚一般・国内旅行業務取扱主任者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教科書

中央書院編集部『一般または国内旅行主任者試験合格ハンドブック』2003年版
株式会社 中央書院 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-8-11

参考書等

各種通信教育講座教科書のうち「旅行業法令」「旅行業約款・関連約款」は必要であるが、上記教科書には編纂されている。尚JTB/JR時刻表、旅行業小六法、観光白書、一般新聞紙、旅行会社発行の広告・宣伝印刷物、航空会社の国際・国内時刻表等。「観光学」関連図書（交通・宿泊・旅行・環境など）多数あり。必要に応じ講義中にプリント類が配布される。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅳ	やまがた 山 縣 毅	地文・環境2・3・4選	4
		地理3・4選	

講義のねらい

本講義の目的は、地理学を学習するために必要と思われる地質学の基礎的知識、技術を習得することにあります。具体的には下記のスケジュールにある事項を学習します。前半は講義が中心に、後半は実習が中心になります。後半には、休日に野外実習（日帰り）を行います（希望者のみ参加）。受講者に地層の観察、岩石の鑑定、地質図の読解の技術を身に付けて頂けるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前半〕

1. 地質学概説（地向斜論、プレートテクトニクス論、プレュームテクトニクス論）
2. 堆積岩・地層
3. 地質年代と絶対年代
4. 火成岩と火山活動
5. 変成岩
6. 地質構造（断層、褶曲、整合・不整合、地滑り、メランジュなど）
7. 日本の地質

〔後半〕

1. 岩石・主要造岩鉱物の肉眼・偏光顕微鏡による鑑定法
2. 地層の見方
3. 化石の処理、同定方法
4. 野外での岩石・地層の見方（日帰り野外実習を行います）
5. 地質図の読み方、書き方

成績評価の方法

レポートで評価を行います。

教科書

最新図表地学（浜島書店、ISBN4-8343-4002-3C7344,770円）

その他

講義内容については、受講生の要望を取り入れていこうと考えています。講義時間外での質問、実習にも出来るだけお応えしていきます。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅴ	ながぬまのぶ 長 沼 信 夫	地文・環境2・3・4選	4
		地理3・4選	

講義のねらい

水文地理学的な視点から地中に存在する水－地下水、温泉（水）－について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 水資源としての地下水の在り方：一般的な特徴
- 2) 地下水の存在状態：地下水の流動、水理、水質など
- 3) 地下水の存在量と使用量
- 4) 地下水を取り巻く環境問題：地下水利用に伴う障害－地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など－
- 5) 地下水開発と保全
- 6) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
- 7) 温泉の存在状態：温泉の3要素、水質など
- 8) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点

地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し、評価する。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。

II 專 門 教 育 科 目

4 歷 史 學 科

歷
史

II. 専門教育科目

(4) 歴史学科

基礎歴史学	〈大城道則〉	475
基礎歴史学	〈湯淺隆〉	475
基礎歴史学	〈中野達哉〉	476
史学概論	〈伏島正義〉	476
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	〈松本信道〉	477
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	〈佐藤元英〉	477
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	〈中村淳〉	478
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	〈渡辺惇〉	478
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	〈伏島正義〉	479
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	〈佐々木真〉	480
考古学概説Ⅰ(日本)	〈新井悟〉	480
考古学概説Ⅱ(外国)	〈飯島武次〉	481
日本史史料講読Ⅰ	〈瀧音能之〉	481
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅱ	〈久保田昌希〉	482
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅲ	〈中野達哉〉	482
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅳ	〈小林和幸〉	483
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
東洋史史料講読Ⅰ	〈中村淳〉	483
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕		
東洋史史料講読Ⅱ	〈渡辺惇〉	484
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕		
西洋史史料講読Ⅰ	〈伏島正義〉	485
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕		
西洋史史料講読Ⅱ	〈佐々木真〉	485
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕		
日本史学史	〈湯淺隆〉	486
東洋史学史	〈中村淳〉	486
西洋史学史	〈佐々木真〉	487
考古学史	〈小柳美樹〉	487
考古学実習(写真)	〈塚原明生〉	488
考古学実習(測量)	〈古庄浩明〉	488
考古学実習(石器)	〈上敷領久〉	489
考古学実習(土器)	〈上敷領久〉	489
考古学実習(情報)	〈小柳美樹〉	490
考古発掘実習	〈飯島武次・古庄浩明〉	490
演習Ⅰ	〈久保田昌希〉	491
演習Ⅰ	〈小林和幸〉	491
演習Ⅰ	〈瀧音能之〉	492
演習Ⅰ	〈中野達哉〉	492
演習Ⅰ	〈佐藤元英〉	493
演習Ⅰ	〈廣瀬良弘〉	493

演	習	I	〈松本信道〉	494			
演	習	I	〈湯淺隆〉	494			
演	習	I	〈中村淳〉	495			
演	習	I	〈渡辺惇〉	495			
演	習	I	〈大城道則〉	496			
演	習	I	〈佐々木真〉	496			
演	習	I	〈伏島正義〉	497			
演	習	I	〈飯島武次〉	497			
演	習	I	〈池上悟〉	498			
演	習	II	〈久保田昌希〉	498			
演	習	II	〈小林和幸〉	499			
演	習	II	〈佐藤元英〉	499			
演	習	II	〈瀧音能之〉	499			
演	習	II	〈中野達哉〉	500			
演	習	II	〈廣瀬良弘〉	500			
演	習	II	〈松本信道〉	501			
演	習	II	〈湯淺隆〉	501			
演	習	II	〈中村淳〉	501			
演	習	II	〈渡辺惇〉	502			
演	習	II	〈大城道則〉	502			
演	習	II	〈佐々木真〉	503			
演	習	II	〈伏島正義〉	503			
演	習	II	〈飯島武次〉	503			
演	習	II	〈千葉基次〉	504			
古	文	学	〈松本信道・久保田昌希・小林和幸・中野達哉〉	504			
古	文	書	講	I	〈廣瀬良弘〉	505	
古	文	書	講	II	〈湯淺隆〉	505	
日	本	仏	教	史	I	〈休講〉	
日	本	仏	教	史	II	〈松本信道〉	506
日	本	仏	教	史	III	〈休講〉	
西	洋	文	化	史	I	〈休講〉	
西	洋	文	化	史	II	〈佐々木真〉	506
日	本	文	化	史	I	〈吉田政博〉	507
日	本	文	化	史	II	〈休講〉	
日	本	史	各	説	I	〈瀧音能之〉	508
日	本	史	各	説	II	〈久保田昌希〉	508
日	本	史	各	説	III	〈中野達哉〉	509
日	本	史	各	説	IV	〈佐藤元英〉	509
日	本	史	特	講	I	(古代) 〈上杉紋子〉	510
日	本	史	特	講	II	(中世) 〈亀谷弘明〉	510
日	本	史	特	講	III	(中世) 〈小松寿治〉	511
日	本	史	特	講	III	(中世) 〈黒田基樹〉	511
日	本	史	特	講	IV	(近世) 〈宮本由紀子〉	512
日	本	史	特	講	V	(近世) 〈桜井邦夫〉	512
日	本	史	特	講	VI	(近代) 〈小林和幸〉	513
日	本	史	特	講	VII	(近代) 〈小泉雅弘〉	513
東	洋	史	各	説	I	(古代) 〈休講〉	
東	洋	史	各	説	II	(古代) 〈小林惣八〉	514
東	洋	史	各	説	III	(中世) 〈休講〉	

東洋史各説Ⅳ (中世) 〈石田 肇〉	514
東洋史各説Ⅴ (近世) 〈佐藤 文俊〉	515
東洋史各説Ⅵ (近世) 〈休 講〉	
東洋史各説Ⅶ (近・現代) 〈趙 軍〉	515
東洋史各説Ⅷ (周辺史) 〈片岡 一忠〉	516
東洋史各説Ⅸ (周辺史) 〈奈良 修一〉	516
東洋史各説Ⅹ (周辺史) 〈松本 弘〉	517
東洋史特講Ⅰ (古代) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅱ (古代) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅲ (古代) 〈小林 惣八〉	518
東洋史特講Ⅳ (中世) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅴ (中世) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅵ (中世) 〈石田 肇〉	519
東洋史特講Ⅶ (近世) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅷ (近世) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅸ (近世) 〈佐藤 文俊〉	519
東洋史特講Ⅹ (近・現代) 〈趙 軍〉	520
東洋史特講Ⅺ (近・現代) 〈藤谷 浩悦〉	521
東洋史特講Ⅻ (近・現代) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅼ (周辺史) 〈片岡 一忠〉	522
東洋史特講Ⅽ (周辺史) 〈休 講〉	
東洋史特講Ⅾ (周辺史) 〈奈良 修一〉	522
西洋史各説Ⅰ 〈庄司 啓一〉	523
西洋史各説Ⅱ 〈休 講〉	
西洋史各説Ⅲ 〈休 講〉	
西洋史各説Ⅳ 〈伏島 正義〉	523
西洋史特講Ⅰ 〈長谷川 岳男〉	524
西洋史特講Ⅱ 〈休 講〉	
西洋史特講Ⅲ 〈関 哲行〉	524
西洋史特講Ⅳ 〈篠原 琢〉	525
西洋史特講Ⅴ 〈休 講〉	
西洋各国史Ⅰ 〈渡辺 知〉	525
西洋各国史Ⅱ 〈早川 理穂〉	526
西洋各国史Ⅲ 〈宮本 直美〉	526
西洋各国史Ⅳ 〈長谷川 岳男〉	527
考古学各説Ⅰ 〈休 講〉	
考古学各説Ⅱ 〈近藤 英夫〉	527
考古学各説Ⅲ 〈休 講〉	
考古学各説Ⅳ 〈今村 啓爾〉	528
考古学特講Ⅰ 〈休 講〉	
考古学特講Ⅱ 〈清水 信行〉	528
考古学特講Ⅲ 〈休 講〉	
考古学特講Ⅳ 〈矢野 和之〉	529
西域美術史 〈松平 美和子〉	530
哲学史 〈山口 祐弘〉	530
歴史哲学 〈山口 祐弘〉	531
仏教美術学 〈武笠 信朗〉	531
中国歴史文学 〈田熊 信之〉	532
有職故実 〈近藤 好和〉	532

日	本	民	俗	学	〈谷	口	貢	533
美	術	史	概	説	〈北	野	良	533
ラ	テ		ン	語	〈上	野	勝	534
ギ	リ	シ	ャ	語	〈長	谷	岳	534
歴	史	地	理	学	〈小	田	匡	535
人	文	地	学	説	〈小	池	と	535
人	文	理	学	説	〈高	橋	健	536
地		誌	概	学	〈新	井	祥	536
地		誌	概	学	〈川	元	豊	537
				学	〈橋	直	道	537

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	おおしろみちのり 大城道則	歴史1必	4

講義のねらい

これから歴史学を学ぶための心構えと歴史学に対する関心を高めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史学の様々な問題点と方法論について関心を深めるために、複数の歴史家とその代表的著書を紹介する。
2. 古代オリエント学に関する話題を紹介する。

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	ゆあさたかし 湯浅隆	歴史1必	4

講義のねらい

大学で歴史学を専攻していくための基礎となる事柄を述べていきます。高等学校までは学ぶこと、つまり既存の体系を知識・理解として習得してきました。大学ではこれを承けて研究すること、つまり自ら問題点を見つけて自ら考えて解き明かし、さらに他者に説明できることが必要になります。

このために必要なさまざまな能力は、日本史・東洋史・西洋史・考古学の各概説や2年生以降に履修する科目をとおして習得していきます。この講義は、それらの準備課程として、大学の歴史学に無理なく馴染んでいけるよう、歴史学の捉え方を紹介します。論文をきちんと読めるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

誰でもが一定の知識と理解とをもっている現代社会のありようから、いくつかの事象を取り上げて、それらを歴史学の切り口から述べていきます。なお、受講者とのやりとりをとおして浮かび上がってくるであろう様々な事項についても、解説を適時はさんでいきます。

履修上の留意点

歴史学にたいして、既存の思いこみではなく、柔軟な姿勢で理解の積み上げをするように心がけてください。

成績評価の方法

幾つかの事項について、授業中に各自の見解をたずねます。さらに、夏期休業期間中には課題を、後期末には教場試験かレポートを課します。評価はすべてを加算します。

教科書

ありません。

参考書等

その都度、紹介します。

その他

講義の形式になりますが、積極的な発言を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	なかのたつや 中野達哉	歴史1必	4

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史（日本史）と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究、戦後歴史学など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
史学概論	ふせじままさよし 伏島正義	歴史2・3・4必	4

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・
授業スケジュール

古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説Ⅰ (古代・中世)	まつ 松 本 のぶ 信 道	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

参 考 書 等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 2,900円
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 1,650円
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
佐々木潤之介編『概論 日本歴史』(吉川弘文館) 1,900円

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説Ⅱ (近世・近代)	さ とう 藤 元 英	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組みをつくりあげてをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講義し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、佐藤元英『概説 アジア太平洋戦争と日本の近代』(虹有社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)	なかむら じゅん 中村 淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Ⅰでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、閉鎖的にそれぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらそこでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する中央ユーラシアと、そこに展開した遊牧国家については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。

講義の内容・授業スケジュール

地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀(近年、この両世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ)までを扱う予定である。

履修上の留意点

出席をとる。
前年度は前期のみ出欠をとった。

成績評価の方法

出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。定期試験は論述形式で、授業内容を理解しているか、かつ、そのことが答案に示されているかを見る。

教科書

教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。

その他

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説Ⅱ (近世・近代)	わたなべ あつし 渡辺 惇	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Ⅰが主に中国の古代、中世史(唐末まで)および近世の前半(宋・元)を対象とするのに対して、本講義Ⅱは、それ以後の時代、近世の後半(明・清)、および近現代史について取扱う。本来、東洋史の概説であるからには、広く中国以外の諸地域についても言及すべきであるが、時間的にとても無理である。せいぜい中国の周辺地域に言及しうるのみで、他の講義にゆだねざるを得ない。

講義の内容・授業スケジュール

概説Ⅰをとらず、Ⅱのみをとる者もいると思うので、はじめに中国を中心とする東アジア史の特色を、(1)北方遊牧民族と中国農耕民族との対立抗争、交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展という2点を中心に概観する。

近世史は、(1)征服王朝による長期にわたる漢民族支配、(2)皇帝独裁による専制王朝体制の成熟といった点が特に顕著である。これらを中心に、とくに明・清時代の政治・外交、社会経済、文化等について、相互に関連させて講義する。

近現代史はとくに中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史といった傾向におち入りがちであるが、本講義では最近の傾向である社会史や政治史、経済史にも留意していきたい。

授業の中に随時、写真や絵画、ビデオなどを折り込んで、視覚を通した理解をも深めていきたい。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

評価は定期試験に出席点を加味する。

教科書

参考書は沢山出てるゆえ、特に指定せず、授業の中でその都度言及する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史概説 I (古代・中世)	伏島正義	歴史1・2・3・4必(西洋史)	4
		歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	

講義のねらい

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。

講義の内容・授業スケジュール

西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義で通説を紹介し、特にその力点を史料の根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。

履修上の留意点

近代的土地所有形態の本質の1つは私的所有であるが、当該所有形態が具体的に、いつ、どのような過程において発生したのかについては必ずしも定説があるわけではない。本講ではこの点について、これまでの研究史をふまえ、各人が自身の答えを探求しようとする姿勢を必要とするものであり、必ずしも西洋史の知識をあらかじめどれだけ多く知っているかが前提となるものではない。

成績評価の方法

前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をする。

教科書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘し、あるいは史料のプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史概説Ⅱ (近世・近代)	きさき 佐々木 まこと 真	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

明治以降から戦後の一時期まで、日本におけるヨーロッパ近代史の研究は、日本社会が進むべきモデルを提示することを主な目的として行われてきた。これは一方では当時の研究者による日本社会の認識の結果であったが、もう一方では19世紀のヨーロッパにおいて、ヨーロッパの優位性の認識が存在していたことも原因であった。本講義では、このようなヨーロッパ近代社会の認識がどのように形成されてきたのかをまず考える。さらに、ヨーロッパ統合という現実が進むなかで、国民国家に立脚する19世紀的なヨーロッパ近代史認識も見直しを迫られている。そこで第二には、現在進んでいるヨーロッパ近代史の見直しについて考えてみたい。これは、歴史学が単に過去の事実を発掘する学問ではなく、「現在と過去との対話」であることを示す試みでもある。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義を進める。

- 日本におけるヨーロッパ近代史研究の系譜
- ヨーロッパ概念の形成
 - 前近代におけるヨーロッパ概念
 - 19世紀の変化：ナショナル・ヒストリーの誕生とヨーロッパ
 - 近代ヨーロッパ概念の諸特徴
- ヨーロッパ統合と歴史研究
 - ヨーロッパ概念の拡大とナショナル・ヒストリー
 - 「地域史」のありかた
 - 「帝国」の問題
- まとめ

履修上の留意点

ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておいてほしい。また、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期末のレポートと学年末試験により判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書等は講義中に必要に応じて紹介する。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説Ⅰ (日本)	あら 新井 さとし 悟	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学を成り立たせている研究の理論的な枠組みを理解し、これに基づいて各時代の内容を把握し、現状の研究を理解する素地をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

考古学の研究史・方法論を紹介しながら、調査事例などを参照しつつ、日本考古学の概説を行う予定である。

履修上の留意点

遅刻厳禁。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会）
藤本 強『考古学の方法』（東大出版会）

その他

スライドやビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学概説Ⅱ (外国)	飯島武次	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年
飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年
飯島武次『中国考古学概論』(同成社)2003年

その他

スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

8世紀のはじめに成立した『常陸国風土記』をテキストにして、それを読みながら、古代の常陸および東国の社会のさまざまな様相について考えてみたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを使って、その解説をおこないますが、単に私だけが、講義をするのではなく、質問などを通して出席者とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。また、できれば、ビデオなどの視覚教材も使いたいと思っています。

成績評価の方法

筆記試験をおこない、その結果を重視しますが、それに授業での平常点を加えて評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

その他

ただ、授業をきくのではなく、積極的に参加しようという熱意を期待します。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	くぼた まさき 久保田 昌希	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

講義の内容・
授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであろうが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2936円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅲ (10年度以降入学生)	なかの たつや 中野 達哉	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

履修上の留意点

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

教科書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅳ (10年度以降入学生)	こばやし かつ ゆき 小林 和 幸	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解説の手法を学ぶことにより、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

幕末期から明治・大正期にかけての近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解説し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参考書等

児玉幸多編『くずし字解説辞典』（東京堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	なかむら じゆん 中 村 淳	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を研究する際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた論文をとりあげる。同時に引用された論文（日本語・英語・現代中国語など）や史料（漢文中心）についても検証し、論文の読み方や漢文をはじめとする史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

何を読むかは、授業時に指示し、分担箇所・分担者を定める。担当者には、分担箇所の和訳を作成、引用された論文や史料などを調べ、レジюмеを作成して報告してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教科書

必要なテキストは、プリントで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 史 料 講 読 Ⅱ (10年度以降入学生)	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東 洋 史 史 料 講 読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

中国史を学ぶ上で漢文および中国現代文を読解することは必須の条件である。本年度も、王成聖著『中国近代史要略』(台湾、天声出版社、1962)をとりあげて読んで行きたい。この本は文章が簡潔で読みやすく、入門書として適していると考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめはしばらく私が読み説明する形式をとるが、時期をみて、分担をきめて各自に読んでもらうようにしたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは購入不可能ゆえ、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととした。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学びたい。これまでは初歩のラテン語を学び、次にラテン語の史料を読んだ。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書

D. A. Kidd, *Collins Gem Latin Dictionary Latin-English; English-Latin*
その他必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

授業に合せて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学んで卒業論文を書くためには、外国語の読解力が必要不可欠である。本講義では、西洋史に関する史料を原文で講読し、西洋史研究に必要な基礎的な語学力を養成するとともに、史料の内容を検討することにより、史料を通じての歴史像把握の力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ近代史に関する史料(英語)をゼミ形式で輪読する。具体的な書名は、受講生が興味をもっている分野を勧奨し、第1回の授業時に受講生と相談して決定する。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。また、歴史学の授業であるので、単に単語のみならず、テキストの中に登場する固有名詞の内容などについても調べておくこと。また、毎時間必ず出席すること。欠席は原則として認めない。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表内容、出席および学年末に実施する試験によって総合的に評価する。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、1時間に2人から3人に発表をしてもらう。なお、2年次生の必修科目なので、該当年次生はいずれかの科目を必ず受講すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学史	湯浅隆	歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

現在の私たちは、日本列島を舞台として各時代の人びとが積み重ねてきた営為のうち、いくつかの要素を抽出し、系統的に組み立てて日本史像を構築しています。従来からの日本史認識の積み重ねの到達点として、こんにちの日本史像があり、将来も変わり続けていくでしょう。そこで、この科目ではこれまでの日本史認識の変遷を説くことで、われわれの出発点として、日本史学における現在のありようを理解していきます。それが、これから各自が創りあげる歴史像の基層になることを期待しています。

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに編まれた史書を時代順に通観していきます。明治維新を契機として、歴史認識の方法が大きく変わったことを、内容上の軸としていきます。

履修上の留意点

こんにちにおける歴史学のありよう、これからの展望について考えるようにしてください。

成績評価の方法

幾つかのテーマについては、授業中に各自の見解をたずねます。さらに、後期末には、教場試験かレポート提出を実施します。評価は、すべてを合算します。

教科書

ありません。

参考書等

その都度、紹介します。

その他

講義形式になります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学史	中村淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇るものの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

成績評価の方法

まず出席を重視する。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学史	さきき まこと 佐々木 真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史作品を紹介し、歴史学の方法論に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぼうとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の順序で講義を進める。
1. 古典古代の歴史作品（ギリシア、ローマ、ヘレニズム）
 2. 中世の歴史記述（キリスト教歴史観と世俗の歴史叙述）
 3. ルネサンス～近世期の変化（文献学の発達と啓蒙思想）
 4. 近代歴史学の成立（ランケ、ヘーゲル、マルクス）
 5. 現代歴史学の諸課題（アナール学派を中心に）

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、および学年末に2回提出してもらったレポートにより判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』（講談社学術文庫）、グーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』（筑摩叢書）、ピーター・パーク『フランス歴史学革命』（岩波書店）、リン・ハント編『文化の新しい歴史学』（岩波書店）、竹岡敬温『「アナール」学派と社会史』（同文館）、ノワリエル『歴史学の危機』（木鐸社）など。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学史	こやなぎ よしき 小柳 美樹	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理の構築の仕方、議論の展開について学び、また近年の考古学の発見がどういう意義を持っているのかを確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法等の確立を望む。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見、発掘調査、研究者列伝、論争などを軸として、日本通史の時代別に分けて論じる。

履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して補充して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成
学年末の試験
出席はあくまで参考

教科書

なし（レジュメを準備し、授業時に配布している）

参考書等

授業時に紹介していく

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（写真）	塚原明生 <small>つかはらあけお</small>	歴史2・3・4選必(考古学)	2
		歴史2・3・4選(考古学以外)	

講義のねらい

考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。

履修上の留意点

受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。(デジカメ及びコンパクトカメラは不可)

成績評価の方法

課題写真提出、出席点(どちらが欠けても評価の対象外とする)

教科書

特になし

参考書等

特になし

その他

前期に講義を中心とし撮影実習(屋外)後期に撮影実習(屋内)及び暗室実習を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（測量）	古庄浩明 <small>ふるしょうひろあき</small>	歴史2・3・4選必(考古学)	2
		歴史2・3・4選(考古学以外)	

講義のねらい

発掘調査に必要な測量技術を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。

履修上の留意点

野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。

成績評価の方法

出席を最も重視する。また、一定の技術を習得したか試験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（石器）	かみしきりょう 上敷領	ひさし 久	2
		歴史2・3・4選必(考古学)	
		歴史2・3・4選(考古学以外)	

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器製作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間スケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取り組み方などを総合して行う。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

その他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（土器）	かみしきりょう 上敷領	ひさし 久	2
		歴史2・3・4選必(考古学)	
		歴史2・3・4選(考古学以外)	

講義のねらい

考古学の基本は発掘調査と出土遺物の実測である。本講義では土器の実測実習を通して考古資料の観察方法について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上半期は土器の形式論についての講義と土器実測の基本的なテクニックを学び、下半期は歴史時代の土器を実測する。

履修上の留意点

考古学専攻の学生を対象とした講義であるため、他分野の専攻生にはなじまない。また、年間を通して理論と実践を学ぶスケジュールであるため、できるだけ休まずに受講すること。

成績評価の方法

年間を通して作図する2枚の実測図とレポートによる定期試験によって評価する。実測図のみ、あるいはレポートのみでは評価の対象としない。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習（情報）	こ <small>こ</small> 柳 <small>やなぎ</small> 美 <small>よし</small> 樹 <small>き</small>	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

この授業は、考古学上の調査および整理、研究におけるパソコンの活用について基礎的な方法や目的、考え方を学ぶものである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的なパソコン・ソフトである文章作成機能、数値統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れていてる学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意ください。

課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

成績評価の方法

きちんと出席していること。
課題を全て提出していること。

教科書

指定する教科書・参考書はない。

その他

フロッピー・ディスク2枚を、用意すること。
開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古発掘実習	いいじま <small>いいじま</small> たけつぐ <small>たけつぐ</small> ふるしろう <small>ふるしろう</small> ひろあき <small>ひろあき</small> 飯島武次・古庄浩明	歴史3必(考古学) 歴史3選(考古学以外)	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

考古発掘実習の履修学生は、考古学専攻学生が望ましい。また「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」をⅠ・Ⅱ年次に履修した者か、3年次に履修予定の者を原則とする。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）2,800円 1984年

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、戦国大名関係の文書と取り組んでおり、そのなかでもとくに東国戦国大名を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小林 和幸 <small>こばやし かずゆき</small>	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

日本近代史上の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、幕末維新期及び明治・大正期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上に立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加者全員によって討論をすることで日本近代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。

成績評価の方法

出席、報告、学習態度を総合的に勘案する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

『古事記』と共に、日本古代史の研究の不可欠の史料である『日本書紀』をテキストにして、史料の読解力や扱いかたを養成すると共に、史料を通して古代社会を構築する力を養いたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数は、私が、『日本書紀』についてのガイダンスをします。そのあとは、参加者に担当した部分の報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習は、講義とことなり、みなさんの参加の度合いが強い授業形態です。こうした形態をプラスにするのもマイナスにするのもみなさんの熱意次第です。積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

担当個所の報告内容、および他者の報告に対する意識によって評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なか の たつ や 中 野 達 哉	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

史料の解説・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解説から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞薬』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世前期の社会について考える。講読は受講者が分担して解説し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査なども考えたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	佐藤元英	歴史3必	4
		歴史3選	

講義のねらい

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関する、①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関（政党・会社等）の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養う。

明治・大正期の外交には二つの大きな側面があり、一つはイギリス・アメリカなど先進国に対する面であり、他は朝鮮・中国等近隣発展途上国に対する面であるが、先進国との折衝には、利益の交換と妥協という交渉上のルールがあったが、発展途上国に対する場合は軍事上の威圧が妥協に先行する場合が多く見られた。そうした特質を史料を通して分析するとともに、時代の展開を広い視野をもって大局的にとらえる基礎知識を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

近代の文書・記録類は量的にきわめて膨大であり、その種類、形態は多種多様であるが、それは単に時代が新しくなるほど文書・記録類の消滅の度合いが減ずるといった一般的な理由によるだけでなく、歴史的時代としての近代の政治的・経済的・文化的特質に基づくものである。従ってこの多種多様な文書を読み、検討することによって、日本の近代史上における重要な事件・事項について理解を深める。

履修上の留意点

受講者は授業スケジュールに従って分担予習し、レジュメを作成して授業時にそれを配布しながら報告すること。報告内容は事件・事項・人物などの解説及び関係研究文献などの紹介等。他の受講者との質疑応答をおこない、またそれに教員が補足説明を加える方式で授業を進める。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、提出レポート、発表の内容、授業内の討論、出席状況などによる。

教科書

適宜史料のコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	廣瀬良弘	歴史3必	4
		歴史3選	

講義のねらい

本講義では歴史史料をその時代背景や周辺の事情、人と人との関わりなどを考察し、分析し、総合的に歴史を考える力を身につけて、4年次の卒論作成に役立てたい。受講生は自らの担当部分について関連史料、中世から近世にかけての史料講読を通じて地域社会・文化・宗教・権力・民衆について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には戦国時代に京都と今川領国の間を幾度も往来し一体にも参学した旅の連歌師宗長の『宗長日記』により室町戦国期の社会・文化を、また、信長・秀吉の時代を外国人の眼でみたルイス・フロイスの『日本史』あるいは、乱世を生き抜いた女性の「おあむ物語」「おきく物語」などの史料により中世から近世の社会・文化について考察し、ディスカッションしていきたい。

受講生は自らの担当分の史料について調べたことを発表し、他の発表者に対しても意見を述べるができるよう努力していただきたい。

履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。

成績評価の方法

担当史料に対する発表状況・他の発表者に対する質問や意見などの発言状況・出席状況など。試験は行わない。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

随時紹介してゆくが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	まつもと のぶみち 松本 信 道	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ゆあさ たかし 湯 浅 隆	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となります。2年生までに習得した能力をつかい、歴史事象の宝庫である史料に接して、様々な事実を掘り出していく楽しみを体験していきます。

講義の内容・授業スケジュール

史料をねばりづよく講読していくことから、検討すべき課題を見つけ出し、その課題を解明する手だてを模索していきます。

講読する史料は、江戸町方にかんする内容を予定していますが、受講者によって変更することもあります。

履修上の留意点

先学の軌跡をたどりつつも、方法を習得するだけでなく、それを越えていくような意欲をもってください。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づいておこないます。

教科書

取りあえずは使用しませんが、状況を見て提示することもあります。

参考書等

ヒントは提示しますが、各自で試行錯誤して探し出すようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	中村 淳 <small>なかむら しゆん</small>	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	渡辺 惇 <small>わたなべ あつし</small>	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校証の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時代の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで箇条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは入手難のため、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおしろみらの 大城道則	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する外国語文献をテキストとし輪読を行う。②各自が決定した卒業論文作成のための文献収集とその結果報告を行う。③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告し、意見交換を行う。

履修上の留意点

まずはゼミに参加し、他の学生の考え方などを知ることが重要である。

成績評価の方法

講義に対する取り組み姿勢と出席率により評価する。

教科書

テキストは受講生と相談のうえ決定し、そのコピーを配付する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。

その他

後期に行う発表・報告は1時間に2~3人を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ささきまこと 佐々木真	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

西洋近代史に関する文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定する。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成してもらおう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づける。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人~3人に発表をしてもらう。また、年度最初の授業には必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	伏島正義	歴史3必 ----- 歴史3選	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにつとめ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

テキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯島武次	歴史3必 ----- 歴史3選	4

講義のねらい

中国原典『新中国考古五十年』（1999年）の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国考古五十年』（文物出版社）1999年

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	池 上 悟 <small>いけがみ さとる</small>	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

本講義では考古学を研究する上で必要な研究方法を学ぶとともに、具体的な研究課題を設定して初歩的な研究を実践する。

講義の内容・授業スケジュール

前半で基本的な日本考古学の研究史を学習し、各時代何が問題とされて研究が進められてきたかという点を確認し、以後の問題の展開過程を把握する。
後半では、各自研究課題を設定して実践研究を進める。

履修上の留意点

演習科目であるので出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況・レポート内容・試験の総合評価

教 科 書

斎藤忠『日本考古学史』（吉川弘文館）

参 考 書 等

浜田耕作『通論考古学』（雄山閣出版）
浜田耕作『考古学研究法』（雄山閣出版）
近藤義郎『考古学の方法』（河出書房新社）
田中・佐原訳『考古学研究入門』（岩波書店）
藤本強『考古学の方法』（東大出版）

そ の 他

講義と個別発表

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	久保田 昌 希 <small>くぼた まさき</small>	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

本講座では、3年次での演習Iの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行いたい。そしてそのことで、受講者（発表者）自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小林和幸	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討を報告し、さらに演習参加者全員による討論を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを総合的に勘案する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	佐藤元英	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

近代文書の中でも特に内閣・外務省・陸軍省・海軍省の公文書および個人文書（日記等）について解説を行いつつ、卒業論文作成のための指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期授業は近現代史に関する史料の所蔵機関である、国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室及び地方公文書館、史料館などについて解説をする。後期授業は受講生各自の研究報告を中心に討論形式で進める。

履修上の留意点

受講生各自の研究課題にそった文献目録（5月末）、及び史料目録（6月中旬）を提出させる。

成績評価の方法

提出レポート、授業内の討論によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	瀧音能之	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	中 野 達 哉 <small>なかの たつや</small>	歴史4必	4
		歴史4選	

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解読・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史(織豊期～幕末期)を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程(順番)を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教 科 書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	廣 瀬 良 弘 <small>ひろせ りょうこう</small>	歴史4必	4
		歴史4選	

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- (1) 卒業論文のテーマの提示 (4月～)
- (2) 研究史の整理 (5月～)
- (3) 卒論論題の確定 (6月10日教務部へ論題提出)
- (4) 研究史の整理と参考文献の検討
- (5) 中心的史料等の分析と論点の明確化 (6月～)
- (6) 卒論の章立に関する作業
- (7) 卒論の概要に関する発表 (7月～)
- (8) 卒論作成に関する技術的なアドバイス (7月～)
- (9) 中間報告 (9月中旬～)
- (10) 最終報告 (10月下旬～)
- (11) 下書の提示に基づく指導と添削 (10月末～11月20日)
- (12) 清書・完成・提出 (12月10日提出)

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めらるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参 考 書 等

随時、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	まつもと のぶ みち 松本信道	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。
後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ゆ あさ たかし 湯浅隆	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

卒業論文が4年間の生活が凝縮するものとして捉え、それへ向かってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史で卒業論文を作成する希望者のうち、都市・文化・宗教などの分野を対象とした学生に焦点をあわせた演習となります。

履修上の留意点

自己の論文作成だけでなく、演習参加者のテーマ・関心にも興味を広げていく姿勢をもってください。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づいておこないます。

教科書

使用しません。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なかむら じゅん 中村淳	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	おお しろ みち のり 大 城 道 則	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい

演習Ⅰで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点

就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。

成績評価の方法

各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席を重視する。

教 科 書

テキストは受講生各自が選んだ文献をコピーし配布したものを使用する。

参 考 書 等

必要があれば適時紹介する。

そ の 他

発表・報告は1時間に1～2人を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	佐々木 眞	歴史4必	4
		歴史4選	

講義のねらい

フランス語のテキストの輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは昨年度使用した Benoit Garnot, *Crime et justice aux XVIIe et XVIIIe siecles* (2000) を用いて、続きを読むことを予定している。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	伏島 正義	歴史4必	4
		歴史4選	

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかった文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯島 武次	歴史4必	4
		歴史4選	

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第になる場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ちばもとつぐ 千 葉 基 次	歴史4必 歴史4選	4

講義のねらい	卒業論文作成への指導。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は特定文物・人・民族その他のある一つのキーワードを選び、文献探索など出席者全員共通で論文作成手順の参考手ほどきとする。
履修上の留意点	キーワードを選ぶ共議のため、第1回の授業は必ず出席のこと。
成績評価の方法	論文作成状況を把握できるよう、出席を重視し、平常授業で評価する。
教 科 書	特になし。
参 考 書 等	授業中に紹介する。
そ の 他	授業の基本は出席者による発表。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 文 書 学	まつもと のぶみち くぼ たさま 松本 信道・久保田昌希 こばやし かずゆき なかの たつや 小林 和幸・中野 達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい	古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイダンス……4月11日（担当教員全員）。 ② 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…4月18日～5月30日（松本担当）。 ③ 中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…6月6日～7月11日（久保田担当）。 ④ 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…9月19日～10月24日（中野担当）。 ⑤ 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…11月7日～12月12日（小林担当）。 ⑥ ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。
履修上の留意点	古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。
成績評価の方法	試験・レポートの成績によって評価する。
教 科 書	教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。
参 考 書 等	各担当教員が教場において指示・紹介する。
そ の 他	講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書講読Ⅰ	ひろ <small>ひる</small> 瀬 <small>せ</small> 良 <small>りょう</small> 弘 <small>こう</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

歴史の研究は史料の解説に始まることは、言うまでもない。なかでも、多くの情報を含んでいる古文書史料の解説の能力を持つことは、なんとしても、必要なことである。古文書を読み解くことにより、新しい事実が判明することは、歴史を学ぶものにとっての喜びである。まだまだ、整理されていない古文書がわれわれの周辺には、思った以上に、存在する。古文書の整理・保存の運動に少しでも手を貸せるようになりたいものである。

本講座では、ともかく古文書に親しみ、原文書にも触れてみて、読解力を養っていきたいと思う。古文書を読み、歴史を学ぶ喜びを体験してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期(4・5月)は古文書に関する基礎知識や、中世文書の概容・形式について講義し、その後は、まず、「太郎左衛門尉」(たろうざえものじょう)・「市郎右衛門尉」などの人名の読み方や度量衡の単位などの読みやすいものから始める。

前期(6・7月)、中世文書のなかでも、パターン化しており、比較的読みやすい戦国時代の古文書の読解に努める。

後期(9・10月)は、鎌倉・南北朝時代の古文書や将軍家御教書・遵行状・打渡状などの室町時代の古文書の形式や特色について学ぶ。

後期(11月以降)は、比較的身近にある戦国時代・近世初頭の古文書について親しみ、力を身につける。

履修上の留意点

古文書の読解力は、慣れ親しむことからつく。予習復習はもちろんのこと、授業の時だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

授業への積極性や年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の読解力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

講読する史料のプリントを随時配布する。

『古文書解説字典』(柏原書房)2,500円

『くずし字解説辞典』(東京堂出版)2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書講読Ⅱ	ゆ <small>ゆ</small> 浅 <small>あさ</small> 隆 <small>たかし</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

江戸時代に作成された古文書の読解力を養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

文書の形を知ること、文字を解説すること、文言から歴史事実を読みとること、を基礎とします。さらに、古文書を見つけ出し、誰でもが利用できるように整備し、伝えていくことにも視野を広げていきます。

履修上の留意点

江戸時代の古文書は表現方法にパターンがありますから、読解には何よりも慣れが近道です。墨書に慣れることとともに、すでに活字になっている史料集に多く接してください。

成績評価の方法

日常の授業における取り組み、また年度末の定期試験を合わせて評価します。

教科書

史料のプリントを配付します。

参考書等

その都度、紹介します。

その他

予習・復習を必要とします。また、文書館などへの参観を予定しています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史Ⅱ	まつもと のぶ みち 松本 信 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点とし、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆の視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史』古代編（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史Ⅱ	ささき まこと 佐々木 真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

民衆が所属していた共同体の問題や民衆の心性をテーマとして、中世末から近代にかけてのヨーロッパ民衆文化の問題を検討する。以前のヨーロッパ史研究では、共同体の解体により個人に立脚する近代社会が成立したとされ、共同体の負の側面を強調する傾向が強かったが、最近では人と人の結びつきや紛争の解決方法など、前近代の共同体に特有の側面に注目する研究も多い。本講義ではそのような新しい研究の成果を積極的に紹介していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 共同体と人々の暮らし（シャリヴァリ、モラルエコノミーと共同体の解体）
2. 民衆の心性世界（識字と読書、空間認識、価値規範、死生観）
3. 近代と民衆の心性の変化
4. 民衆文化論の射程

歴
史

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献はここでは以下の2点を記し、その他は必要に応じて講義中に紹介する。
ロベール・ミュッシュャンブレッド『近代人の誕生』（筑摩書房）
ピーター・バーク『ヨーロッパの民衆文化』（人文書院）

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史 I	よし だ まさ ひろ 吉 田 政 博	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展観する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用し、また禅文化歴史博物館への見学も必ず行ってもらうたい。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 各 説 I	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されることです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再認識させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、隔年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教 科 書

瀧音能之著『古代の出雲的世界』（白鳥舎）

参 考 書 等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』（河出書房新社）

そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 各 説 II	くぼた まさき 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史(公家政権の衰退史)が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約60年を経つつある段階の今日、中世史研究はまことに活況である。さまざまな視点や方法論による史料解釈などがその多彩性を生み出している。しかしそれは同時に研究の細分化をとまなうことになった。ここではそうした研究の現状を追いかけるのではなく、中世社会の基礎的な構造について紹介する。

その目的は、はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を考えることの大切さを強調したいからである。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅲ	なかの野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

とくになし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史各説Ⅳ	きとうもとえい 佐藤元英	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

昭和初期対中国政策の諸問題とアジア太平洋戦争の終結過程を講義する。
日本外務省外交史料館及び Public Record Office, National Archives Record Administration などに所蔵されている外交文書を検証しながら、昭和初期の中国をめぐる国際関係について考察することと、閣議、大本営政府連絡会議、最高戦争指導会議、最高戦争指導会議構成員会議、御前会議等の分析を行いながら、日本の終戦決定過程について論ずる

講義の内容・授業スケジュール

前期授業は、幣原外交と田中外交に関する研究の現状、東方会議の歴史的意義とその評価、山東出兵と陸軍、「満蒙問題」と外交交渉、南満州鉄道株式会社と鉄道問題、張作霖爆殺事件と昭和天皇、ロンドン海軍軍縮会議などの諸問題を取りあげる。後期授業は、開戦から東条内閣倒壊まで、小磯・米内内閣の時期、鈴木内閣とポツダム宣言受諾に至るまでの各内閣の特質を取りあげる。

成績評価の方法

成績評価の方法は、数回のレポート提出による。

教科書

佐藤元英『概説 アジア太平洋戦争と日本の近代』（虹有社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅰ (古代)	うえすぎあやこ 上杉紋子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

平安時代は日本古代及び中世の間に位置し、古代社会の変質時期であるとともに中世社会へと転換する重要な時期である。
平安社会について理解を深めてもらうのが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では当時の貴族日記である古記録を基本史料として引用しつつ、平安時代の政治文化について講義する。基本史料である古記録は、これまで六国史をはじめとする歴史史料に親しんできた者にとって扱いにくい存在であると思われる。だが平安時代を研究しようと思えば、古記録を解釈・引用することは重要な課題なのである。
古記録の解釈に留意しながら、平安社会を概観する。

履修上の留意点

随時プリントを配布する予定なので、ノート類に貼付し毎回持参のこと。

成績評価の方法

評価は出席状況と、前期・後期の講義最終日に試験を行なう。またレポートを提出してもらう。

教科書

テキストは使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅱ (中世)	かめたにひろあき 亀谷弘明	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本列島は周囲を海に囲まれており、現代の我々にとっても食生活のみならず様々な側面で「海民文化」の伝統の影響が大きい。例えば、祝儀の際の「熨斗(ノシ)」は古代以来の「海民文化」のひとつである。近年、日本史の分野でも中世史を中心に列島内外の海上交通を媒介とした交流、非農業民の活躍などがクローズ・アップされてきている。そして、このことが原始・古代以来の伝統であると論じられることが多い。それ自体は決して誤りではないが、中世史研究者が古代の「海民文化」を論じる際、平安時代の『延喜式』の分析中心で、それ以前の奈良時代の海民の動向については必ずしも詳細な検討がなされていない。そこで、奈良時代の新出史料である木簡も含めた諸史料からはじめて、『延喜式』の貢進物史料、さらに中世の記録等の検討を通じて古代から中世への列島の「海民文化」の展開について明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス 2. 歴史学と民俗学 3. 渋沢敬三と式内魚名 4. 現代生活と海民文化 5. 古代の海民・山民について 6. 地名から海民の生活を探る 7. 贅木簡について 8. 木簡にみえる地名 9. 参河国播豆郡三島の贅 10. 伊豆国の堅魚(鯉)貢進 11. 隠岐国の海産物貢進 12. 若狭国の塩貢進 13. 供御人について 14. 伊勢神宮領御厨について 15. 古代・中世東国の海上交通について 16. まとめ

履修上の留意点

プリントを随時配布。適宜授業中に感想を書いてもらうので、毎回出席されたい。

成績評価の方法

出席、小レポート、定期試験等から総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。参考書等は適宜授業中に紹介する。

その他

授業は担当教員の講義形式とするが、学生の質問・意見を授業に反映させたい。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅲ (中世)	小松 寿治	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

譲状や置文などの相続にかかわる史料を検討しつつ、鎌倉時代の武士の「イエ」の在り方について考えてみる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

相続にかかわる研究のなかで代表的な論文の解説をする。そのうえで個別の事例にあたりたいと思います。

履修上の留意点

講義では板書が多くなるので、ノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

評価は試験によって行いますが、論理的に説明ができているかを重視します。

教科書

教科書は特に定めず、参考となる文献については授業中に紹介しますので、購入等は自己の判断でしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅲ (中世)	黒田 基樹	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

15C後半～17C前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特質について追求していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその視点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C後半～17C前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特質を考えていきたい。具体的には、村と村の生業分担、生活必需品の流通、といったことを素材として取り上げていきたい。

履修上の留意点

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

参考書等

適宜、授業のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 IV (近世)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を開かずのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

講義のみ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 V (近世)	さくら い くに お 夫 桜 井 邦 夫	歴史 2・3・4 選	4

講義のねらい

近世社会の実態について、交通史に関する史料から探してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は街道・宿場・飯盛女などに関する史料を、後期は庶民の旅に関する史料などを読んだり、考えたりしながら講義をすすめる。必要に応じ、交通史からはなれた関連史料を読むこともある。

成績評価の方法

レポート及び出席日数などを総合して評価する。なお、レポートは、講義に関係する課題を自ら設定し、フィールドワークにもとづくものを提出すること。

教 科 書

使用しない。必要に応じて随時史資料を配布する。

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

各地の博物館や文書館などで近世の交通や旅に関する展覧会などが開催されている。これらの情報は随時紹介するので、積極的に見学などに訪れてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅵ (近代)	こばやし かずゆき 小林 和幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代国際社会の環境下で維新後の新国家日本が如何なる政策を模索・選択し、それが如何なる社会情況を生み出したかを解明する。本年度の講義では、陸軍軍人で政治家の谷干城の政治思想と行動を辿りながら、幕末期から明治期全般について、国際環境の中での近代日本政治と外交の展開を浮き彫りにしていくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

- 本年度の講義は、以下の通り進める。
- 一、明治国家を巡る研究視点
 - 二、明治維新と谷干城
 - 三、明治初年の谷干城
 - 四、政治家としての谷干城の誕生
 - 五、谷干城に於ける「民権」「天皇」「立憲政治」
 - 六、谷干城の対外観・外交論
 - 七、おわりに

履修上の留意点

幕末維新期から明治期という近代日本国家形成に興味を持つ学生に受講してほしい。

成績評価の方法

レポートと定期試験により、出席状況も勘案する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時紹介する。

その他

基本的に講義形式で進めるが、映像資料の参照も行いたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅱ (古代)	小林惣八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。
 今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。
 中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は
 (1) 古代帝国の成立(秦時代) (2) 古代帝国の発展(前漢時代)
 (3) 古代帝国の没落(新・後漢時代) (4) 古代中国をめぐる国際関係
 以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅳ (中世)	石田肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科挙論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。昨年度は征服王朝を中心に話す予定でしたが、受講生は宋代を卒論に取りあげる学生がほとんどであったために、彼等の卒論のテーマに即した史料などを読むこともありました。このようなわけで、講義内容は受講生によってかなりかわる可能性があります。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

教科書

なし。

参考書等

適宜、講義中に示します。

その他

講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説 V (近世)	佐藤文俊	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

《明清時代史》 本講義の扱う時代は、中国の宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明清時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明・非漢民族支配王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族が形成された。

中国の近世の軸ともいうべき明清時代の政治・経済・社会・文化等の歴史について、最近の研究動向も取り入れた講義を行いたい。

なお明清時代を扱う場合、世界史の動向と関連しつつ東アジア史の中で位置づけて考える必要がある。つまり東アジアの多くの国でこの時期、近代と関連する各々の伝統社会が形成されたことである。この点にも留意したい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

参考書等

授業でその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説 VII (近・現代)	趙軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動—戊戌維新—
5. 農民らの救国運動—義和団事件—
6. ブルジョア階級による救国運動—辛亥革命—
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満州侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』岩波新書336(岩波書店)

参考書等

授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 Ⅷ (周辺史)	かた おか かず ただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起こっている。その背景には近代における日中関係が影を落としているといえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 中国の近代と日本の近代 (2) 近代以前の日中関係 (3) 日清修好条規 (4) 国境確定と日中関係 (5) 琉球問題 (6) 1880年代の日本の変化 (7) 日清戦争 (8) 中国人の日本留学 (9) 日本の中国関係団体 (10) 辛亥革命と日本 (11) 第一次大戦時期の日中関係 (12) 日中国交正常化の途 (13) 日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配付する。

参 考 書 等

授業のなかで指示する。

そ の 他

講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 Ⅸ (周辺史)	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

海からの世界史が注目をあつめている。そこから、東西交渉史などを再確認されることが多いが、この海上ルートは、広い範囲で、長い期間使われてきており、紀元前後から、モンソーンを利用し、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16～18世紀に活躍した、オランダ東インド会社(VOC)の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世(Early Modern)であり、海上交易が盛んになった時代でもある。さらに、VOCが、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。このVOCの歴史を通し、海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。さらに、近代における交易問題とも比較しながら、近世と近代の特徴を明らかにしていきたい。

履修上の留意点

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。また、授業には地図帳を持ってきてもらいたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説 X (周辺史)	まつもと ひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、中東やイスラムに関わる事件が報道で大きく扱われるようになってきているが、それら個々の問題や中東、イスラム全般に関わる理解は、未だ不十分と思われる。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラムの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が上記した報道内容にあることも考慮して、現在報道されている個々の事件についても解説や論評も行いたく、これが第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的な理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

講義の内容・授業スケジュール

「中東 (Middle East、地理用語では西アジア及び北アフリカ)」という言葉の意味から始めて、中東における民族や宗教を概観し、アイデンティティの問題を論じることによって、その社会の特質を明らかにする。加えて、ユダヤ教、キリスト教、イスラムという中東で成立した一神教の流れから、イスラムの占める位置も確認する。

次いで、預言者ムハンマドから正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝のイスラム史を概観し、その政治史や政治体制を解説するとともに、イスラム神学・法学やイスラム神秘主義といった思想史も扱いたい。

その後は、オスマン帝国の概説から中東の近代史に入り、ヨーロッパ列強の進出とそれに対する抵抗の過程を通して、「中東の近代」に関わる特質を論じる。そして、アラブ民族主義や中東和平問題から現代史に入り、イスラム原理主義や湾岸戦争後の情勢などを解説して、中東における歴史と現状の関わり合いについて、筆者なりの評価を示してみたい。

成績評価の方法

前後期2回の試験によって、成績を評価する。

教科書

教科書は特に用いない。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 Ⅲ (古代)	こ ばやし そう はち 小 林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のある宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力ももたなかった。この地帯を安穩に通行することは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・
授業スケジュール

取扱う内容は

- (1) 遊牧国家とオアシス国家
匈奴遊牧国家以前とそれ以降
オアシス諸国家
- (2) 征服王朝

以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教 科 書

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅵ (中世)	いしだ 石田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

<中国金石学の種々相>と題して講義します。金石学は英語の EPIGRAPHY に相当し、これは銘辞学と訳されています。一般に金属や石などに施された文字や文章、つまり金石文、あるいはそれら金属や石などを研究対象にします。金石文は史料ですから、金石学は紙以外に記された史料を対象とするともいえます。文献史料が少なければ少ないほど重要な意味を持つといえますので、近頃では東洋史・日本史の分野で金石文に注目して新しい史料を見いだそうとする傾向があり、関心が高まりつつあります。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では基礎的なことをお話しする予定です。前期では金石学の意義、金石学の大綱、日中の金石学の歴史などを簡単にお話し、後期では具体的な例をいくつか取りあげることになります。それらは中国中世の墓誌、石碑、仏足石、鐘銘などで、これらの歴史的背景を説明し、金石文を読み、史料として扱って行く予定です。ところで金石文は活字の文字ではないため、文字には異体字も多く、釈文に苦勞することがあります。そのため時間的に余裕があれば、文字の歴史についても取りあげることにし、いかに金石文を読むか、という点にも配慮します。一方、受講者の関心を深めるために日本の金石も取りあげ、日本の身近な金石についてのレポートを提出してもらいます。東洋史専攻者だけでなく日本史の専攻者の受講を歓迎します。それゆえ受講者に応じて取りあげる素材を変える予定です。金石文は拓本によって示されることが多いので、拓本の取り方を知らなければなりません。時間の余裕があれば拓本の手ほどきもします。

履修上の留意点

講義ではなるべく資料を示しますので、配布資料・史料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

教科書

なし

参考書等

適宜、講義中に示します。

その他

講義を中心にしますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅷ (近世)	さとう 佐藤 文俊	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

昨年に引き続き、中国史上の人物と伝承の有り方について考える。

講義の内容・授業スケジュール

明末の李自成の乱における参謀的役割をはたしたといわれる李岩の存在を、疑問視又は否定する系列の諸説を検討する。

成績評価の方法

成績と授業参加の状況を評価の軸とする。なお出席は授業実時数の三分の二以上を必要とし、授業開始後15分以降の入室者は欠席とする。

教科書

授業中にその都度指示する。

参考書等

授業中にその都度指示する。

その他

講義の他、討論・史料講読を課す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 X (近・現代)	趙 <small>ちよう</small> 軍 <small>ぐん</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅺ (近・現代)	ふじやこうえつ 藤谷浩悦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

[前期]

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|-----------|
| (1) 問題提起 | (2) 18世紀の世界 | (3) 白蓮教徒の乱 | (4) 民間諸宗教 |
| (5) 反乱の世界 | (6) 会党と近代 | (7) 太平天国1 | (8) 太平天国2 |
| (9) 太平天国3 | (10) 義和団1 | (11) 義和団2 | (12) 義和団3 |
| (13) 辛亥革命 | (14) (予備) | (15) (予備) | |

[後期]

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| (1) 問題提起 | (2) お茶と文化 | (3) 茶の世界史 | (4) 病気の歴史 |
| (5) 茶とアヘン | (6) アジアの近代 | (7) アヘン戦争1 | (8) アヘン戦争2 |
| (9) 上海と横浜 | (10) 上海の歴史 | (11) 留学生と日本 | (12) 文化と政治1 |
| (13) 文化と政治2 | (14) (予備) | (15) (予備) | |

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教科書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

その他

適宜、史料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 XIII (周辺史)	かた おか かず ただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オアシア世界の政治経済的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域（新疆）
- 12 20世紀中央アジア・ソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域（中央アジア）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 XV (周辺史)	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在、世界史の時代区分で「近世」(Early Modern)という概念が使われるようになってきている。いままでの古代、中世、近代という三分法の時代区分では間に合わなくなってきたからである。「近世」とは、中世と近代の間ではなく、独立した時代と捉えられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念であろう。

この授業においては、「近世」を、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と捉える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代であり、各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっている。

この近世の東・東南アジアを、「東方アジア」という一つのまとまりと考え、この地域が、歴史的にも、文化的にも、一つの世界と考えられることを考察したい。

さらに、19世紀以降の「近代」をも考察していく。近世と比較することにより、近代の特徴が明らかにし、それが、いかに近世からの影響と脱却をはかってきたかを見ていきたい。

履修上の留意点

なお、受講する際に、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説Ⅰ	しょうじ 庄司 啓一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史

アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのように学んできたのだろうか。日本の若い人々にとり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。

アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的時間が必要であった。

世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

成績評価の方法

前期・後期ともに論述試験実施。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説Ⅳ	ふせ 伏 しま 島 まさ 正義	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

講義の内容・授業スケジュール

文献、関係論文(邦文、英文)、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文(邦文、英文)をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回出る出席と期末テストで評価する。

教科書

教科書は特に定めはない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参考書等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講 I	長谷川 岳 男 <small>はせがわ たけお</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、欧文文献の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に無いと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。

履修上の留意点

上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的な事件、人名、地名等も事前に調べることも必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。

教科書

第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。

その他

ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書（最低でも中辞典以上のもの）を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講 III	関 哲 行 <small>せき てつ ゆき</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世～近世のスペインは、言語や宗教を異にする多様な地域、エスニシティから構成されるモザイク国家、モザイク帝国であった。その実態を、宗教的マイノリティであるユダヤ教徒やコンベルソ〔改宗ユダヤ教徒〕問題を中心に考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

中世スペインは、西ヨーロッパ最大のユダヤ教徒居住地域であった。1492年の追放令により多数のユダヤ教徒が改宗する一方、追放されたユダヤ教徒は、16～17世紀のイスタンブルやアムステルダムに大きな共同体を再建した。中近世スペインのユダヤ、コンベルソ史を中心に、近世の地中海と大西洋各地のユダヤ教徒共同体も展望したい。

履修上の留意点

スペイン史やユダヤ史は、一般には馴染みの薄い領域であるので、事前に簡単な概説を読んで頂きたい。

成績評価の方法

原則として後期の1回の試験により評価を行う。

教科書

教科書は特に指定しないが、適宜プリントを配布するので、それを利用して頂きたい。

参考書等

エリー・ケドゥリー編〔関哲行他訳〕『スペインのユダヤ人』（平凡社）1995年、2900円

その他

受講者数にもよるが、基本的に授業は講義形式で進める。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講Ⅳ	篠原 琢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「東欧のナショナリズム研究におけるフェミニズムの可能性」
 本講義では、ナショナリズムが作り出す自国民イメージ、敵のイメージが、いかにジェンダー的構成を内包しているか、検討する。そのようなアプローチが必要なのは、以下の二つの理由による。第一に、近代のネイション(「民族」、「国民」)が文化的な構築物として創造され、人々のアイデンティティを再構成したのは、ジェンダー関係が再編成され、新たな「男性性」、「女性性」が構築されたのと同じ時期にあたり、かつこの二つの過程は相互に依存、干渉しあいながら進行したからである。第二には、ネイションという共同体の神話にとって、「男性性」と「女性性」の配置は大きな意味を持っているからである。起源と血統の神話をひとつの核として持つネイションは、それに応じた家族観を必要とするし、また戦争は、敵のイメージ(自・他)がするどい輪郭をもって再生産される時期であるとともに、「男性性」と「女性性」が極端に固定される時期でもある。こうして、ナショナリズムをジェンダーの問題として分析する手法は、次第に浸透しつつあるが、ナショナリズム研究が重要な意味を持つ東欧史研究では、いまだ十分に実践されていない。本講義は、東欧のナショナリズムをこのような視点から論じようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、フェミニズムと歴史学の問題、歴史学におけるナショナリズム研究の諸潮流について論じ、後期には東欧におけるナショナリズムを具体的に取り扱う。

履修上の留意点

対象とするのは、一般にあまりなじみのない地域なので、とくに前提とする知識は要求しない。そのかわり、多くの読書を要求するので、意欲のある者を歓迎する。

成績評価の方法

成績評価は、前期のレポート提出ならびに年度末の試験によって行う。

教科書

ジョン・スコット『ジェンダーと歴史学』(平凡社)に目を通しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅰ	渡辺 知	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀以降のイギリスの社会がどのような社会であったのかを見ながら、イギリスの歴史がどのような特殊性を有しているのか、また、イギリスの近現代の歩みが世界史的にどのような意味を持つのか、考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期はジェントルマン、労働者、女性、子ども、移民等は19世紀のイギリス社会においてどのような位置を占めていたのか、またこれらの間にはどのような関係が結ばれていたのかを主なテーマとして講義をすすめます。また、近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。さらに、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。後期は、このように明らかにされつつあるイギリス帝国の多様なあり方がイギリスの社会にどのように影響を与えたのか考えていくこととします。

成績評価の方法

前、後期末にそれぞれ試験を行います。また、夏休みあけにはブックレポートを提出していただきます。成績はこれらの総合評価とします。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅱ	はやかわりほ 早川理穂	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、フランスのアンシャン・レジームから19世紀を中心として、「下から」の視点で歴史を見るべく、民衆運動に焦点をあてていく。具体的事例としては、アンシャン・レジーム期に起こった、「小麦粉戦争」と呼ばれる食糧暴動や、革命期の民衆運動などをとりあげていく。一見無秩序に見える暴動の中にも、ある種の秩序が見られる点などから、「上から」の視点だけでは見過ごされてしまう側面が、浮かび上がってくるであろう。

履修上の留意点

授業は講義形式で行う。

成績評価の方法

成績評価の方法としては、学年末にレポートを提出してもらう予定である。

教科書

教科書は特に指定しないが、西洋史概説・フランス史概説などに目を通しておくことが望ましい。

参考書等

参考書は授業内で随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅲ	みやもと なおみ 宮本直美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、19～20世紀前半のドイツを対象として、その広義のナショナリズムの歴史を幅広い角度から概説する。ドイツのナショナリズムを考えるときは、ナチスを選けて通ることはできないが、しかしナチス期だけに注目すればよいというものではない。ナチスに至るドイツのナショナリズム問題の解明のためには、どのような方法があるのか、どのようなアプローチがあるのかを、学生諸君に知ってもらい、かつ考えてもらうことが本講義の目的である。このように考える時に、ナチスの問題は我々の今日的な問題として認識されるのであり、またドイツのナショナリズム問題以外の領域への応用可能性も拓かれるのである。したがって、講義では、一般の「歴史概説」のように年代を追って事件を並べるのではなく、社会史、文化史、精神史、思想史、女性史、歴史社会学といった相互に関連する分野を順次取り上げて、それぞれの分野の問題意識から見た「ドイツ近代」を紹介してゆき、同じ時代が、見方を変えることによって異なる像を結ぶことを確認する。それによって、学生諸君には、史実を暗記する機会ではなく、歴史について自ら考える契機を提供したいと考えている。

履修上の留意点

「歴史を記述する視角」を重視するため、場合によっては、ドイツ近現代史の範囲を越える内容を講義に盛り込むこともある。また、受講にあたってはドイツ語の知識は特に要求しない。

成績評価の方法

半期ごとにレポートを課す。評価は、レポートの成績と出席率を考慮して行う。

教科書

教科書は特に指定しない。参考書は授業ごとに指示する。

その他

講義を予定しているが、受講者の人数・要望によっては、演習形態を取ることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅳ	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋文明の源流に位置し、今日でも西洋世界の共通の基盤として重要な位置を占める古代ギリシア・ローマ世界を取り上げる。本講義においては概説的な通史をするのではなく、とりわけ「ローマ帝国」に焦点をあてて、この帝国の現実を検討する予定にしている。この世界がいかなる経緯のもと形成され、この世界に生きた人々の姿を検討し、最終的には、この世界が後世に与えた影響を考えることで、西洋世界の特性の理解に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、最初にローマ帝国をめぐる内外の議論をまず整理することで、この帝国が有する歴史的意義が従来いかに認識されていたのかを明らかにする。次いでローマ帝国形成の要因、それから帝国支配の実態を新たな研究成果に基づきながら考察する。帝国支配に関してはローマ人からの視点と被支配民の視点双方から分析したい。特に史料が多く残るギリシア人を中心に、西ローマ帝国領内の事例を比較して分析を進める予定である。そして最後に展望としてこの帝国崩壊の状況に触れ、さらに後世の人々（特に西洋）がこの帝国をいかに認識し、いかなる影響を与えられたのか取り上げて、再度その歴史的意義を考えたい。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

講義をした上で考えたいが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅱ	こん どう ひでお 近藤 英 夫	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心に、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と平行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

辛島昇他『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年
 近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年
 『ORIENTE』23、（古代オリエント博物館）2001年
 その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅳ	いまむらけいじ 今村啓爾	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

縄文時代について文化と社会の特徴を知り、東アジアにおける位置付け、人類史における位置など広い視野の中でそのありかたを理解することをめざす。また現在の研究の課題とその解明の現状について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

学史・時代区分論などアウトラインから話をはじめ、次いで時間の流れに沿って文化の変遷を見る。後期は遺物・集落・生業研究など特定の問題を順次とりあげ、最後にアジアの中における縄文文化の位置付けを考える。

成績評価の方法

毎回講義終了後に質問カードを配布するので、その日の講義に関する質問を1つ記入すること。次回にその中からいくつかをとりあげ答えを述べる。採点はこの質問カードによって行なう。ただし聴講者が多くて毎回これを行なうことが困難と思われるときにはペーパーテストに切りかえる。

教科書

今村啓爾『縄文の実像を求めて』（吉川弘文館）1,700円

その他

講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅱ	しみずのぶゆき 清水信行	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古代の日本と渤海の文化交流—渤海時代の寺院遺跡を中心として—沿海州及び中国東北地方にある渤海時代の寺院跡を中心にみてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

渤海遺跡から出土する遺物、特に瓦を中心としてその製作技法などを検討し、日本と大陸の文化交流の様相をみてゆきたい。主に寺院遺跡をとりあげてゆく予定であるが山城、土城その他の遺跡についての最近の発掘成果も取り入れながら、一年間を通して渤海遺跡の様相を述べ、その中で日本との交流について述べてゆきたい。

履修上の留意点

受け身ではなく、主体的に授業に参加していただきたい。

成績評価の方法

レポートによって成績評価を行なう予定。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

『高句麗と渤海』三上次男著 吉川弘文館

その他

講義形式で行なうが、時には討論もとり入れてゆきたい。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅳ	矢野和之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし

参考書等

適宜指示

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西域美術史	まつ だいら 松 平 美和子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

一昨年春、イスラム原理主義勢力、タリバンにより破壊されたパーミヤンの大仏は中央アジアの仏教文化の象徴であった。

大仏のみならず、石窟内に描かれた壁画や石窟の建築様式には、東西文化の様々な要素をみることができた。

前期は今まさに失われつつあるアフガニスタンの古代美術をとり上げ、その歴史と現状、さらに今後の復興の問題を考える。

又、後期は文化交流史の立場からガラス工芸をとり上げ、シルクロードを舞台に創始され発展してきたガラスの各様式をたどる。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・アフガニスタンの芸術
 - ・パーミヤン…失われた大仏と壁画
 - ・ベグラム…東西工芸の宝庫
 - ・スルフ・コタル…謎の宗教遺跡
 - ・アイ・ハヌーン…ヘレニズムの大遺跡
 - ・ハッダ…ヘラクレスと仏像
- 後期
- ・ガラス工芸の東西交流
 - ・古代ガラス
 - ・吹きガラスの発見
 - ・ローマングラス
 - ・ササングラス
 - ・工芸の文様史

講義にはスライド、ビデオを用いる。

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験、授業中の提出物、出席状況により評価する。

教科書

前期は、谷岡清『アフガニスタンの美』（小学館ショトルシリーズ）1,680円
後期はプリント配布。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	やまぐちまさひろ 山口 祐弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファーベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教科書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	むかきあきら 武 笠 朗	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

東洋（インド・中国等）及び日本の仏教彫刻を中心とする仏教美術の流れを通覧し、信仰の変容がもたらした造形への影響を考える。前期にインドと中国、後期に日本の飛鳥から平安時代ぐらいまでを考える予定である。各時代の主要作例や重要課題を中心にして検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 仏教美術の研究方法 | 11 朝鮮半島 |
| 2 尊像の種類とその姿形 | 12 飛鳥前期1（止利仏師） |
| 3 インド1（パールフトとサーンチャー） | 13 飛鳥前期2（救世観音と百済観音） |
| 4 インド2（仏像の出現） | 14 飛鳥後期（半跏思惟像） |
| 5 インド3（ガンダーラ仏とマトゥラー仏） | 15 奈良1（興福寺阿修羅像など） |
| 6 インド4（仏伝浮彫り） | 16 奈良2（東大寺法華堂諸像と大仏） |
| 7 中国1（敦煌石窟と炳靈寺石窟） | 17 奈良3（鑑真と唐招提寺諸像） |
| 8 中国2（雲岡石窟） | 18 平安前期1（神護寺薬師如来像） |
| 9 中国3（龍門石窟） | 19 平安前期2（密教の造像） |
| 10 中国4（単独造像） | 20 平安前期3（一木造り木彫像） |

歴
史

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

前・後期の試験（あるいはレポート）の成績を中心に、出席状況、展覧会見学レポートなどを総合して評価する。

教科書

なし。講義資料を配布する。

参考書等

『カラー版日本仏像史』（美術出版社）2002年。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国歴史文学	田熊信之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、ことにその主体となった漢民族によって作りあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地と人々によって培い育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文を選出して読み解いて行こうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このものには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くため、寒山詩などの詩偈をも含めた韻文や、人伝、僧伝などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを使用する予定。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を交えて行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	近藤好和	歴史2・3・4選	4

歴史

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である東帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、東帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として官中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

後期一回のレポートを予定。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢 <small>たに ぐち みつぎ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	北野良枝 <small>きた の よし え</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から明治初期に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は奈良時代から室町時代まで、後期は桃山から明治初期までを扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	上野勝広 <small>うえのかつひろ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課まで進めます。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨んでください。また常に最低限の復習が欠かせません。

成績評価の方法

年間2回(前期末・後期末)のテストの結果(60%)に平常点(40%)を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』(駿河台出版社)1,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	長谷川岳男 <small>はせがわ たけお</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違うが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店)1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	小田 匡保	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。研究事例の紹介よりも、教科書の概説を中心とする。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	小池 とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界の地域構成を理解することを目指して、前期は主として民族・国家の観点から各地域における民族問題・地域紛争などを取り上げる。後期は経済地理学的視点から、経済発展と地域の変容を世界の諸地域について検討し、現在の課題を追求する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	高橋 健太郎 <small>たか ぼし けんたろう</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

社会、文化、政治、経済などの諸要素を関連づけて地域社会の実態を把握するという、人文地理学の基本概念について、具体的な事例をあげて検討する。

講義の内容・授業スケジュール

全体としては、人々の生活や地域社会のあり方を理解する際に、空間的側面からのアプローチがいかにか有効であるかということ論じたい。具体的には、以下の項目を取り上げる予定である。

◇人文地理学の位置づけ、◇地域のとらえ方、◇分布論、◇景観論、◇生業・生活様式、◇居住、◇言語、◇空間認知、◇地名、◇観光、◇エスニシティ、◇宗教・巡礼、◇中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の具合を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出していただく。

成績評価の方法

定期試験の結果にレポートの提出状況を考慮して評価する。

教科書

特定の教科書は使用せず、授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	新井 祥穂 <small>あら い さまち ほ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

農山村が現在直面する問題を、机上の空論や過剰な思弁を避け、現場の感覚から理解すること。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつて基幹産業であった第一次産業が長く停滞しており、そこに居住する人々は、就業先の確保をはじめ生計の組み立て方に様々な困難を抱えてきた。高度成長期以降、これらの地域に多大な公共投資がなされてきたのもこうした理由による。

しかし、国家財政が逼迫するなかで、1990年代以降は政策的な介入が簡単には認められなくなってきている。つまり現在は、いったい何が公共的に解決すべき問題であるか、改めて吟味すべき時期にきているといえよう。この作業には、現場からの精確な情報とそれにもとづいた検討が不可欠であるが、これらの地域について、そしてそもそも政策と人間の関係については、理念やイメージが先行し、その経済・社会に政策が何をもたらしたかという本質的な情報は以外に少ない。

本講義では、日本の農村・山村・離島部がどのような経済社会であるのかについて、具体的に精確な理解を目指す。その際に、これまでの公共政策ではこれらの地域の内実がどのようなものと理解され、いかなる方向に誘導されていたのか、という点との比較を強く意識する。また随時、ヨーロッパや東南アジア等海外の農山村の状況やそこでの関係した公共政策との比較も織り込む予定である。

履修上の留意点

参加者には休暇等を利用して農村・山村・離島部を旅行し、地域のリアリティを体感することを期待する。

成績評価の方法

成績評価は年度末の試験（1回）で行う。これに、随時とる出席も考慮する。

教科書

特に指定しない。オリジナルな配布資料をこちらで用意する。

参考書等

ピンチ著 神谷浩夫監訳 2001.『福祉の世界』（古今書院）

その他

講義形式をとる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	かわもととよかず 川元豊和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①地域研究について ②稲作における「緑の革命」 ③バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ④バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑤バングラデシュ村落の変貌と都市化 ⑥マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑦半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑧サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義中心の授業であるが、スライドやビデオの使用も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	はしづめなおみち 橋詰直道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

世界と日本の地域システムとその変化について学習する。特に、教職教科であるので、講義だけでなく地誌の教育と学習という観点から、テストや地図作業なども取り入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

①地誌学とは何か(地誌と地理学の研究、地誌の教育と学習)、②地図を活用する(地図帳、主題図、地形図を読む)、③世界の諸地域(北米大陸、ヨーロッパ、東南アジア)、④日本の諸地域(自然景観の特色、災害と日本列島、農業地域・都市地域・余暇地域の特色)などについて、最近の地理学の地域研究成果を紹介しながら概説する。
講義だけでなく、地図の読図作業や地誌に関するテスト(高校生レベル)も随時実施する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』(古今書院)1996年 2575円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリントとOHPを利用して行い、課題や小テストも実施する。

歷

史

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5 社 会 学 科
社 会 学 專 攻

社 会
(社会学)

社
会
(社会学)

II. 専門教育科目

(5) 社会学科 (社会学専攻)

社会学概論	坪井健	543
社会調査	牛島千尋	544
社会学基礎研究	坪井健・牛島千尋・金丸由雄・川崎賢一・川本勝・山田信行・李妍炎	545
情報処理実習	軽部幸浩	546
調査統計基礎演習	川崎賢一	547
調査統計基礎演習	三重野卓	547
社会学史	李妍炎	548
社会学演習Ⅰ	牛島千尋	548
社会学演習Ⅰ	川崎賢一	549
社会学演習Ⅰ	川本勝	549
社会学演習Ⅰ	小林弘人	549
社会学演習Ⅰ	坪井健	550
社会学演習Ⅰ	山田信行	550
社会学演習Ⅰ	李妍炎	551
社会学演習Ⅱ	牛島千尋	551
社会学演習Ⅱ	金丸由雄	551
社会学演習Ⅱ	川本勝	552
社会学演習Ⅱ	小林弘人	552
社会学演習Ⅱ	坪井健	552
社会学演習Ⅱ	山田信行	553
社会学演習Ⅱ	李妍炎	553
理論社会学	休講	
外書講読	金丸由雄	553
現代社会学論	山田信行	554
政治社会学	岩瀬庸理	555
家族社会学	中谷茂一	555
法社会学	小林弘人	556
文化社会学	川崎賢一	556
宗教社会学	芳賀学	557
地域社会学	牛島千尋	558
災害社会学	田中淳	559
マス・コミュニケーション論	川本勝	559
産業・職業社会学	休講	
社会心理学	坪井健	560
社会病理学	休講	
社会学原論	渡辺源樹	561
教育社会学	伊藤茂樹	562
宗教人類学	佐藤憲昭	562
社会調査演習	川崎賢一	563
社会統計学演習	川崎賢一	563
社会調査実習	李妍炎	564
社会学理論研究Ⅰ	山田信行	565
社会学理論研究Ⅱ	山田信行	566

社会学	特殊	特殊	講義	義	I	〈川	本丸	勝	566
社会学	特殊	特殊	講義	義	II	〈金	丸	雄	567
社会学	特殊	特殊	講義	義	法	〈鶏	德	登	567
社会学	特殊	特殊	講義	義)	〈小	林	人	568
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈船	水	浩	569
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈東	條	光	570
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈澁	谷	昌	571
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈豊	田	宗	572
社会学	特殊	特殊	講義	義	学	〈横	山	剛	573
社会学	特殊	特殊	講義	義	学	〈高	橋	誠	573
社会学	特殊	特殊	講義	義	学	〈大	野	隆	574
社会学	特殊	特殊	講義	義	学	〈中	里	克	574
社会学	特殊	特殊	講義	義	策	〈光	岡	博	575
社会学	特殊	特殊	講義	義	法	〈藤	本	美	576
社会学	特殊	特殊	講義	義	法	〈五	本	茂	576
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈浅	島	子	577
社会学	特殊	特殊	講義	義	論	〈浅	野	巳	578

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学概論	つばい 坪井 健	社会1必	4

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - 社会的性格と社会化 -
19. 現代社会論1 - 崩壊する家族 -
20. 現代社会論2 - 多文化の世界 -
21. 現代社会論3 - 人生と職業労働 -
22. 現代社会論4 - 高齢化社会と生き方 -
23. 現代社会論5 - 豊かさとは何か -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書

各テーマの授業時間に指示する。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査	牛島千尋 うしじまちひろ	社会1必	4

講義のねらい

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的事象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のスケジュールは以下の通りである。

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜1
3. 日本における社会調査の始まり-ビデオ-
4. 社会調査の範囲と系譜2
5. 仮説・検証・論理展開
6. 社会調査の二つの方法1-量的方法と質的方法-
7. 社会調査の二つの方法2-量的方法と質的方法-
8. 古典的な実証的研究-デュルケームの「自殺論」-
9. 古典的な実証的研究-デュルケームの「社会分業論」-
10. 資料の収集-量的データと質的データ-
11. 作業仮説の設定と質問項目
12. 調査方法の選定
13. 調査対象・対象範囲の決定
14. 調査票の作成1-質問文作成
15. 分類の方法
16. 調査票の作成2-回答形式と選択肢作成
17. 標本抽出の方法
18. 既存データ、既存資料の使い方
19. 実験による理論形成と演繹法
20. 古典的な実証的研究-ホーソン実験-
21. 社会調査のさまざまな技法1-パネル調査、コーホート分析-
22. 社会調査のさまざまな技法2-ソシオメトリー-
23. 社会調査のさまざまな技法3-参与観察-
24. 調査データの真実と嘘
25. まとめ

履修上の留意点

必修科目であるので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレポート提出、後期試験（持ち込み不可）によって評価します。

教科書

渡辺久哲『調査データにだまされない方法』（創元社）

参考書等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文春新書）
森岡清志編『ガイドブック・社会調査』（日本評論社）
K. プラマー『生活記録の社会学』（光生館）

その他

授業は講義形式で行いますが、テキストに書かれている内容よりもはるかに多くのことを講述するので、ノートをしっかりとってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学基礎研究	坪井 健・牛島 千尋 金丸 由雄・川崎 賢一 川本 勝・山田 信行 李 妍炎	社会1必	2

講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる（その成果は「卒業論文」としてまとめられる）。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題（研究テーマ）をみずからみつけなければならないし、その問題（研究テーマ）に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。

こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。6人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はわかるがわる登壇する6人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は6人の教員いずれかのもとで授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の配当（クラス分け）については別途指示するのでそれにしたがうこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

教科書

安藤喜久雄編『わかりやすい・論文レポートの書き方』（実業文日本社）特に後期に使用する。

参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後にすること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理実習	かる べ ぬき ひろ 軽 部 幸 浩	社会1必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックスの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 Pro2000 for Windows)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよびWWWの利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意してくること。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピディスクが必要となる。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会2必	4

講義の内容・
授業スケジュール

社会調査の実施・分析に必要な、社会統計学の基礎知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、統計に必要な、確率論・確率分布を基礎にして、記述統計学（グラフ化・度数分布など）と推測統計学（正規分布・平均の差の検定・カイ自乗検定など）とについて学習する。実際の調査データを用いたり、計算問題を解くことなどを中心に授業はおこなわれる。

教科書

テキストはもうけないが、準テキスト扱いのものは、以下の3つである。
D. ロウントリー『涙なしの統計学』（新世社）1991
P.G. ホーエル『初等統計学』（培風館）1963
ボンシュテット・ノーキ『社会統計学』（ハーベスト社）1990

科目名	担当者名	配当学科	単 位
調査統計基礎演習	三重野卓 <small>みえの たかし</small>	社会2必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、1. 社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。2. 記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。3. 推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教科書

D. ロウントリー（加納訳）『涙なしの統計学』（新世社）。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参考書等

G. W. ボンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）

その他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやってみよう。

（社会学）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学史	李妍焯	社会2必	4

講義のねらい

学史を学ぶ目的は、社会学の理論や人物に関する知識を得るためだけではない。むしろ社会学者の発想を学び、現代社会の諸事象を鋭く描き出すための道具を身につけるためである。従ってこの講義では、学史上の概念や人物について暗記してもらうのが目的ではなく、思考のヒントを与え、思考法を学んでもらうのが目的である。また、本年度は「秩序問題」すなわち「社会秩序はいかにして可能か」という社会学の根本問題を講義の中心テーマとして設定するため、「秩序」について理解を深めてもらうことも大きな目的である。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、2つの軸に沿って進めていく。全体的には時系列の軸に従って、社会学の誕生から今日に至るまでの各発展段階を踏まえて、主要な社会学者とその理論を紹介していく。各発展段階の具体的な内容は、もう一つの軸、すなわち「秩序問題」へのアプローチの視点・手法の相違という軸を視野に入れながら、理論の整理を行う。講義では社会学誕生の背景と経緯、社会学理論の特質などを概説した上で、社会学の成立期、展開期、脱中心期という三つの段階に沿って、それぞれの段階で重要な位置づけにある社会学者を取り上げて、その問題関心と発想を紹介し、理論内容の検討を行う。具体的には、M・ウェーバーや、E・デュルケーム、G・H・ミード、シカゴ学派、E・フロム、T・パーソンズ、R・K・マートン、シンボリック相互作用論、M・フーコー、J・ハバーマス、N・ルーマン、A・ギデンズなどを中心に社会学理論の検討をしていく。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

平常点（出席）30%、期末レポート70%で評価を行う。

教科書

指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

指定しない。

その他

主に講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	牛島千尋	社会3必	4

講義のねらい

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

その他

「沈黙は金」ではなく、「発言は金」であることを自覚して演習に臨んでください。

社会
(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	川崎賢一 <small>かわさき けんいち</small>	社会3必	4

講義のねらい

このゼミの目標は2つある。1つは、卒業論文執筆のノウハウを習得することである。そのために、3年次では、(1) 研究テーマの複数設定 (2) 研究計画 (3) テーマ絞りこみまでをおこなう。したがって、自主的な研究意欲と熟意が要求されるのはいうまでもない。もう1つは、(1) 社会学的分析のトレーニングと、(2) 文化や情報化・国際化に対応した文献（英文を含む）を講読する。前者は、オーソドックスな分析法を身につけることを目的に、各自の興味あるテーマ別に、発表形式で行う。後者は、最近の社会学研究の動向を踏まえた研究成果を講読する。

履修上の留意点

いずれにしろ、研究を優先し、インターネットや英会話などがある程度できることをゼミ生に期待している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	川本勝 <small>かわもと まさる</small>	社会3必	4

講義のねらい

社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。
前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。
後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。
年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法

出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	小林弘人 <small>こばやし ひろひと</small>	社会3必	4

講義のねらい

この演習は、社会学・社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

（社会学）
社会

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	坪井 健	社会3必	4

講義のねらい

このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生きている世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的相互学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、集団心理、対人関係、世代（青年・高齢者）文化、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」（5月）／「ゼミOB会」（7月）／「ゼミ合宿」（9月）／「4年生卒論発表会」（12月）／「追い出しコンパ」（2月）／海外セミナー旅行（8月または3月）／「卒論構想春合宿」（3月）

履修上の留意点

ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見と問題解決型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であり、ゼミ学習の場は、教室外の街中や国内・海外を含む行動力が求められる。

成績評価の方法

①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	山田 信行	社会3必	4

講義のねらい

現代の日本社会では、例えば大学を卒業しても定職につかず、アルバイトで生活費を稼ぎながら生活している若者たちがかなりの数に登り、社会問題のひとつとなっている。いわゆる「フリーター」とよばれている人々の問題がそれである。「フリーター」の増加は、（一部の）産業への人的資源供給が滞るといった直接的な問題だけでなく、働くことの意味や学校教育の機能、ひいては人間形成のあり方などをめぐって多様な問題を提起している。この演習は、「フリーターの研究」というテーマのもとに、あくまで産業社会学的なアプローチを基本としながらも、教育論、若者意識論なども視野に含めながら、こうした問題について検討し、参加者が“社会”に出るまえに働くことの意味を見つめる場を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミは、その参加者が集団を形成することから始まる。そのために、まず自己紹介を行って、お互いを知り合うことから開始したい。そのうえで、レジュメの書き方などを含めた「ゼミのやり方」を確認して、前期の授業では二人一組で文献の報告を行ってもらい、それをもとに議論することにした。後期には、前期の輪読で共有した問題意識を各自の立場から深める意味で、各自が選択した文献について一人ずつ報告してもらおう。

履修上の留意点

ゼミは何よりも出席することが重要。無断欠席は厳禁。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

開講時に指示する。

その他

合宿などの実施・時間については、参加者と相談して決める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅰ	李 妍 炎	社会3必	4

講義のねらい

この演習には2つの目的がある。第1に、検索力、理解力と表現力を高めることである。そのために演習メンバーをグループ分けし、各グループでテーマを設定して定期的に発表を行う。それによって特定のテーマに関する検索作業、文献読み、プレゼンテーションの力を高める。第2の目的は演習メンバーが各自卒業研究に向けて準備作業を行うことである。それぞれが卒業研究で行いたい分野を見つけ、テーマを絞り、研究対象と課題を見つけるために一連の必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は演習の進め方、研究の進め方などの基本的な情報を共有した後に、4、5人単位のグループに分けて、交替でグループ発表を行う。発表テーマについては「ボランティア」や「非営利組織」「コミュニティ形成」「ネットワーク」などを想定している。グループ発表を行ってもらったと同時に、メンバーが各自の卒業研究準備作業を開始する。卒業研究の指導は個人指導の形で行う。

後期はグループ発表に代わって、ディスカッションと個人によるプレゼンテーションを中心にする。また、引き続き卒業研究の個人指導を行う。

履修上の留意点

演習でHPを作って運営し、メンバー同士でEメールのやりとりを行うことが多くなるので、自宅でもネット環境があったほうが望ましい。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	牛 島 千 尋	社会4必	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、すでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献を収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。演習Ⅱでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習Ⅱ	金 丸 由 雄	社会4必	4

講義のねらい

第4学年の演習は主として卒論の作成の研究と指導に当てる。

成績評価の方法

平常点及び卒業論文による評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	川本勝 <small>かわもと まさる</small>	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。
夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。
後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法

出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等

卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	小林弘人 <small>こばやし ひろひと</small>	社会4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	坪井健 <small>つぼい つよし</small>	社会4必	4

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学の学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」の作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。2月の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

〈坪井ゼミの年間行事予定〉

「新歓コンパ」(5月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(2月) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ就職の内定をもらっても卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究は短時間で無駄なくできるよう目標をしっかり定めておくこと。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	山田信行 <small>やまのだのぶのぶ</small>	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の執筆に向けた指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、自分の問題意識を見極めることを通じて、少なくとも論文のテーマだけは確定することを目標にしたい。就職活動の合い間を縫って参加する学生が多くなることが想定されるが、テーマ設定は卒論執筆の前提なので頑張ってもらいたい。後期は、一人あたり少なくとも二回の中間報告を行ってもらい、執筆に向けた作業を詰めて行きたい。最終的には提出前に全員の草稿の読みあわせを行いたい。

成績評価の方法

卒業論文の執筆をもって、単位認定を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	李妍炎 <small>りけんえん</small>	社会4必	4

講義のねらい

この演習では2つのことを目標とする。第1に議論する力、主張する力を身につけることである。第2に、演習メンバーが各自充実した卒業研究を行うためのサポートをすることである。

講義の内容・授業スケジュール

各自の卒業研究をサポートすると同時に、メンバーの議論する力、主張する力を高めるために、本年度の演習ではメンバーそれぞれが定期的に各自の卒業研究について発表を行い、それを巡って全員で議論し、批評を行う形で進めていく。それを通して各自が問題提起の仕方、意見の戦わせ方、論理的に議論を進めていく方法、自らの主張を説得力のあるものにしていく方法などを習得していく。

履修上の留意点

積極的に議論に参加すること。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	金丸由雄 <small>かねまるよしお</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

外国語の習得は、その言葉の用いられている国に住み、生活し、勉強せねば極度に難しい。然しこれはほとんど不可能な条件である。学生の出来ることは十分に指示された文献を予習して来ることで、それ以外に方法は無い。

講義の内容・授業スケジュール

適時に指示する。

履修上の留意点

講義のねらい以外に出来る限り外国語を使う（読み、書き、活かす）こと。

成績評価の方法

平常点による。従って出席は不可欠であり、教員が休講する場合は補習を行う。

教科書

適時指示する。（訳本は絶対に使ってはならない。）

参考書等

適時指示する。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 社 会 論	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代社会を規定するいくつかの基本的傾向のなかから、グローバリゼーションという傾向を選択し、その多様な様相について、主として経済過程に照準しながら概観することを課題とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- テーマ：グローバリゼーションの諸相
1. グローバリゼーションとはなにか
 2. グローバリゼーションをとらえる理論－世界システム論とそのリアリティ
 - ①世界システム論
 - ②多国籍企業と移民労働者
 3. 日本におけるグローバリゼーション
 - ①日本の生産システムの国際移転－グローバル・ジャパナイゼーション？
 - ②ポスト・フォードイズム論争－日本の生産システムに普遍性はあるか
 4. NIEs 社会論－グローバリゼーションにおけるローカリズム
 - ①NIEs 形成の社会的差異
 - ②開発国家の社会的基礎
 - ③NIEs 論としての日本資本主義論争
 5. グローバリゼーションと世界システムの変容
 - ①「ポスト新国際分業」の成立？
 - ②世界システムと社会主義－社会主義の解体は必然か

履修上の留意点

特に出席をとることはしないが、授業内容の理解を徹底するためには、毎回出席することが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験による（予定）。前期末にレポートを課す可能性もある。

教 科 書

山田信行著『階級・国家・世界システム』ミネルヴァ書房、1998年。

参 考 書 等

適宜、指示する。

そ の 他

講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治社会学	岩瀬庸理 <small>いわせのぶただ</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族社会学	中谷茂一 <small>なかたにしげかず</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分もつ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際になにがしかの参考となれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ。

履修上の留意点

頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト2冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。
なお、心理・福祉は1年次から履修配当されているので1年次から履修できますが、2年次以降のほうがより深く理解できるかもしれません。

成績評価の方法

- ①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。

教科書

- ①片山義弘編 『家族を考える本』（福村出版）
- ②星野貞一郎編 『保健医療福祉の社会学』（中央法規）

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

（社会学）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	小林弘人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著 『法社会学講義』（法律文化社） 2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化社会学	川崎賢一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、現代日本文化の特色を分析することにある。その際、キーワードは、文化的グローバリゼーション・文化政策・文化交流・文化産業などである。また、文化といっても多岐にわたるが、本講義では、3つのタイプ（ファインアートカルチャー・ポピュラーカルチャー・ニューメディアカルチャー）に分けた上で、この3文化と文化階層を関連づけて説明していきたい。

なお、教科書は特にないが、できる限り、次の著書の第3部を事前に読んでおくことが望ましい。

参考書等

川崎賢一『情報社会と現代日本文化』（東京大学出版会）1994年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 社 会 学	はが まなぶ 芳 賀 学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・
授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。(1) 有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。(2) 多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業開始後に適宜紹介する。

そ の 他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 社 会 学	牛島千尋 <small>うしじまちひろ</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

地域社会学は従来の農村社会学と都市社会学を併せ持った内容を提示することを目的として開講される。高度経済成長以降、都市人口はますます肥大化し、その重要性は農村をはるかに凌いでいる。そのため、本講義の前半では、主に都市社会学の主要な理論を講述し、地域社会としての都市へアプローチするための基本的概念と分析方法について理解を深めていく。しかし、都市の成長過程は農村の衰退過程と対応関係にある。そこで、主に東京をとりあげ、近代以降の都市拡大と歴史的変容過程に焦点を当て、その背後にある諸要因および都市拡大・変容がもたらした諸結果について考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概略は以下の通りである。

1. 人間生態学とシカゴ学派の諸研究
2. 都市と農村、中心都市と郊外、
3. シカゴ学派の都市研究に対する批判と継承
4. 都市化過程と都市サイクル論
5. 都市問題と都市計画
6. 現代の大都市構造と新しい問題の生起

履修上の留意点

前半の理論部分を理解していなければ後半の講義内容は理解できません。その点を留意して履修してください。

成績評価の方法

出席状況 (20点)、前期試験 (40点)、後期レポート (40点) によって評価します。

教 科 書

高橋勇悦監修、菊池美代志・江上涉編『21世紀の都市社会学』学文社、2002年。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

基本的には講義形式の授業ですが、ビデオや powerpoint などの電子教材を使い、履修者の理解を深めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
災害社会学	田中 淳 <small>たなか あつし</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

トルコ地震、台湾地震、有珠山噴火、三宅島噴火、東海水害と災害が頻発し、近い将来に発生が懸念される災害も多い。これらの災害は、日頃は隠されている社会の特性や問題を顕在化させ、社会自体に大きな変容を迫ってきた。これに対して、災害社会学の構想は、災害という特殊な状況を対象として個人や社会に関する理解を深めること、ならびにその知見を適用して災害による被害や社会問題を軽減することにある。本講義では、現実のデータと心理学、社会心理学、社会学の領域にまたがる理論とに基づき、災害、人間、社会の関わりを見て行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の4領域について議論する。
- ①障害者や高齢者など災害弱者が存在する。災害過程の基本的性格や災害と社会、制度との関わりを理解を通して、災害弱者問題、ひいては災害の社会学的意味を分析する。
 - ②他者を押しつけて逃げまどう群衆像、つまり災害=パニックという図式が信じられている。このようなパニック神話を避難行動の実相と集合行動論から批判的に分析する。
 - ③避難生活から復興まで、被災コミュニティやボランティアなど様々な社会的主体が関与する。組織論やコミュニティ論を援用しつつ、災害の長期的な側面における社会学的貢献を議論する。
 - ④災害の軽減には、事前の防災意識やコミュニティの防災力が重要であるとされる。災害文化、災害イメージ、長期予知の効果などの分析から、社会全体の防災力向上の方策を模索する。

成績評価の方法

成績評価は、前期末および後期末の試験による。出席状況が悪い場合には、履修を認めないことがある。

教科書

教科書は用いない（体系的に扱ったものはない）。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
- ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 - ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 - ・社会生活とコミュニケーション行動。
- 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
- ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 - ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 - ・受容過程の特質と効果研究。

（社会学）

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	つばい 健 <small>つよし</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など心理学と社会学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との交わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他 (社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど)

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テストなどを行なうことがあるので、積極的に参加すること。
2. 講義の内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更する。
3. 授業中は、配布資料を参考にノートを取り、さらに深く研究したい人は、紹介した文献を参考に自主的に学習内容を深めてもらいたい。

成績評価の方法

1. 出席 + 毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る” / 社会学的分析 / 現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ “action” からなのか / 社会の基礎的単位としての行為 / 行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は “nter” して社会的となる / 人間関係・社会関係・国際関係 / 交換 / 社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
1、役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの “社会化の過程” を中心に
- 第5回 2、役割の準拠－準拠集団 準拠枠 / 所属集団と準拠集団 / 動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤－マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム / マージナルマンとして青年期 / マージナルマンとしての職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為
1、規範と同調－逸脱の次元 行為と社会的秩序 / サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作 / シンボルとシンボル操作 / 逸脱とラベリング / 予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1、社会集団とは何か 集団の特質 / 集団の分類 / 家族と企業体
2、社会有機体説と構造・機能 / 機能連関 / 機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3、集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割 / ロールセット、地位系列 / 業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4、集団のリーダーシップ 集団目標 / 集団効果性 / ホワイトのリーダーシップ論 / PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性 / 集団規範 / 凝集性を高める条件 / モラール
- 第15回 前期試験 集団・文化・パーソナリティ
- 第16回 組織論と官僚制
1、組織の一般理論 現代社会と組織体 / 組織の一般理論
- 第17回 2、官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型 / 官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス) / 支配・権力・権威
- 第18回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における “目標の転移” / ホーソン実験 / グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識
1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途 / マルクスとウェーバー
- 第20回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3、社会的性格
イ、フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ロ、ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4、社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明 / ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成
1、経済と社会…経済と経済社会学 / 産業社会・消費社会 / 経済の国際化・従属理論
- 第25回 2、政治と社会…政治と政治社会学 / 権力 / 政治文化
3、法と社会…法と法社会学 / 法の機能 / 規範
4、教育と社会…教育と教育社会学 / 学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層 / 職業構成 / 社会移動 / 地位の一貫性・非一貫性 / 成層研究の課題

(社会学)

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）。

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	伊藤茂樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内で人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	社会2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに教えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

社会（社会学）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査演習（前期）	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では社会調査のマネージメントを講義・実習する。素材として用いるのは文化社会学に関する調査・データである。最初の数回講義した後、実際に、受講者にデータの収集・集計・分析をしてもらい、最終的に、報告レポートを作成してもらう。なお、集計にあたっては、SPSS統計パッケージを用いる予定であるので、事前に、ある程度予習しておくことが望ましい。教科書・参考書は特に設けないが、授業の進行に併せて、必要な文献を指示していく。受講にあたり、受講者の積極的なコミットメントを期待している。

成績評価の方法

出席点ならびにレポートの出来により成績評価をする予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会統計学演習（後期）	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この授業は、演習なので、単に講義だけでなく、実際に、受講者の発表と交えた授業を進めていく。素材は、文化社会学（文化政策・文化交流・文化産業・情報文化など）に関するデータを用い、数回にわたり、統計的にどう使えるのかを講義する。それをもとに、受講者による発表・コメントを数回繰り返す。素材の中には、英文のデータも含まれるし、社会統計学の基礎的な知識をマスターしていることを前提に授業は進められる点をあらかじめいっておきたい。参考書や教科書は特に指示しないが、授業の中で必要な文献の指示をしていく予定である。受講者の積極的な取り組みを期待している。

成績評価の方法

成績評価は、最終レポートを作成してもらい、出席点と併せて判定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査実習	李妍炎 りけんえん	社会3・4選	4

講義のねらい

ねらいは3つある。第1に、キャンパスから外に出て、特定の分野について実際に自分たちの目で見、耳で聞き、頭で考える経験をしてもらうことである。第2に、チームで行動し、他者と協働して一つの作業を最初から最後まで行ってもらうことである。第3に、社会調査の手法、特に質的調査を中心に習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な調査テーマおよび対象は受講生と議論をした上で決めるが、大きい分野として「非営利組織の活動」を想定している。1998年「特定非営利活動促進法（NPO法）」が日本で施行されて以来、NPOの数は9000組織に上っている。この新しい領域を理解し、その活動を推進していくために、95年以降さまざまな社会調査が行われた。中でも特に質問紙による調査（一般的にアンケート調査と呼ばれている）が主流である。しかし、これらの調査の妥当性に関する検討の作業は行われていない。

このような問題意識に基づき、実習の前半では、まず、社会調査の方法およびNPOという分野に関する基本的な学習をしていく。次に、いままでNPOを対象に行われた質問紙調査をサーベイし、妥当性を評価すべき対象を選定する。その上で、妥当性を評価する作業を行う。実習の後半では、このような評価作業をもとに、対象となる調査データの追跡調査もしくは補足調査、あるいはさらに深く掘り下げていくための調査を行う。その際、インタビュー調査を中心的な手法として想定している。

履修上の留意点

各自積極的に取り組んでももらわないと成立しない授業なので、そのような心構えで臨んでもらいたい。また、連絡を取り合うことが必要なので、日常的にPCでメールを使っているほうが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、実習の参加状況、および報告書の分担執筆部分に対する評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

1. 大谷信介ほか編著、1999、『社会調査のアプローチ：論理と方法』ミネルヴァ書房、(2500円+税)
2. 大谷信介編著、2002、『これでいいのか市民意識調査』ミネルヴァ書房、(2600円+税)

その他

ワーキンググループや議論、実地での聞き取りなどを中心に授業を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究 I (前期)	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会 3・4 選	2

講義のねらい

この講義では、世界システムの周辺に位置する発展途上国に視座を設定し、具体的な社会に適用可能な社会変動の理論を構築することを探求してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールは以下の通り。

1. 周辺社会とはなにか
 - ①世界システムと周辺
 - ②周辺をめぐる社会変動論
 - ③国民的発展論－「内部」と「外部」
2. 周辺社会の変動を規定する要因
 - ①多国籍企業
 - ②国家
 - ③自生的資本
3. 周辺社会の変動－「内部」から「外部」へ
 - ①階級構成の変化と社会意識
 - ②国際分業の変化と位置移動

履修上の留意点

特に出席をチェックすることはしないが、授業の理解を深めるためには、毎回出席することが望ましい。

成績評価の方法

受講者数によって、定期試験かレポートのどちらかによって評価する。

教科書

特になし。

参考書等

適宜、指示する。

その他

講義形式による。社会学理論Ⅱもあわせて履修することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学理論研究Ⅱ(後期)	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	社会3・4選	2

講義のねらい

この講義では、周辺社会の事例としてマレーシアを選択し、社会学理論研究Ⅰで展開された理論に則って、マレーシア社会の変動過程を分析することを課題とする(社会学理論研究Ⅰ未履修者についても、理解に支障がないように配慮する)。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容は以下のとおり。
1. 周辺社会としてのマレーシア
 - ①歴史
 - ②特質
 2. マレーシア社会の変動傾向－グローバル化と半周辺化
 - ①多国籍企業の戦略
 - ②国家の政策
 - ③自生的資本の力量
 3. 「ニュー・リッチ」形成と消費主義
 - ①新中間階級の形成
 - ②労働者の技能形成
 - ③移民労働者の意味
 4. 社会運動の動向
 - ①労使関係の変化
 - ②「新しい社会運動」

履修上の留意点

特に出席をチェックすることはしないが、内容理解のためには毎回出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験あるいはレポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

適宜、指示する。

その他

講義形式。社会学理論研究Ⅰも履修することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ(前期)	かわ もと きさる 川 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

社会変動の1つである社会の情報化とその社会的影響について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- ほぼ次のような内容を扱う予定である。
1. 情報化とは
 2. 高度情報化社会と情報環境
 3. 高度情報化社会と生活の情報化

成績評価の方法

受講生数にもよるが、レポートと試験によって評価する。出席も加味する。

教科書

講義の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ(後期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会3・4選	2

講義のねらい

行動論の立場から、時間の問題を考える。

成績評価の方法

評価はレポートによる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 (福 祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどのようにするのだろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであるだろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生 80 年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

前期末の試験、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。評価は原則的には前期試験と年度末試験の得点によって行う。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教 科 書

初回授業時に紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	しづやまさし 澁谷昌史	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の歴史
2. 子ども家庭福祉の思想と理念
3. 子ども家庭福祉の法体系
4. 子ども家庭福祉の実施体制
5. 子ども家庭福祉の費用
6. 子ども家庭福祉の施策体系
7. 子ども家庭福祉の施策の動向
8. 経済的支援について
9. 子ども家庭福祉の各論
～養護問題、障害問題、情緒障害問題、非行問題

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。

教 科 書

柏女露峰『現代児童福祉論』（誠信書房）

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

少人数であれば討議法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊 田 宗 裕	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）

①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方

④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）

①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み

③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度

③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

	講義テーマ	講義内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ	地域社会の変遷とコミュニティの形成 住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
3	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
4	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
5	地域福祉のサービス体系	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念 地域福祉活動の体系とその内容 他
11	地域福祉の推進方法	地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
16	福祉教育の推進	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源	地域福祉の財源と共同募金の理解 等
21	地域福祉の推進組織	社会福祉協議会、行政、各種団体・機関 非営利団体の活動とNPO法 他
24	地域福祉のマンパワー	ボランティア活動とその動き 地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童心理学	よこやま つよし 横山 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業心理学	たがはし まこと 高橋 誠	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教科書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参考書等

授業中に提示する。

その他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目を一つでも養うための参考になれば幸いと感ずる。

社
会
学
会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 心 理 学	おのりのりゅうぞう 大野 隆造	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参 考 書 等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）、1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）、1996

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	なかざとかつはる 中里 克治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1995 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか ひく み 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされ、現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを基本にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)か労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介します。

六法に関しては、最新のもの(法律改正があるので特に注意)そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ごとう きょうこ 五 島 京 子	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4版増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あまの かつみ 浅野 克巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！ 大いに利用してください。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

6 社 会 学 科 社 会 福 祉 学 專 攻

社(社会福祉学)
会

II. 専門教育科目

(6) 社会学科 (社会福祉学専攻)

社会福祉原論	伊藤秀一	583
法学 (福祉)	小林弘人	584
情報処理論	軽部幸浩	585
社会福祉援助技術総論	桐原宏行	586
社会福祉基礎演習	小畑和	586
社会福祉基礎演習	小林弘人	587
社会福祉基礎演習	佐藤光正	587
社会福祉基礎演習	東條光雅	587
社会福祉専門演習 I	伊藤秀一	588
社会福祉専門演習 I	小畑和	588
社会福祉専門演習 I	桐原宏行	588
社会福祉専門演習 I	小林弘人	588
社会福祉専門演習 I	佐藤光正	589
社会福祉専門演習 I	東條光雅	589
社会福祉専門演習 I	長尾譲治	590
社会福祉専門演習 II	伊藤秀一	590
社会福祉専門演習 II	小畑和	590
社会福祉専門演習 II	東條光雅	591
社会福祉専門演習 II	桐原宏行	591
社会福祉専門演習 II	小林弘人	591
社会福祉専門演習 II	長尾譲治	592
ソーシャルワーク・リサーチ論	石川久展	592
家庭福祉論	武山梅乗	593
児童福祉論	澁谷昌史	593
障害者福祉論	桐原宏行	594
老人福祉論	東條光雅	595
女性福祉論	林千代	596
医療福祉論	休講	
公的扶助論	伊藤秀一	596
保健福祉論	休講	
地域福祉論	豊田宗裕	597
外書講読	東條光雅	598
社会保障論	船水浩行	598
社会福祉援助技術各論 I A	北島英治	599
社会福祉援助技術各論 I B	北島英治	599
社会福祉援助技術各論 II A	川廷宗之	600
社会福祉援助技術各論 II B	川廷宗之	601
社会学 (福祉)	武山梅乗	602
心理学 (福祉)	高橋良博	602
医学一般	小林臻	603
介護概論	児玉谷広子	603
介護技術	鈴木知佐子	604
精神医学	黄ミンシュク	604
精神保健学	坂村雄	605

精神保健福祉論Ⅰ〈上野容子〉	605
精神保健福祉論Ⅱ〈上野容子〉	606
精神保健福祉援助技術各論〈佐藤光正〉	606
社会福祉発達史〈林千代〉	607
国際社会福祉論〈休講〉	
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	608
リハビリテーション論〈向後礼子〉	609
家族療法〈治田哲之〉	609
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕〈村田一昭〉	610
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕〈児玉谷広子〉	611
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕〈山本哲也〉	611
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕〈大須賀力〉	612
社会福祉学特講Ⅴ〔福祉士〕〈長尾讓治〉	613
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕〈小畑和〉	614
家族社会学〈中谷茂一〉	615
法社会学〈小林弘人〉	615
社会病理学〈休講〉	
心理検査法〈稲富正治〉	616
環境心理学〈大野隆造〉	617
社会政策〈光岡博美〉	618
行政法〈鶏徳啓登〉	619
労働法〈藤本茂〉	620
民法〈五島京子〉	621
経済原論〈浅野克巳〉	622
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ〈桐原宏行〉	623
社会福祉調査実習〈東條光雅〉	623
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ〈伊藤秀一〉	624
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ〈小畑和〉	624
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ〈長尾讓治〉	625
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ〈桐原宏行〉	625
社会福祉援助技術演習Ⅰ〈北島英治〉	626
社会福祉援助技術演習Ⅰ〈讚岐真佐子〉	626
社会福祉援助技術演習Ⅰ〈長尾讓治〉	627
社会福祉援助技術演習Ⅰ〈村田一昭〉	628
社会福祉援助技術演習Ⅱ〈北島英治〉	628
社会福祉援助技術演習Ⅱ〈讚岐真佐子〉	629
社会福祉援助技術演習Ⅱ〈長尾讓治〉	629
社会福祉援助技術演習Ⅱ〈村田一昭〉	630
精神科リハビリテーション学〈城田晴夫〉	630
精神保健福祉援助演習〈佐藤光正〉	631
精神保健福祉援助実習〈佐藤光正〉	631

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤秀一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日の社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
- 2 社会福祉の歴史的発展
- 3 社会福祉の組織と運営
- 4 社会福祉の分野
- 5 社会福祉の方法
- 6 社会福祉における人の問題

成績評価の方法

評価は、年度末の試験と出席状況の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 (福 祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	かるべゆきひろ 軽部幸浩	福祉1必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得（Type Quick を利用して）
- ・日本語ワープロの習得（MS-Word）
- ・スプレッド・シートの習得（MS-Excel）
- ・プレゼンテーションの実際（MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎）
- ・応用実習（データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習）
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意しておくこと。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピディスクが必要となる。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術総論	きり 桐 ほら 原 ひろ 宏 ゆき 行	14以降入学生/福祉1必	4
		13以前入学生/福祉2必	

講義のねらい

- ・人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
- ・福祉専門職と専門援助技術の関係について理解する。
- ・社会福祉援助技術に由来する倫理について理解する。
- ・ソーシャルワーカーに必要とされる対人援助関係の形成を図るための基本的コミュニケーション方法等を理解する。
- ・社会福祉援助活動の展開過程を重視しつつ、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
- ・社会福祉援助活動における専門援助技術体系を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 社会福祉サービスと援助活動の関係
- ② 福祉専門職と専門援助技術の関係
- ③ 専門援助技術と倫理
- ④ 専門援助技術の歴史的展開
- ⑤ 社会福祉援助活動の目的・価値・原則及び諸過程と共通課題
- ⑥ 専門援助技術の体系及び内容

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅰ』（中央法規）

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	お 小 ぼた 畑 かず 和	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。
内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実態、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書

『厚生労働白書』

その他

日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	こばやし ひろひと 小林 弘人	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教科書

授業開始の初日に指示する。

参考書等

授業開始の初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	さとう こうせい 佐藤 光正	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が、今後、専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識について幅広く学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は、『厚生労働白書』（平成14年度）に準拠して行う。

履修上の留意点

授業への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席、授業態度、学期末試験、レポート提出により評価する。

参考書等

随時紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	とう じょうみつ まさ 東 條 光 雅	福祉2必	4

講義の内容・授業スケジュール

履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。

こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。

成績評価の方法

評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、研究報告の内容等により、総合的に行なう。

（社会福祉学）会

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	伊藤 秀一	福祉3必	4

講義の内容・
授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究をすすめることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために、適当なテキスト、文献を使用し、これを共同で解説する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

成績評価の方法

出席状況やクラスワークのあり方等をふまえ、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	小畑 和	福祉3必	4

講義の内容・
授業スケジュール

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。少子化はそのことの成因である。よって、演習は「少子化社会の社会保障政策」が基調になる。

演習では『厚生白書』『厚生労働白書』を参考にしながら、少子化社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。年度末には卒論の準備段階としての小論文（ゼミ論）の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	桐原 宏行	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉を主なテーマとして展開していくものである。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「障害者雇用」「障害児・者のQOL」「家族支援」「地域支援」「障害理解（福祉教育）」「バリアフリー」などの問題の中から、各自の研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

演習では、文献研究、調査研究、実験研究等の研究方法の基礎的学習をはじめとして、各自が年間研究スケジュールを設定して、それに沿ってその過程や成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

佐藤泰正・徳田克己編著『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）

社会福祉学
会

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	小林 弘人	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、社会学・社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	佐藤光正	福祉3必	4

講義のねらい

この演習では、精神保健及び精神障害者の福祉に関する身近なテーマを中心にゼミを展開していく。具体的には「精神障害者の地域生活支援」「精神障害者のリハビリテーション」「精神障害者及び家族の心理教育」「精神障害者の社会復帰支援」「精神障害者の医療体制」「精神障害者を取りまく社会資源」等、またそれらを推進する「エンパワメント」「ストレングス視点」「ケアマネジメント」など各種のアプローチも題材にし、精神保健福祉領域のソーシャルワークに必要な基礎的な知識、援助技術を演習する。

成績評価の方法

出席、授業態度、レポート提出の状況により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	東條光雅	福祉3必	4

講義の内容・授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、年末までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅰ	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福祉3必	4

講義のねらい

この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考方法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時聞きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
- 2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、癌告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
- 3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
- 4 ゼミ論に向けての個別指導

履修上の留意点

本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	い どう しゅう いち 伊 藤 秀 一	福祉4必	4

講義のねらい

3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、卒業論文作成の指導を行う。

成績評価の方法

出席状況やクラスワークのあり方等をふまえ、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	お ぼた かず 小 畑 和	福祉4必	4

講義の内容・授業スケジュール

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしなが、このような問題も取り上げていきたい。

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	東 條 光 雅 <small>とう じょう みつ まさ</small>	福祉4必	4

講義の内容・
授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらう。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	桐 原 宏 行 <small>きり はら ひろ ゆき</small>	福祉4必	4

講義のねらい

この演習では、前年度の社会福祉専門演習Ⅰでの各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。
具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	小 林 弘 人 <small>こ ばやし ひろ ひと</small>	福祉4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	なが お じょう し 長 尾 譲 治	福祉4必	4

講義のねらい

この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。

4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定とその実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ソーシャルワーク・リサーチ論	いし かわ ひさ のり 石 川 久 展	14以降入学生/福祉1・2・3・4必 13以前入学生/福祉1必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査（ソーシャルワークリサーチ）の基礎的な知識を養うことを目的とする。

具体的な内容としては、まず、社会福祉分野においてなぜリサーチが必要なのか、その目的や意義といった理念からスタートし、社会福祉調査の発展経緯、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを中心として学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。

- ①オリエンテーション（授業概要と評価方法）、調査の目的と意義
- ②社会調査及び社会福祉調査の歴史的経緯
- ③仮説や理論モデル及び概念化・操作化について
- ④尺度と変数、尺度の水準について
- ⑤尺度の妥当性、信頼性について
- ⑥量的調査の意義と内容
- ⑦質的調査の意義と内容
- ⑧ソーシャルワークリサーチの実際

履修上の留意点

授業全体としては、講義形式が中心となるが、学生同士のディスカッションによる演習形式も若干取り入れるので、学生の主体的な参加が望まれる。

成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート（30%）、定期試験（50%）によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教科書

特に指定無し。

参考書等

- ①社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）1999年
- ②野村哲也『社会福祉調査論』（新評論）1980年
- ③古谷野亘・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年

科目名	担当者名	配当学科	単位
家庭福祉論	たけやま うめのり 武山梅乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、地域福祉及び在宅福祉施策の拠点とされる家族の諸問題を主として女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、家族という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家庭福祉の視点：①家族福祉と家庭福祉、②家族と世帯（構造）、③核家族と家族の類型、⑥核家族の機能と構造、⑤家族周期とライフコース、⑥〈近代家族〉、⑦日本の家族制度
2. 女性と家庭福祉：①フェミニズムと家族、②女性労働と育児、③母子家庭の諸問題、④夫婦別姓と結婚の意義、⑤介護とジェンダー
3. 子どもと家庭福祉：①現代家族のゆらぎと子育て、②児童福祉の体系にみるこども観、③児童虐待、④ひとり親家族の子育て、⑤保育と療育、⑥子どもの教育と不登校
4. 高齢者と家庭福祉：①高齢者の家庭生活、②高齢者介護の諸問題、③高齢者の居住福祉
5. 国家・地域と家庭福祉：①福祉国家論の中での家庭福祉、②日本における家族政策の変遷、③在宅福祉と地域、④家庭－地域福祉へ
6. 民間社会福祉と家庭福祉：①家庭福祉の市場性、②非営利セクターと家庭福祉

成績評価の方法

出席及び講義期間中に課すレポート、定期試験の結果で評価する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は開講時または講義期間中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	しげやま まさし 澁谷昌史	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の歴史
2. 子ども家庭福祉の思想と理念
3. 子ども家庭福祉の法体系
4. 子ども家庭福祉の実施体制
5. 子ども家庭福祉の費用
6. 子ども家庭福祉の施策体系
7. 子ども家庭福祉の施策の動向
8. 経済的支援について
9. 子ども家庭福祉の各論
～養護問題、障害問題、情緒障害問題、非行問題

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。

教科書

柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）

参考書等

随時紹介する。

その他

少人数であれば討議法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
障害者福祉論	桐原宏行 <small>まり ほら ひろ ゆき</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①障害者福祉の理念
 - ②障害の概念と実態
 - ③障害者福祉の施策
 - ④障害者福祉と社会資源
 - ⑤障害者に対する援助活動
- 前期に①～③、後期に④～⑤について扱う。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

初回の授業で指示する。

参考書等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

前期末の試験、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。評価は原則的には前期試験と年度末試験の得点によって行う。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

初回授業時に紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	はやし ちよ 代 林 千 代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に社会的、経済的、精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活上の困難や矛盾に対して、社会福祉のかかわる部分はきわめて大きい。社会福祉の分野で唯一女性に対応してきた婦人保護事業を基底に、社会構造の変動と共に複雑に多様化し、かつ重複して現れる女性の生活上の諸問題とその対応策について学ぶことを目的とする。それは、男性と共に考えるべき課題であり、社会福祉の分野において男と女の地平を求めることにほかならない。

講義の内容・授業スケジュール

1. 女性福祉に関する先行理論の検証と概念規定
2. 社会福祉事業としての婦人保護事業
3. 売春防止法の成立について
4. 婦人保護事業の現状と女性の生活問題
5. その他の女性生活問題
母子世帯の暮らし、女と老い、福祉労働と女性などなど
6. 男性と女性のあり方を考える

履修上の留意点

熱心に考えようとする学生の参加を希望する。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。その都度資料を配布する。

参考書等

林千代・慈愛会編『慈愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）
林千代編『母子福祉を拓く』（ドメス出版）

その他

視聴覚機材を用いる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公的扶助論	いとう しゅう 一 伊藤 秀 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権活動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、学年末定期試験を総合して評価する。

教科書

テキスト等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊田 宗 裕	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講義には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

	講義テーマ	講義内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ	地域社会の変遷とコミュニティの形成 住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
3	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
4	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
5	地域福祉のサービス体系	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念 地域福祉活動の体系とその内容 他
11	地域福祉の推進方法	地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
16	福祉教育の推進	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源	地域福祉の財源と共同募金の理解 等
21	地域福祉の推進組織	社会福祉協議会、行政、各種団体・機関 非営利団体の活動とNPO法 他
24	地域福祉のマンパワー	ボランティア活動とその動き 地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	東條光雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保障論	船水浩行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどのようにするのだろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのだろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術各論ⅠA(前期)	きた しま えい し 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論ⅠA」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術各論ⅠB(後期)	きた しま えい し 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論ⅠB」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論Ⅱ A (前期)	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- ②小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- ③小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- ④実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- ⑤専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①前期は、個人を援助する場合の小集団活用の技法（特に、様々な状況での援助技術）を、後期は小集団そのものの援助技法（特に、援助計画立案等の援助技術）を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術ⅠA およびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅱ』（中央法規出版）

参 考 書 等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』（ミネルヴァ書房）
その他、授業中に適宜指示する。

そ の 他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、あらかじめ了解されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術各論ⅡB(後期)	かわ 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）および社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- ②コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- ③実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- ④専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見（予測）技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、hコミュニティ集団運営のための技術、i広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論ⅠAおよびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなくなりがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウエイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教科書

佐藤豊道他編著『社会福祉援助技術論（下）』（川島書店）

参考書等

高田真治・著『地域福祉計画論』（誠信書房）
その他、授業中に適宜指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（福祉）	たけやま うめのり 武 山 梅 乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生に社会学の基礎的な知識を提示することを通じて、現代社会における今日的な諸問題について理解してもらうことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容を以下のように予定している。

1. 社会学の基礎概念：①役割論、②自我とアイデンティティ、③官僚制、⑥ネットワークとボランティア・NPO、⑤社会階層と社会移動
2. 社会変動論：①近代化と資本主義、②大衆社会論と社会的性格、③産業社会論、④高度大衆消費社会と情報化、⑤環境と公害
3. 現代社会論：①逸脱とラベリング、②差別論、③ジェンダーとフェミニズム、④医療化
4. 現代家族論：①核家族と家族制度、②ライフサイクルとライフコース、③離婚と未婚、④高齢化と人口問題
5. 地域社会論：①シカゴ学派とアーバニズム、②日本における都市－農村関係（過疎・過密と国土計画）、③まちづくりとQOL、④コミュニティ論と〈郊外〉
6. 国家とエスニシティ：①国民国家〈日本〉の成立過程、②エスニシティとしての〈沖縄〉、③グローバリゼーション

成績評価の方法

出席及び講義期間中に課すレポート、定期試験の結果で評価する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は開講時または講義期間中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学（福祉）	たか ほん よし ひろ 高 橋 良 博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2500円（税別）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 学 一 般	こばやし いたる 小 林 臻	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・
授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教 科 書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

講義開始時に連絡する。

そ の 他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介 護 概 論 （ 前 期 ）	こだまや ひろこ 児玉谷 広 子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

1. 介護の必要な人の社会生活を支援する社会福祉職の利用者観と介護福祉の視点を身につける。
2. 介護福祉実践について、制度・サービスの側面、介護活動の場の側面、専門技術、チームケアの側面から学び、社会福祉職としての立脚点をつかむ。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 高齢者と介護福祉の背景と課題
2. 障害者の介護福祉の背景と課題
3. 介護福祉の概念、理念
4. 介護福祉における支援関係
5. 宿題：介護に関する文献考察：指定図書
6. 制度的発展
7. 在宅介護と施設介護
8. 介護技術総論
9. 介護福祉と医療
10. チームケア
11. 介護過程と記録
12. ケアマネジメント
13. 宿題：介護に関する文献考察：自由図書

履修上の留意点

随時、グループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑をとり入れ、講義への主体的な参加を求める。講義内容の振り返りや考察・感想を記述してもらい、フィードバックしていき内容の理解を深めたいので、出席を重視する。

成績評価の方法

出席数・授業参加度…10%、文献考察レポート…40%、学期末テスト…50%

教 科 書

岡本民夫・井上千津子編『介護福祉入門』（有斐閣アルマ）

参 考 書 等

指定図書：ミルトン・メイヤロフ／田村真・向野宣之訳『ケアの本質——生きることの意味』ゆみる出版

そ の 他

社会福祉国家試験対策について随時伝える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介 護 技 術 (後 期)	すずき ちかこ 鈴 木 知 佐 子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して個別性に配慮し、利用者の自立支援の視点にたった的確な援助を展開する為の具体的方法について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・介護技術の原則、介護に必要な要素
- ・援助に必要な技術—コミュニケーション技術、観察技術、アセスメント技術
- ・生活環境の整備—住環境整備、社会的環境と生活の質
- ・自立移動を阻害する要因と障害
- ・安楽姿勢と移動の援助技法
- ・日常生活における介護技法（食事・排泄）食事体験、排泄体験
- ・日常生活における介護技法（清潔・衣生活の援助）
- ・在宅、施設における安全確保とリスク・リスクマネジメント
- ・福祉機器と活用方法
- ・終末期の介護
- ・緊急時の対応、他職種との連携、医療行為

履修上の留意点

講義、演習で述べる内容は全ての課題に関連するため出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、レポート提出状況、授業姿勢、筆記試験を総合判断して評価する。

教 科 書

高崎絹子編集『介護技術』（メジカルフレンド社）

参 考 書 等

講義の中で別途紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精 神 医 学	こう 黄 ミンシュク	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験（本試験）により成績評価をする。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健学	坂村 雄	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教科書

『精神保健入門』（八千代出版）

参考書等

『図説 国民衛生の動向 2002』（厚生統計協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健福祉論Ⅰ	上野 容子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉の理念と施策の理解を踏まえた上で、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇の歴史を学ぶ。特に偏見や差別の対象とされている現状認識を深める。精神障害者の社会生活、社会参加を援助、支援する精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①障害概念 精神障害とは？
- ②障害者福祉における精神障害者福祉
- ③精神障害者福祉の歴史と現状～関連法との関係～
- ④精神保健福祉士とは？
 - ・活動の歴史的経過とその意義
 - ・精神保健福祉法の意義と内容
- ⑤精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

問題意義と関心をもって参加してほしい。

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②ボランティア体験 ③出席状況

教科書

- ①『精神保健福祉論』（へるす出版）
- ②『精神科臨床サービス』（星和書店）

参考書等

授業の中で随時伝えます。

その他

ボランティア体験発表予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅱ(前期)	うえのようこ 上野容子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

地域において、精神保健福祉活動がどのようにおこなわれているか？又、精神障害者の地域生活の実態を学び、地域生活支援システムの重要性を認識する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①新聞、マスコミで報道される精神障害者の犯罪の背景
- ②精神障害者の生活実態～当事者の声～
- ③精神障害をもつ子供の家族の思い～事例～
- ④地域における精神保健福祉活動
保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど
～実践家の話～

履修上の留意点

問題意識と関心をもち、(I)を合わせて履修すること。

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②出席状況 ③グループ発表

教 科 書

授業開始時に紹介予定。

参 考 書 等

授業の中で随時伝えます。

そ の 他

セルフヘルプグループを構成し、グループワーク手法を活用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	さとうこうせい 佐藤光正	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉の領域も急速に地域での生活をどう支援していくかという流れにある。しかしまだ多くの精神障害者が地域の受け皿が脆弱なために入院を余儀なくされているという現実がある。ここでは精神障害者が社会参加や自立をめざすにあたり、援助者が用いる様々な援助技術や実践の基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①ソーシャルワークの価値観
- ②精神障害の置かれた状況
- ③精神障害者へのケースワーク
- ④精神障害者へのグループワーク
- ⑤精神障害者へのコミュニティワーク
- ⑥精神障害者へのケアマネジメント
- ⑦関連職種との連携
- ⑧スーパーヴィジョンと自己覚知

履修上の留意点

授業への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席、授業態度、学期末試験、レポート提出により評価する。

教 科 書

精神保健福祉養成セミナー第6巻『精神保健福祉援助技術各論』精神保健福祉士養成セミナー編集委員会（へるす出版）3,200円

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわ てい もと ゆき 川 廷 宗 之	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

- ①この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤『社会福祉計画』は、市民個々人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個々人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

履修上の留意点

- ①この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的な主体的な参加を期待します。
- ③学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

成績評価の方法

- ①前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- ②前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

教 科 書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価 2,200 円

参 考 書 等

- ①高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979 年
- ②R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980 年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984 年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
リハビリテーション論	こうご せいこ 向 後 礼 子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらう。また、ビデオ等の視聴を含む。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家族療法	はる た てつ ゆき 治 田 哲 之	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践(家族療法的視点から)
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教科書

履修者の実態(予備知識等)に合わせて決定し、授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	むら 村 た 田 か 一 ず あ あ 昭	14以降入学生/福祉1・2・3・4履	4
		13以前入学生/福祉2・3・4履必	

講義のねらい

近年、子どもや家庭をめぐる問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。なかでも子ども虐待の急増は、子どもの権利擁護への関心の高まりとも相まって、児童福祉（子ども家庭福祉）分野の今日的課題となっている。そこで本講座では、この“子ども虐待”という問題についての理解を深めることを目的として、その歴史や実態、社会的対応について、事例などを用いながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

子ども虐待事例の検討を中心に、子ども虐待に関する基礎的な知識(定義、取り組みの歴史、発生要因、制度など)について、講義とディスカッションを織り交ぜながら進めていく。また受講生の関心あるテーマや新聞等で取り上げられた最新のトピックについても、随時取り上げていく予定である。

履修上の留意点

受講生とともに“考えること”を重視した授業としたいので、受講生には主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

教 科 書

高橋重宏編『子ども虐待』（有斐閣）2,400円（税別）

参 考 書 等

高橋重宏・庄司純一編著『子ども虐待』（福祉キーワードシリーズ）（中央法規）1,800円（税別）
 柏女霊峰編著『児童虐待とソーシャルワーク実践』（ニューウェーブ子ども家庭福祉）（ミネルヴァ書房）2,200円（税別）
 ※その他、随時紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	こだま ひろ こ 児玉谷 広 子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

1. 高齢者の生活を具体的にとらえられるようになる。
2. 高齢者保健福祉制度やサービスの特徴と課題を理解する。
3. 高齢者への支援に関して福祉専門職の価値観、視点について考察を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4～5月：観察調査（10％）や聴き取り調査（10％）を行ない、結果について議論し考察する。
 5～6月：高齢者の生活と制度・サービスについて、文献を読みグループ作業によりまとめ発表する。（健康、日常生活、家族、経済、住宅、社会参加等）（10％）
 発表を聞いて個別の考察レポートを書く。（10％）
 7月：高齢者支援についてテーマを絞り、どのような視点で深めていくか検討する。
 夏休み：テーマについて文献と予備的なフィールド調査によって仮説を明確化する。（個別レポート提出）（20％）
 9月：フィールド調査の準備をする（グループ作業）。
 10～11月：フィールド調査実施、結果をまとめる（グループ作業）。
 12月：レポート作成、発表（グループ作業）、議論。（10％）
 1月：授業で学んだことの振りかえりと、自己の貢献度の評価を行なう（個別レポート）。（20％）

履修上の留意点

個人およびグループでテーマについて、文献やフィールド調査によって課題をまとめ、発表し、議論を深める積み重ねの過程を重視するので、出席、参加、分担を常に担当教員や学生同士で確認し合う。授業への学生同士の貢献度が問われる。

成績評価の方法

出席数…10％、各レポート…90％（詳細は上記の数字で示す）

教科書

なし

参考書等

講義中、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	やま もと てつ や 山 本 哲 也	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

障害児・者およびその家族を取り巻く環境には様々な問題がある。講義では、これら障害児・者およびその家族の抱える心理的・社会的問題への理解を深めるとともに、それらの問題に対するアプローチの方法について、検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

QOL、施設利用者の心理、障害受容（障害者・家族）、リハビリテーション、地域福祉、地域療育、バリアフリー等、障害児・者およびその家族の抱える心理的・社会的問題の中で、受講学生の興味・関心に合わせて、演習形式ですすめる。

履修上の留意点

講義は演習形式で行うため、講義時間以外の活動が多くなることが予想されるので、受講を希望する学生はそのつもりで受講すること。

成績評価の方法

課題への参加状況、講義での発表、提出される課題レポート等をもとに総合的に評価を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	おおよか 大須賀 ちから 力	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめ、いじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談機関の実態を明らかにし、その意義と現在の課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要なとされることは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適格にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重層化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要なとされることは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実践活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義、フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

（前期）

1. 相談機関の実態・今日的課題
2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
3. 職員の専門性について

（後期）

1. ケース事例から学ぶ相談援助
2. 処遇困難ケースへの対応
3. 児童の自立・家族の自立
4. チーム処遇のあり方
関係機関との連携

履修上の留意点

職員の専門性に関して

- ①フィールドワークの必要性
- ②権利擁護への視点
をもって学習に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート・討論などの総合評価

教科書

『最新・社会福祉援助技術』（樹みらい）2,000円

参考書等

山縣文治監修 『児童相談所で出会った子どもたち』（ミネルヴァ書房）
尾崎 新 『対人援助の技法』（誠新書房）

その他

授業の方法
講義・演習・討論を中心に

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅴ(福祉士)	ながおしょう 長尾 謙治	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

本講義は、社会福祉学専攻4年次生を対象として開講する。福祉士をめざして3年間学習をしてきた諸君の集大成の科目である。

授業では、福祉士の資格制度の現状、福祉士の職務や職場の実際、さらには就職活動のしかた(就職情報の提供も含む)などについて、外部講師の特別講義も交えながら具体的に解説していく。また、老人・障害・児童・公的扶助など、各分野において福祉士に必要とされる知識について、国家試験問題等を用いながら整理していく。これらの知識は、福祉士の本試験においても必須の知識である。

駒澤大学では、大学として福祉の専門職養成に力を入れている。本講義は、本学における福祉士国家試験対策講座の柱の1つであり、皆さんの資格取得を視野に入れて開講される。したがって、4年次生で福祉士国家試験を受験希望の学生は必ず受講するようにしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ソーシャルワークと資格制度：歴史的経緯と現状、及び今後の展望
- 2 福祉士の職場と職務内容
- 3 福祉専門職の就職活動方法の実際
 - ①福祉分野の就職動向
 - ②卒業生アンケート調査結果の紹介
 - ③就職活動・資格取得体験談：外部講師(OB・OG)による特別講義
- 4 福祉士とソーシャルワーク(国家試験形式による必須知識の再確認)
 - ①生活保護分野
 - ②老人分野
 - ③身体障害者分野
 - ④知的障害者分野
 - ⑤児童分野
 - ⑥精神保健分野
 - ⑦その他の分野
- 5 資格取得をめざして：福祉士受験対策指導
試験科目(指定科目)ごとの知識の整理・受験指導

履修上の留意点

授業では、福祉分野の職場に就職し、業務を実践するために必要不可欠の知識を解説する。同時に、国家試験受験対策として、必須となる知識を各科目ごとに整理しながら、授業を進める。このような性質上、毎回の出席こそが学習効果の上で極めて重要になる。そのため、履修者は毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、受講姿勢、意欲などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義中、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕	お ば た か ず 小 畑 和	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶 (abortion) の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路 (blind alley) に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質の関係よりは手段の関係になりシビア (severe) でドライ (dry) になる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife (胎児の生まれる権利) か Prochoice (産む、産まないは女性の権利) か
- ③ 資本蓄積と出生減退の関係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌 (血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化)
- ⑤ 家族に関する福祉制度 (年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…)
- ⑥ 家庭裁判所制度 (調停制度、特別養子縁組制度…)
- ⑦ 教育制度 (学校教育、家庭教育、社会教育…)
- ⑧ 就業問題 (雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…)

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

教 科 書

講義の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

授業形態は講義形式であるが、ビデオや OHP が使用可能ならば利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族社会学	中谷 茂一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分がつまみ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際になにがしかの参考となれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ。

履修上の留意点

頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト2冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。なお、心理・福祉は1年次から履修配当されているので1年次から履修できますが、2年次以降のほうがより深く理解できるかもしれません。

成績評価の方法

①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。

教科書

①片山義弘編 『家族を考える本』（福村出版）
②星野貞一郎編 『保健医療福祉の社会学』（中央法規）

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	小林 弘人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著 『法社会学講義』（法律文化社） 2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 検 査 法	いな ども まま はる 稲 富 正 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も異なりますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法（Y-G、TEG、など）、投影法（ロールシャッハ、P-Fスタディなど）、作業検査法（知能検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理テスト全体を網羅した授業を行ないたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理テストに携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行なう目を養ってほしいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理テストの結果を数字で見るだけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉をいかに使って表現するかを大事な評価にしたいと思います。

教 科 書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参 考 書 等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

そ の 他

心理テストを体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 心 理 学	おおのりゅうぞう 大野隆造	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参 考 書 等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）、1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）、1996

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しが必要とされ、現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを基本にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)か労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介いたします。

六法に関しては、最新のもの(法律改正があるので特に注意)そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	ごとう きょうこ 五 島 京 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4版増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
 - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 - 2. 所得はどのようにして決まるのか
 - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 - 4. IS-LM分析と財政金融政策
 - 5. 経済の変動と成長
 - 6. 賃金・物価・インフレーション
 - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 - 1. 市場と価格メカニズム
 - 2. 消費者行動の理論
 - 3. 企業行動の理論
 - 4. 不完全市場とは何か
 - 5. 市場の失敗
 - 6. 不完全情報の経済学
 - 7. リスクと不確実性
 - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！ 大いに利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	桐原宏行	14以降入学生/福祉2選 13以前入学生/福祉2必	2

講義のねらい

社会福祉の現場で展開される専門職の実践活動は、当事者とともにその抱える問題を解決していくことを目指して行われる。なかでも援助活動は、利用者の人権を擁護しつつ、専門職者としての対人関係を形成することを通して、利用者が身体的・精神的に健康な生活を送れるように支援していかなくてはならない。

この授業では、福祉の専門的マンパワーの養成を念頭に置いて、1年次配当科目や2年次に並行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、授業内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解すること、社会福祉実践の実態を把握すること、自己の配属実習分野を検討することなどについての学習が中心となる。

授業では、福祉現場における実践内容のビデオなどの視聴をもとにした議論、グループ討議、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換などを行う。

成績評価の方法

毎回の授業で課題を与えレポートの提出が義務づけられる。現場への配属実習のスクリーニングも行うため、特別な事由のある場合を除き、無断欠席は認められない。

参考書等

講義のなかで随時指示する。

その他

社会福祉援助技術現場実習Ⅰの単位末修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習Ⅱの履修を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉調査実習	東條光雅	福祉2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行って試みる事が要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5~6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参考書等

古谷野巨著『多変量解析ガイドー調査データのまとめかたー』（川島書店）
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学ー多変量解析入門ー』（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	小 畑 和 <small>おばた かず</small>	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	きり ばら ひろ ゆき 桐 原 宏 行	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解するとは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅰ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習(上)』(有斐閣)
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』(中央法規)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	さね ぎ まさこ 讃 岐 真佐子	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人をどう理解して関わるか、そしてどのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主にまず「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、ベアーを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ(役割演技法)を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見を折にふれて様々に伝えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

上記(履修上の留意点)に基づいて評価する。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』(誠信書房) 本体 2,000円
・鎌幹八郎『試行カウンセリング』(誠信書房) 3,500円

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習 I	なが お じょう 長 尾 譲 治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、IとIIを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習では、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関して、その基盤となるスキルや援助実践の展開過程について、実技や実践事例（主に児童相談所や児童福祉施設による援助実践事例）の検討を通じた個別的、集団的な体験学習によって、その理解を深めるとともに、習得することを目的としている。尚、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ソーシャルワーク実践の基礎となる技術
 - ①自己理解と他者理解
 - ②コミュニケーションの技法
 - ③面接の技法
 - ④マッピングの技法
 - ⑤価値と倫理
 - ⑥その他
- 2 ソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術
援助プロセスやインシデントプロセスによる援助実践事例の検討
※上記テーマについて、講義、事例検討、ロールプレイなどを選択的に行う。

履修上の留意点

実技やディスカッションが中心となるため、学生個々人の主体的、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、実技参加やディスカッションへの参加状況などによって総合的に評価する。

参考書等

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）2,500円（税別）
久保絃章編『社会福祉援助技術演習』（社会福祉士・介護福祉士養成講座）（相川書房）2,000円（税別）
津田耕一・相澤譲治編著『事例研究から学ぶソーシャルワーク実践』（八千代出版）950円（税別）
※その他、随時紹介する。

その他

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に提示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅱ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（下）』（有斐閣）
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃岐真佐子	福祉3選	2

講義のねらい

本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房） 本体 2,000 円
- ・鑑幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房） 3,500 円

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長尾譲治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、ⅠとⅡを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉援助技術演習Ⅰと同じく、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関する理解とその習得を目的としている。また本演習Ⅱも、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

そ の 他

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神科リハビリテーション学	しろ た はる お 城 田 晴 夫	福祉3・4選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教 科 書

『精神科リハビリテーション学(第3巻:精神保健福祉士養成セミナー)』(へるす出版)3,200円

参 考 書 等

『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』(日本評論社) 1,143円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉援助演習	佐藤光正	福祉3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務を担う。そのための具体的な援助技術を習得するための演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①ケースワーク援助 ②グループワーク援助 ③コミュニティワーク援助 ④ケアマネジメント援助 ⑤自己点検と自己覚知

履修上の留意点

授業への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席、授業態度、レポート提出の状況により評価する。

教科書

精神保健福祉養成セミナー 第7巻『精神保健福祉援助演習』精神保健福祉士養成セミナー編集委員会（へるす出版）2,800円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉援助実習	佐藤光正	福祉3・4選	6

講義のねらい

実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。そこでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて習得する必要がある。そして今後自分が精神保健福祉領域の専門家（援助者）としてやっていく“何か”を自分で探しだすことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 精神障害者と精神医療の理解 a 精神疾患の理解 b 医療機関・社会復帰施設の理解 c 精神保健福祉法の理解
- 2 PSW業務の理解 a PSWが配置されている意味の理解 b PSWが行う業務の理解 c 活用する社会資源の把握
- 3 援助関係のあり方についての洞察 a ケースワーク技術 b グループワーク技術 c リハビリテーション技術 d コミュニティワーク技術
- 4 実習目標の設定～まとめ a 実習目標の明確化 b 実習レポート作成 c 実習報告

履修上の留意点

実習への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

レポート、実習報告の評価及び配属実習先の評価により総合的に評価する。

参考書等

随時紹介する

社会福祉学
社
会

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

7 心 理 學 科

心
理

II. 専門教育科目

(7) 心理学科

心理学概論	〈間島英俊〉	637
心理学統計学	〈山田剛史〉	638
コンピュータ実習	〈大塚秀治・軽部幸浩・牧野晋〉	639
人格心理学	〈間島英俊〉	640
学習心理学	〈山岸直基〉	640
社会心理学	〈萩原滋〉	641
臨床心理学	〈佐々木雄二〉	641
生理心理学	〈谷口泰富〉	642
認知心理学	〈永田陽子〉	643
発達心理学	〈間島英俊〉	643
心理学基礎実験	〈茅原正・谷口泰富・間島英俊・ 佐藤理晴・堀内正彦・山岸直基〉	644
心理学研究法	〈井垣竹晴〉	645
禅心理学	〈茅原正〉	646
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	647
心理学実験演習Ⅱ	〈茅原正〉	647
心理学実験演習Ⅲ	〈佐々木雄二〉	648
心理学実験演習Ⅳ	〈佐藤理晴〉	648
心理学実験演習Ⅴ	〈休講〉	
心理学実験演習Ⅵ	〈軽部幸浩〉	649
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	649
心理学実験演習Ⅷ	〈勝俣暎史〉	650
演習	〈茨木博子〉	650
演習	〈勝俣暎史〉	650
演習	〈佐々木雄二〉	651
演習	〈谷口泰富〉	651
演習	〈茅原正〉	651
演習	〈永田陽子〉	652
演習	〈間島英俊〉	652
環境心理学	〈高橋鷹志〉	653
児童心理学	〈横山剛〉	653
産業心理学	〈高橋誠〉	654
老年心理学	〈中里克治〉	654
宗教心理学	〈葛西賢太〉	655
健康心理学	〈稲松信雄〉	655
比較行動学	〈幸島和子〉	656
精神医学	〈黄ミンシュク〉	656
心理学特講Ⅰ	〈デワラジャ, R.D.〉	657
心理学特講Ⅱ	〈細江達郎〉	657
心理学特講Ⅲ	〈鈴木順一〉	658
心理検査法Ⅰ	〈前期：西脇淳〉	659
	〈後期：佐藤尚代〉	659
心理検査法Ⅱ	〈稻富正治〉	660
カウンセリング	〈讚岐真佐子〉	661

情報処	理	I	〈中丸	茂	661
情報処	理	II	〈牧野	晋	662
宗	類	学	〈佐藤	憲	昭
心	演	習	〈茨木	博	子
心	演	習	〈勝俣	映	史
心	演	習	〈佐々木	雄	二
心	演	習	〈谷口	泰	富
心	演	習	〈茅原	正	
心	演	習	〈永田	陽	子
心	演	習	〈間島	英	俊
マ	シ	論	〈川本	勝	
産	社	学	〈休	講		
社	病	学	〈休	講		
家	社	学	〈中谷	茂	一
宗	社	学	〈芳賀	德	啓
行	政	法	〈鷄原	宏	行
障	者	論	〈桐東	條	光
老	人	論	〈澁谷	昌	史
児	童	論	〈藤本	京	子
勞	働	法	〈五島	野	京
民		法	〈五島	野	京
経	済	論	〈浅	野	克

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学概論	間島英俊	心理1必	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定でいます。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものの後の後日配布はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理統計学	やま だ つよ し 山 田 剛 史	心理1必	4

講義のねらい

心理学研究を行う上で、統計は欠かすことのできない道具である。この“道具”の正しい使い方を1年間かけて習得することを目指す。統計学は、2年生以降、実験のレポートや卒業論文を書く上での必須の知識となるものであるが、正しく理解するのは簡単なことではない。強い気持ちで高い目標を持って講義に望む必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の内容は、記述統計学（代表値、散布度、相関係数）、正規分布、確率変数、推測統計学（母集団と標本、標本分布、区間推定、統計的仮説検定）、後期は、種々の検定法（t検定、分散分析、カイ二乗検定）と検定を使う上での留意点といった内容を取り上げる。

履修上の留意点

数学が苦手という人も先入観を持たずに講義に取り組んでほしい。必要な数学の知識は中学生程度の内容である。しかし、取り上げる内容は決して易しいものではない。中途半端な態度で授業に参加しているとすぐに落伍する。授業には休まず参加し、休んでしまったときは次回の講義までに自分自身で補う努力が必要である。

成績評価の方法

前期、後期と2回のテストを実施する。また、毎回授業終了後にアンケートを提出してもらうことにより平常点（出席・その回の講義の理解）を加味する。

教科書

吉田寿夫著『本当にわかりやすいごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』（北大路書房）

参考書等

南風原朝和著『心理統計学の基礎—総合的理解のために—』（有斐閣アルマ）
永田靖著『統計的方法のしくみ—正しく理解するための30の急所—』（日科技連）
田中敏・山際勇一郎著『ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』（教育出版）

その他

講義形式。適宜、演習を実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ実習	大塚 秀治・軽部 幸浩 牧野 晋	心理1必	2

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめて本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価 (約 2,500 円) に購入できるように手配する。その他に年間約 5 枚程度の 3.5 インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

参考書等

授業中に最新のものを指示する。

その他

年間約 22 回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり 2 回から 3 回 (1 回 2 時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使用していただければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人格心理学	間島英俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。
また、パーソナリティの測定と診断についても一部実施し解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなうパーソナリティにともなう検査への参加、小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教科書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』（八千代出版）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習心理学	山岸直基	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学で「学習」というとき、学校で知識や技術を習うというような日常的な意味では使わない。学習はより広大な範囲の行動変化を含んでいる。たとえば、一度イヌに噛まれてからあらゆるイヌが怖くなった、携帯メールを打つことが以前より多くなった、以前はよくカラオケに行っていたのに最近では行かなくなったという例も含まれる。この講義では、人間やそれ以外の動物の行動を変化させる方法として、主にオペラント条件づけとレスポナント条件づけの2つを解説する。随時 OHP やビデオを使用する。

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

指定しない

参考書等

今田 寛著『学習の心理学』（培風館）
J. E.メイザー著、磯 博行 他訳『メイザーの学習と行動』（二瓶社）
小川隆監修、『行動心理ハンドブック』（培風館）
G. S.レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント心理学入門』（サイエンス社）
佐藤方哉著『行動理論への招待』（大修館書店）
杉山尚子 他著『行動分析学入門』（産業図書）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	ほさ かわら しげる 萩原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の諸領域を概観し、人間の社会行動の基礎となる心理的過程についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。後期においては、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関して「テレビの社会的機能、対人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期と後期に、それぞれ筆記試験を行い、その総合点によって成績評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

参考書は、講義を進める中で、適宜、指示する。

その他

授業の方法は講義とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床心理学	まさき ゆうじ 佐々木 雄二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎知識を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

「臨床心理学」は、「心理臨床」を実践する際の基盤となる心理学である。本講では、臨床心理学の概念について述べた後、臨床心理学の歴史、臨床心理士の資格に必要な条件、クライアントの心理、クライアントを理解し援助するための基礎となる面接法、心理診断法、心理療法などについて述べる。また具体的な事例を通して心理臨床活動の一端に触れる。

成績評価の方法

試験と出席

教科書

使用しない。

参考書等

必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 理 心 理 学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は生理学と心理学とにまたがる領域で、行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。古くは、この問題は心と体の関係として、あるいは心身問題として多くの哲学者によって論じられてきたのであるが、今日の生理心理学は心理学的事象の生理学的解釈あるいは心理学的事象の生理学的研究を目的としている。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 精神身体観とその歴史
2. 行動の生理学的基礎（神経系の構造と機能）
 - ① 中枢神経系と末梢神経系
 - ② 大脳皮質の構造と機能
 - ③ 大脳辺縁系の機能
 - ④ 下位脳幹の主たる機能
 - ⑤ 自律神経系と体性神経系
3. 感情・情動と身体反応
 - ① 情動理論
 - ② 感情・情動と身体反応
4. 初期値と慣れ
5. 感覚・学習・記憶・認知と脳活動
6. 生理心理学的測定（実習を含む）
 - ① 脳波測定とその心理学的活用
 - ② 呼吸測定とその心理学的活用
 - ③ 心拍測定とその心理学的活用
 - ④ 脈波測定とその心理学的活用
 - ⑤ 皮膚電気活動測定とその心理学的活用
7. 瞑想の生理心理学的研究とその意義
8. 人格の生物学的基礎

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養（物理・化学・生物）が欲しい。視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので欠席をしない。

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（1回）による総合評価とする。

教 科 書

参考資料（プリント）を配布するので教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考書は随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
認知心理学	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論の視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理学に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価する。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達心理学	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

本講義はエリクソン、E. H.の発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性 (Self-identity) 理論は、この講義を履修する諸君ら青年後期にての自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論で説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去-現在-未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上にて起こるライフイベントのトピックスを紹介しながら展開する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論 (認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論)
 2. 胎児期
 3. 乳児期 (信頼 VS 不信)
 4. 歩行期 (自律 VS 恥・疑惑)
 5. 学童前期 (積極性 VS 罪悪感)
 6. 学童中期 (勤勉性 VS 劣等感)
 7. 青年前期 (集団同一性 VS 疎外)
 8. 青年後期 (個人的同一性 VS 役割拡散)
 9. 成人前期 (親密性 VS 孤立)
 10. 成人中期 (生殖性 VS 停滞)
 11. 成人後期 (統合 VS 絶望)
 12. エピローグ (今日の問題に対する心理学的知識の応用として)
- 以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

履修上の留意点

本講義を履修される学生は、人格心理学と併せて履修すると理解しやすい。

成績評価の方法

成績は出席ならびに年度末定期試験にて基本的に評価しますが、年に1~2回課せられるレポートも補助的評価として参考にします。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は資料としてプリントされたもののなかで紹介します。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 基 礎 実 験	茅原 正・谷口 泰富 間島 英俊・佐藤 理晴 堀内 正彦・山岸 直基	心理2必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っていると、いっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 暗記学習 重量弁別
鏡映描写 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、5単元分の実験レポート、被験者経験の結果を合わせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。

教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 研 究 法	井 垣 竹 晴 <small>がき たけ はる</small>	心理2必	4

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定－特定の研究デザインによるデータの収集－データの分析－結論づけ－結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅷ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
- ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として

2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法－学会発表と論文
学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用方法
データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn（1970）の理論の応用

3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義
反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
- ④ 信頼性と妥当性

4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数
実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
- ④ 実験デザイン
 - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群
実験デザイン・多重処理デザイン
 - 2) 単一被験体法：ABA デザイン・多重ベースラインデザイン

5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作製の方法

6. 質問紙調査

成績評価の方法

出席と定期試験とレポートによる総合評価

教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

心
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禪 心 理 学	も ばら ちだし 茅 原 正	心理3必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禪の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禪心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禪の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禪の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禪の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・ 東洋の心理学の特質
- ・ 禪と心理学
- ・ 東洋的行法の研究－日本－
- ・ 東洋的行法の研究－外国－
- ・ 禪瞑想の心理・生理学的研究
- ・ 調身・調息・調心
- ・ 「普勧坐禅儀」考
- ・ 禪とコトバ
- ・ 禪の心理論理
- ・ 「空」の立場
- ・ 「有時」－存在と時間－
- ・ 華嚴の世界観
- ・ 唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

秋重義治『禪の心理学』（法政大学出版局）
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）
 兄玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禪の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅰ	いばら き ひろ こ 茨木博子	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事を目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論の理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるよう進める。取り上げる心理テストとしては、質問紙から投影法（描画テスト、ロールシャッハ・テスト）まで、よく使われているテストをあつかう。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいたいというような興味本位での受講はしないほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのレポート、出席で評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅱ	ち はら ただし 茅原 正	心理3選必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教科書

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅲ	さ さ き ゆ う じ 佐々木 雄 二	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選ぶ。その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題を知り、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学びながら、実際に自分の研究を進めることになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

そ の 他

経過報告に基づいて指導する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅳ	さ とう ま さ は る 佐藤 理 晴	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語（C++）、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているので、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅵ	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩	心理3選必	2

講義のねらい

本講義は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参考書等

随時紹介する。

その他

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel統計2000」を使用しておこなう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅶ	ましま ひでとし 間島 英俊	心理3選必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅷ	かつ 勝 また 俣 てる 暎 ちか 史	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学の主な課題は、種々の心理臨床の領域で適用できる「心理査定法」と「心理療法」を習得することにある。しかし、多様な理論的背景をもつ「心理査定法」や「心理療法」を理解することは至難の技である。本講では、コンピタンス心理学の視点から、わが国において紹介されている主要な「心理査定法」や「心理療法」を取り上げ、それらに共通する原理があることを体得することをめざした実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、コンピタンス心理学の視点からみた「心理査定法」と「心理療法」について論究する。後期においては、受講者の興味に応じた「心理査定法」（ロールシャッハ・テスト、コンピタンス尺度、ストレス尺度、インテイク面接など）と心理療法（記憶療法＝記憶術の諸技法を媒介にした心理療法など）について実習を行う。

履修上の留意点

実習を主として行うので、出席及びレポートの提出に心がけてください。

成績評価の方法

出席、レポートの提出、課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度、資料を配布する。

参考書等

その都度、資料に記載して紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	いばら 次 ぎ 木 ひろ 博 こ 子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手續きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	かつ 勝 また 俣 てる 暎 ちか 史	心理4必	4

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及び e-mail での相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告（レポート）、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	佐々木 雄二	心理4必	4

講義のねらい

受講生各自のテーマに合せた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	谷口 泰富	心理4必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まされたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	茅原 正	心理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくことになる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接を随時行う。

成績評価の方法

演習時における年間を通じた研究姿勢によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1~4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	大野隆造	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）、1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）、1996

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童心理学	横山剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』（北樹出版）

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 心 理 学	たがはし 高 橋 誠	心理2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教 科 書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参 考 書 等

授業中に提示する。

そ の 他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目を一つでも養うための参考になれば幸いと感ずる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	ながざと かつ はる 中 里 克 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教心理学	葛西賢太	心理2・3・4選	4

講義のねらい

現代人の心性をとらえるためのさまざまな方法を試み、学ぶ。狭義の宗教心理学にとどまらず、メディア論、セラピー文化論、コミュニケーション技術論、マネジメント理論など、多くの事例・側面から具体的な検討を行えるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義および討論の併用。

履修上の留意点

多くの資料の読み込みを課すので、登録をする場合は、ぜひがんばってもらいたい。

成績評価の方法

平常点。出席は考慮するが、科目運営への発言の貢献度・質をとくに評価する。

教科書

田辺・島菌編『つながりの中の癒し—セラピー文化の展開』（専修大学出版局）2,400円

参考書等

島菌・西平編『宗教心理の探究』（東京大学出版会）
 樫尾直樹編『スピリチュアルに生きる』（せりか書房）

その他

前半は教科書をゼミ形式で読んでいく。後半は文献・映像資料を活用して討論を行なう。毎回講義形式の解説がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康心理学	稲松信雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W. B. Cannon & H. Selye の学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stress を中心に Stressor Agents の認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学 (Psychoneuroimmunology) を関係づけて、最後に psycho の部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動 (Asthenic Emotion) の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、積極的思考・感情の養成や、長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる

- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
- ②精神活動と身体反応との関係
- ③心理学的ストレスと生理学的ストレス④ストレスと情緒反応
- ⑤情緒の生理学的機構
- ⑥情緒の分類と感情の統御
- ⑦情緒と精神神経免疫学
- ⑧情緒と欲求との関係
- ⑨感情&ストレスと健康の総括
- ⑩積極思考の涵養
- ⑪長寿高齢者の良適応

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

最終講義時間に筆記試験を行う。多肢選択形式と記述式を併用する。出席を加味する。(但：履修者が20名以下の場合 前・後期それぞれレポート提出で評価する)

教科書

教科書として『健康心理学：資料集』（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参考書等

Rober J. Gatchel et al. *An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY Second Edition* (McGraw-, Inc.)

その他

講義を中心とするが、ビデオやOHPを使用する。

心
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 行 動 学	こ う し ま か ず こ 幸 島 和 子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くのだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雌はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。

比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。

後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。

行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。

講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精 神 医 学	こ う 黄 ミンシュク	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験（本試験）により成績評価をする。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講 I	デワラジャ, R. D.	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が、「行動療法」を用いてどのように治療されているのか、その実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜、心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

<http://www1.accsnet.ne.jp/~ratnin/>を参照のこと。

履修上の留意点

各学生が、積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）の一つを選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講 II (集中)	ほそ え たつ ろう 細 江 達 郎	心理2・3・4選	4

講義のねらい

心理学特講として犯罪心理学を講義する。犯罪心理学は一般に犯罪者に特有な心理を解明すると思われるが、そうした思いこみそのものを出発点の素材としながら、犯罪とはなにか、またそれへのアプローチにどのような心理学的視点が求められるかを総合的多面的に見ていく。

講義の内容・授業スケジュール

「犯罪心理学の心理学：犯罪のしろうと理論他」「犯罪研究の歴史：生来性犯罪説からラベリング理論まで他」「犯罪とはなにか：犯罪は行動である他」「犯罪行動が発生する過程：犯行場面形成他」「発達成長と非行・犯罪：非行深度他」「犯罪防止の心理学：狙われやすい環境他」「さまざまな犯罪：殺人・放火他」「犯罪心理学のトピックス：プロファイリング他」「犯罪者の矯正の心理学：少年院」「犯罪心理学のこれから：修復的司法他」他

履修上の留意点

取り上げる内容は上記のように犯罪研究の各方面に渡るが、一貫した方法論に基づいたものである。そうした視点を理解できるよう体系的な受講姿勢が望まれる。

成績評価の方法

集中講義であるので各テーマが継続的に講義されていく。従って出席が基本的な評価の対象となる。さらに、講義中に適宜実施される小論文、および最後の方で行うテストも評価の対象とされ、それらを総合的にまとめ評価する。

教科書

細江達郎著『犯罪心理学』（ナツメ社）1,300円＋税

その他

授業の方法：講義形式
授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金							8月20日 水	○	○	○	○	○	
8月4日 月							8月21日 木	○	○	○	○	○	
8月5日 火							8月22日 金	○	○	○	○	○	
8月6日 水							8月25日 月	○	○	○	○	○	
8月7日 木							8月26日 火	○	○	○	○	○	
8月8日 金	△	△	△	△	△		8月27日 水	○	○	○	○	○	

△は予備日。予備日に授業がある場合は、夏休み前までに掲示等で連絡します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 講 Ⅲ	すずき しゆん いち 鈴 木 順 一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

心理臨床の分野で、集団の持っている相互の啓発・成長・治療効果などを活用したグループ・アプローチがある。第1の潮流を精神分析、第2の潮流を行動主義として、第3の潮流とされている人間性心理学や、第4の潮流とも言われているトランス・パーソナル心理学などを背景にするワークショップで、特に盛んに実施されています。本講座では、エンカウンター・グループ、サイコ・ドラマ、交流分析、ゲシュタルト療法などの成長志向の強い集団心理療法を、ワークショップ（体験学習）形式で学んでいきます。

講義の内容・
授業スケジュール

構成的エンカウンターのリレーション（人間関係）づくりから始め、メンバー相互の人間関係を深めながら、自己内及び自他のコミュニケーションと気づきを促進する技法を体験的に学んでいきます。

履修上の留意点

体験的学習という性格上、出席して参加体験することが必要です。皆の同意が得られるならば、長時間の集中的ワークショップを実施するかも知れません。

成績評価の方法

出席点とレポートなどの平常点で評価します。

教 科 書

特にありません。

参 考 書 等

必要に応じて紹介します。

そ の 他

講義形式の概念学習ばかりに慣らされてしまっている人にとっては、体験学習の全体参加性にとまどいと面白さを実感できるでしょうし、その重要性にも気づかれるでしょう。欠席しがちな人は、履修しないで下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法 I	前期：西脇 淳 後期：佐藤 尚代	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。この二領域の検査は、検査場面自体が対人関係場面である（検査者と被検査者が同じ場面に身を置き、課題を提示したり言葉を交わしたりしながら検査を執り行う）ものが多い。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、知能・発達検査を中心に講義する。これらは構成度の高い課題を遂行する検査であり、「自分が何を検査されているか」「（親への質問によって児童の発達を測る場合）我が子の発達のどの点を検査されているか」が被検査者にも伝わりやすい。自身の知的機能の低下や、我が子の発達の遅れなどを自覚している場合、検査されることで緊張や不安が高まることもある。従って、これらの検査を理解するためには、検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶことが必要である。講義では、検査の有用性と限界、利用の注意点などについても考えたい。

後期の〈投影法心理検査〉では、その施行・解釈技法をしっかりと身につけるためには、系統的かつインテシブな専門トレーニング（大学院や各種研修機関などでの専門教育）が必要な領域である。将来このような専門トレーニングを受けることを希望している学生は、講義を通じて、その土台となるであろう投影法の基礎的理解を体得し、心理アセスメントの基本的な構えを身につけてもらいたい。後期の講義では、（心理学の専門家を目指す者も目指さない者も）全ての受講生が、投影法心理検査に関する基本的な知識と教養を身につけることを第1の目標とする。また、知識の習得にとどまらず、投影法心理検査を施行する際に不可欠であるところの「相手の話したことを素早く正確に書き取る力」、検査結果の解釈の際に必要な「自分の感じていること（わかったこと）を根拠を提示しながらまとめる力」を高めることが、後期講義の第2の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）

- 1、心理検査とは何か
心理査定とは何か、発達・知能検査の位置づけ
- 2、発達検査について
津守式、デンバー式など
- 3、知的機能の検査について
（個人）WAISR、田中ビネー、痴呆のスケール、RPCM、コースなど
（集団）京大NX など
- 4、発達・知能検査の実際
テストのバッテリーと施行のインターバル、検査の見方・まとめ方、疾患との関連

（後期）

- 1、投影法心理検査について
心理アセスメントと心理検査、心理検査と投影法、なぜ査定するのか？、何が査定できるのか？
- 2、各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、歴史、適用、施行（実習））
ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、描画法、その他の投影法
- 3、心理アセスメントの実際
査定結果の活かし方、受け取る側にわかるような査定結果の報告

履修上の留意点

前期・後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

実習では、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行なうので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法II」の授業も履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可）

成績評価の方法

出席を重視する。前期、後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

教科書

講義において指示する。

参考書等

必要に応じて指示する。

そ の 他

実習や提出用授業ノート作成など、個人学習のウェイトが大きいと思われる。また、検査者・被検査者体験を伴うため、相互の体験を共有するグループ・ディスカッションの場を持つ予定であり、レポート中にもそれらの体験をまとめた記述が必須となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 検 査 法 Ⅱ	いな ども まさ はる 稲 富 正 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

臨床心理学の中にあり、重要な位置を占める「心理検査」は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などがその対象で、検査の種類によってそのやり方も理論背景も違います。人を知るための技法であり、心理検査の技術の習得と理論背景の理解はもちろんのことですが、心理検査を通して真剣に人と向き合うという「臨床」を学んで欲しいと思っています。ここで扱う心理検査は、もっとも多く使われている質問紙法（Y-G,TEG,CMIなど）と神経心理学的な検査（ベンダーゲシュタルトテストなど）です。「心理検査法Ⅰ」と合わせて心理検査全体を網羅したいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

1年を通して代表的な心理テストの理論と技法を学びながら、人の理解を深めるような授業を行ないます。臨床現場での心構えにも随時触れていきます。

履修上の留意点

人間を理解するということがどういうことなのかを真剣に考えてもらいたいと思っています。人への観察の前に自己観察をするつもりで履修してください。

成績評価の方法

「臨床」は真剣な世界です。出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理テストの結果を数字で見ただけではなく、自分の言葉をいかに使って表現するかを大事な評価にしたいと思います。

教 科 書

今のところ使いませんが、必要に応じて紹介します。

参 考 書 等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

そ の 他

心理テストを体験してもらう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カウンセリング	讃岐真佐子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングとは、何らかの状態において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう心理的な働きかけをする面接活動のことであり、学問的には臨床心理学をその基盤としている。カウンセリングというどうしても実践中心のように思われるが、その前に多くの知識や長期にわたる訓練が必要とされることは言うまでもない。ここではその第一歩として前期は主に知識面、後期はグループ・ワークを通して様々な角度から「カウンセリング」について広く学んでいきたく思う。カウンセラーを目指す人のみならず、自分自身の在り様、他者との関わり等考えてみたい学生諸君の参加を望む。

講義の内容・授業スケジュール

- I. カウンセリングとは何か — カウンセラーとクライアントの関係性をめぐって
- II. カウンセリングの諸理論について
- III. グループ・ワーク（主にロール・プレイを中心として）
- IV. 事例研究

履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。その日の授業への質問や感想を毎回書いて提出してもらう予定。

成績評価の方法

出席状況、ワークへの参加度、定期試験

教科書

必要な資料は適宜配布する

参考書等

- 伊東博 『カウンセリング』（誠信書房）
河合隼雄 『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
河合隼雄 『カウンセリングを語る』（創元社）
国分康孝 『カウンセリングの理論』（誠信書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理 I	中丸 茂	心理2・3・4選	4

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB（Visual Basic）を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。
1. MS-WORD & MS-EXCEL VBA
 2. VBの基本プログラミング
 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう
- 後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。
1. グラフィックデータの取り扱い
 2. 時間制御
 3. アプリケーションソフトの利用方法
 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

下記2つの課題により評価する
前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成
後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成
（マニュアルの作成を含む）

教科書

1. 『30時間でマスター Visual Basic』（実務出版）
2. 『はじめての Visual Basic 6.0 グラフィックス&ゲームプログラミング』（技術評論社）

参考書等

- 『Visual Basic 6.0 パーフェクトマスター』（秀和システム）
池谷ら『2001 Visual Basic 逆引き大全 500の極意』（秀和システム）

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理Ⅱ	まきのすむ 牧野晋	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、情報処理に関する基礎知識、コンピュータ・ネットワークに関する基礎知識などを学ぶ。次に、実験データの分析について学ぶ。また、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法などについても身に付けてもらいたいと考えている。これらを通して、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、それを自力で活用できるような応用力を身に付けさせたい。

具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習にはPC-SASを使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。得られた結果をレポートにまとめることで、他のアプリケーションとの連携についても学習する。さらに、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表などや卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論
ハードウェアとソフトウェア、OSの理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について
ネットワークの基礎知識の習得
自分のパソコンをインターネットに接続するには？
HTML入門など(可能ならば)
- ・主にPC-SASを利用しての統計処理および分析方法の理解
データ解析と統計的手法の基礎
PSSASの操作方法の習得
SASプログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習
MS-PowerPointを使ったプレゼンテーション

履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使ってのレポート提出、Excelを使ってのグラフ作成などを求めるので、これらを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・新城明久著『PC SASによる基礎統計学入門』（東海大学出版会）

参考書等

- 参考書については、授業中に適宜紹介する。
- SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあげておく。
- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著
『SASによるデータ解析入門 [第2版]』（東京大学出版会）
SASの具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので教科書と合わせて手元に置きたい。
 - ・高辻秀興・大塚秀治編著 『インターネット・リテラシー』（工学図書）
コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生として身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方

そ の 他

法については環境が異なる部分もあるが、是非目を通してもらいたい。
年間2~3枚程度のフロッピーディスク(2HD)が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	佐 藤 憲 昭 <small>さとうのりあき</small>	心理2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ(霊)とマナ(力)、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合(または欠席をした場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教 科 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』(講談社、学術文庫)

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	茨 木 博 子 <small>いばらぎひろこ</small>	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることが目的にしている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。従って、探し求めたテーマは諦めないで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参 考 書 等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	かつ また てる ちか 勝 俣 暎 史	心理3選	4

講義のねらい

この演習は、4年次必修の「演習」とともに、卒業論文作成に係わる授業である。従って、卒業論文に結合できるテーマの選択、卒業論文研究に着手するために必要な手続きなどを視野に入れながら、受講者各自の関心を発展させるため必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、①研究テーマの決め方、②研究課題の絞り方、③文献研究のあり方、などについてガイダンスを行った後、各自の研究テーマを決め、文献研究を行い、主要な研究論文について発表する機会を設定する。後期においては、卒業論文研究の実施計画を視野に入れながら、実施に必要な具体的な作業（事例研究に必要な準備、質問紙調査に必要な材料の準備など）を行う。

履修上の留意点

研究に取り組む楽しさを体験できるように、積極的な意欲をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

年間を通じた取り組みの成果や姿勢を総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

なし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	ささき ゆう じ 佐々木 雄 二	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

①最近発刊された臨床心理学やカウンセリング心理学、健康心理学領域の専門誌（原則として英文誌）からゼミ生自身が関心のある論文を探し、2、3編選んでくる。②その中から講師が指定する1編を訳し、原文、全訳文、抄訳文、参考資料をつけて提出する。提出資料をゼミ生全員に配布し、その論文の要点を説明した後、論文の展開に従って研究課題、具体的な研究目的、対象、実験や調査などの方法、結果の分析、検討内容、今後の課題などについて発表する。③その発表に基づいて質疑応答を行う中で、ゼミ生自身の臨床心理学研究の課題を見つけ、方法論を学び、卒業研究の準備にあたる。

成績評価の方法

発表および質疑応答の内容に基づいて評価する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	谷口泰富 <small>たに くち やす とみ</small>	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	茅原 正 <small>ち ほら ただし</small>	心理3選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。

〔後期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

R. E. Ornstein *The Psychology of Consciousness* の予定である。
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理3選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接を随時行う。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価する。

参考書等

必要な参考図書および文献を演習時に随時提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理3選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期はエリクソン、E.Hの理論を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>	心理1・2・3・4選	4

- 講義のねらい** 社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。
- 履修上の留意点** 他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。
- 成績評価の方法** 講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。
- 教科書** 特に用いない。
- 参考書等** 講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族社会学	中谷 茂一 <small>なかたに しげかず</small>	心理1・2・3・4選	4

- 講義のねらい** 「真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」という聖書の有名な一節は、家族について再考する意義についても示唆に富む。「家族」とはあまりにも身近で自己の経験と密接な関係であるため、個人の意識に影響を与えたり、時に束縛している構造を見えにくくする。本講義では、文献やデータを参照しながら、家族に関するかたちや意識の多様性を知ると同時に、自分もつ価値観から一歩離れ相対化できるように、履修者とともに私も自己の視点を再検討しながら考えていきたい。家族社会学の知見にふれディスカッションすることで、それぞれが自分にとっての真理を得て、今後のライフスタイルの選択の際になにがしかの参考となれば幸いである。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1. 家族の分析枠組み、2. 配偶者選択、3. 老親扶養、4. 子ども観の変化、5. 子ども虐待、6. 近代家族とフェミニズム、7. 家族のゆくえ。
- 履修上の留意点** 頻繁に発言と小レポートを求める。自分の頭で考え積極的に発言しなければ単位修得はできない。指定したテキスト2冊を参照しながら講義をすすめるので必ず購入することが履修の前提。
 なお、心理・福祉は1年次から履修配当されているので1年次から履修できますが、2年次以降のほうがより深く理解できるかもしれません。
- 成績評価の方法** ①学期末試験、②ディスカッション参加状況、③小レポート、3点の総合評価。
- 教科書** ①片山義弘編 『家族を考える本』（福村出版）
 ②星野貞一郎編 『保健医療福祉の社会学』（中央法規）
- 参考書等** 講義の中で紹介する。
- その他** 授業形態は、講義とビデオを素材とし、ディスカッションする時間を多くとる。

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	芳賀 学	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。(1) 有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。(2) 多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	鷄 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	きり 桐 原 宏 行 ほら ひろ ゆき	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①障害者福祉の理念
 - ②障害の概念と実態
 - ③障害者福祉の施策
 - ④障害者福祉と社会資源
 - ⑤障害者に対する援助活動
- 前期に①～③、後期に④～⑤について扱う。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポートの提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教 科 書

初回の授業で指示する。

参 考 書 等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

前期末の試験、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。評価は原則的には前期試験と年度末試験の得点によって行う。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教科書

初回授業時に紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	しげ や ま ま し 谷 昌 史	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

児童福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の歴史
2. 子ども家庭福祉の思想と理念
3. 子ども家庭福祉の法体系
4. 子ども家庭福祉の実施体制
5. 子ども家庭福祉の費用
6. 子ども家庭福祉の施策体系
7. 子ども家庭福祉の施策の動向
8. 経済的支援について
9. 子ども家庭福祉の各論
～養護問題、障害問題、情緒障害問題、非行問題

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。

教 科 書

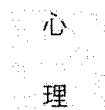
柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

少人数であれば討議法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふし もと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされ、現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを基本にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の法定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介します。

六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ごとう きょうこ 五 島 京 子	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4版増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席レポートをしっかりと取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもつてのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

Ⅲ 他学部履修科目

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	681
中国禅宗史	〈石井修道〉	681
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	682
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	682
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	683
仏教概論	〈吉津宜英〉	684
インド仏教文化史	〈金沢篤篤〉	684
中国仏教文化史	〈永井政之〉	685
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	685
中国古典語初級	〈石井公成〉	686
中国哲学史	〈前川亨〉	686
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	687
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	687
中世文学研究Ⅰ	〈武田昌憲〉	687
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	687
比較文学	〈満谷マーガレット〉	687
西洋思想史	〈柴野博子〉	687
演劇概論	〈阿部由香子〉	687
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	687
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	688
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	688
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	688
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	688
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	688
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	688
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	688
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	688
時事英語	〈荒井良雄〉	689
地理思想史	〈吉田敏弘〉	689
地形学	〈小池一之〉	689
人口地理学	〈大友篤篤〉	689
文化地理学	〈小田匡保〉	689
応用地理学	〈高木正博〉	689
現代地理学特論	〈長谷川均〉	689
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	689
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈趙軍〉	690
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
日本仏教史Ⅱ	〈松本信道〉	690
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	690
哲学史	〈山口祐弘〉	690
歴史哲学	〈山口祐弘〉	690
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	690
社会福祉発達史	〈林千代〉	691

国	民	所	得	論	〈吉	野	紀	692
日	本	經	濟	史	〈橋	野	知	693
中	小	企	業	論	〈吉	田	敬	694
社	会	政	策	策	〈光	岡	博	695
教	育	經	濟	論	〈谷	敷	正	696
日	本	經	濟	論	〈小	林	正	697
ア	ジ	ア	經	論	〈鄭		章	698
中	国	經	濟	論	〈小	林	修	699
ア	メ	リ	カ	論	〈瀬	戸	岡	699
口	シ	ア	東	論	〈山	縣	弘	700
商	業	政	策	策	〈番	場	博	701
マ	一	ケ	テ	イ	ン	グ	曾	702
経	営	管	理	論	〈國	島	弘	703
労	務	管	理	論	〈堀		龍	704
財	務	会	計	論	〈小	栗	崇	705
会	計	監	査	論	〈森	田	佳	706
管	理	会	計	論	〈石	川	祐	707
原	価	計	算	論	〈休		講	
貿	易	行	法	論	〈古	沢	紘	708
銀	行	政	法	論	〈金	子	昇	709
比	較	憲	法	論	〈西		修	709
親	族	法	法	論	〈五	島	京	710
相	洋	統	制	法	〈門	広	乃	710
西	米	法	史	法	〈北	野	か	711
英	濟	法	史	法	〈北	野	か	712
経	一	ロ	ッ	論	〈中	野	裕	713
ヨ	一	ロ	ッ	論	〈中	野	裕	714
国	際	政	治	学	〈小	堀	訓	715
ヨ	一	ロ	ッ	史	〈浦	田	早	716
地	方	自	治	法	〈富	井	幸	717
比	較	政	治	学	〈三	竹	直	718
現	代	国	家	論	〈大	塚	桂	719
比	較	憲	法	論	〈休		講	
経	営	務	營	論	〈茂	垣	広	720
国	際	業	營	論	〈山	田	勝	720
商	保	經	營	論	〈石	名	邦	721
保	險	會	計	論	〈渡	邊	惠	722
財	務	分	析	論	〈片	桐	伸	723
経	営	会	計	論	〈高	木	克	724
税	務	情	報	論	〈高	井	徹	725
経	営	報	統	論	〈西	村	和	726
情	報	理	統	計	〈長	国	強	727
経	営	統	計	学	〈休		講	
医	療	宗	教	学	〈休		講	
医	療	經	濟	学	〈片	山	晴	727
国	語	語	学	史	〈萩	原	義	728

女性史	〈高嶋 めぐみ〉	729
文化概論	〈藺部幹生・井上 優・佐藤憲昭・町田尚子・ 末藤美津子・内藤寿子・藤田和美〉	729
国文学特殊研究	〈小林 治・鈴木裕子・藺部幹生・松田直行〉	730
古典戯曲演劇	〈岡田 万里子〉	730
メディアと表現	〈松田 直行〉	731
時事英語	〈岡本 誠〉	731
臨床放射線特論(後期)	〈 休 講 〉	

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹 勝 男〉	732
社会思想史	〈 休 講 〉	
国際経済論	〈徳永 俊 明〉	733
社会政策	〈 休 講 〉	
価値格理論	〈荒木 勝 啓〉	734
国民所得論	〈 休 講 〉	
銀行業論	〈 休 講 〉	
中小企業論	〈吉田 敬 一〉	735
人口論	〈森岡 仁〉	736
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	737
ヨーロッパ経済論	〈 休 講 〉	
貿易論	〈古沢 紘 造〉	738
会計監査論	〈 休 講 〉	
管理会計論	〈石川 祐 二〉	739
法思想史	〈河見 誠〉	740
日本法制史	〈 休 講 〉	
西洋法制史	〈北野 かほる〉	741
経済法	〈岡田 外司博〉	742
国際関係論	〈南山 淳〉	742
地方自治法	〈富井 幸 雄〉	743
国際紛争解決法	〈王 志 安〉	744
倒産処理法	〈雨宮 眞 也〉	744
アメリカ経営学	〈宮城 徹〉	745
経営財務論	〈高田 光 明〉	746
経営組織論	〈日野 健 太〉	747
公益企業論	〈園田 哲 男〉	748
管理会計論	〈猿山 義 広〉	748
会計監査論	〈阿部 一 人〉	749
日本経済論	〈 休 講 〉	

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	文学部全学科	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史の考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）や駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）および田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭滄山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③円悟克勤④大慧宋泉⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	文学部全学科	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西の能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者として伝えられ、最も読まれてきた『六祖壇経』を今年度は読む。『六祖壇経』は六祖慧能（638～713）の伝記と説法の記録である。テキストには大きく3種ある。敦煌本・恵昕本・宗宝本（流布本）である。この講義では恵昕本『六祖壇経』を講読する。慧能の言行を知らないでは、禅を学んだとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に六祖慧能の伝記（400字詰め5枚以上）のレポートの提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	いし い せい じゆん 石 井 清 純	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の宗峰妙超の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ることが、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法与漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

『禅入門4大燈』（講談社）
講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	よしづよしひで 吉津宜英	文学部(国文学科除く)	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を拠り所にする）と法洲（法を拠り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討してみても始めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や淡い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

先ず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかにかに認識し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めていって下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらうことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かなさわあつし 金沢篤	文学部全学科	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	ながい まさし 永井 政之	文学部全学科	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せます。しかし「問答」が繰り返られるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のりあき 袴谷 憲昭	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたいは、下記に示すような予定である。

- 序 : 仏教東漸—半跏思惟像
- 第1章: 「玉虫厨子」と捨身供養
- 第2章: 『往生要集』と地獄極楽
- 第3章: 『一言芳談』と後世物語
- 第4章: 『日本史』における仏教
- 第5章: 『新論』の国体論と仏教
- 結 : 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末木文美士著『日本仏教史』（新潮文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	いし い こう せい 石 井 公 成	文学部全学科	4

講義のねらい	漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。
履修上の留意点	口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。
成績評価の方法	試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。
教科書	使用せず、コピーを配布する。
参考書等	教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	文学部全学科	4

講義のねらい	中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視点を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにすることは、中国思想の強い影響を受けている日本人の思考様式を相対化することにもつながるであろう。今日の我々の主観的な価値観によって過去を断罪するような態度からはっきり一線を画し、評価する前にまず理解するように勉めよう。
講義の内容・授業スケジュール	今年度は唐代から始めて近代（辛亥革命時期）に至る時代を扱う。その場合にも、断代史的にはなく、問題史的に進めていくつもりである。唐代以前の時代についても、前提となる知識には触れるように努める。「近代とは何か」特に「中国近代とは何か」ということが、全体を貫くテーマとなるであろう。
履修上の留意点	中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもつことが望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。積極的な問題関心をもっているひとの受講を期待する。継続して出席する意志と意欲をもたない者の受講はお断りする。
成績評価の方法	授業内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。ただし、継続して出席しないで、レポートだけ提出しても、決して単位を取得することはできない。
教科書	特に必要としない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	できるだけ多くの知識を提供するため講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起・討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	小野寛 <small>ひろし</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	松岡智之 <small>ともゆき</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	武田昌憲 <small>まさのり</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	近衛典子 <small>のりこ</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	満谷マーガレット <small>みつたに</small>	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	柴野博子 <small>ひろこ</small>	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	阿部由香子 <small>ゆかこ</small>	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原孝哉 <small>こうさい</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おがさきとしいちろう 岡崎寿一郎	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおがひろし 中岡洋	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわよしゆき 富士川義之	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこつお 丸小哲雄	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あざまゆういちろう 東雄一郎	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだかずひと 足田和人	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落合和昭	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	荒井良雄 <small>あらいよしお</small>	文学部(英米文学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	吉田敏弘 <small>よしだとしひろ</small>	国文・英米文・歴史	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之 <small>こいけかずかず</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	大友篤 <small>おおともあつし</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保 <small>おのだまさやす</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木正博 <small>たかぎまさひろ</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	長谷川均 <small>はせがわひとし</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	小泉雅弘 <small>こいずみまさひろ</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 X (近・現代)	趙 軍 <small>ちよう ぐん</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史 II	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢 <small>たに ぐち みつぎ</small>	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>	文学部(社会・心理学科除く)	4

(P.) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	文学部(社会学科除く)	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	文学部全学科	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者 6,660 万人（平成 12 年）を数え、その内で約 5,600 万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを 1 年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言って GDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは 4,400 万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の 1 年間の規模は平成 12 暦年の GDP によって 514 兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その 1 つ 1 つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上の舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5 回

GDP、GNP などの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。

《参考》経済企画庁「平成 13 年日本経済の循環図」（配布資料）

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4 回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第 3 講で活躍する IS 曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。

《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第 3 章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8 回

この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS 曲線と LM 曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。

《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第 9 章

4. 「金融政策、財政政策」……………4 回

前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP 出版）第 4 章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5 回

ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2 回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第 6 版）（多賀出版）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし の とも こ 橋 野 知 子	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. 近代日本経済史へのアプローチー日本経済史を学ぶ意義
2. 幕末の経済と開港
3. 明治維新
4. 殖産興業と松方財政
5. 近代産業の発達／軽工業と重工業
6. 日清・日露戦争と日本経済
7. 第一次大戦と日本経済
8. 1920年代～昭和恐慌へ
9. 高橋財政
10. 戦時経済
11. 戦後経済改革
12. 経済復興
13. 高度経済成長
14. 高度成長の終焉～バブルの時代へ
15. 平成不況と現代経済

成績評価の方法

レポートと試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料を配付します。

参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

そ の 他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よしだ けい いち 吉田 敬 一	文学部全学科	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおか たくみ 光岡 博美	文学部(社会心理学科除く)	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	文学部(地理学科除く)	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、21世紀に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) ブレア首相の経済と教育「教育委員会の民営化」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育「オブテイングアウト」 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法と教育 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5~6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40~50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

他
学
部
履
修
科
目

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	文学部(社会心理学科除く)	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
 景気の現状と雇用情勢
 戦後改革
 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 産業政策の役割
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
 産業構造の理論と歴史
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
 平成不況の意義
 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
 - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
※NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジア NIEs 論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APEC の発展過程
 - (2) ASEAN の自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノート参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教 科 書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参 考 書 等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	こ すぎ しゅう じ 小 杉 修 二	文学部全学科	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大國を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上國の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体制づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大國志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』(古今書院) 3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せ と おか ひろし 瀬戸岡 紘	文学部全学科	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡 紘 青木書店 1994年)をおすすめします。

履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	文学部全学科	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてもらえればよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来からの歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート(9月提出、40点配点)と定期試験(自筆ノート持込み可、60点配点)によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ぼ けい ち 番 場 博 之	文学部全学科	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どの様な特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	文学部全学科	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと取奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけでなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていくかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からははずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	くにしまひろゆき 國島弘行	文学部(歴史学科除く)	4

講義のねらい

経営管理論では、人間の集団労働に対する計画、組織、指揮、統制などの管理の問題を、主として企業において検討します。

講義では、経営管理の多面的側面を学び、企業の実践的課題の歴史的展開に従って進化してきた具体的内容と現代的課題とを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ロマン (社会的使命) とそろばん (所有、市場競争、利益)
- 2) 科学的管理の歴史的条件と理論的・技術的構造
- 3) フォード・システムと日本的生産システム
- 4) 職能論的管理論、組織構造論、日本的組織構造
- 5) 人間関係論、モチベーション、労働の人間化
- 6) 企業文化、日本的企業文化、企業倫理
- 7) 近代的管理論と意思決定
- 8) 経営戦略論と環境適応、戦略経営と創発的戦略
- 9) 情報ネットワーク経営、バーチャル企業、価値創造経営

履修上の留意点

現在、経営管理は、大量生産・販売・廃棄からの転換、グローバル化、情報ネットワーク化のもとで、革新が求められている。経営管理の基本を学ぶなかで、人間生活や市民生活を本当に豊かにする価値創造のための経営革新のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、数回の試験

教科書

國島他著『経営革新のアプローチ』(八千代出版) 3,200 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	文学部全学科	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本の労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本の労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本の労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本の労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本の労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	小 ^こ 栗 ^り 崇 ^{たか} し ^し 資	文学部全学科	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	文学部全学科	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

財財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	文学部全学科	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜配布する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	文学部全学科	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. WTOと貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	かね こ しよう へい 金 子 昇 平	文学部全学科	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選 I・II』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし おさむ 西 修	文学部全学科	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	こ とう きょう こ 五 島 京 子	文学部(社会・心理学科除く)	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族(第4版増補版)』(有斐閣双書)1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選(第6版)』(有斐閣)2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ のりこ 門 広 乃 里 子	文学部全学科	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続(第4増補版)』(有斐閣双書)1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選(第5版)』(有斐閣)2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の一般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	きたの北野かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	おが だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	文学部全学科	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえつつできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（1）	なかの ゆうじ 中野裕二	文学部全学科	2

講義のねらい

平成15年（2003年）度の「ヨーロッパ政治論（1）」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

- 第1章 政治制度
1. 大統領も首相もいる国
 2. 「半大統領制」
 3. 「合理化された議会制」
- 第2章 社会編成原理としての共和制
1. フランス共和制の理念
 2. 共和制の現実
 3. 「フランス的統合」
- 第3章 移民問題
1. 移民の概観
 2. 移民問題の顕在化
 3. 移民問題とフランス共和制
- 第4章 国民戦線の台頭
1. フランスの新右翼
 2. 新右翼の主張
 3. 国民戦線台頭の意味

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年
畑山敏夫『フランス極右の新展開』国際書院、1997年
山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』朝日新聞社、1998年
奥島孝康・中村絃一編『フランスの政治』早稲田大学出版部、1993年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
長部重康『変貌するフランス』中央公論社、1995年
渡邊啓貴『フランス現代史』中央公論社、1998年
本間圭一『パリの移民・外国人』高文研、2001年
三浦信孝編『普遍性か差異か』藤原書店、2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（２）	なか の ゆう じ 中 野 裕 二	文学部全学科	2

講義のねらい

平成15年（2003年）度の「ヨーロッパ政治論（２）」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史的経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
 梅川正美『イギリス政治の構造』成文堂、1998年
 山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』筑摩書房、1998年
 舟場正富『ブレアのイギリス』PHP 研究所、1998年
 自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』日本評論社、2000年
 豊永郁子『サッチャリズムの世紀』創文社、1998年
 川勝平太／三好陽編『イギリスの政治』早稲田大学出版部、1999年
 ボール・スノードン／大竹正次『イギリスの社会』早稲田大学出版部、1997年
 鈴木良平『アイルランド問題とは何か』丸善、2000年
 M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』河出書房新社、1996年
 富田正史『「多文化主義ネイション」に向けて』晃洋書房、1996年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男	文学部全学科	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	文学部全学科	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀— ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7~8×400字——は任意ではあるが、年5~6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	三 竹 直 哉 <small>みなけ なおや</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	文学部全学科	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3000円

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	山田勝 <small>やまだまさる</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざか くに あさ 石名坂 邦 昭	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	文学部全学科	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かた ぎり のぶ お 夫 片 桐 伸 夫	文学部全学科	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- * テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかき かつみ 高木 克己	文学部全学科	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹 雄	文学部全学科	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお 西村和夫	文学部全学科	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、ちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ちようこ 長 国 強	文学部全学科	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：季節指数、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
 なお、概要は次の通りです。
 ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
 ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
 ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

他
修
学
部
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	萩原義雄	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』(国宝真福寺本) & 最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について(現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記)
- 第4回の講義内容 06. 天女幻想『竹取物語』(32頁)
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』)について
- 第6回の講義内容 『土左日記』(爲家本と定家本との異なり)について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』(人物系図・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察)
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について(源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族)
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
- 後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書き込むことを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。(山水経)
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 35. 『義経記』判官びいき。[192頁]
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎(浦島伝説・浦島太郎伝説の謎)・ものくさ太郎・鉢かづき・酒呑童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 48. 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。[260頁]。
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』[362頁]
- 第24回の講義内容 69. 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

『講座国語史』第1巻から第6巻(大修館)
『日本語の歴史』全7巻(平凡社)
紀田順一郎著作集第4巻『日本の書物』

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	高嶋めぐみ	文学部全学科	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	菌部幹生・井上優 佐藤憲昭・町田尚子 末藤美津子・内藤寿子 藤田和美	文学部全学科	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしようこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

- ◎4月16日(水) オリエンテーション 菌部幹生
- ① 近代文学とタブー《4/23、5/7、5/14、5/21(4回)》 井上優
- ② タブーと宗教《5/28、6/4、6/11、6/18(4回)》 佐藤憲昭
- ③ 言語とタブー《6/25、7/2、7/9、7/16(4回)》 町田尚子
- ④ 教育におけるタブー《9/17、9/24、10/1、10/8(4回)》 末藤美津子
- ⑤ メディアとタブー《10/22、10/29、11/5(3回)》 内藤寿子
- ⑥ 慣習のタブー《11/12、11/19、11/26、12/3(4回)》 藤田和美
- ◎12月10日 まとめ 菌部幹生
- ◎1月8日 レポート提出(資料室) 菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/16)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 籾部 幹生・松田 直行	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ① 近現代文学の中の音と音楽 (4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22, 5/29) 小林治
- ② 説話文学における音 (6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 7/3, 7/10) 籾部幹生
- ③ 歌の近代史～J-POPへの道程 (9/18, 9/25, 10/2, 10/9, 10/16, 10/23, 10/30) 松田直行
- ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から— (11/6, 11/13, 11/20, 11/27, 12/4, 12/11) 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時(4/10)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

演劇を実演された戯曲であると坪内逍遙は定義したが、実際にわれわれが演劇と考える作品には戯曲に根ざしたこの演劇観で把握しきれない面があるのではないだろうか。今日古典的な演劇のジャンルにあげられる能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃には、出演者の極度な身体表現あるいは舞台上の仕掛けや象徴性、観客と一体化した場の創造などが見られ、これらは「古典」「戯曲」「演劇」といった近代的概念では理解しづらいものである。「戯曲」を超越したこのような表現こそが近代以前の演劇を支配していたともいえよう。本講義では主として歌舞伎を扱う。当然のことながら、歌舞伎を通して、「演劇」とは何か、「戯曲」とは何か、「古典」「伝統」といった問題について、あらためて考えていくことになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

あることがらを考える際、その歴史をひもとくことはひとつの有効な方法である。歌舞伎は、今日では日本を代表する文化・技術として、もっとも高尚な趣味のひとつに数えられているとあってよい。しかし、多くの芸術活動が既存の芸術への否定と新しさへの混沌とした欲求から生まれるように、歌舞伎もまたその例にもれない面が見られる。前期は、歌舞伎という演劇ジャンルの誕生から今日にいたる変遷を学び、後期は演技、演出など特徴と考えられていることからついてとりあげる。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問わないが、履修後は、テキストをはじめ教場で紹介する文献を設定された期限までに読むことを義務づける。また、導入的なビデオ鑑賞も行なうが、実際に劇場へ足を運び、レポートを提出することも求められる。このほか、自主的にかつ貪欲に古典芸能を鑑賞する意欲のある学生の履修が望ましい。

成績評価の方法

期末レポートと出席による。

教科書

古井戸秀夫、河野多恵子『歌舞伎』（新潮古典文学アルバム 22）（新潮社）1,300円

参考書等

教場において指示する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	文学部全学科	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストはまだ未定だが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席状況により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	おが ちと まこと 岡 本 誠	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば"Current English"ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらひは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

フレックスBで開講される他学部履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	文学部全学科	4

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集団的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、裏を返せば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるでだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでても使い捨てのサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、eコマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教 科 書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	とくなが としあき 徳 永 俊 明	文学部全学科	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——（「援助」と多国籍企業）・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート（3回予定）および学年末レポートで評価します。（レポート評価のため追・再試験は行いません。）

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あら き よし ひろ 荒木 勝 啓	文学部全学科	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると期待いただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	文学部全学科	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もりおか 森岡 仁	文学部全学科	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬戸岡 <small>せとおか</small> 紘 <small>ひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

・現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著「資
 本主義とアメリカの政治理念」(瀬戸岡訳、青木書店、1994年)をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふるさわ こうそう 古 沢 紘 造	文学部全学科	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教 科 書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし <small>かわ</small> ゆう <small>じ</small> 石川祐二	文学部全学科	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜紹介する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	かわみ まこと 河見 誠	文学部全学科	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想(ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、
中世ローマ・キリスト教の法思想(キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス)
近代：自然権・社会契約論(ホブズ、ロック、ルソー)、ドイツ観念論(カント、ヘーゲル)
近代から現代へ：社会主義法思想(マルクス)、新カント派法哲学(ケルゼン、ラートブルフ)、新しい自然法論(コーイング、カウフマン、フィニス)、現代の法思想状況について

履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

成績評価の方法

定期試験(後期終了後1回)を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

参考書等

田中成明他『法思想史(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、1997年)1700円。
三島淑臣『法思想史(新版)』(青林書院、1993年)5000円
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	またの 北 野 かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	<small>おかだとしひろ</small> 岡 田 外 司 博	文学部全学科	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	<small>みなみやまあつし</small> 南 山 淳	文学部全学科	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教 科 書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参 考 書 等

文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう 王 志 安	文学部全学科	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ 雨 宮 眞 也	文学部全学科	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやき 徹	文学部全学科	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2003年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	文学部全学科	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	文学部全学科	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对应しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	<small>そのだまつお</small> 園田哲男	文学部全学科	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	<small>さるやまよしひろ</small> 猿山義広	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教科書

中原章古編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参考書等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	文学部全学科	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちなものである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的（総論）(1) | 10. 監査人 |
| ①監査の必要 ②監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| ③監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的（2） | 13. 内部統制 |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷 | 14. 試算 |
| ③監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調書 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| ①証券取引法監査 ②商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| ③その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準（1） | ①監査概念の拡大化 |
| ①必要性 ②生成と展開 | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準（2） | |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 ④実施基準 ⑤報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円

高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円

鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円

三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円

山根忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円

脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

履修科目
他学部

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	755
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	755
日 本 語	II	〈佐野典子〉	755
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	756
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	756
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	757
日 本 語	IV	〈石川守〉	757
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	757
日 本 語	V	〈石川守〉	758
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	758
日 本 語	VI	〈石川守〉	759
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	759

《日本事情科目》

日本事情 I 〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	760
日本事情 II 〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	761
日本事情 III 〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	762
日本事情 IV 〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	762
日本事情 V 〔社会〕	(後期)	〈李 妍 炎〉	763
日本事情 VI 〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕二〉	764
日本事情 VII 〔文学〕	(後期)	〈奥原 淳子〉	764
日本事情 VIII 〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	765
日本事情 IX 〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬一〉	765
日本事情 X 〔経営〕	(前期)	〈鈴木 幸毅〉	765

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	全学科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教科書

授業中に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特質を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。

文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教 科 書

プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) 〔地理〕	須 ^す 山 ^{やま} 聡 ^{さとし}	全学科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ（前期） 〔自然〕	清水善和 <small>しみず よしかず</small>	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：（1）アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、（2）現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、（3）自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ (後期) 〔歴史〕	みやもと ゆきこ 宮本 由紀子	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教科書

なし

参考書等

その都度知らせる。

その他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ (前期) 〔思想〕	あかば ゆきこ 赤羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V (前期) 〔社会〕	李 ^り 妍 ^{けん} 炎 ^{えん}	全学科	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション：「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI (後期) 〔政治・法律〕	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	全学科	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。

項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。

1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

配布するプリントの概要は KOMSY に掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII (後期) 〔文学〕	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教 科 書

その都度指示します。

参 考 書 等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あか ぼ ゆきこ 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。
また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ(前期) 〔経済〕	よし だ けい いち 吉田敬一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。
I 日本経済入門の入門
II 戦後日本の高度経済成長の秘密
III 経済大国日本とバブル景気
IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	すず き こう ぎ 鈴木幸毅	全学科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

V 随 意 科 目

V. 随意科目

英語 (海外演習)	771
中国語 (海外演習)	771
宗 教 学 概 説	〈洗 建〉	771
宗 教 学 概 説	〈池 上 良 正〉	772
宗 教 学 概 説	〈津 城 寛 文〉	722
哲 学 概 説	〈末 木 恭 彦〉	773
哲 学 概 説	〈中 村 友 太 郎〉	773
倫 理 学 概 説	〈河 谷 淳 淳〉	774
宗 教 人 類 学	〈佐 藤 憲 昭〉	774
民 間 信 仰 論	〈谷 口 貢〉	775
日 本 宗 教 文 化 史	〈小 川 順 敬〉	775
日 本 宗 教 成 立 史	〈津 城 寛 文〉	776
歴 史 哲 学	〈山 口 祐 弘〉	776
美 術 史 概 説	〈北 野 良 枝〉	776
東 洋 思 想 史	〈末 木 恭 彦〉	777
日 本 民 俗 学	〈谷 口 貢〉	777
日 本 仏 教 史	〈 休 講 〉	
日 本 文 化 史	Ⅱ 〈 休 講 〉	

科目名	配当学科	単位
英語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単位
中国語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学概説	あらい けん 洗 建	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象を実証的に研究し、宗教を信じるのが、人間生活や社会にどのような意味を持ち、どのような働きをするものであるかを明らかにしようとする学問である。宗教学においてこれまでどのような研究が行なわれ、どのようなことが明らかにされたのかを概観し、宗教学的ものの見方を理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の立場、原始宗教、神と法、宗教的世界観、宗教儀礼、宗教と社会、宗教体験、宗教の機能などについて考察する。

履修上の留意点

事実を覚えることより、宗教学の考え方を理解してもらいたいので、できるだけ出席してもらいたい。私語のないように願う。

成績評価の方法

期末試験による評価を原則とするが、出席点、レポート提出なども配慮する。

教科書

協本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円＋消費税

参考書等

その都度、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	池 上 良 正 <small>いけ がみ よし まさ</small>	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

テーマは「生活の中の宗教」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なトピックとしては、「儀礼と祭り」「弔いと供養」「イスラームとは何か」「憑依の諸相」などを考えている。各種のビデオを活用したい。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。受講者には最低1回は発表してもらう。

成績評価の方法

課題の発表、授業中の議論、出席状況から、総合的に評価する。

参考書等

講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	津 城 寛 文 <small>つ しろ ひろ ふう</small>	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教のもつさまざまな側面のうち、ここでは、人間が他界を志向するという面と、信仰は社会的表現をとるという面と、この二面に注目し、「宗教と他界」「宗教と社会」という大きなテーマの中で、宗教の多面性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

「宗教と他界」のテーマの中では、呪術、シャーマニズム、スピリチュアリズム、神秘主義、死後生命の信仰、などを論じる。「宗教と社会」のテーマの中では、政治と宗教、市民宗教、公共宗教、現代宗教、などを論じる。

履修上の留意点

宗教に関心のない者、知的向上心の弱い者は、履修を遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学年末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらないので、自主的な参加と、自主的な学習意欲が求められる。

教科書

テキストは用いない。

参考書等

参考書は、適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイルである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこのような問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新原道』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年回数抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新原道』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する。）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	なか むら ともたろう 中 村 友太郎	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

自己と他者の関わりの問題を中心とする現代思想の展開を学びつつ、自ら哲学的思考のいとなみに参与する機会を提供することを主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、まずは近代思想における自己意識の確立・形成を展望した上で、現代世界にあって問い進められている他者論の探求へと思索を進める。

履修上の留意点

単なる知識の習得よりも、共に考えることを重視するので、何よりもまず能動的な参加の姿勢が前提として求められる。

成績評価の方法

レポートや試験の課題と共に、日頃の授業への積極的な参加態度も含めて、総合的に成績評価する。

教科書

教材に関しては開講時に提示するが、適宜にプリントを配布し活用する。

その他

なるべく多くの時間を、参加者相互の意見交換・討論に当てるように工夫したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	河谷 淳 <small>かわ たに あつし</small>	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

- (a) 西洋倫理思想史
 - 徳倫理学（古代ギリシア）：プラトン、アリストテレス
 - 義務論：カント
 - 功利主義：ベンサム、ミル
- (b) 現代倫理学の諸問題
 - 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題
(インフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死、クローン技術などをめぐる諸問題)

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>	国文・英米文・地理・地文・環境・歴史・福祉2年次～	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口 貢 <small>たに くち みつぎ</small>	文学部(国文学科除く)2年次~	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	文学部全学科2年次~	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民衆宗教成立史	津城寛文	文学部全学科2年次～	4

講義のねらい

この講義は、民衆宗教の前提となる、基層文化、民衆文化、深層文化などと呼ばれるテーマを、日本を領域として考察し、民衆宗教、民俗宗教の理解に役立つことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにそって、歴史的深層、文化・心理的深層、民族主義的な深層、宗教文化の深層について、解説を加えながら進める。

履修上の留意点

基本的に板書はしないので、テキストを必ず準備すること。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学期末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらない。

教科書

津城寛文『日本の深層文化序説』（玉川大学出版部）1990年

参考書等

参考書は、テキストに掲載してあるほか適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイル。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	山口祐弘	文学部(歴史学科除く)2年次～	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファーベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教科書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	北野良枝	英米文・地理・地文・環境・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

奈良時代から明治初期に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は奈良時代から室町時代まで、後期は桃山から明治初期までを扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	末木恭彦	文学部(国文学科除く)2年次～	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想(儒教的教養)の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。1. 試験又はレポート(年1回以上) 2. 平素の受講態度(年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。) 3. 受講の積極性(質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。)

教科書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	英米文・地理・地文・環境・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』(吉川弘文館)

